

# 新型コロナウイルス感染症と 三島市の奮闘の記録



三島モデルによるワクチン集団接種



感染症対策を講じた避難所開設訓練



休校中のオンライン学習試行



ドライブスルーで商店を応援

2023（令和5）年

三島市



## はじめに

せせらぎと花と緑あふれる三島の街は、人流と温かな地域コミュニティを生み出し、にぎわいのある誇り高い街へと発展し続けてまいりました。

しかしながら、私が市長に就任してちょうど10年目の節目となる2020年に、新型コロナウイルスという未知なるウイルスに全世界が驚愕することとなりました。同年1月に日本で初めての感染者が確認されて以来、瞬く間に国内に蔓延した新型コロナウイルス感染症は、本市におきましても市民生活において大きな不安と脅威をもたらしました。



地域コミュニティを重視してまいりました本市にとって、三密（密閉・密集・密接）を避けるという政府の方針は、人と人との接触や移動の制限などあらゆる場面で行動の自粛をお願いしなければならず、苦渋の決断ではございましたが、何よりも尊い市民の命を守るため、ホームページ等あらゆる手段を活用するとともに、ビデオメッセージで必死に呼びかけたことが、つい昨日のこのように思い出されます。

国の対策が定まらない中で、様々な情報が錯綜し、何をどのようにして行ったらよいか全くわからず、手探りの状況ではございましたが、立ち止まって熟考している時間はなく、早急な判断が求められました。そこで、速やかに新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げるとともに、「感染症予防対策」「生活安定対策」「経済対策」「新たな生活様式に対応した対策」を市の対策4本柱（令和5年3月31日現在 およそ210億円）として、迅速かつ確実に市民生活の安心・安定に反映できるよう市職員一丸となって取り組んでまいりました。

様々な対策を間断なく打ち出すなか、市独自のシステムによる特別定額給付金の申請や、「三島モデル」によるワクチン接種といった先進的なアイデアも生まれ、全国的に注目を集めたこともございました。

新型コロナウイルスは大規模災害にも匹敵する大きな弊害をもたらしましたが、近い将来再び、未知のウイルスに見舞われないとも限りません。これまでの新型コロナウイルスとの本市の奮闘を記録に残すことにより、今後起こりうる未曾有の事態にも迅速に対応していくことができるよう、未来の三島市へのエールとして本冊子「新型コロナウイルス感染症と三島市の奮闘の記録」を作成いたしました。本市におきましてはこの冊子とともに、三島市医師会と共同で作成した「新型コロナウイルス感染症と予防接種への対応記録」の冊子を併せて保管し、後世に残してまいります。

結びに、これまでコロナ禍において共に闘い、乗り越えてまいりました医師会はじめエッセンシャルワーカーの皆様や事業所、地域関係団体の皆様、市職員、そして何よりも三島市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和5年7月

三島市長 豊岡 武士

# 目次

第1章 序論	1
1 記録の目的	1
2 記録の期間	1
3 時系列による感染状況と市・県・国の動き	1
第2章 体制整備	44
1 新型コロナウイルス感染症対策本部の設置	44
(1) 設置経過	44
(2) 体制図	44
(3) 本部会議開催経過	45
2 新型コロナウイルス感染症対策室の設置	52
(1) 設置経過	52
(2) 機構	53
第3章 市民生活への影響	54
1 地域経済や産業振興への影響	54
2 地域交流、絆づくりへの影響	55
3 健康、医療、福祉への影響	55
4 子育て（未就学児）への影響	57
5 教育、文化への影響	57
6 その他の事業等への影響	59
第4章 対策4本柱	61
1 感染症予防対策	61
(1) 新型コロナウイルスワクチン接種	61
(2) 新型コロナウイルス地域外来・検査センターの設置	66
(3) 新型コロナ感染症対策用の消耗品等の購入	66
(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	66
(5) その他、各課における感染対策	66

2	生活安定対策	71
(1)	特別定額給付金給付事業	71
(2)	子育て支援	72
(3)	生活困窮者等への支援	73
(4)	緊急食料支援事業	74
(5)	水道料金支援事業	74
(6)	市税の減免や軽減措置等の対応	74
(7)	その他、各課における支援	75
3	経済対策	76
(1)	商工観光課 各種支援事業	76
(2)	その他、各課における支援事業	79
4	新たな生活様式に対応した対策	83
(1)	スマート市役所推進事業	83
(2)	教育支援事業	84
(3)	その他、各課における支援や対策	86
<b>第5章 その他の対応等</b>		<b>88</b>
1	小・中学校における対応	88
(1)	対応の経過	88
(2)	臨時休業の状況	89
2	市議会における対策	90
3	商工会議所における対策	93
<b>第6章 市職員の奮闘記集</b>		<b>94</b>
<b>資料編</b>		<b>119</b>
資料1	市長メッセージ集	119
資料2	新型コロナウイルスの感染状況	144
資料3	新型コロナウイルス感染症関連寄付・寄贈一覧	146
資料4	新型コロナウイルス感染症関連事業一覧	149
資料5	新型コロナウイルス感染症関連の写真・広報みしま記事・新聞記事	154

# 第1章 序論

## 1 記録の目的

新型コロナウイルス感染症の出現は、市民生活に大きな不安と恐怖をもたらすとともに、市政においても、感染症対策を念頭においた運営を余儀なくされた。

今後、再び新興感染症に遭遇した際に、今回の経験を踏まえた迅速な対応ができるよう、本市における新型コロナウイルス感染症との奮闘を記録に残し、後世に伝えていく。

## 2 記録の期間

2020(令和2)年1月～2023(令和5)年5月10日

## 3 時系列による感染状況と市・県・国の動き

2020(令和2)年1月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
16日	・国内初感染者判明(中国から帰国の神奈川県在住中国籍男性)		
26日			・中国武漢滞在の日本人帰国希望者全員の対応方針を首相表明
28日		・市ホームページ「新型コロナウイルスに関する情報」掲示 ・MIS全庁掲示板「新型コロナウイルス感染症に備えて」周知	・政府：マスク販売の個数制限及びマスク生産会社の生産態勢強化を指示 ・厚生労働省(以下、厚労省)新型コロナウイルスに関する電話相談窓口設置
29日		・最新情報を把握し感染予防に努めるよう市内宿泊施設等へ周知	・中国武漢からのチャーター機第1便が羽田到着(～2/17第5便まで) ・チャーター機帰国者のうち症状なしの192人は千葉県勝浦市ホテルへ
30日			・WHO「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」宣言 ・政府が対策本部設置(総理大臣を本部長とし、メンバーは全閣僚)
31日		・市AIチャットボット「新型コロナウイルスに関する質疑応答」追加 ・MIS全庁掲示板「新型コロナウイルス感染症予防について」周知(各施設の感染予防に努める)	・外務省：中国全土の危険レベル「2」へ引上げ、不要不急渡航は中止 ・観光庁：ホテル旅館等宿泊事業者の相談窓口設置。 ・「雇用調整助成金」等を紹介

2020(令和2)年2月

1日			・感染症法「指定感染症」、検疫法「検疫感染症」指定の政令施行 ・厚労省：差別誹謗中傷やデマに対し、「デマに惑わされず冷静な対応を」呼びかけ
----	--	--	--

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
3日	・横浜港入港「ダイヤモンドプリンセス号」乗客の感染確認	・市民メール、LINE、Facebook、Twitterにて「新型コロナウイルスに関する情報」周知	
4日		・新型コロナウイルスに関する庁内対策会議（第1回）※出席者：梅原副市長、環境市民部長、健康推進部長、健康推進部技監、国際交流室長、危機管理課、健康づくり課	
5日		・「新型コロナウイルスの感染予防に伴う手洗い、咳エチケットポスター」市公共施設等に掲示依頼 ※手洗いで感染症予防（消毒液設置場所用）、正しい手の洗い方（トイレ手洗い場用）、咳エチケットで感染予防（市民出入口用）を配布	
6日		・本庁舎入口「新型コロナウイルス情報について」掲示板設置	
7日		・3月の麗水市中高生派遣の研修事業中止及び防護服100着送付を決定	
10日		・新型コロナウイルスに関する庁内対策会議（第2回）※出席者：梅原副市長、環境市民部長、健康推進部長、健康推進部技監、国際交流室長、危機管理課	・静岡県「帰国者・接触者相談センター」開設
13日	・国内においてコロナ感染による初の死者		
15日		・大人の“なりわい”体験プログラム「みしまko・to・ri」中止	
17日			・静岡県「新型コロナウイルス感染症対策本部」設置
20日			・新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（以下、専門家会議）「クルーズ船の感染制御策について」公表
23日	・国内感染者100人超える		
24日			・専門家会議「感染症対策の基本方針の具体化に向けた専門家の見解」公表
25日		・三島市議会公明党会派の緊急要望①国県と連携の情報発信と正確な周知②相談窓口体制の明確化③中小規模事業所や旅館業の早急な調査④相談支援体制の充実	
27日		・新型コロナウイルス感染症対策本部（任意本部）設置 ・「第1回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・「第2回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	
28日	・県内初感染者確認（静岡市60代男性）	・「第3回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・「新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応方針について」副市長通知（初版） ・新型コロナウイルスに係る職員出勤状況調査 ・国際交流室外国人に向けた「しんがたコロナウイルス(COVID-19)について」周知	
29日		・「箱根八里」フォーラム中止（日本橋）	

2020（令和2）年3月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
1日		・婚活イベント「マッチングパーティー～あなたの出会い～」中止	
2日		・感染症対策にともなう三島市立学校における臨時休業（～3/18まで） ・時差勤務制度の導入	・「専門家会議の見解（クラスター対策）」公表
5日		・市民税・県民税申告期限の延長 ・市内放課後児童クラブの新規受け入れを前倒しで開始。各クラス20人までに抑える	
9日			・専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の見解」公表
10日	・国内感染者 500人超える		
11日		・「第4回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	
15日		・「A・RU・KU～三島せせらぎ散策と楽寿園～」中止	
16日		・市県民税申告期限の1か月間期限延長（～4月16日）	
17日			・専門家会議から厚労省への要望（帰国者および訪日外国人対応が必要ほか）提出
19日		・【市立小学校】修了式・卒業式の規模縮小及び時間短縮	・新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「感染症対策の状況分析・提言」公表
20日		・【市立中学校】修了式・卒業式の規模縮小及び時間短縮 ・ニュープリマス市及び麗水市派遣研修生事業（～27日）中止	
21日	・国内感染者 1,000人超える		
23日		・「戦略的経済対策本部会議」開催。新型コロナウイルスによる経済的損失と今後の展開を議論	
24日			・東京五輪延期を正式発表 2021年夏までに開催する方針を示す
26日			・文部科学省「感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドライン」示す
27日		・「第5回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・課税課「新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からの三輪以上の軽自動車に対する軽自動車税（種別割）の申告期限等の延長」周知 ・市立公園楽寿園「新型コロナウイルス感染症予防についてのお知らせ」周知	
28日		・感染拡大の影響による子ども食堂の閉鎖により「ひ・まわり」「ありままの会」がひとり親世帯に弁当を無料配布 ・農政課「里山時間～野草観察と青空ランチ～」中止	
29日	・新型コロナウイルスによる肺炎で志村けんさん死去		
30日		・新型コロナウイルス感染症の影響による公共料金等の猶予を決定	



2020（令和2）年4月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
1日		・市税収納課「新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方に対する市税における猶予制度」周知	・感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」公表
3日		・自民党三島市支部が新型コロナウイルス感染予防と経済対策の要望書を提出	
4日		・国立遺伝学研究所「一般公開 2020」中止	
5日		・三嶋大社にて「稚児健康祈願祭」開催。感染症対策で稚児行列は中止	
6日		・「第6回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・「第7回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・7日の小中学校の入学式、始業式は規模を縮小し実施した上で19日まで休業	
7日		・特措法第34条第1項に基づく「三島市新型コロナウイルス感染症対策本部」（法定本部）設置 ・【市立小中学校】入学式・始業式の規模縮小及び時間短縮 ・大場商工会青年部が地区周辺の幼稚園保育園7園に空気清浄機各1台と消毒液を寄贈	・新型インフルエンザ等対策特別措置法（以下特措法）第32条第1項に基づく「緊急事態宣言」発出（～5/6）※対象：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県 ・「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定
8日		・「新型コロナウイルス感染症に伴う職員のマスク着用の励行について（お願い）」 ・【市立小中学校】臨時休業延長（～4/19） ・廃棄物対策課「家庭でのマスク等の捨て方」周知 ・商工観光課「新型コロナウイルス感染症に関する中小企業支援について」周知	
9日	・国内感染者5,000人超える	・三島市長ビデオメッセージ「不要不急外出を控えて」ほか ・市民課「住民異動、証明書交付などについて感染予防の協力依頼」周知 ・商工観光課「新型コロナウイルス感染症に関する中小企業の相談窓口」周知 ・みしま聖苑「新型コロナ感染者」の火葬に限って感染症予防措置（告別室、待合室、収骨室の利用不可）	
10日		・地域協働・安全課「新型コロナウイルスの影響に伴う定期駐車券の取り扱い」周知 ・日大三島高及び中学校がiPadでの「バーチャルスクール」開始	・新学期における臨時休業実施の静岡県内公立学校（県内全37市町）～4/19終了予定
11日		・【市立図書館】新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス縮小（～5/10）	
14日		・【稟議による決定】小中学校の休業期間を5/6まで延長決定	
15日		・教育総務課「新型コロナウイルス感染症対策に伴う放課後児童クラブの対応」周知	
16日		・【市民温水プール】新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館（～5/6） ・NPO法人「にじのかけ橋」が手作りマスクの販売開始	・「特定警戒都道府県」指定（13都道府県）※対象：北海道、茨城県、石川県、岐阜県、愛知県、京都府+緊急事態宣言7都道府県 ・全都道府県を緊急事態措置対象（～5/6）

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
17日		・地域包括ケア推進課「新型コロナウイルス感染症の感染予防編」(周知)	
18日	・国内感染者1万人を超える		
19日		・【郷土資料館】新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館(～5/7)	
20日		・「第8回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・三島商工会議所青年部の「三島の食文化推進委員会」がオンラインで受注し宅配「ランチ・デリバリーサービス」開始	・「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策(変更)」閣議決定
21日		・部長会議にて「新型コロナウイルス感染症対策室」設置決定 ・特別定額給付金(仮称)事業の打合せ開催	・総務省「特別定額給付金(仮称)事業に係る説明会」開催
22日		・三嶋大祭り実行委員会が「三嶋大祭り」戦後初の中止を決定 ・人事課「新型コロナウイルス感染予防に向けた職員の時差出勤等の実施」周知。庁舎全体で職員数2～3割削減予定	・感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」公表
23日		・三島市議会要望事項「①総合相談窓口設置と情報提供②経済対策強化③学校休業への対応④市職員感染防止と危機管理体制」を議長から市長へ提出 ・市民生活相談センター「静岡県行政書士会による新型コロナウイルス感染症相談窓口開設」周知	
24日		・三島市長ビデオメッセージ「緊急経済対策」ほか ・特別定額給付金の給付事業に関する職員打合せ ・アミューズメント業「ジョイランド」が三島市にマスク1,000枚寄贈	・「静岡県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」
26日		・夏梅木町内会文化部の風間氏が手作りマスクと作り方の型紙を住民に配布	
27日		・企画戦略部に「新型コロナウイルス感染症対策室」設置(兼務職員14名) ・新型コロナウイルス感染症対策室「第1回打合せ」	・特別定額給付金における給付対象基準日
28日		・【市立小中学校】臨時休業期間再延長(～5/31) ・健幸政策戦略室「感染症対策に伴う健康二次被害の防止について」周知 ・教育総務課「新型コロナウイルス感染症対策に伴う放課後児童クラブの対応」周知	
29日		・「三島市新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」開始による兼務職員4名増員	・静岡県「来訪自粛」看板を箱根エコパークに設置
30日		・新型コロナウイルス感染症対策室「第2回打合せ」 ・市民生活相談センター「新型コロナウイルスに関連した詐欺等の注意情報」周知	

2020（令和2）年5月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
1日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別定額給付金」電子申請受付の開始</li> <li>・三島市長ビデオメッセージ「特別定額給付金について」ほか</li> <li>・「第9回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催</li> <li>・保険年金課「国民年金第1号被保険者の方へ新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民年金保険料免除の特例利用」周知</li> <li>・市税収納課「新型コロナウイルス感染症の影響により市税の納付が困難な方へ～徴収猶予の「特例制度」の案内～」周知</li> <li>・水と緑の課「市内公園等における新型コロナウイルス感染症への対応」周知</li> <li>・老人クラブ連合会錦田地区が三島市に手作り布マスク220枚寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」公表</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱」発出</li> </ul>
4日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」公表</li> <li>・全都道府県緊急事態措置の期限延長（～5/31）</li> </ul>
5日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第10回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催</li> <li>・「春の大通り商店街まつり」が開始から40年間で初めて中止</li> </ul>	
7日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島市長ビデオメッセージ「密閉・密集・密接の「3密」をつくらない感染拡大を予防する対策」ほか</li> <li>・「三島市新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」申請受付開始</li> <li>・「第11回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催</li> <li>・保険年金課「感染症の影響に伴う国民年金保険料免除の特例利用」周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症患者に対する治療薬（レムデシビル）が特例承認を得る</li> <li>・「特措法に基づき緊急事態措置に係る静岡県実施方針」（～5月31日まで）</li> <li>・「静岡県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」申請受付開始</li> </ul>
8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協働・安全課「市内運行路線バスの状況」周知</li> <li>・建設会社代表渡辺晃司氏が富士山南東消防組合に不織布マスク5千枚を2贈</li> </ul>	
11日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所主催による「地域飲食店応援クラウドファンディングプログラム「みらい飯」参加飲食店」募集</li> <li>・商工観光課「三島市新型コロナウイルス感染拡大防止協力金について」周知</li> </ul>	
12日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会が徳倉小にて遠隔授業導入に向けた勉強会を実施。全小中学校情報教育担当の教諭21人出席</li> </ul>	
13日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清水町(株)万福が三島市に不織布マスク1500枚を寄贈。医療関係者、介護関係者へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速診断用抗原検査キット承認</li> </ul>
14日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・特措法第32条第3項に基づき緊急事態措置を実施すべき区域の変更※対象：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県</li> <li>・感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」公表</li> </ul>
15日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別定額給付金」初回振込完了（1,574件4,259人分）</li> <li>・商工会議所主催「事前予約制ドライブスルー方式で「みしま広縁袋」第1弾販売開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県警戒レベル3（県内注意、県外警戒）へ切り替わる</li> <li>・「緊急事態措置の指定区域除外に伴う静岡県実施方針」発出</li> </ul>

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
		・「第12回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	
16日		・「みしまジュニアスポーツアカデミー」が「Zoom」を活用した遠隔トレーニング講座実施。受講生の小中学生14人の自宅をオンラインでつなぐ	
18日		・小中学校分散登校（再開準備）～5/22 ・放課後児童クラブ（特別開館：北、錦田、中郷）～5/22 ・ボランティア団体「ふじのくに三島かがやきネット」が市内医療関係者へ地元産蜂蜜瓶詰100本を寄贈	
19日		・幼稚園半日程度の分散登園～5/29 ・廃棄物対策課「衣類拠点回収の一時休止」周知 ・桜ヶ丘こどもクリニックが自家製アルコール消毒液32ℓを三島市に寄贈	
20日		・子育て世帯への臨時特別給付金支給（対象児童1,030人に対し2万円上乘せ） ・健康づくり課「テイクアウト販売、出前等による食中毒にご注意」周知 ・三島市が衛生資機材を市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会や民間福祉施設へ寄贈。医療用マスク66,600枚、医療用手袋175箱、防護服100枚、医療用ガウン2,700枚、フェイスシールド58箱など	・夏の全国高校野球、戦後初の中止決定
21日			・特措法第32条第3項に基づき実施すべき区域を5都道府県へ変更 ・特措法第32条第6項に基づき基本的対処方針変更
22日		・麗水市からの支援物資（不織布マスク45,000枚、N95マスク2,000枚、防護服1,000着）到着（報告会） ・南二日町広場駐車場にて「みしま応援袋」ドライブスルー方式で引き渡し。約930セットの注文 ・三島信用金庫本店営業部にて医療関係者らに感謝の意を伝える「ライト・イット・ブルー」のライトアップ取組み再開 ・小中学校の夏休みを8月8日～19日の12日間の縮小発表	
23日		・第8回みしま花のまちフェア中止	
24日	・市内で初感染者確認	・三島市長ビデオメッセージ「厚労省公表の「新しい生活様式」の実践」ほか ・「第13回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・新型コロナウイルス感染症対策室「市立幼稚園及び小中学校などの対応」周知	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
25日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小中学校全学年毎日分散登校（再開準備）～5/29</li> <li>・全放課後児童クラブ開館（正午から午後6時）～5/29</li> <li>・「地域飲食店応援キャンペーン」のSNS等で情報拡散</li> <li>・健康づくり課「新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式」周知</li> <li>・商工観光課「新型コロナの影響を受けている市内宿泊事業者に対し給付金を支給」周知</li> <li>・加和太建設協和会が市内幼稚園、保育園等38園に「ノンアルコール除菌水」計250本を寄贈</li> <li>・JA三島函南女性部が三島市社会福祉協議会に手作りマスク210枚寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緊急事態宣言」の解除（5都道県）※対象：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県</li> </ul>
26日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三島市新型コロナウイルス感染症対策本部」任意本部に切り替え</li> <li>・(株)八木繊維から不織布マスク10,000枚、三島市から不織布マスク5,000枚と保護用手袋2,500枚を市在宅ヘルパー連絡会へ寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一社静岡県バス協会「新型コロナウイルスの感染関連の支援要望」</li> </ul>
27日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第14回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催</li> <li>・伊豆総業(株)「感染発生時における三島市市内対象地域情報の提供」要望</li> <li>・「三島市新型コロナウイルス感染症対策」改訂</li> <li>・「市施設における感染防止ガイドライン」示す</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策室「新型コロナウイルスに関する相談・問い合わせ窓口」周知</li> <li>・加和太建設(株)が市在宅ヘルパー連絡会に不織布マスク1万枚寄贈</li> </ul>	
28日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「メガネの三島・こどもメガネ専門店 Jack-o-」が感染予防のメガネ式フェイスシールド100枚を寄贈</li> </ul>	
29日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三島市リスタート事業費補助金」郵送受付開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策専門家会議が「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」を公表</li> </ul>
30日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「腰切不動尊」大祭が規模を縮小（地元住民ら15人）して開催</li> </ul>	

2020（令和2）年6月

1日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園及び小中学校再開（小中学校は給食実施）</li> <li>8・県飲食業生活衛生同業組合三島支部が不織布マスク2,000枚寄贈</li> </ul>	
3日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり課「熱中症に気を付けて」周知</li> </ul>	
4日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京電力労働組合静岡地区本部が不織布マスク10,000枚を市内医療機関に寄贈</li> </ul>	
5日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レマコム(株)が不織布マスク10,000枚を三島市に寄贈</li> </ul>	
8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドミノピザ伊豆島田店が萩の「みしまケアセンターそよ風」にピザを贈る。コロナ禍による外出機会や楽しみが減る高齢者へ</li> </ul>	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
10日		・生活介護事業所「えがお」と「ミルクィウェイ（沼津市）」が「Zoom」にて活動状況など「ウェブ交流会」開催	
12日		・伊豆箱根バス（株）「新型コロナウイルスの感染関連の支援」要請 ・介護保険課「新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組む介護サービス事業者へ支援金を交付」周知 ・佐野美術館が約2カ月ぶりの開館。企画展の会期を8月30日まで延長	
15日		・カンボジアから手作りマスク1,000枚が届く。市内在住の外国人や放課後児童クラブの子どもに配布 ・健康づくり課「遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診」周知 ・田方農業高校と錦田保育園がオンラインによるリモート交流。（同校でのジャガイモ堀りの予定が新型コロナ感染により移動ができないため）	
16日		・西小にて新型コロナウイルス感染症を踏まえた「避難所開設訓練」実施。コロナ対策に特化した初の訓練	
19日		・障がい福祉課「新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組む障害福祉サービス事業者へ支援金を交付」周知 ・高齢者にオンライン「Zoom」で運動指導開始。講師は三島総合病院理学療法士の渡辺氏。高齢者10人が参加	・厚労省において新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）リリース
23日		・静岡コンサルタント(株)が三島市福祉分野への事業費として30万円寄付	
24日		・「第15回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・「三島市新型コロナウイルス感染症対策」改訂 ・課税課「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における固定資産税・都市計画税の軽減措置」周知 ・水と緑の課「公園等における新型コロナウイルス感染症への対応について」周知	
25日		・三島商工会議所青年部が支援を呼び掛けるクラウドファンディング「みらい飯」の支援金が3,000万円を超える。全国トップ（5月25日から6月12日）	
30日		・中国麗水市呉市長と三島市長がオンラインで初の「リモート会談」実施。防護服等の援助を受けた呉市長「恩義は忘れない」 ・三嶋大社「夏越の大祓」コロナ禍のため一般参列行わず、神職のみで実施	

2020（令和2）年7月

1日		・「三島市中小企業者等応援補助金」郵送受付開始（～9/30） ・介護保険課「新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免について」周知 ・福祉総務課「新型コロナウイルス感染症に関連する法務大臣メッセージ」周知	
----	--	--	--

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
4日		・生涯学習センターにて「シニアリーダーズクラブすくえあ」「ジュニアリーダーズクラブわかば」が「七夕飾り・頑張れみしまっ子～コロナに負けるな！天の川に願いを込めて」イベント実施（～5日）。約3mの七夕飾り2本用意	
6日		・市観光協会ホームページに特集「三島、どうよ？みしまるくんが聞いてみた」公開。コロナ感染拡大により、観光施設の予防対策やお得なキャンペーンを紹介 ・市観光協会が「三嶋大祭り」に関する写真とメッセージの募集を開始。8月1日から31日に公式Instagramで公開	
7日		・JA三島函南が小学生向け食農教育本「ちゃぐりん」を教育委員会に寄贈。1クラス1冊ずつ。例年は各校に出向いて食育講座実施だがコロナの影響で縮小。 ・「日清プラザ」が、市内幼稚園・保育園に大型絵本を寄贈。恒例の「七夕まつり」がコロナ感染症による中止に対する代替事業 ・「第68回三島市美術展」中止	
8日	・国内感染者2万人超える	・JA三島函南が市内小中学校に三島馬鈴薯816kg寄贈。向山小にて寄贈式。例年はJA職員との給食交流行が今年はなし	
10日		・健幸政策戦略室「シニアに届ける元気便！コロナに勝とうポイント事業」（～11/30） ・大場駅にて三島南高ボランティア部が感染拡大に伴う差別偏見の撲滅を呼び掛けるウチワを配る ・清水町非営利型(NPO)「キッズラボ」が児童養護施設「静岡恵明学園」児童部にマスク800枚寄付	
13日		・(株)東平商会「接触冷感マスク」200枚を三島市に寄贈。公立保育園の保育士の熱中症対策に活用 ・三島警察署が夏の交通安全県民運動に合わせて「出張！交通パトロール」を実施。感染予防のため直接呼び掛けでなく事前録音メッセージを流す	
15日		・市内21の全小中学校に感染防止用フェースガード配布。児童生徒、教職員に計1万個	
17日	・県内感染者100人超える		
21日		・地域包括ケア推進課にて「新型コロナウイルス感染症と熱中症の健康講座～医師からのメッセージ」講座開催。講師は、田内内科医院の田内院長 ・商工観光課「小規模事業者持続化補助金（コロナ特別枠）に係る売上減少の証明書の発行について」周知	
22日		・地域包括ケア推進課にて高齢者の「通いの場」で活用するオンライン会議システム「Zoom」体験会を開催。つながりを願う ・バイオリニスト鉛筆画家「高尾徳更」さんが収益金10万円を三島市に寄付	・政府観光支援事業「Go To トラベル」スタート（東京都発着分除く） ・静岡県警戒レベル3〔県内注意（一部警戒）、県外警戒〕へ切り替わる

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
24日		・市立公園楽寿園「楽寿園の新型コロナウイルス感染防止の取り組みについて」周知	
25日		・生涯学習センターにて「少年少女発明クラブ」開講式3か月遅れで開催。例年より人数を減らし、児童の間隔を離すコロナ対策	
26日	・国内感染者3万人超える		
28日		・新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応方針について（第8版）（副市長通知） ・子育て支援課「新型コロナウイルス感染症への対応に係るDV被害者に対する相談窓口の設置」周知	・静岡県警戒レベル4〔県内警戒、県外警戒〕へ切り替わる
29日	・感染ゼロ県岩手県で初の感染者確認		

### 2020（令和2）年8月

1日	・市内2例目感染者確認	・三島市長ビデオメッセージ「冷静な対応と行動を心掛けて」ほか ・「三島市新型コロナウイルス感染症対策」改訂	
3日		・三島市長が語る「2020三島」新型コロナウイルス感染症に対する三島市の支援策（ボイスキュー） ・三島市地域外来検査センター開始（毎週火・木～2021/9/30） ・健幸政策戦略室「シニアに届ける元気便 コロナに勝とう！ポイント事業」周知	
4日	・国内感染者4万人超える	・(株)BuildEast が日大三島中の全生徒にネッククーラー200個を贈呈	
5日		・令和2年度「みしまイングリッシュ・キャンプ」中止 ・徳倉小の新入学児童対象の「防犯教室」新型コロナウイルスの影響で4か月遅れ開催	
6日		・三島商工会議所提出の「新型コロナウイルスの感染予防と経済再生の両立などに向けた施策」の要望書に「増額検討」を回答 ・市内中学生の「広島市平和祈念式への派遣」取りやめ	
7日		・静岡県知事と市長との意見交換会（WEB会議）「軽症者の宿泊施設確保を早急に」	
9日		・発達障害児支援グループ「ありまの会」と自立援助ホーム運営「ひ・まわり」がコロナ禍で家計が苦しい家庭支援の「お宝交換会」開催	
11日		・「みしま観光安全安心づくり運動推進事業」実行委員会が安全対策を「自主宣言」する162店舗施設にステッカー配布 ・県総合健康センターにて文化庁「アートキャラバン事業」「ライブ・ライブみしま こころの音楽会」開催。コロナ禍で制限を受ける文化芸術活動の機運を盛り上げる	
12日	・国内感染者5万人超える		



	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
13日		・地域包括ケア推進課「熱中症予防×コロナ感染防止、適宜マスクをはずしましょう」周知	
15日		・「三嶋大祭り」開催中止（戦後初）	
16日		・浅間芝岡神社にて芝本町子ども会による三嶋大祭り中止に代わる「しゃぎり」披露会開催。フェイスシールドを着け演奏。	
18日		・「特別定額給付金」受付終了（受付件数49,313件）	
19日		・健康づくり課「三島市新型コロナウイルス地域外来・検査センター設置」周知	
20日		・三島スカイウォークが「ナイトスカイウォーク」開催（～21日）感染拡大防止のため入場者を1日1,500人、観覧エリアは全席エリア指定	
21日		・「ニューデルタ工業」が足踏み式の消毒液スプレースタンド5台を三島市に寄贈	・静岡県市長会「新型コロナウイルス感染症対策」テーマの緊急意見交換会ウェブ形式で開催。20人の市長と川勝県知事
23日		・楽寿園にて「子ども縁日祭り」開催。手袋着用や消毒徹底の感染対策	
25日		・三島市PCR検査センター（ドライブスルー方式）開始 ・地域包括ケア推進課にて「Zoom」を活用した「介護予防講座」開催	
26日			・静岡県新型コロナウイルスに係る「STOP! 誹謗中傷」アクション推進チーム立ち上げ
29日		・山田中「命を考える日」防災講座を開催。生徒約270人対象。新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所入居訓練行う ・農政課「里山時間「藍染め講座」」中止	
31日		・明治安田生命と三島市の健康づくりに関する協定締結式、寄附金受領式 ・学校教育課「新型コロナウイルス感染症による偏見や差別をなくそう」周知 ・「特別定額給付金」専用電話終了	

2020（令和2）年9月

1日		・新型コロナウイルス感染症対策室「三島市新型コロナウイルス感染症対策の改訂」周知 ・20%プレミアム付き商品券「あきんどくん元気クーポン券」の予約受付開始	
2日	・市内3例目感染者確認	・学校教育課「市内居住者の新型コロナ感染症患者発生に対する市立小学校及び市立中学校などの対応」周知	
3日		・地域包括ケア推進課「居場所・サロンの活動開始・継続を応援」周知	
4日		・山田小5年生の道徳授業において「新型コロナウイルス感染者や医療従事者にどう接するべきか」考える	
9日	・県内感染者500人超える		

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
15日		・「小さな親切」運動県本部が三島南高及び同校ボランティア部に実行章を贈呈。マスク300枚を地元老人ホーム等へ寄付。新型コロナウイルス感染症に伴う差別、偏見の撲滅を訴えるウチワ1,000枚を作成し、配布	・厚労省「令和2年度新型コロナワクチン接種体制確保事業費国庫補助金交付要綱」適用
18日		・老人クラブ連合会「シニアクラブ三島」が無料アプリ「LINE」を学ぶ研修を受講。外出自粛ムードの中、仲間とつながる手段として活用	・静岡県（国警戒レベルⅡ相当）切り替わる
19日		・「三島市新型コロナウイルス感染症対策」改訂	
20日		・楽寿園にて三島市子ども会連合会が「昔遊びにチャレンジしよう」イベントを4カ月延期で開催	
24日		・「特別定額給付金」振込最終終了（給付総件数49,313件109,056人）	
25日			・静岡県（国警戒レベルⅠ相当）切り替わる
29日		・課税課「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における固定資産税・都市計画税の軽減措置」周知 ・市民生活相談センター「静岡県弁護士会による新型コロナウイルス感染症に関する電話無料相談の実施」周知 ・三島商工会議所にて飲食旅館業部会が「ウイズ・コロナ時代のV字回復ノウハウ」研修会開催	
30日		・「三島市中小企業者等応援補助金」申請受付終了（131件給付決定）	

2020（令和2）年10月

1日		・NPO 法人グラウンドワーク三島がネパールへマスク11,273枚、石けんや消毒液等の衛生用品を送る ・市民文化会館新装オープン ・20%プレミアム付き商品券「あきんどくん元気クーポン券」の販売利用開始	・政府観光支援事業「Go To トラベル」東京都追加、同時「地域共通クーポン」発行
4日		・南二日町しゃぎり保存会は中止となった「三嶋大祭り」に代わり、地域の子どもが町内を巡ってしゃぎりを披露するイベントを開催	
5日		・「木村鋳造所」と三島市が災害時における物資の供給に関する協定を締結。有事の際に避難所用の発泡スチロールのパーティションを提供 ・三嶋大社にて「千歳飴」袋詰め作業。新型コロナウイルスの影響で、例年1万袋用意を7千袋に減らす	
8日		・市議会から要望書（医療・検査体制に対する情報提供、施設内での感染者発生時の対応等を定めたガイドラインの策定ほか） ・三島商工会議所にて新しい生活様式「店舗演出・空間の作り方」セミナー開催。新型コロナウイルスの感染予防に配慮した新たな誘客方法を学ぶ	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
13日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターにて「環境美化推進大会」感染症対策から規模を縮小して開催。1 団体 12 個人を表彰</li> <li>・「王子コンテナ富士工場」と三島市が大規模災害時における物資の提供に関する協定を締結。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための災害緊急時用段ボールベッド、シートを供給</li> </ul>	
15日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日大生が新型コロナウイルス感染予防のためのオンライン授業など、一部授業料の減額や返還を求める 790 人分の署名を日本大学へ提出</li> </ul>	
18日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化団体「松並木と一里塚を守る会」錦田中学生が半年ぶりに集まる</li> </ul>	
19日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東部地域サミット」静岡県東部 6 市 4 町の首長と川勝県知事によるウェブ会議開催。東京一極集中脱却の好機と捉える。「東部地域のサイクリング聖地化」提案</li> <li>・保険年金課「コロナ禍でも必要な受診を！」周知</li> </ul>	
22日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳倉小にて「とくら寺子屋」始まる。地元住民、大学生が勉強のサポート。4 カ月遅れの開始</li> </ul>	
23日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施について」</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言</li> </ul>
24日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人「地域活性スクランブルフォーラム」が密を回避する“朝旅”イベント開催</li> </ul>	
31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内感染者 10 万人超える</li> </ul>		

2020（令和 2）年 11 月

3日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽寿園にて三島産のバラ約 200 本来園者にプレゼント。（地方創生臨時交付金活用）</li> <li>・大場商工会青年部が子どもらが披露する「しゃぎり」イベントを三島南高グラウンドで開催。</li> </ul>	
5日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県「地方公共団体における職員の年末年始の休暇取得の促進について（依頼）」</li> </ul>
7日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化会館にて「三島フィルハーモニー管弦楽団第 47 回定期演奏会」5 カ月延期で開催</li> </ul>	
8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島スカイウォークにて「第 4 回しゃぎりフェスティバル」開催。7 団体出演</li> </ul>	
10日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 三島函南の花卉園芸組合と三島市が伊豆箱根鉄道三島駅構内に寄せ植えプランター 10 基飾る。（地方創生臨時交付金活用）市内 14 学校にも各 10 基贈る</li> </ul>	
11日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理課「「年末年始」新型コロナにご注意を！全国知事会からのメッセージ」周知</li> </ul>	
13日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県（国警戒レベルⅡ相当）切り替わる</li> </ul>

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
15日		・健康づくり課「『コロナに負けない免疫力UP！おうちでおせち』in 鈴木学園」周知 ・三島南高ボランティア部がJRC国際交流事業に参加。21の国や地域がテレビ会議。「コロナ差別をなくすこと」をアピール	
19日	・県内感染者1千人超える	・課税課「新型コロナウイルス感染症に伴うイベントの中止等によるチケット払戻請求権を放棄した場合の寄附金税額控除」周知	・政府が「GoTo イート」利用を原則4人以下の要請
20日			・静岡県感染まん延期・前期から警戒レベル4〔県内警戒、県外警戒〕切り替わる ・静岡県「Go To Eat キャンペーン」感染防止対策について（方針）
23日		・三嶋大社にて「新嘗祭奉祝野菜宝船」奉納。コロナ禍により「宝汁の振る舞い」「宝分け」「宝船の展示」実施せず ・伊豆箱根鉄道「ふれあいフェスタ」新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に中止	
24日		・「新型コロナウイルス感染症対策関係課協議」開催 ・健康づくり課「医療従事者、社会福祉施設関係者等への温かい支援の御礼」周知	・政府観光支援事業「Go To トラベル」一時停止：一部（札幌市・大阪市）
26日		・健康づくり課「新型コロナウイルス感染拡大により不安を感じていらっしゃる方へ」周知	
27日	・公立保育園関係者コロナ感染判明	・三島市長ビデオメッセージ「公立保育園関係者感染判明、保育園休園措置」ほか	・静岡県警戒レベル4〔県内警戒、県外警戒〕（静岡市・浜松市はレベル5相当）
28日		・三島市長ビデオメッセージ「保育園における濃厚接触者全員が陰性結果」ほか	

2020（令和2）年12月

1日		・三島市PCR検査（社会的検査）業務の検討 ・「この冬の発熱者診療について、市民の皆様へのお知らせ（三島市医師会）」HP掲載 ・「第16回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	・静岡県「Go To Eat キャンペーン」事業の食事券販売一時停止
2日	・国内感染者15万人超える	・健康づくり課「妊婦・若者の皆様へ（新型コロナウイルスに関する情報）」周知 ・健康づくり課「集団感染の予防に関する情報」周知 ・三島市とJA三島函南は茶農家支援でお茶粉末スティックを市内幼稚園保育園に配布	
3日		・三島西小「西小祭り」開催。新型コロナウイルス対策で保護者の招待を見送り	
4日			・静岡県警戒レベル4〔県内警戒、県外警戒〕（静岡市・伊東市はレベル5相当） ・静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部：第15回本部員会議の開催
5日			・「第21回静岡県市町対抗駅伝競走大会」が新型コロナ感染対策を講じて開催
7日		・福祉総務課「新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困っている方に対する相談窓口」周知	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
8日	・県内感染者 2千人超える	・「新型コロナウイルスに関する庁舎消毒等 対応マニュアル」管財課作成	
9日		・JA三島函南「農産物品評会」表彰式開催。 「農業祭」中止のため ・Vリーグ男子「東レアローズ」1人コロナ 感染のため11日開幕の全日本選手権を辞退	・予防接種法の一部改正「臨時接種に関する 特例」
14日			・政府観光支援事業「Go To トラベル」全国 一時停止措置公表（12/28～1/11 まで）
15日		・PCR 社会的検査を開始 （～2021/3/31）	
16日	・市内感染者 50人超える ・「東レ・アロー ズ」クラスター発 生6人		
17日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る 予防接種の実施に関する手引きについて」（初 版）
18日		・女性活躍のスキルアップ講座「むすびサロ ン」開講。新型コロナウイルスの影響で全5 回をオンラインで実施 ・市内在住の外国人と支援団体、市の情報交 換会開催。コロナ禍での情報収集や経済的困 窮への対応求める	・静岡県警戒レベル4 [県内警戒、県外警戒] ・静岡県「Go To Eat」キャンペーン事業利用 自粛の呼びかけ ・厚労省「第1回新型コロナワクチン接種体 制確保事業に関する自治体向け説明会」 ・ファイザー社「コロナワクチン」承認申請
22日	・国内感染者 20万人超える		
25日	・入国者空港検疫 にて男女5人 （変異株）日本初 アルファ株検出		・静岡県警戒レベル4 [県内警戒、県外警戒] （富士市はレベル5相当）
28日		・三島市長ビデオメッセージ「年末年始の感 染症対策」ほか ・「仕事納め式」なし、システム掲示板に掲載	・政府観光支援事業「Go To トラベル」一時 停止：全国（～2021/1/11）

#### 2021（令和3）年1月

4日		・三嶋大社3が日初詣参拝者数29.8万人。 「分散参拝」で4日混雑 ・PCR検査65歳以上受付開始	
7日	・県内感染者 3千人超える	・「三島市新型コロナウイルス感染症対策本 部」（法定本部）立上げ ・危機管理課「静岡県発表新型コロナウイルス 感染症警戒レベル」周知	・政府観光支援事業「Go To トラベル」全国 一時停止継続措置公表（～2/7）※その後も緊 急事態宣言が3/21まで延長により一時停止 続く）
8日	・市内民間認定の こども園関係者感 染（～11日休園）	・「第17回新型コロナウイルス感染症対策本 部会議」開催 ・新型コロナワクチン接種費用等2月補正予 算専決処分（補正予算494,662千円計上） ・三島市長ビデオメッセージ「首都圏に発出 された緊急事態宣言を受けて」ほか	・緊急事態宣言（～2/7）※対象：東京都、埼 玉県、千葉県、神奈川県
10日		・令和3年三島市成人式代替事業 ・成人式記念駅伝大会開催（長伏狩野川河川 敷にて） ・消防出初式（正副分団長のみで表彰伝達式 のみ、パレード中止）	
11日	・市内感染者 100人超える	・PCR検査の受付1週間で20人	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
12日			・静岡県警戒レベル5（特別警戒）〔国ステージⅢ（対策を強化すべきレベル）相当〕
13日	・国内感染者30万人を超える	・三島市新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応方針について（第9版）副市長通知 ・保険年金課「感染症の影響に伴う国民年金保険料免除の特例利用」継続周知	
14日		・三島市総合教育会議開催「GIGA スクール構想」子どもの視力、手書きのバランスを	・緊急事態措置区域追加（計11都府県）※対象：栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県
15日		・NPO法人「にじのかけ橋」トイレトパー売上金104,800円を三島市に寄付 ・集団接種体制について三島市医師会と相談・打合せ ・「第18回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	・厚労省「新型コロナワクチン接種体制確保事業に関する都道府県向け説明会」 ・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第1.1版）」
19日	・市内学生寮クラスタ発生8人	・集団接種実施の三島市医師会承認を得る ・危機管理課「新型コロナウイルス感染防止のための「6つの対策」をお願い」周知	・静岡県「感染拡大緊急警報」発令
20日	・市内学生寮2人判明、計10人	・三島市長ビデオメッセージ「県発令の感染拡大緊急警報の発令を受けて」ほか ・危機管理課「新型コロナウイルス感染防止のための「8つの重点対策」」周知	
21日	・市内学生寮4人判明、計14人		
22日	・市内学生寮1人判明、計15人	・予防接種担当医師との打合せ実施 ・新型コロナウイルスのワクチン接種に関する補正予算を専決処分	・静岡県警戒レベル5（特別警戒）
25日			・厚労省「第2回新型コロナワクチン接種体制確保事業に関する自治体向け説明会」
27日			・静岡県「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る市町説明会」（Zoom開催）
29日		・2年ぶり開催の「第93回選抜高校野球大会」の21世紀枠に三島南高が選出 ・三島商工会議所女性会が食料122点を三島市社会福祉協議会を通じて特定NPO「フードバンクふじのくに」へ寄贈	
31日		・楽寿園にて非接触型のスタンプラリー開催	

2021（令和3）年2月

1日		・地元企業3社と市による「みしま移住定住研究会」発足 ・「新型コロナウイルス等職員陽性者発生時初動マニュアル」危機管理課作成 ・新型コロナ感染症の急拡大による緊急要望（日本共産党三島市委員会） ・健康づくり課内に予防接種チーム設置	
2日		・三嶋大社「豆まき」を「豆配り」に変更	
3日		・(株)ITSが「サーマルAIカメラ」「専用スタンド」8組を三島市に寄贈	・「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律」成立※まん延防止等重点措置区域の創設ほか
5日	・国内感染者40万人を超える	・新型コロナ感染症対策についての要望（自由民主党三島市支部長）事業者支援、生活困窮者支援、ワクチン接種の万全な態勢等	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島市地域交通網形成協議会がアフターコロナを見据え鉄道、バス、タクシーなどの利用促進を目指す三島市公共交通マップを配布</li> <li>・新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金を活用した特定事業者支援事業実施※対象：三島市体育施設等指定管理者支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態措置区域追加及び期間延長（～3/7）※対象：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県</li> <li>・静岡県警戒レベル4 [県内警戒、県外警戒]</li> </ul>
9日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合静岡沼駿三田地域協議会と三島地区労働者福祉協議会からの要望に回答。コロナ禍での落ち込む経済対策に消費喚起施策、感染予防実施店舗や施設への支援等</li> <li>・東芝テックが市内幼稚園や保育園、放課後児童クラブ等に絵本317冊（50万円相当）寄贈</li> <li>・健康づくり課「マスクに関する情報」周知</li> <li>・新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金を活用した特定事業者支援事業実施※対象：三島市民文化会館自主文化事業開催支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第1.2版）」</li> </ul>
11日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島市陸上競技協会「三島クロスカントリーレー」中止</li> </ul>	
12日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県警戒レベル4 [県内警戒、県外警戒] 国ステージⅢ相当</li> </ul>
16日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年分の確定申告、三島商工会議所にてコロナ禍の感染防止対策を徹底し、入場整理券を配布し対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第2版）」</li> </ul>
17日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内飲食店等が新型コロナウイルスの影響を受ける事業者に対する経済支援を求める352店の署名提出</li> <li>・地域協働・安全課「感染症対策公共交通事業者緊急支援事業について」周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省「第3回新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る自治体向け説明会」</li> </ul>
18日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島信用金庫が新型コロナウイルス感染症対策のため100万円を三島市に寄付</li> <li>・県タクシー協会沼津三島支部が接種会場までの移動にタクシー利用を促す要望書を提出</li> <li>・JA三島函南が市内医療従事者に感謝と労いの気持ちを込め「箱根西麓牛弁当」等を市医師会に寄贈</li> </ul>	
19日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)東陽社が不織布マスク1,000枚寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県警戒レベル4 [県内警戒、県外警戒] 国ステージⅡ相当</li> <li>・厚労省「医療従事者向け接種を実施するための新型コロナワクチンの出荷（第1弾）について」</li> </ul>
21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内感染者5千人超える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第39回三島市民演劇祭の中止</li> </ul>	
22日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三島市新型コロナウイルス感染拡大防止支援金の給付」受付開始</li> <li>・地域協働・安全課「新型コロナウイルス影響下における総会の開催について」周知</li> </ul>	
26日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「明治安田生命保険相互会社」三島市への寄付金受納式</li> </ul>	

2021（令和3）年3月

4日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種シミュレーション実施「三島モデル」（三島市立錦田小体育館）</li> </ul>	
----	--	--	--

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
5日			・緊急事態措置期間延長の発出（～3/21）※対象：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
12日			・厚労省「第4回新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る自治体向け説明会」 ・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第2.1版）」
19日		・商工観光課「三島市新型コロナウイルス感染症拡大防止支援金（申請期間の延長）」周知	
21日			・緊急事態措置終了
22日		・「三島市新型コロナウイルス感染症対策本部」（任意本部）	
26日		・三島市選挙管理委員会が「日清プラザ・イトーヨーカドー三島店」と新たな期日前投票所設置の協定結ぶ	・観光庁「地域観光事業支援の実施」（4/1～5月末宿泊分の地方自治体割引施策支援）
27日		・「おたまちゃん食堂」が弁当約100個を市内大学生に配る。コロナ禍での大学生の「食べる」を応援	
28日	・インドからの入国者から空港検疫にて変異株（デルタ株）検出		
29日		・「三島市新型コロナウイルス感染症拡大防止支援金」申請期間終了	
31日			・厚労省「予防接種法施行令等の一部を改正する政令の施行について（予防接種関係）」

2021（令和3）年4月

2日		・危機管理課「静岡県発表新型コロナウイルス感染症警戒レベル」周知	・静岡県「警戒レベル4（県内警戒、県外警戒）」
5日			・まん延防止等重点措置を実施（～5/5）※対象：宮城県、大阪府、兵庫県
10日	・国内感染者50万人超える		・まん延防止等重点措置区域を追加（～5/11）※対象：東京都 ・まん延防止等重点措置区域を追加（～5/5）※対象：京都府、沖縄県
12日			・厚労省「第5回新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る自治体向け説明会」
15日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第2.2版）」
18日		・三島大通り商店街が「バーチャル三島大通り商店街」オープン。経済産業省の「Go To 商店街」を活用。加盟店約100店	
19日		・三島市長ビデオメッセージ「ワクチン接種は、医療従事者、5月からは高齢者、基礎疾患のある方など」ほか ・コールセンター（予防接種問合せ）開設	
20日			・まん延防止等重点措置区域を追加（～5/11）※対象：埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県
22日		・高齢者施設での新型コロナウイルス感染症に係る予防接種説明会開催	



	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
23日		・「三島市新型コロナウイルス感染症対策本部」(法定本部)	・観光庁「地域観光事業支援」期間延長(12月末まで)公表
24日		・市内医療従事関係者(約240人)へのワクチン接種「三島モデル」開始(長伏小)	
25日			・緊急事態宣言(～5/11)※対象:東京都、京都府、大阪府、兵庫県 ・まん延防止等重点措置区域を追加(～5/11) ※対象:愛媛県 ・まん延防止等重点措置の期間変更(～5/11) ※対象:宮城県、沖縄県
26日		・歯科医師によるワクチン接種のための筋肉内注射の実習開催 ・接種券(クーポン券)の発送(65歳以上対象)	
27日		・三島市国際交流協会が「ニュースがわかる世界知図」(昭文社)21冊を三島市教育委員会に寄贈。新型コロナのパンデミックを特集	・内閣総理大臣及び防衛大臣からの自衛隊による大規模接種センター設置運営の指示(5/24開設目標)
28日		・「第19回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・三島市教育委員会が定例校長会議にタブレット端末を導入	
30日		・三島市長ビデオメッセージ「ワクチン接種の予約開始にあたり『お助け隊』を設置」ほか ・地域包括ケア推進課「地域の『お助け隊』にご相談ください～高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種に向けて～」周知	・静岡県と国立遺伝学研究所にてコロナ変異株のゲノム解析に関する覚書を締結

2021(令和3)年5月

2日		・楽寿園にて「第8回やまだ港開運市」2年ぶりの開催(～5日)	
3日		・健康づくり課「感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～」周知	
5日		・三島大通り商店街AR導入チラシ「ストーリーニュース」2年ぶりの発行。3万部	
6日		・「お助け隊」サポート予約事前講習(本館第3会議室) ・地域包括ケア推進課「コロナワクチン接種開始に向けた『お助け隊』によるインターネット予約支援」周知 ・山田中と麗水市景寧中の教員によるオンライン懇談 ・高齢者施設でのワクチン接種開始	
7日		・ワクチン接種予約受付開始(65歳以上対象) ・「お助け隊」予約支援(本館第2・3会議室) ・商工観光課「中小企業経済変動特別対策資金利子補給補助金(新型コロナウイルス感染症対応枠)」周知	
8日		・「お助け隊」予約支援(中央町別館) ・ワクチン接種予約の上限到達	
9日		・「第41回三島の川をきれいにする奉仕活動」2年ぶりの開催。20自治会、14協力団体から約1,800人参加	・まん延防止等重点措置区域追加(～5/31) ※対象:北海道、岐阜県、三重県 ・まん延防止等重点措置期間延長(～5/31) ※対象:埼玉県、千葉県、神奈川県、愛媛県、沖縄県

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
10日		・ひとり親の子育て世帯を対象に子ども一人当たり5万円の支給（関連費用は専決処分にて計上）	
11日			・まん延防止重点措置区域から除外※対象：宮城県
12日		・「第2段階接種予約準備のため接種予約システム停止(5/13～5/24)」周知	・緊急事態措置期間延長（～5/31）※対象：東京都、京都府、大阪府、兵庫県 ・緊急事態措置区域追加（～5/31）※対象：愛知県、福岡県
14日			・静岡県感染まん延期の中期、警戒レベル5 [特別警戒] 国ステージⅢ相当
15日		・三島地区環境保全推進協議会が小浜池周辺清掃200人。昨年コロナの影響で中止、今回の参加者は例年の半数	
16日			・まん延防止重点措置区域から除外※対象：北海道 ・緊急事態措置区域追加（～5/31）※対象：北海道、岡山県、広島県 ・まん延防止重点措置区域追加（～6/13）※対象：群馬県、石川県、熊本県
18日			・ワクチン接種体制構築にあたって医師会への協力要請（総務大臣・厚労大臣）
22日		・市内外国人に行政情報を伝えるボランティア「みしまめっせんじゃー」に市民6人任命。防災、行政手続き、ワクチン接種等の情報伝達	・静岡県県境を跨ぐ不要不急の移動制限
23日		・『2021年度特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会』開催中止	・まん延防止重点措置区域から一部除外※対象：愛媛県、沖縄県 ・緊急事態措置区域を追加（～6/20）※対象：沖縄県
24日		・ワクチン訪問接種開始（3医療機関）	・自衛隊による大規模接種センター開設（東京都、大阪府）
25日		・セキトランスシステム社から三島市へ新型コロナウイルス対策用品の寄贈	・厚労省「第6回新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る自治体向け説明会」
28日			・緊急事態措置期間延長（～6/20）※対象：北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、福岡県 ・まん延防止等重点措置の期間延長（～6/20）※対象：埼玉県、千葉県、神奈川県、岐阜県、三重県
29日		・三島南高「函嶺祭・文化の部」2年ぶり開催。3年生の一部保護者に限り1時間15分の時間制限で一般公開	
31日		・(株)サンリッチ三島が、みしま聖苑へ非接触自動水栓機器を寄附	・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第3版）」

2021（令和3）年6月

2日		・集団接種（ファイザー）（向山、佐野、南、北上小）開始	
3日		・集団接種（ファイザー）（錦田、坂、東、西、沢地、長伏小）開始	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
4日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第3.1版）」
5日		・集団接種（ファイザー）（中郷小）開始	
6日		・集団接種（ファイザー）（山田、北小&ドライブスルー方式接種実施）開始	
7日		・生涯学習センターにて「歯と口の健康まつり」図画ポスターコンクール表彰式のみ実施	
8日		・個別接種開始（ファイザー：三島共立病院） ・市議会6月定例会からインターネット配信本会議ライブ中継映像に字幕を入れ、コロナ禍に対応	
9日		・集団接種（ファイザー）（徳倉小）開始	
10日	・6/4～6/10 人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「0.9」、静岡県「6.8」	・集団接種（ファイザー）（長伏小&ドライブスルー方式接種実施）	
12日		・ドライブスルー方式接種実施（東小）	
13日			・まん延防止等重点措置終了※対象：群馬県、石川県、熊本県
14日		・個別接種開始（ファイザー：三島中央病院） ・「三嶋大祭り」2年連続中止を発表	・厚労省及び環境省「ワクチン接種会場における熱中症対策の推進について」
15日		・地域包括ケア推進課「新型コロナワクチン接種に係る要配慮高齢者把握のための調査結果とドライブスルー・バリアフリー接種、訪問接種」周知	・自衛隊大規模接種センターの予約対象の拡大（18歳以上）
16日		・地域包括ケア推進課にて「要介護高齢者等の新型コロナワクチン～訪問接種、ドライブスルー・バリアフリー会場接種について～」周知	
17日	・6/11～6/17 人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「3.7」、静岡県「5.4」		
18日		・静岡県知事選挙の期日前投票所を「イトーヨーカドー三島店」に開設。有権者を分散して感染症対策につなげる	
19日		・三島市長ビデオメッセージ「64歳以下の方について接種券の送付、予約方法、接種会場・時期」ほか	
20日			・緊急事態措置区域から除外※対象：北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、福岡県 ・緊急事態措置期間延長（～7/11）※対象：沖縄県 ・まん延防止等重点措置終了※対象：岐阜県、三重県
21日		・三島市長ビデオメッセージ「ワクチン接種『現状と今後の予約』について」ほか ・個別接種開始（ファイザー：三島東海病院、芹沢病院）	・まん延防止等重点措置区域追加（～7/11）※対象：北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県 ・まん延防止等重点措置期間延長（～7/11）※対象：埼玉県、千葉県、神奈川県

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
22日		・接種券（60歳から64歳）発送開始 ・障がい福祉課「【障がいに係る手帳等をお持ちの方へ】新型コロナワクチンの接種券の発送」周知	
23日	・市内感染者200人を超える	・医療機関向け個別接種の説明会開催 ・三島ロータリークラブ、日大三島高、知徳高インターアクトクラブが新型コロナウイルス感染者に対する差別防止を呼び掛ける「シトラスリボン」約800個を三島市に寄贈 ・加和太建設協和会が「みんなのえがお おたまちゃん食堂」に15万円贈呈。子どもの孤食防止支援	
24日	・6/18～6/24人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「0.9」、静岡県「4.8」	・「PayPay20%還元キャンペーン」1か月前倒し6月30日で終了を発表	
25日	・国立遺伝学研究所においてゲノム解析にてデルタ株の感染判明	・健康づくり課「接種 基礎疾患を有する方の事前申請による接種券優先発送」周知 ・接種券（50歳から59歳）発送開始	・静岡県感染まん延期の前期、警戒レベル4（県内警戒・県外警戒）国ステージII相当 ・厚労省「ワクチン接種証明発行手続に関する第1回自治体向け説明会」
28日		・ワクチン接種予約受付開始（対象50歳～）	
30日		・保険年金課「感染症の影響による後期高齢者医療保険料の減免」周知 ・三嶋大社にて一般参列者約250人「夏越の大祓」2年ぶりの一般参列	

2021（令和3）年7月

1日		・個別接種開始（ファイザー：三島総合病院） ・保険年金課「国民年金第1号被保険者の方へ国民年金保険料免除の特例利用」の期間延長周知 ・介護保険課「新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免について」周知 ・課税課「新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免」周知	
2日		・ワクチン供給量不透明による予約の一時停止について（周知）	・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第3.2版）」
7日		・障害者施設でのワクチン接種開始	
9日		・三嶋大社にて「富士登山道開山式」コロナ禍のため安全祈願の祈祷のみ ・東京オリパラに合わせ三島駅南口にミストシャワー設置と英語表記のPRウチワを配布	・厚労省「ワクチン接種証明発行手続に関する第2回自治体向け説明会」
10日		・バリアフリー接種開始（保健センター）	
11日			・まん延防止等重点措置区域の除外※対象：北海道、東京都、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県
12日			・緊急事態措置区域追加（～8/22）※対象：東京都 ・緊急事態措置期間延長（～8/22）※対象：沖縄県 ・まん延防止等重点措置期間延長（～8/22）※対象：埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
14日		・ワクチン接種予約の再開について（周知） ・バレーボール男子米国代表が三島市到着（～19日）毎日PCR検査実施	
15日		・ワクチン接種予約の再開 ・坂小児童が福島県猪苗代町立翁島小とオンラインによる交流会を開催。コロナ収束後の再会を約束	
16日		・東京五輪バレーボール男子米国代表が三島での事前合宿での練習を報道陣に公開。館内大型スクリーンに市内小学生、市民の応援メッセージを映し出す	
21日		・静岡県東部4信金から三島市社会福祉協議会にコロナ禍での生活困窮者の食料支援	
22日	・県内感染者1万人を超える		
23日		・三島市状況連絡会開催：飲食店等に対する時短要請に係る判断基準に関する状況	
26日		・三島市長ビデオメッセージ「三嶋大祭り中止、オリンピックの自転車競技も直行直帰の呼び掛け」ほか ・地域包括ケア推進課「熱中症予防×コロナ感染防止～適宜マスクを外しましょう」周知	・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第3.3版）」
27日	・市内大学サークル関係者クラスター7人		
29日			・静岡県感染まん延期の中期、警戒レベル5（特別警戒）国ステージⅢ相当
30日		・ワクチン接種券発送状況について県へ報告	・厚労省「第7回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
31日	・市内民間保育園関係者感染により31日休園		

2021（令和3）年8月

1日		・集団接種会場を小学校体育館から市内施設（生涯・北上・中郷・保セ）に変更 ・「新型コロナウイルス等職員陽性者発生時初動マニュアル」改訂 ・「新型コロナウイルスに関する庁舎消毒等対応マニュアル」改訂（公共財産保全課）	
2日		・危機管理課「静岡県発表新型コロナウイルス感染症警戒レベル」周知 ・ワクチン接種予約受付開始（対象45歳～）	・まん延防止等重点措置区域の除外※対象：埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府 ・緊急事態措置区域追加（～8/31）※対象：埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府 ・緊急事態措置期間延長（～8/31）※対象：東京都、沖縄県 ・まん延防止等重点措置区域追加（～8/31）※対象：北海道、石川県、京都府、兵庫県、福岡県 ・静岡県感染まん延期の中期、警戒レベル5（特別警戒）国ステージⅢ相当 ・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第4版）」
3日	・市内の社会福祉施設クラスター発生5人		

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
5日		・「第20回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	
6日	・国内感染者100万人を超える	・「第21回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・楽寿園の8月イベント中止	・静岡県感染まん延期の後期、警戒レベル6(厳重警戒)国ステージIV相当 ・静岡県「まん延防止等重点措置」政府へ要請
7日		・三島市長ビデオメッセージ「まん延防止等重点措置、対象は静岡市・浜松市と三島市含む県東部の市町」ほか ・「第22回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開始 ・12歳以上の小児の小児科個別接種の予約方法説明 ・市内中学校の部活動を8月10日から31日まで中止を発表	
8日		・時短要請に係る店舗見回り実施(～8/13三島市実施、14日～静岡県実施)	・まん延防止等重点措置区域追加(～8/31) ※対象：福島県、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、愛知県、滋賀県、熊本県
10日		・小児ワクチン接種予約受付開始(対象12～18歳) ・イングリッシュキャンプに代わるオンライン「英語ライブ授業」を発信。小学3年生から中学2年生約50人参加	
12日	・市内学生寮クラスター発生5人		・川勝静岡県知事「過去最も厳しく、最大の危機」定例記者会見で述べる
14日	・市内事業所クラスター発生5人		
15日	・市内事業所2人判明、計7人		
16日	・市内事業所1人判明、計8人 ・市内民間小規模保育事業所関係者の感染確認により休園	・三嶋大社にて東京パラリンピックの聖火リレーで使われる「三島の火」採火式典開催	
17日	・県内感染者1万5千人を超える	・ワクチン接種予約受付開始(対象40歳～)	・緊急事態宣言期間延長及び区域変更発出
18日	・市内感染者500人を超える	・三島、裾野、長泉の2市1町「富士山南東スマートフロンティア推進協議会」発足。「アフターコロナに向け、魅力活力あるエリアに」 ・「新型コロナウイルス感染予防の徹底について」三島市副市長通知	
19日		・12歳～中学生個別接種開始(1病院、7医院・クリニック) ・「第23回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催」 ・商工観光課「まん延防止等重点措置に係る営業時間の短縮要請」周知 ・住宅政策課「新型コロナウイルス感染症の予防に配慮した建築基準法等に基づく窓口業務の実施」周知 ・「第21回平和のための戦争展」中止	
20日		・三島市長ビデオメッセージ「静岡県含む7府県が緊急事態宣言対象に追加。昨年4月以来の2回目」ほか ・健康づくり課「PCR社会的検査を拡充(全	・緊急事態措置期間延長(～9/12)※対象：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、沖縄県 ・まん延防止等重点措置区域の除外※対象：

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
		年齢対象)」周知 ・市老人福祉センター休館 ・街中ほっとサロン、北上高齢者すこやかセンター、小学校の生きがい教室閉館 ・体育施設は利用者数限定、大会、試合、合同練習の貸出休止 ・楽寿園、郷土資料館、三嶋暦師の館、山中城址案内所は休館	茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、京都府、兵庫県、福岡県 ・緊急事態措置区域追加（～9/12）※対象：茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、京都府、兵庫県、福岡県 ・まん延防止等重点措置期間延長（～9/12）※対象：北海道、福島県、石川県、愛知県、滋賀県、熊本県 ・まん延防止等重点措置区域を追加（～9/12）※対象：宮城県、富山県、山梨県、岐阜県、三重県、岡山県、広島県、香川県、愛媛県、鹿児島県 ・静岡県警戒レベル 6（嚴重警戒）国ステージIV相当 ・静岡県境を跨ぐ不要不急の移動・往来制限
21日		・妊婦とその同居家族の優先接種の予約開始	
22日		・「街中だがりや楽校」新型コロナ感染拡大防止のため中止	
23日		・課税課「【感染症予防】各種税証明の郵送請求やコンビニ交付の利用」周知 ・三島商工会議所女性会が食品、日用品を三島市社会福祉協議会に寄付	
24日		・ワクチン接種予約受付開始（対象 35 歳～） ・生涯学習センターでの「仕事相談会」中止	
25日	・市内事業所クラスター発生 6 人	・60 歳以上優先ワクチン接種について	
26日	・県内感染者 2 万人超える	・三島市観光協会が動画チャンネル「みしまめぐり」開設。コロナ後の賑わい創出狙う ・一番町「スライダーハウスリパブリュー三島」がクラフトビールの自販機設置。クラフトビールが非接触で購入可能	
27日	・市内スポーツジムクラスター発生 5 人		・まん延防止等重点措置区域の除外※対象：北海道、宮城県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、岡山県、広島県 ・緊急事態措置区域追加（～9/12）※対象：北海道、宮城県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、岡山県、広島県 ・まん延防止等重点措置区域追加（～9/12）※対象：高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県
30日	・市内スポーツジム 2 人、計 7 人		
31日		・ワクチン接種予約受付開始（対象 30 歳～）	

2021（令和3）年9月

1日	・国内感染者 150 万人超える ・市内スポーツジム 1 人判明、計 8 人 ・市内小学校 1 校複数児童が感染学年閉鎖（2 日～6 日）	・PCR 検査の年齢制限受付廃止（検査費用 10,900 円公費、5,000 円自己負担）	
----	---	---	--

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
3日	・市立保育園感染確認4日から臨時休園	・三嶋大祭り実行委員会「頑張れ！三島っ子供シャギリ発表会(11月23日)」の中止決定。子どもや関係者の安全優先	
6日		・ワクチン接種予約受付開始(対象19歳～)	
12日			・緊急事態措置期間延長(～9/30)※対象：北海道、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県、沖縄県 ・緊急事態措置区域から除外※対象：宮城県、岡山県 ・まん延防止等重点措置終了※対象：富山県、山梨県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県
13日		・商工観光課「緊急事態宣言の発令に伴う県からの協力要請について(延長)」周知	・まん延防止等重点措置区域追加(～9/30)※対象：宮城県、岡山県 ・まん延防止等重点措置の期間延長(～9/30)※対象：福島県、石川県、香川県、熊本県、宮崎県、鹿児島県
14日		・三島市長メッセージ「緊急事態宣言、19都道府県で9月30日まで延長」ほか	
15日	・9/9～9/15人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「35.0」、静岡県「25.6」	・緊急事態宣言延長により生涯学習センターの利用者の登録受付を休止	
16日		・三島商工会議所にて三島、沼津、長泉、清水の2市2町観光関係者が今後の打開策、ウィズコロナにおける観光のあり方を模索	
21日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き(第4.1版)」
22日	・9/16～9/22人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「10.1」、静岡県「13.4」	・新規ワクチン接種の予約について(周知)	・厚労省「第8回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
24日			・静岡県警戒レベル5(特別警戒)国ステージⅢ相当 ・厚労省「ワクチン接種証明発行手続に関する第3回自治体向け説明会」
27日		・来年度保育所の入園受付日時の予約開始。117件中111件が「LINE」利用	
29日	・9/23～9/29人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「7.4」、静岡県「6.6」	・三島商工会議所にて「動画活用で商売繁盛セミナー」開催。ウィズコロナ時代にも対応した「非接触型の販路拡大」動画の有用性	
30日		・三島市長ビデオメッセージ「マスク着用、三密回避等の基本的な感染対策、不要不急の外出などの取り組み協力に御礼」ほか	・緊急事態措置終了※対象：北海道、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県、沖縄県 ・まん延防止等重点措置の終了※対象：宮城県、福島県、石川県、岡山県、香川県、熊本県、宮崎県、鹿児島県



2021（令和3）年10月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
1日		・選挙管理委員会事務局「【参議院静岡県選出議員補欠選挙】新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等されている人の特例郵便等投票について」周知 ・「三島スカイウォーク」が新型コロナワクチン接種割引キャンペーン開始	・静岡県警戒レベル4（県内警戒・県外警戒）国ステージII相当
2日		・集団接種会場変更（生涯・北上・中郷・保セ、南小、長伏小、北小、東小を使用） ・12歳～中学生の集団接種開始（長伏小）	
5日		・三島青年会議所が創立60周年記念で6万球LEDのイルミネーションを愛染院跡地に設置。コロナ禍の街を明るく盛り上げる。	
7日			・自衛隊大規模接種センターの接種対象者年齢の引き下げ（16歳及び17歳）
9日		・市民文化会館にて「2021IZUアロハライブ」開催。コロナ禍で入場者を150人に限定	
13日		・健康づくり課「新型コロナウイルスワクチン接種における予防接種済証について」周知	
15日		・選挙管理委員会事務局「【衆議院議員総選挙】新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等されている人の特例郵便等投票について」周知	・静岡県警戒レベル3（県内注意・県外一部警戒）国ステージI相当
16日		・12歳～中学生集団接種開始（南小） ・市民文化会館にて市制80周年記念「没後40年五所平之助監督作品上映会」開催	
22日			・静岡県警戒レベル2（県内注意・県外注意）国ステージI相当
23日		・三島市本町に職住一体コワーキングスペース「三島クロケット」オープン	
28日	・10/22～10/28 人口10万人当たり 新規陽性者数： 三島市「0.0」、静岡県 「0.16」		
30日		・楽寿園にて「第69回菊まつり」コロナ禍収束を願う10分の1盆景「東大寺大仏殿」、「南大門」（～11月30日）	

2021（令和3）年11月

1日		・居酒屋「風土」にて新型コロナの影響で低稼働の宴会場の一部を改装して「あひる図書館」を開設	
2日			・静岡県医師会紀平会長が川勝知事に新興感染症に対応する専門施設の設置要望
3日		・市民文化会館にて「市制80周年記念式典」開催。功労者表彰のほか新型コロナウイルス感染症予防貢献12団体に感謝状贈呈	
4日	・10/29～11/4 人口10万人当たり 新規陽性者数： 三島市「0.0」、静岡県 「0.44」		

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
11日	・11/5～11/11 人口 10 万人当たり新規陽性者数：三島市「0.0」、静岡県「0.30」		
16日			・堀内ワクチン接種推進担当大臣記者会見「接種間隔は2回接種完了から原則8ヶ月以上が決定」 ・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第5版）」
17日		・市制80周年企画：10年後の自分に手紙を書く「未来レター」5,000部配布（～2月4日） コロナ禍現在の記録も未来へ	・厚労省「第9回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
19日		・市内を巡る観光バスツアーの旅行事業者を助成する「誘客促進キャンペーン」観光協会にて申請受付開始 ・「三島フードフェスキャンペーン」29店舗開始（～28日）。屋外グルメイベント「フードフェスティバル」のコロナ感染予防による中止の代替	・「基本的対処方針」発表、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」（対策本部） ・内閣官房「ワクチン・検査パッケージ制度における抗原定性検査の実施要綱」
23日		・三嶋大社「新嘗祭」で野菜奉納。芸能殿に「野菜の宝船」展示。「宝分け」は、新型コロナウイルス感染予防のため中止	
24日			・厚労省「ワクチン接種証明発行手続に関する第4回自治体向け説明会」
26日		・危機管理課「静岡県発表新型コロナウイルス感染症警戒レベル」周知	・静岡県警戒レベル2（県内注意・県外注意） 国ステージI相当（維持すべきレベル）
28日		・三島商工会議所 TMO ホールにて静岡県建築士会東部ブロック「ケンチクフェスタ2021」2年ぶり5回目の開催	
30日	・オミクロン株感染者の日本初確認（ナミビアからの入国者）		

#### 2021（令和3）年12月

2日		・イトーヨーカドー三島店にて障害者支援事業所の製品展示即売会と古紙交換会開催（～3日）	
5日		・「地域防災の日」コロナ対策の上、34団体700人参加（主会場：市役所駐車場）	
6日		・ハローワーク三島「ミニ面接会」開催。東部4事業所参加。コロナ禍で管内有効求人倍率が1を割る中の就職支援策	
8日		・三島商工会議所「事業継続力強化計画策定セミナー」開催。新型コロナウイルスや自然災害を想定した計画の重要性、認定の必要性説明	
16日		・日赤有功会三島市支会が市内特別養護老人ホーム「あかなすの里」、「いづテラス」に車椅子各1基寄贈	
17日		・三島市長ビデオメッセージ「子育て給付金10万円の一括給付を12/24に振込み」ほか ・グラウンドワーク三島がネパールへマスク55,000枚発送	・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第6版）」

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
18日		・PCR検査センター三島開設(医療法人社団R&O) 県内3カ所目	
19日		・SBSマイホームセンターにて「アフラック沼津アソシエイツ会」が、子ども食堂「みんなのえがお おたまちゃん食堂」に毎月豚肉2.4kgを1年間提供の目録を贈呈	
20日			・新型コロナワクチン接種証明書のデジタル化開始
21日		・連合静岡沼駿三田地域協議会、三島地区労働者福祉協議会の要望に回答(新型コロナワクチン非接種者、感染者及び濃厚接触者の差別をなくす積極的な啓発活動推進等)	
23日			・静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門会議の新興感染症対策検討部会において「静岡版CDC(疾病対策センター)」、設置場所は、三島市の県総合健康センターで異論なし
24日			・厚労省「第10回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
27日	・12/21～12/27人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「0.0」、静岡県「0.30」	・3回目ワクチンの新規接種予約について(周知) ・「春の七草」収穫作業に新型コロナの影響で大学生が集まらず、福祉事業所利用者の応援	
28日		・日大国際関係学部矢嶋ゼミ生「お散歩マップ」「E-BIKEマップ」お披露目。コロナ後見据えて英語版用意 ・米国バレーボール協会が大会用カップを五輪キャンプ地「三島」に贈呈 ・仕事納め式の開催見送り(新型コロナ対策により庁内システム掲示板対応)	・静岡県新型コロナウイルス感染症検査無料化事業：無料検査開始(ウエルシアほか)
31日		・三嶋大社コロナ対策として「初詣参拝経路規制」「分散参拝」「境内飲食禁止」を呼びかけ(～1月3日)。大鳥居前の歩行者天国なし	

2022(令和4)年1月

3日	・12/28～1/3人口10万人当たり新規陽性者数：三島市「0.0」、静岡県「0.66」		
4日		・三嶋大社3が日初詣参拝者数50万人	
5日		・3回目接種の新規予約開始	
7日		・危機管理課「静岡県の新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況等」周知	
9日		・市民文化会館にて出身中学別2部制時間短縮にて「成人式」2年ぶり開催。822人出席	・まん延防止等重点措置実施(～1/31) ※対象：広島県、山口県、沖縄県
10日	・市内知人の集まりクラスター発生8人 ・1/4～1/10人口10万人当たり新		

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
	規陽性者数：三島市「18.4」、静岡県「13.72」		
11日		・みしまプラザホテルにて三島商工会議所女性会青年部「新春懇談会」開催。約100人出席。“コロナ禍に負けない新年の飛躍を”	・国評価レベル2（警戒を強化すべきレベル） ・静岡県新型コロナウイルス感染症検査無料化事業：無料検査開始（PCR検査センター三島ほか）
12日	・市内知人の集まり2人判明、クラスター計10人に		
13日	・市内私立認定こども園感染者確認14日から休園	・「第24回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	
14日	・市内学校部活動クラスター発生5人	・三島市長ビデオメッセージ「市民、事業者の皆様、改めて一層の感染対策を願う」ほか ・「新型コロナウイルス感染予防の徹底について」三島市副市長通知	
15日	・市内学校部活動1人判明、計6人		
16日	・市内学校部活動2人判明、計8人 ・市内学校部活動3人判明、計9人		
17日	・県内感染者3万人を超える ・市内学校部活動1人判明、計10人 ・三島市における感染発生届取り下げ1件	・三島市地域公共交通網形成協議会開催において市内循環バス「せせらぎ号」コロナ禍の緊急事態宣言等の影響を受けた旨を報告	
19日	・市内高齢者施設クラスター発生5人		・川勝静岡県知事「社会総掛かりで取り組むことが重要」コメント発表
20日	・国内感染者200万人を超える ・市内高齢者施設1人判明、計6人		
21日	・市内感染者1千人を超える ・市内学校部活動クラスター発生5人	・危機管理課「静岡県の新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況等」周知 ・3回目ワクチン接種券を順次発送	・まん延防止等重点措置区域追加（～2/13） ※対象：群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、岐阜県、愛知県、三重県、香川県、長崎県、熊本県、宮崎県 ・オミクロン株感染拡大への厳重な警戒 ・国評価レベル2（警戒を強化すべきレベル）
23日		・3回目個別接種開始（ファイザー社ワクチン：三島共立病院、三島中央病院）	
24日	・市内小学校1校で複数児童感染（1学級の閉鎖は25日～27日）	・「第25回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催	
25日		・3回目接種予約開始（インターネット、電話）	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
26日	・市内小学校2校各1学級で複数児童感染(学級閉鎖は27日～31日、27日～28日)	・3回目個別接種開始(ファイザー社ワクチン:三島総合病院) ・商工観光課「まん延防止等重点措置に伴う市内飲食店への営業時間短縮要請」周知 ・三島商工会議所女性会が食料品やタオル等229点を社会福祉協議会に寄贈	
27日	・国内感染者250万人を超える	・三島市長ビデオメッセージ「まん延防止等重点措置が、静岡県にも適用」ほか ・「感染予防の更なる徹底」三島市副市長通知 ・楽寿園:飲食を伴うイベント、ガイドツアー中止 ・箱根の里:主催イベント中止、新規予約受付停止 ・図書館:視聴覚資料の利用休止 ・市内小中学校等体育施設:人数制限 ・公民館:利用定員を縮小 ・公園施設:飲食伴うイベント貸出中止	・まん延防止等重点措置期間延長(～2/20) ※対象:広島県、山口県、沖縄県 ・まん延防止等重点措置区域追加(～2/20) ※対象:北海道、青森県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、石川県、長野県、静岡県、京都府、大阪府、兵庫県、島根県、岡山県、福岡県、佐賀県、大分県、鹿児島県 ・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き(第6.1版)」
28日		・市議会「改革みしま」より新型コロナウイルス感染症に対する要望書	・厚労省「第11回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
31日		・NPO法人にじのかけ橋「トイレ紙チャリティ販売」売上金47,107円を三島市に寄付	・静岡県大規模接種会場(もくせい会館)にてワクチン接種開始

#### 2022(令和4)年2月

1日		・市内5病院(ファイザー)、33医院・クリニック(モデルナ)にて個別接種を開始 ・3回目接種予約開始(窓口) ・3回目個別接種開始(ファイザー社ワクチン:三島東海病院、芹沢病院)	
2日	・国内感染者300万人を超える ・県内感染者5万人を超える		
3日		・三嶋大社にて「節分祭」新型コロナ感染対策のため豆まき中止し、約5千袋を配る	
5日		・3回目個別接種開始(モデルナ社ワクチン:三島共立病院)	・まん延防止等重点措置区域追加(～2/27)※対象:和歌山県
6日	・市内障害者(児)施設クラスター発生6人	・3回目個別接種開始(モデルナ社ワクチン:三島中央病院) ・NPO法人三島市スポーツ協会「第40回三島かの川健康マラソン」新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
7日		・健康づくり課「新型コロナワクチンの有効期限延長について」周知	
8日	・市内高齢者施設クラスター発生9人		
9日	・市内社会福祉施設クラスター発生5人		
10日		・「東芝テック(株)」三島市の保育園や幼稚園、放課後児童クラブ等に50万円相当の絵本・遊具を寄贈	・静岡県:医療提供体制は国評価レベル3と同等

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
12日			・まん延防止等重点措置期間延長(～3/6) ※対象：群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、岐阜県、愛知県、三重県、香川県、長崎県、熊本県、宮崎県 ・まん延防止等重点措置区域追加(～3/6) ※対象：高知県
13日		・3回目集団接種開始(ファイザー社ワクチン：北プラ・中プラ・生涯学習・保健センター)	
14日	・市内高齢者施設クラスター発生8人		
15日	・国内感染者400万人超える	・「第26回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催 ・「新型コロナウイルス等職員陽性者発生時初動マニュアル」改訂 ・「市職員が陽性となった場合の公表基準」改訂	・静岡県内全域「まん延防止等重点措置延長」国へ要請
16日		・危機管理課「市職員等の新型コロナウイルス感染に関する公表の見直し」周知	
20日		・第40回三島市民演劇祭の中止	・まん延防止等重点措置終了※対象：山形県、島根県、山口県、大分県、沖縄県 ・まん延防止等重点措置期間延長(～3/6) ※対象：北海道、青森県、福島県、茨城県、栃木県、石川県、長野県、静岡県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、鹿児島県
21日	・市内感染者2千人超える	・三島市長ビデオメッセージ「まん延防止等重点措置の延長」ほか	
22日	・市内障害者(児)施設クラスター発生6人		
28日		・新型コロナワクチンの小児接種(5～11歳)の接種券発送(6,331人)	

2022(令和4)年3月

1日	・市内事業所クラスター発生6人		
2日	・国内感染者500万人超える		
3日		・市内生活情報をオンラインで随時配信するアプリ「LINE」の登録サポート開始	
4日			・静岡県「まん延防止等重点措置」3/21まで再延長を要請
6日		・NPO法人みしまびと「みしま未来研究所」大学4年生3人の卒業式。コロナ禍で出会った仲間を祝福 ・NPO法人地域活性スクランブルフォーラムが「朝の街」発信。朝食メニューの試食プロモーション会開催	・まん延防止等重点措置終了※対象：福島県、新潟県、長野県、三重県、和歌山県、岡山県、広島県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県 ・まん延防止等重点措置期間延長(～3/21) ※対象：北海道、青森県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、香川県、熊本県
8日	・市内障害者(児)施設クラスター発生6人 ・市内保育園クラスター発生6人		

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
9日	・市内高齢者施設クラスター発生9人 ・市内の保育園クラスター発生13人		
10日	・市内の学校クラスター発生7人	・新型コロナワクチンの小児接種(5~11歳)の予約受付開始	
12日	・県内感染者10万人超える		
13日		・「三島バル」実行委員会がコロナ禍のため“食べ歩き”を自宅で楽しんでもらう市内8店舗の料理詰め合わせを200セット限定販売	
15日	・市内事業所クラスター発生5人	・水道課「新型コロナウイルス感染症の影響により水道料金・下水道料金のお支払いが困難な方へ」周知	
16日	・市内高齢者施設クラスター発生15人		
17日		・5~11歳の個別接種開始(1病院、7医院・クリニック)	
18日		・三ツ谷工業団地の最終区画に感染症迅速診断キット製造の「タウンズ」が進出	
21日		・第94回選抜高校野球大会において日大三島高初戦で涙。アルプススタンド1,500人の応援団。応援はマスク着用、声出さず、ステイックバルーン、メガホン打ち鳴らして感染防止対策。学校ではパブリックビューイング100人参加。	・まん延防止等重点措置終了※対象：北海道、青森県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、香川県、熊本県
22日		・危機管理課「静岡県の新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況等」周知	
23日	・国内感染者600万人超える		
25日			・厚労省「第12回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」 ・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き(第7.1版)」
26日	・市内感染者3千人超える ・市内の学校クラスター発生9人		
30日			・静岡県「ふじのくに感染症管理センター(仮称)」の基本構想を公表。2023年4月開設目標
31日			・静岡県：感染拡大傾向時の一般検査の要請期間延長(～4/30)

2022(令和4)年4月

1日		・三島市観光協会「三嶋大社桜の開花状況」ウェブサイト発信に続き、市内飲食店でサービスが受けられる「デジタルクーポン」の配信開始	
2日		・「三島市ふるさとガイドの会」予約なしの無料“キャッチガイド”開始(～5月5日)コロナ禍で予約数3分の1に減少	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
4日			・静岡県大規模接種会場にて予約なし接種開始（モデルナ社ワクチン）
14日	・国内感染者 700万人超える		
15日		・美しい伊豆創造センターと包括連携協定を結んだ「KKday ジャパン」CEO が三島スカイウォークで豊岡会長と今後の観光発展に向けた協力と交流を確認	
16日		・5～11歳の集団接種開始（北小）	
19日		・商工観光課「中小企業経済変動特別対策資金利子補給補助金（新型コロナウイルス感染症対応枠）」周知	
24日		・市民文化会館にて「三島フィルハーモニー管弦楽団」1年半ぶり定期演奏会開催	
25日		・三嶋大祭り実行委員会「三嶋大祭り」3年ぶり開催決定	
26日		・市民文化会館にて「インバウンドガイド養成講座」開催（～5月末）外国人観光客の需要回復見据える（三島市観光協会主催）	
28日		・三島西ロータリークラブがオンライン交流関連機材10点を三島市国際交流協会に贈呈	・厚労省「第13回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」 ・厚労省「ワクチン接種証明発行手続に関する第5回自治体向け説明会」

2022（令和4）年5月

1日		・錦田中相撲場にて「わんぱく相撲三島場所」3年ぶりに開催	
8日		・「第42回三島の川をきれいにする奉仕活動」新型コロナの影響で昨年比約300人減	
12日	・国内感染者 800万人超える		
13日	・市内感染者 4千人超える		
14日	・県内感染者 15万人超える		
15日		・市民文化会館にて三島北高同窓会「紫苑会」開催（新型コロナの影響により開催スタイル変更）	
18日	・市内の保育園クラスター発生 12人	・生涯学習センターにて三島美術協会「第66回」作品展3年ぶりの開催	
24日		・市議会「コロナ禍における物価高騰に伴う要望書」提出 ・使用期限切れモデルナ社製ワクチン96本（1440回分）廃棄 ・市民文化会館にて「民生委員児童委員協議会2022年度総会」3年ぶり会場開催	
25日		・三嶋大社にて全国116市区町村加盟の「スマートウェルネスシティ首長研究会」ハイブリッド方式で開催（～26日）	・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第8版）」 ・川勝静岡県知事「2021年度県内移住者1868人」過去最多更新を発表（三島市171人：県内最多）
28日	・市内高齢者施設クラスター発生 9人	・「腰切不動尊」の大祭開催（しゃぎり3年ぶり披露）	



## 2022（令和4）年6月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
1日		・新型コロナワクチン4回目の予約受付開始 ・市内結婚式会場で挙式カップルに最大10万円補助。(申請は10月11日まで)	
9日		・(株)明日香、(株)UPDATER、三島市の共同で“空気の見える化”実証実験協定を締結(錦田こども園)	
10日		・武田社ノバボックスワクチン接種予約の受付開始	・国評価レベル1(維持すべきレベル)に下げる
13日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き(第8.1版)」
14日		・地域協働・安全課「感染症対策公共交通事業者緊急支援事業について」周知 ・選挙管理委員会事務局「【参議院議員通常選挙】新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等されている人の特例郵便等投票について」周知	
17日			・静岡県：大規模接種会場でのノバボックスワクチン接種実施
19日		・市民文化会館にて「第67回県民合唱祭」3年ぶりの開催	
23日			・静岡県：ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業延長(6/30→8/31)
28日	・国内感染者900万人を超える		
30日			・静岡県：感染拡大傾向時の一般検査事業終了 ・厚労省「ワクチン接種に係る人材確保に関する自治体向け説明会」

## 2022（令和4）年7月

2日		・武田社ノバボックスワクチン接種開始	
6日		・錦田こども園に「錦田幼稚園」「錦田保育園」「にこパル」合同の七夕飾り設置	
7日		・保険年金課「新型コロナウイルス感染症に伴う国民健康保険及び後期高齢者医療制度の傷病手当金の支給」期間延長周知	
8日	・市内民間保育園2クラス閉鎖	・三嶋大社にて「富士登山道開山式」開催(コロナ感染対策を含めた安全対策)	
12日			・国評価レベルを1から2(警戒を強化すべきレベル)に引き上げ
13日		・東横イン富士山三島駅にて「不審な外国人宿泊客に対するロールプレイング型訓練」三島警察署が実施	
15日	・市立公園楽寿園職員5人感染公表	・「三嶋大祭り実行委員会全体会議」開催。まん延防止措置発令時は中止。歩行者専用道路での飲食禁止。大通りは左側通行。消毒液、検温器は各所に設置。露店数は従来の3分の2以下に減。事前場所取り禁止。沿道からの声援禁止等を確認	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
16日	・市内感染者 5千人を超える	・「大場神社祭典」3年ぶり開催（～17日）	
17日	・国内感染者 1千万人を超える	・「みしまエコツーリズム」学生企画の旅行プランが2年ぶりの実現	
19日		・健康づくり課「静岡県新型コロナウイルス無料検査の案内」周知	
21日	・県内感染者 20万人を超える		
22日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第8.2版）」 ・厚労省「オミクロン株のBA.5系統への置き換えを見据えた感染拡大に対応するための医療機関・保健所の負担軽減等について」
23日	・市内1日感染者 最大237人 (2022/9/2まで)		
25日	・市内感染者 6千人を超える		
26日			・厚労省「第14回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
28日	・市内障害者(児) 施設クラスター発生10人		
29日			・静岡県：医療提供体制は国評価レベル3と同等であり「医療ひっ迫警報」発令。行動制限は実施せず

#### 2022（令和4）年8月

1日	・市内感染者 7千人を超える	・健康づくり課「お盆休みを利用した夏季特別接種を実施～3回目集団接種～」周知 ・水と緑の課「市内公園等における新型コロナウイルス感染症への対応について」周知	・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第8.3版）」
2日		・商工観光課「新型コロナウイルス感染症対応伴走支援特別貸付」周知	・静岡県総合健康センター内に「新型コロナウイルス療養者支援センター」開所
5日		・三島北高郷土研究部「全国高校社会科学・郷土研究発表大会」で優秀賞を受賞（新型コロナウイルスの影響で3年生2名が参加できず）	
6日	・市内感染者 8千人を超える		
9日	・県内感染者 30万人を超える		・静岡県内全域「BA.5対策強化地域」（～8/31） ・厚労省「第15回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
10日		・保健センターにて無料抗原定性検査キットをドライブスルー方式で配布開始（初回544セット配布）	
12日	・国内感染者 1,500万人を超える		
13日	・市内感染者 9千人を超える	・保健センター「お盆休みを利用した夏季特別接種」実施（新型コロナウイルスワクチン3回目集団接種、ノバボックス使用）	

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
15日		・「三嶋大祭り」～17日 3年ぶり開催	
18日	・市内高齢者施設クラスター発生 9人		
19日	・国内1日の感染者数最大 261,004人(2023/3/31まで) ・市内感染者1万人を超える		
21日		・三島大社にて「街中だがりや楽校」3年ぶり開催	
26日		・大場商工会主催「大場ふれあい広場」3年ぶり開催	・静岡県内全域「BA.5 対策強化地域」(9/30まで延長)
27日	・県内感染者40万人を超える		
31日			・新型コロナウイルスの抗原検査キットのインターネット販売開始

2022（令和4）年9月

3日		・中郷中にて「ふじのくにジュニア防災士」養成講座開催（コロナ感染者がいる場合の対応等を考える）	
5日		・三島商工会議所女性会が食料やタオル等の日用品を社会福祉協議会に寄贈	
6日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第9版）」 ・厚労省「第16回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」 ・5～11歳の新型コロナワクチン接種が予防接種法上の「努力義務」適用 ・岸田総理が感染者の療養期間について有症状者は原則10日間から7日間に、無症状者は7日間から5日間に短縮する方針を表明
7日	・市内高齢者施設クラスター発生7人	・水道課「「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応」として、水道料金2カ月分の基本料金を免除」周知	・厚労省「新型コロナウイルス感染症の患者に対する療養期間等の見直しについて」
12日			・厚労省：ファイザー社及びモデルナ社のオミクロン BA.1 対応2価ワクチンを特例承認
13日	・国内感染者2千万人を超える	・福祉総務課「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」延長周知 ・三島商工会議所「メンタルヘルスセミナー」を開催。講師は健康づくり課保健師	・厚労省：接触確認アプリ（COCOA）機能停止する方針発表 ・ファイザー社オミクロン株対応（BA.4/5）2価ワクチン承認申請
14日		・小児追加接種（3回目）の接種券発送	・厚労省「With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて」 ・オミクロン株対応ワクチン接種を「臨時接種」に位置付け
15日			・静岡県「第24回新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」
16日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第10版）」 ・厚労省「第17回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
20日		・オミクロン株 (BA.1) 対応 2 価ワクチン到着	
21日			・静岡県「新型コロナウイルス感染症の発生届の対象者限定化等に関する説明会」
22日	・市内高齢者施設クラスター発生 8人		
26日		・オミクロン株対応 (BA.1) 2 価ワクチン接種開始	・新型コロナ感染者の全数把握簡略化 (市町別感染者数公表取りやめ)
27日			・感染クラスター公表の一時中止

2022 (令和 4) 年 10 月

4日		・保険年金課「感染症に伴う国民健康保険及び後期高齢者医療制度の傷病手当金の支給延長」周知	
5日			・ファイザー社オミクロン株対応 (BA.4/5) 2 価ワクチン承認
6日		・2023 年度から 5 ヶ年のコロナ後見据えた観光戦略アクションプラン策定会議の開催	
7日		・日本橋一三島で「御宿場印」展開。エリアの信用金庫と観光協会が連携し、地域経済の活性化を図る	
9日		・3 市 1 町のライオンズクラブ 10 団体がフードドライブ事業として食料を持ち寄る	
12日		・三島警察署と伊豆箱根鉄道が合同で大場駅にてテロ対策訓練を 3 年ぶりに実施	・厚労省「第 18 回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
13日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き (第 11 版)」 ・厚労省「第 1 回新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」開催 ・5 歳から 11 歳対象のファイザー社オミクロン株対応 (BA.4/5) ワクチンの承認申請
17日		・みしま聖苑：新型コロナウイルス感染症が原因の人の火葬を通常に戻す	
18日		・生涯学習センターにて「第 15 回東部朗読交流会」が 3 年ぶりに開催	・厚労省「第 2 回新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」開催
19日		・三島南小にて「粉末茶スティック」の贈呈式開催 (市内 14 小学校全児童に配布)	・12 歳以上の 3 回目以降のワクチン接種の間隔を「5 か月以上」から「3 か月」短縮を厚労省決定
20日	・県内感染者 50 万人超える	・JA ふじ伊豆の三島函南甘藷部会が「三嶋甘藷サポーター」企業対象の収穫体験実施	
21日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き (第 12 版)」
23日		・大通り商店街にて「ハロウィン・パレード in みしま 2022」3 年ぶりに開催	
24日			・厚労省「第 19 回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
27日			・静岡県「新型コロナ感染症とインフルエンザの同時流行に備えた対応に関する市町担当会議の開催」
29日		・日大国際関係学部が学園祭「富桜祭」を 3 年ぶり対面開催	

2022（令和4）年11月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
1日		・ファイザー社オミクロン株対応（BA.4/5） 2価ワクチン接種開始	
2日		・新型コロナウイルスワクチン乳幼児接種 （生後6か月～4歳の方）（周知）	
7日			・厚労省がモデルナ社「BA.5」対応のワクチンの国内での使用を承認
8日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第13版）」
9日		・生涯学習センターにて「三島地区書展」開催（～11日）	
13日		・三島南高野球部OB会「創部100周年記念式典」開催（コロナによる1年延期）	
16日		・抗原定性検査キットを発熱外来等対応医療機関に配布（8,800セット）	
17日			・接触確認アプリ（COCOA）の運用終了機能停止版アプリの配信を開始
18日			・厚労省「第3回新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」開催
22日		・抗原定性検査キットを保育園等に配布（820セット：41カ所×20園）	・厚労省「第20回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
23日		・三嶋大社にて新嘗祭の野菜宝船展示及び宝分け開催（宝分けは3年ぶり） ・市民文化会館にて市制80周年及び文化会館開館30周年記念の「第九演奏会」1年延期期間経て開催	
24日		・MYグループが市内障害者施設9施設に19万円寄付	
25日		・抗原定性検査キットを三島メディカルセンターに配布（200セット）	
27日		・伊豆箱根鉄道本社にて「いずはこね ふれあいフェスタ」3年ぶりに開催	・政府対策本部が新型コロナの感染症法上の位置づけを5月8日に「2類相当」から「5類」に移行の方針を決定
28日		・選挙管理委員会事務局「【三島市長選挙】新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等されている人の特例郵便等投票について」周知	・厚労省が新型コロナとインフルエンザの同時検査キットの一般販売解禁を決定

2022（令和4）年12月

1日		・「PCR検査センター三島」にて新型コロナとインフルエンザの同時検査開始	
8日			・モデルナ社ワクチン3回目以降の追加接種ができる対象年齢を18歳以上から12歳以上に引き下げ
9日		・健康づくり課「新型コロナとインフルエンザの同時流行に備える」（周知）	・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第13.1版）」
13日	・県内感染者 60万人超える		

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
16日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省「第21回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」</li> <li>・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き(第13.2版)」</li> <li>・厚労省「ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて」</li> </ul>
23日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省「第4回新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」開催</li> <li>・静岡県新型コロナウイルス評価レベルを「2(感染拡大初期)」→「3(医療負荷増大期)」へ引上げ。「医療ひっ迫警報」発令</li> </ul>
24日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語支援団体「のびっこクラブみしま」が感染対策を図りクリスマス会開催</li> </ul>	
26日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉事業所応援のA3版チラシ「みしま福産品コレクション」5万部作成</li> </ul>	
30日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターにて年末年始対応の抗原定性検査キットを配布(～1月3日)</li> </ul>	

#### 2023(令和5)年1月

4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内感染者70万人超える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三嶋大社3が日初詣参拝者数53万人(前年比3万人増)</li> </ul>	
6日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理課「静岡県の新型コロナウイルスの感染状況」周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省と経産省において新型コロナ感染症の葬儀などに関するガイドラインの見直し(最後の別れができる)を公表</li> </ul>
7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内1日感染者最大5,457人(2023/3/3まで)</li> <li>・国内感染者3千万人超える</li> </ul>		
8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化会館にて「二十歳を祝う式典」開催(814人参加)</li> </ul>	
10日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国旅行支援」再開(割引率20%引き下げ)</li> </ul>
12日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAふじ伊豆が伊豆箱根鉄道三島駅にて「1日コップ1杯」の牛乳“愛飲運動”呼び掛け</li> </ul>	
18日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合静岡沼駿三田地域協議会及び三島地区労働者福祉協議会から寄せられた要望に回答「コロナで落ち込む消費の喚起を求める」</li> </ul>	
21日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民体育館「ボールゲームフェスタ in 三島」2年ぶりに開催</li> </ul>	
22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内感染者80万人超える</li> </ul>		
27日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について」</li> </ul>
30日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省「第22回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」</li> </ul>

2023（令和5）年2月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
3日		・三嶋大社にて「豆まき」開催（3年ぶり）	
8日		・沼津信用金庫より感染拡大防止の支援活動として100万円寄付（令和3年度10月、2月に続き）	・厚労省専門家部会において「秋から冬に次の接種」基本方針まとまる
10日			・厚労省「第23回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」 ・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第14版）」
12日		・市民文化会館「三島せせらぎ音楽祭」コンサート開催	
17日			・デジタル庁と厚労省が非接触アプリ「COCOA」の報告書“課題があった”と公表
24日			・厚労省「第24回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
27日			・厚労省専門家部会においてオミクロン株対応ワクチン5歳～11歳も対象に加えることを了承

2023（令和5）年3月

1日		・「第27回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」開催（3月13日以降の市施設来館者に「マスク着用求めない」決定）	
7日			・厚労省が重症化リスクの高い高齢者などに5月8日から無料で接種開始を決定
8日			・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第15版）」
9日			・厚労省「第25回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
10日			・静岡県「ワクチン接種体制確保に係る市町担当者会議」 ・厚労省専門家部会にてワクチン接種後の死亡を初の認定
13日			・政府がマスク着用を個人判断に委ねる。
20日		・「第93回三島みどりまつり」4年ぶりの開催決定（今回をもって終了） ・三島市医師会と三島市が共同作成した「新型コロナウイルス感染症と予防接種への対応記録」公開	
25日		・三島信用金庫が食料品222.7kgを社会福祉協議会に寄贈	・自衛隊による大規模接種（東京・大阪）終了
27日			・厚労省「第26回新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会」
28日			・WHO「医療従事者、高齢者、基礎疾患がある人、妊婦」に対し定期的な接種を推奨

2023（令和5）年4月

	感染等状況	三島市の対応・出来事	国・県等の対応ほか
1日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省が学校教育現場での「マスク着用」を求めない通知</li> <li>・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第16版）」</li> </ul>
8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第93回三島みどりまつり」4年ぶりの開催～9日（今回で終了）</li> <li>・国立遺伝学研究所4年ぶり一般公開</li> </ul>	
9日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島市消防団「入退団式」4年ぶり全体開催</li> </ul>	
29日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府「新型コロナウイルス水際対策」終了</li> </ul>

2023（令和5）年5月

5日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「春の大通り商店街まつり」開催。コロナ禍前の賑わい戻る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WHO「公衆衛生上の緊急事態の宣言終了」発表</li> </ul>
8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年春開始接種（高齢者、医療・介護従事者、基礎疾患を有する方等）の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「2類」から「5類」に移行</li> <li>・政府「新型コロナウイルス感染症対策本部」廃止</li> <li>・厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第17版）」</li> </ul>
10日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島市新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止</li> </ul>	



## 第2章 体制整備

### 1 新型コロナウイルス感染症対策本部の設置

#### (1) 設置経過

##### ① 設置根拠

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成 24 年法律第 31 号）により設置

##### ② 設置経過

(任意本部) 令和 2 年 2 月 27 日（同日開催の部長会議において決定）

(法定本部) 令和 2 年 4 月 7 日（同日の緊急事態宣言発令を受け、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 34 条第 1 項の規定に基づき法定本部に改組）

(任意本部) 令和 2 年 5 月 26 日（5 月 25 日の緊急事態宣言解除を受け任意本部に改組）

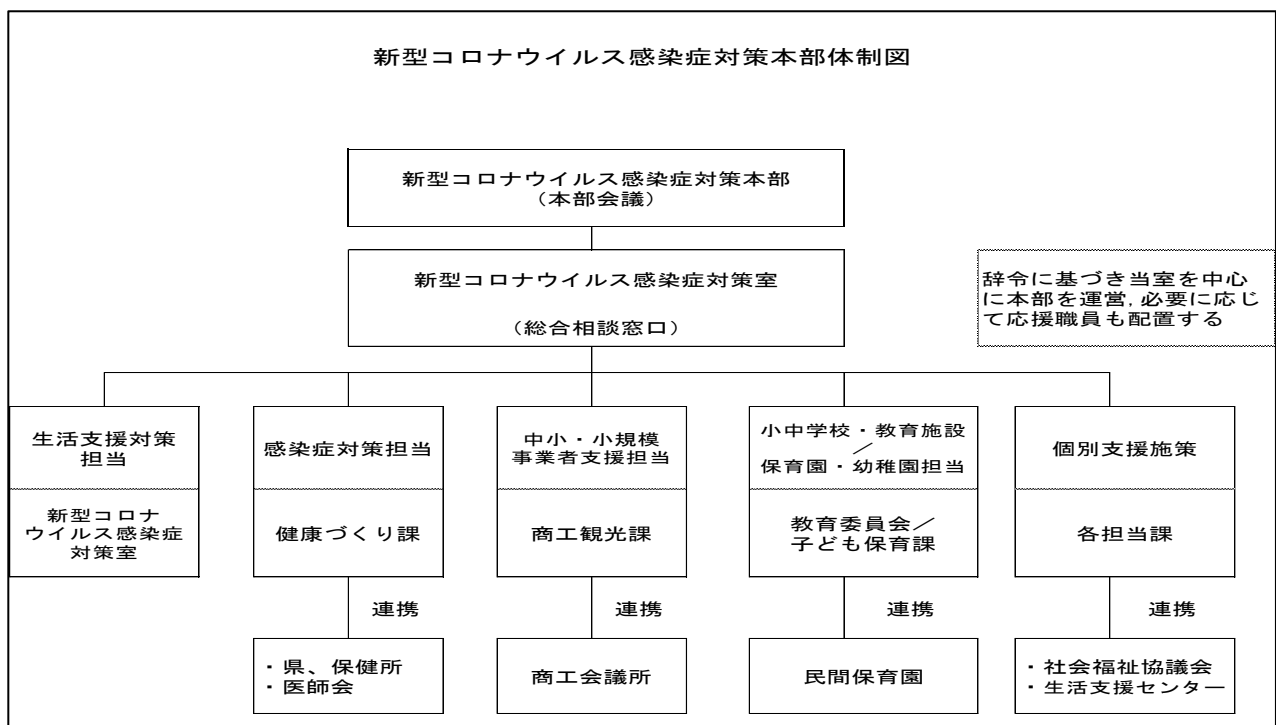
(法定本部) 令和 3 年 1 月 7 日（同日の緊急事態宣言を受け法定本部に改組）

(任意本部) 令和 3 年 3 月 22 日（3 月 21 日の緊急事態宣言解除を受け任意本部に改組）

(法定本部) 令和 3 年 4 月 23 日（同日の緊急事態宣言を受け法定本部に改組）

③ 本部の廃止 令和 5 年 5 月 8 日から 5 類感染症に位置付けられたことに伴い、令和 5 年 5 月 10 日実施の第 28 回本部会議をもって廃止となった。

#### (2) 体制図（発足当時）



### (3) 本部会議開催経過

回	開催日	内 容
1	R2.2.27	○新型コロナウイルス感染症対策（案）
2	R2.2.27	○新型コロナウイルス感染症対策本部の基本方針（案） ○新型コロナウイルス感染症対策（案） ・本部員からの意見を反映し決定
3	R2.2.28	○市主催のイベント・会議等の実施（中止）予定 ○教育施設（小中学校）の休業等の対応 ○市民利用施設の対応
4	R2.3.11	○感染症対策の改訂 ・期限を 3/15 から 3/31 に延長
		○国内の感染状況 ○3/9 発表国の専門家会議の意見 ○市内のイベント等の中止・延期と施設の休止等の状況
5	R2.3.27	○感染症対策の改訂 ・「イベント・会議等における感染予防対策ガイドライン」を策定 ・期限を 3/31 から 4/30 に延長
		○国内の感染拡大の状況 ○3/19 発表国の専門家会議の提言 ○経済的支援策 ○高齢者関連施設の条件付き再開
6	R2.4.6	○小中学校の休業 ・4/8 から 4/19 までの期間を休業とする
7	R2.4.6	○各部の対応
—	R2.4.14	<b>【稟議による決定】</b> ・小中学校の休業期間を 5/6 まで延長する
8	R2.4.20	○感染症対策の改訂 ・期限を 4/30 から 5/6 に延長 ・ガイドラインについて、感染拡大リスクの高い3つの条件を国の通知（密閉・密集・密接）に変更
		○各部の対応 ○市の対策本部室（相談窓口）の設置 ○経済的支援策
—	R2.4.21	部長会議において「新型コロナウイルス感染症対策室」の設置を決定

9	R2.5.1	<p>○感染症対策の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期限を 5/6 から 5/31 に延長</li> </ul> <p>○公共施設の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休館・休止期間を 5/31 まで延長</li> <li>・楽寿園については次回会議で判断</li> </ul> <hr/> <p>○5/7 以降の小中学校、放課後児童クラブ、公立幼稚園の休業の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※連休前に本部員会議を開催する時間がなかったため、個別に本部員には了承を得て会議で報告</li> </ul> <p>○保育園の対応</p> <p>○公共施設の状況</p> <p>○市内感染者発生時の対応</p> <p>○特別定額給付金</p> <p>○休業協力金</p>
10	R2.5.5	<p>○感染症対策の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言の延長を受けた改訂は行わないことを確認</li> </ul> <p>○公共施設の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の再開に向け、施設ごとの運営方針を作成する</li> <li>・楽寿園の休園期間は 5/31 まで延長するが、今後の状況により段階的な開園を含め休園期間の短縮を検討</li> </ul> <p>○5/7 以降の休業要請（協力金）の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休業要請の期間は延長しない方針であるが、商工会議所の意向を確認の上で決定する</li> <li>※会議後、商工会議所の意向を確認し、休業要請期間は延長しないことを決定</li> </ul> <hr/> <p>○緊急事態宣言の延長</p> <p>○特別定額給付金の対応状況</p> <p>○保育園の対応</p>
11	R2.5.7	<p>○地方創生臨時交付金の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的にアイデアを募集し、次回会議で検討</li> </ul> <hr/> <p>○緊急事態宣言の延長に伴う県内の対応</p> <p>○県内の感染者の状況</p> <p>○特別定額給付金事務における職員流動</p> <p>○休業協力金</p> <p>○特別定額給付金</p> <p>○小中学校、幼稚園、保育園の今後の見込み</p>
12	R2.5.15	<p>○市立幼稚園・小中学校の再開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/1 から再開</li> <li>・5/31 までの臨時休業期間は再開までの準備期間とし、分散登校（園）を実施</li> </ul> <p>○放課後児童クラブの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/22 まで特別開館クラブで受入れ、5/25 から 5/29 まですべてのクラブを正午から午後 6 時まで開館</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症対策の改訂 <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府の基本的対処方針の変更に準じた内容に改訂</li> <li>・「市施設における感染防止ガイドライン」を策定</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急事態宣言の解除</li> <li>○公共施設の対応</li> <li>○特別定額給付金の対応状況</li> <li>○休業協力金の対応状況</li> <li>○マスクの配布・物品寄贈</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方創生臨時交付金の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・候補事業については、6月補正予算を要求した上で、予算査定を経て決定</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活困窮者への対応状況</li> </ul>
13	R2.5.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎市内在住者の新型コロナウイルス陽性確認を受け開催</li> <li>○公共施設の利用制限拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/27の本部会議で各部所管施設の対応を確認する</li> </ul> </li> <li>○小中学校等の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/25からの分散登校等について、予定どおり実施とするが、感染防止対策等注意するように指示</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○患者概要</li> </ul>
14	R2.5.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対策本部の任意本部への移行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月26日の緊急事態宣言解除を受け、法定本部から任意本部への改組</li> </ul> </li> <li>○公共施設の再開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に三密を避けられる施設は、利用制限（利用者数を定員の1/2等）をつけ開放</li> </ul> </li> <li>○定例的イベント等の再開</li> <li>○市の感染症対策の改訂 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県警戒レベル3で県内「注意」、県外「警戒」</li> </ul> </li> <li>○地方創生臨時交付金（228,011千円）の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通事業者感染拡大対策支援事業（5,870千円）</li> <li>・障がい福祉事業所感染拡大対策支援事業（5,200千円）</li> <li>・高齢者介護事業所感染拡大対策支援事業（9,100千円）</li> <li>・事業継続支援給付金（250,200千円）</li> </ul> </li> <li>○特別定額給付金の対応状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月末の土日、各部2名の流動依頼</li> <li>・申請は、5月26日現在、67.76%</li> </ul> </li> <li>○休業協力金の対応状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、予算同等額の申請、審査中の14件は、予備費対応</li> <li>・事業者の申請忘れないよう、アナウンスを要請</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の時差出勤は6月末まで継続</li> <li>・特別警戒都道府県であった地域への出張命令は原則発しない</li> </ul> </li> </ul>

15	R2.6.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の感染症対策の改訂 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イベント・会議等における感染予防対策ガイドライン」一部改訂</li> </ul> </li> <li>○今年度のイベント等の実施見込み</li> <li>○地方創生臨時交付金の活用について <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の2次補正分として、641,157千円を交付限度額として交付決定</li> </ul> </li> <li>○特別定額給付金の対応状況について</li> <li>○事業者支援について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)休業協力金の対応状況</li> <li>(2)リスタート事業費補助金の対応状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請が低調なため、商工会議所を通じて周知を図る</li> </ul> </li> <li>(3)中小企業者等応援補助金の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2,500件の申請見込み。職員の応援を</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員時差出勤は7月末まで継続</li> <li>・出張については必要性、出張先の状況を踏まえて各所属での判断</li> </ul> </li> </ul>
-	R2.11.24	<p>「新型コロナウイルス感染症対策」関係課協議</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症の状況</li> <li>2 庁内対応マニュアル等の確認</li> <li>3 感染拡大に伴う対策範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内危機管理体制の確認</li> <li>・広報、啓発活動</li> <li>・経済対策</li> </ul> </li> </ol>
16	R2.12.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内における新型コロナウイルス感染症陽性患者の発生状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染経路が概ね判明</li> </ul> </li> <li>○公立保育園における陽性患者の発生及びその対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・濃厚接触者の絞り込み(行動調査)は、条件(マスク無し15分間、1m未満で会話)に当てはまる者を該当保育園でリストアップした。保健所とは電話でのやり取りのみ。</li> <li>・消毒作業は業者に依頼し、11月27日(金)夜に実施。</li> <li>・検査結果としては全員陰性のため、30日(月)から開園。</li> <li>・感染者(配偶者)の検査結果が出る前に、当該職員が休みを取った(症状がないにも関わらず)ことが、対応として非常に良かった。</li> </ul> </li> <li>○職員陽性(濃厚接触)判明時の連絡体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に感染者及び濃厚接触者が出た場合、決められたルートにて報告</li> </ul> </li> <li>○職員が新型コロナウイルスに感染した場合等の対応基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱は37.5度以上とし、その他症状として下痢、頭痛、咳も含む</li> <li>・会計年度任用職員が年休を取るのに躊躇しないよう特別休暇等の対応</li> <li>・発熱ありきではなく、その他の症状が本人及び家族に出た場合は、必ず病院を受診し医師の判断を仰ぐこと。</li> </ul> </li> <li>○PCR検査の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉施設等従事職員、65歳以上三島市民などPCR検査(社会的検査)業務の実施(令和3年1月頃開始予定)</li> </ul> </li> </ul>

-	R3.1.7	<p>健康づくり課内に予防接種チームを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム改修、コールセンター設置、接種会場等確保、接種券等の印刷郵送、職員の動員</li> </ul>
17	R3.1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内における新型コロナウイルス感染症陽性患者の発生状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒園児への影響</li> <li>・市内において現時点でのクラスター発生は、なし</li> </ul> </li> <li>○緊急事態宣言の発出及び県の動向等</li> <li>○対策本部の法定本部への移行</li> <li>○3連休中の行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式中止…市長からのお祝いメッセージ市ホームページ、SNS 利用ほか</li> <li>・成人式代替事業…楽寿園フォトスポット設置など</li> <li>・出初式…分団長、副分団長のみ出席、屋外にて表彰伝達式のみ</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けに家庭内の感染予防呼びかけ</li> <li>・企業向けには、商工会議所と検討</li> <li>・市長動画メッセージの公開</li> <li>・家族の体調不良等の場合には休むよう、人事課の通知を再掲</li> </ul> </li> </ul>
18	R3.1.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内における新型コロナウイルス感染症陽性患者の発生状況及び県内の年末年始の感染経路等の分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10万人あたりの感染者数が25人超。(国のステージⅣの基準)</li> </ul> </li> <li>○県の実施方針及び対応方針</li> <li>○市職員が陽性となった場合の公表基準(案)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・公表はいずれの場合も課名まで</li> <li>・併せ対処状況なども公表</li> <li>・小中学校幼保の場合は名前を出さず</li> </ul> </li> <li>○新型コロナウイルスワクチンの接種体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・接種順位及び接種スケジュール(予定) <ul style="list-style-type: none"> <li>2月下旬～医療従事者(県対応)</li> <li>3月下旬～65才以上の高齢者</li> <li>4月下旬～高齢者以外の基礎疾患を有する者等</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
19	R3.4.28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急事態宣言発出に伴う対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象地域外でも法定の対策本部を設置の必要あり</li> </ul> </li> <li>○ゴールデンウィーク期間中におけるイベント等の開催等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽寿園のイベント及び大通り商店街まつりの感染対策</li> <li>・川をきれいにする奉仕活動参加者には感染防止対策の徹底を呼び掛け</li> </ul> </li> <li>○ワクチン接種</li> <li>○市内における新型コロナウイルス感染症陽性患者の発生状況</li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊業団体及び飲食業団体に改めて感染防止対策の徹底を周知</li> </ul> </li> </ul>
20	R3.8.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まん延防止等重点措置区域の指定</li> <li>○関係企業、団体等への呼びかけ</li> <li>○所管施設の対応</li> </ul>

21	R3.8.6	<p>○まん延防止等重点措置の概要（県本部会議資料）</p> <p>(1)感染者発生・入院等の状況</p> <p>(2)静岡県専門家会議からの提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重症病床の確保</li> <li>・入院患者の受入促進</li> <li>・疑い患者用の病床</li> <li>・退院可能者の後方支援病院への転院・宿泊施設・自宅での療養促進</li> <li>・療養体制の強化</li> <li>・宿泊療養施設未設置の医療圏域への新規設置の検討</li> <li>・地域診療所による自宅療養者の診療体制充実</li> </ul> <p>(3)医療提供体制の確保及び感染対策に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病床確保、病床の回転率の向上</li> <li>・自宅及び宿泊療養者への診療体制の確立</li> <li>・新規の宿泊療養施設の設置検討</li> <li>・クラスター発生の抑制</li> <li>・保健所機能の維持</li> <li>・デルタ株主流の中の感染対策呼びかけ</li> </ul> <p>(4)警戒レベルの引上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月6日現在、「警戒レベル6（嚴重警戒）」、「まん延防止等重点措置」</li> <li>・まん延防止等重点措置は8月8日0時から8月31日24時までの期間で県東部・賀茂地域、静岡市、浜松市を措置区域。飲食店等及び大規模集客施設等への営業時間の短縮要請</li> </ul> <p>(5)まん延防止等重点措置を踏まえた今後の対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まん延防止等重点措置期間は、8月8日0時から8月31日24時まで</li> <li>・措置区域は、県東部・賀茂地域、静岡市及び浜松市</li> <li>・飲食店等及び大規模集客施設等への営業時間の短縮要請</li> </ul> <p>○協力金支給に関する市の事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者への周知、協力依頼…全日数（24日間協力店のみ対象とする）</li> <li>・協力金支給事務</li> <li>・店舗の見回り</li> </ul> <p>○公共施設の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の利用時間短縮等</li> </ul> <p>○営業時間短縮要請に係る県からの協力依頼</p> <p>(1)事業者への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界団体等を通じた周知…商工会議所、観光協会、飲食店組合、食品衛生協会に対し、8月6日付けで商工観光課から周知済。紙媒体を2,000部。短縮要請期間は、8月8日0時から8月31日24時までの24日間。対象施設は、飲食店、1,000㎡超の大規模集客施設。自粛時間は、20時から翌朝5時まで（※酒類提供は終日行わない）。協力金の詳細、申請方法は後日</li> <li>・市ホームページへの掲載：まん延防止等重点措置に係る静岡県の対応方針</li> </ul> <p>(2)店舗の見回り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（県）見回り調査要領及び日報：24日間に約800店舗を一周。20時以降に外</li> </ul>
----	--------	--

22	R3.8.7	<p>観から開店している店舗数、閉店している店舗数を報告。見回った件数を翌日午前前に報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見回り調査の方法：1日の調査件数の目安は、約33件。8月8日から1週間程度（以降は、県の委託業者が実施）。午後8時から9時までの1時間程度。調査人数は、1日2名。調査職員は8月10日から14日までコロナ室職員で対応。</li> </ul> <p>(3)協力金支給事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が外部委託により実施</li> </ul>
23	R3.8.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急事態措置区域に静岡県が追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県の対応方針（8月20日から9月12日まで）</li> </ul> </li> <li>○飲食店等への周知</li> <li>○公共施設の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉館、貸出中止、自粛要請、人数制限ほか</li> <li>・市庁舎の人流抑制対策</li> </ul> </li> <li>○市主催事業・共催事業の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、中止または見直し</li> </ul> </li> <li>○学校・幼稚園・保育園の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月26日から通常登校（オンライン授業対応あり）</li> <li>・給食は8月31日まで無し。以降は簡易給食を予定</li> <li>・幼稚園・保育園は9月1日から通常開園（ただしイベントは中止または延期）</li> </ul> </li> <li>○職員の出勤等への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に休暇取得を呼びかけ</li> </ul> </li> <li>○市民への広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長メッセージを配信</li> </ul> </li> </ul>
24	R4.1.13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内における陽性患者の発生状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月7日から増加傾向にある</li> </ul> </li> <li>○感染拡大に伴う市の対応 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)市民への広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オミクロン株対応の呼び掛け（市長メッセージ）</li> <li>・早期検査・早期受診</li> </ul> </li> <li>(2)公共施設の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口職員へガイドラインに沿った対応</li> </ul> </li> <li>(3)イベント等の対応</li> </ol> </li> <li>○ワクチン3回目接種 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月21日から順次3回目接種券を発送</li> <li>・接種開始は、2月1日から（5病院、33医院・クリニックで順次開始）</li> </ul> </li> </ul>



25	R4.1.24	<p>○市内における陽性者の発生状況（1月24日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・累計陽性者数：1,065人（令和4年1月：249人）</li> <li>・直近1週間 新規陽性者数：163人 人口10万人当たり：150.32人</li> </ul> <p>○まん延防止等重点措置の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県全域、1月27日から2月16日まで</li> <li>・飲食店への時短要請</li> </ul> <p>○まん延防止等重点措置適用に伴う市の対応</p> <p>(1)市民への広報</p> <p>(2)公共施設の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数制限、イベント中止、自粛要請ほか</li> </ul> <p>(3)飲食店への周知、協力依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回同様の形。ふじのくに認証店：497店</li> </ul>
26	R4.2.15	<p>○まん延防止等重点措置の延長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月15日県から国に対し静岡県全域を「まん延防止等重点措置の延長」要請</li> </ul> <p>○「市職員が陽性となった場合の公表基準」の見直し</p>
27	R5.3.1	<p>○三島市新型コロナウイルス感染症対策の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三島市新型コロナウイルス感染症対策（改訂案）</li> <li>・市施設における感染防止ガイドライン（改訂案）</li> <li>・市施設におけるマスク着用の考え方について</li> </ul> <p>○各種マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が「感染症法」上の5類感染症に位置づけられた時点（令和5年5月8日予定）で、以下のマニュアルの運用を停止。</li> <li>・新型コロナウイルス等発生時初動マニュアル</li> <li>・新型コロナウイルス等職員陽性者発生時初動マニュアル（庁舎の消毒に関する部分を除く）</li> </ul>
28	R5.5.10	<p>○新型コロナウイルス感染症5類感染症移行後の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場（施設）における対応方針（マスクの着用、飛沫防止カーテン・パーティション等について）</li> </ul> <p>○新型コロナウイルス感染症対策本部の廃止について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月10日をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止</li> <li>今後は部長会議で市の対応方針等を検討</li> </ul>

## 2 新型コロナウイルス感染症対策室の設置

### (1) 設置経過

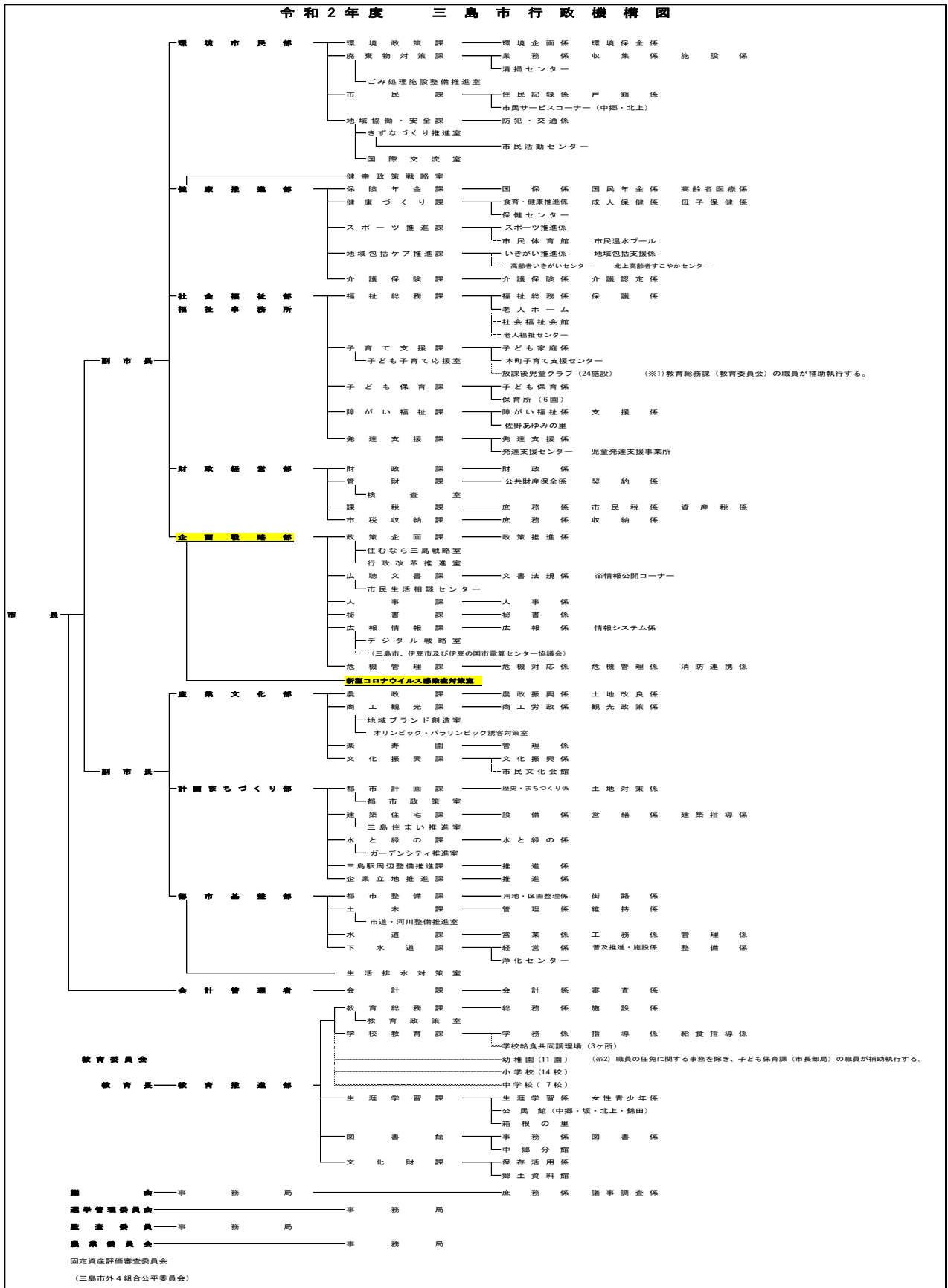
- ・令和2年4月27日 発足

14名にて運用開始したが、中小企業応援補助金の対応強化のため3名増員

- ・令和3年1月7日

新型コロナウイルスワクチン対応のため、ワクチン班を設置し増員

(2) 機構



## 第3章 市民生活への影響

### 1 地域経済や産業振興への影響

#### ① 観光事業について

三島市最大のイベント「三嶋大祭り」が、令和2年、3年と新型コロナウイルス感染症の影響により2か年連続中止となり、観光交流客数や域内消費が減少した。

三島市ふるさとガイドの会では、イベントの中止や観光客の減少、ガイドの活動の自粛により、市内各所のガイド案内の件数が大幅に減少した。

NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした三島市の観光PRとなる三嶋大社の節分祭イベントや、スカイウォークでのブース出展は中止となった。

また、「東京2020オリンピック・パラリンピック」における米国男子バレーボール代表との市民交流や聖火リレーミニセレブレーションの一般観覧等の中止により、市民がオリンピック・パラリンピックに親しむ機会が減少した。静岡県東部地区・伊豆地区で行われた「ロードレース」や「自転車競技」においては、観戦客には、直行直帰が呼びかけられた。

また、観光客の減少、テレワークの浸透や外出機会の減少等により公共交通（鉄道・バス・タクシー）利用者が大幅に減少し、公共交通業者は、大きな痛手を受けた。三島と羽田を結ぶ予定であった高速乗合バス「三島羽田シャトル」は、運行が延期された（令和5年7月21日から運行開始予定）。

楽寿園においては、「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」発令により、楽寿館ガイドツアーや動物ふれあい、乗馬体験等、例年実施していたイベントの多くが中止または縮小されたことから、年間入園者数は、令和元年度から令和3年度にかけて大幅に減少し、それに合わせ、入園料収入、大型遊具使用料収入、自動遊具使用料収入、駐車場使用料収入及び物品売払収入も大幅に減少となった。

#### ② 街中がせせらぎ事業について

毎月第1土曜日に開催の「ゴミ拾いツアー」は、外出自粛等により、軒並み中止となり参加者が減少した。

#### ③ 商工業振興について

コロナ禍以降、例年商店街などが実施するイベントの多くが、中止または縮小されたことに伴い、補助金額が減少傾向となった。

#### ④ 労働諸事業について

地元高校生の職業意識の形成と地元企業の人材確保を推進するため、例年2回実施していた高校生の地元企業見学会が中止または縮小となり、地元企業の情報収集の機会が減少した。

## 2 地域交流、絆づくりへの影響

### ① 自治会や団体等の活動について

人が集まることによる感染拡大への恐れから、各自治会での会議が書面決議により開催されたり、地域の運動会などのイベントが中止になったりするなど、地域における交流場面が大幅に減少し、地域のつながりが薄れてしまった。子ども会等による資源ごみの回収量が大幅に減り、このコロナ禍に合わせ資源ごみ回収を廃止した団体も発生した。

地域学校協働本部事業においては、地域の方々と子どもとが関わる活動が中止され、以前から参加している方の活動意欲の低下に拍車がかかってしまった。

養護老人ホームにおいては、地域のイベントへの参加や近隣の皆さんを養護老人ホームに招くことなどを取りやめた。

そのほかにも、令和2年度、3年度については、三嶋大祭りの中止により、「なかよしサンバ隊」の実施ができず、また、令和2年度については、「障がい者スポーツ大会」を中止し、事業所間の交流やスポーツ参加の機会が制限された。(令和3年度、4年度については、「障がい者スポーツ記録会」として事業所ごとに実施)

佐野あゆみの里では、令和2年度から令和4年度までの間、「佐野あゆみの里まつり」(令和4年度は施設関係者のみで実施)、「花笑み(新谷老人会)」との交流会や新谷自治会との避難訓練が見合わせとなり、地域交流や障がいのある人の福祉についての啓発が行えなかった。

老人憩いの家では、感染対策実施のため令和2年はほぼ閉鎖状態、令和3年においても10月まで閉鎖や使用制限を設けたため、利用者が減少した。

ボランティア団体、福祉施設やNPO団体が参加して活動の展示や製品の販売を行う「市民すこやかふれあいまつり」の開催をとりやめたため、団体間の親交を深めることができなかった。

## 3 健康、医療、福祉への影響

### ① 健康診査事業

国民健康保険被保険者や後期高齢者医療制度被保険者の特定健診や人間ドックにおいて受診控えがおこり、受診率の低下により精密検査が必要な人の受診につながらないことが危惧された。

### ② スマートウエルネスみしま推進事業

人数制限を設けてのイベントや運動教室を実施したが、緊急事態宣言中は、「みしまタニタ健康くらぶ」会員の歩数が全体的に減少したことから、健康二次被害が懸念された。

健康とスポーツ推進事業においては、屋内で行う運動教室を少人数で回数を増やした事業設計としたが、全体的に参加人数は伸び悩んだ。

### ③ 『2021 年度特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会』

令和 3 年 5 月三島市立北小学校において NHK ラジオ第 1 で全国に生放送される予定であった『2021 年度特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会』開催が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

### ④ 国民健康保険事業

企業の経営状況の悪化を受け、会社を退職するなどした国保加入者が増加し、反対に会社に就職するなどの国保からの脱退者が減少したため、コロナ前までの被保険者数の減少傾向が鈍化した。

また、出産育児一時金の支給が増加したが、妊娠出産に伴いコロナ禍による会社等の状況により社会保険の資格を喪失せざるを得なくなった女性が増えた可能性も考えられる。

なお、療養諸費・高額療養費・移送費については、緊急事態宣言等の発令時における医療機関の受診控えが起り、毎年増加傾向にあった 1 人当たり医療費が令和 2 年度には減少に転じた。しかし、令和 3 年度には受診控えの反動もあり、1 人当たり医療費が大幅に増加した。

### ⑤ 介護保険・介護予防事業、高齢者の生きがいづくり

介護施設の外部訪問制限が続いたため、介護サービス相談員の派遣について訪問回数が激減し、相談業務が停滞した。また、高齢者の増加に伴い介護給付全体で 5 % 強の伸びがみられている中、感染リスクへの懸念が予想されるが、介護保険サービスにおける通所サービスや短期入所サービス等で利用者が伸び悩むサービスがあった。

認知症サポーター等養成講座（認知症高齢者見守り事業）においては、事業の一部中止や人数を制限しての開催となり、認知症サポーター養成者数が減少した。

認知症カフェ事業及び老人クラブ事業では一部事業の中止や個別対応による開催となり実施回数や参加者が減少し、生きがい教室及び北上高齢者すこやかセンターでは状況に応じて休館や人数制限を行ったため、利用者数が減少した。

また、高齢者くらし相談室（街中ほっとサロン）では、密集を避けるため、来場者の滞在時間や人数を制限して事業を行い、緊急事態宣言の期間中は休館とした。

### ⑥ 生活保護事業

コロナの影響により、仕事を失うなど生活保護における相談・申請・決定の全ての件数が増加した。

### ⑦ 高齢者バス等利用助成事業

コロナ禍前と比較し、バス利用助成券の使用枚数が減少の状況となった。高齢者の行動控えが顕著となった。

## ⑧ 障がい福祉

令和3年8月、9月及び令和4年2月、3月は、身体・知的・精神の各障がいの当事者団体が実施している月1回の相談会が、緊急事態宣言やまん延防止措置等の影響により中止となったほか、令和4年1月26日から3月末までの間、毎週水曜日に市役所玄関ロビーで開催している障害福祉サービス事業所による「あったか手作り販売会」が、まん延防止措置の影響により中止となり、福産品販売の機会が減少した。

## 4 子育て（未就学児）への影響

### ① 幼稚園及び保育園、児童発達支援事業所

子どもの園での生活においては、マスクの着用や昼食時における黙食が実施された。また、プール遊びや外部団体等の行うイベント、交流会が縮小、中止になる等、制限があった。保護者については、参観会や運動会、卒園式等のイベントで時間の短縮、出席人数の制限や、登園前の親子の検温実施に協力をいただいた。

園の運営においては、親子の検温の確認や消毒の実施等新型コロナへの対応のため、職員の負担が増加した。特に、家庭において保育ができない子どもに保育を提供するという役割を持つ保育園においては、保育園の開所と休園によらない感染拡大の防止の両立を求められた。また、地域の未就園児向けに実施している園庭開放について、縮小あるいは中止とし、見学希望者には個別での対応を行った。

## 5 教育、文化への影響

### ① みしまイングリッシュ・ライブ

新型コロナウイルスの影響で中止になった「みしまイングリッシュ・キャンプ」に代わり、児童生徒は貸与されている1人1台端末で自宅から参加し、外国語指導助手（ALT）の英語指導を受けた。発信拠点の小学校と各家庭をオンラインでつなぎ英語を活用したコミュニケーションで交流した。

### ② 児童・生徒の状況

児童センターでは主催講座の多くが中止・縮小となったほか、通常利用においても感染症対策として時間や人数の制限を行ったことで、児童が遊びを通して健全な心身を育む機会が大幅に減少した。

クリエイティブシティ推進事業においては、小学校での絵本の読み聞かせが一部中止となり、子どもたちがクリエイティブ（創造的な）教育を受ける機会が減少した。

市内小中学校における自然教室や修学旅行等の集団宿泊的活動においては、中止や行先の変更、泊を伴う活動を日帰りに変更する等の影響があり、児童生徒が見聞を広め、自然や文化等に親しんだり、よりよい人間関係を築いたりする機会が減少した。

「しずおか寺子屋（みしま寺子屋）」事業においては、外部からの講師の学校訪問を控えるため、放課後学習支援の中止や縮小しての実施になった。

次世代リーダー育成事業では、幼児環境教育推進プロジェクト園児参加型プログラムの中止(令和2年度は12回中4回中止、令和3年度以降はコロナ影響なし)、令和2年度から令和4年度の中学生環境リーダー研修の開催を中止した。小学生対象の環境探偵団事業については、令和2年度は中止し、令和3年度以降開催方法を変更したが、令和3年度は縮小(4回中2回中止、令和4年度以降はコロナ影響なし)となった。

青少年育成事業においては、関係の講座が中止になるなど、小中高生への社会教育活動の場が大幅に減少し、青少年育成に影響を及ぼした。

箱根の里においては、感染拡大初期には、約4カ月間宿泊受入れを中止し、それ以降の期間についても受入れ可能人数を半数にしたほか、利用者を県内在住者等に限る等の対応をした。併せて、企画した主催イベントの多くを中止、もしくは規模を縮小したため、自然に触れ合う野外活動の体験機会を大幅に失った。

発達支援相談事業では、感染対策を徹底した上で小中学生やその保護者の相談業務を継続した。対面ではない相談を望む方には、電話での対応を行った。

### ③ 図書館事業

コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館の利用は事前に予約した図書・雑誌・視聴覚資料の貸出・返却のみとし、本館2階の学習室や、一部施設への移動図書館(愛称:ジータ号)の巡回を休止した期間があった。また、「おはなし会」や「図書館講座」など、主催事業の多くを中止したことで、読書推進の機会が減少した。

### ④ 各種文化事業

東京オリパラプログラム推進事業においては、市内在住アーティストによるワークショップが中止となり、地域の文化振興の機会が減少。また、名誉市民大岡信氏の業績を次世代へ引き継ぐ事業の中止により、地域の文化振興の機会が減少した。

さらに市民合唱祭や市民演劇祭の中止により、合唱や演劇団体が練習の成果を発揮する機会、市民が音楽や演劇を鑑賞する機会が減少した。

地域環境づくり推進事業においては、各地区のエコリーダーが実施する環境保全活動・環境講座・自然観察会等の中で、ちゃんかけ拾い&アート、環境パトロール、野鳥観察会の開催中止、ストップ温暖化推進協議会主催のキャンドルナイトみしまや富士山の日記念講演会が中止となり環境活動が停滞した。

### ⑤ 国際交流・多文化共生

姉妹都市交流推進事業においては、海外渡航ができないことから、パサディナ市やニュープリマス市、麗水市の姉妹・友好都市と研修生の派遣や受入ができず、市内青少年や教員の国際理解や多文化に触れる機会が減少した。また、三島市国際交流協会においては、事業を縮小または中止せざるを得ず、外国人住民同士や外国人住民と日本人が交流する機会が減少し、外国人住民が繋がりを感じ難くなった。

## 6 その他の事業等への影響

### ① 生涯学習センター管理事業

コロナウイルス感染拡大防止のため、施設利用人数の制限や臨時休館により、施設利用数が減少した。

### ② 消防団運営事業

消防団行事や各種訓練の中止・人数制限等により、出動回数が減少した。

各分団において勧誘活動をする機会が少なくなり、新入団員数が減少した。

### ③ 環境保全推進事業

三島地区環境保全推進協議会、狩野川水系水質保全協議会は、感染状況により会議をZOOM や書面決議で開催した。また、講演会や小学生を対象とした「水生生物観察会」など各種事業について、令和2年度は中止し、令和3年度は感染対策を講じて実施した。

### ④ 消費対策事業

三島市消費者連絡協議会において、視察研修やイベント等が中止となり、地域への情報発信ができなかった。

### ⑤ 佐野あゆみの里管理運営事業

令和2年度から令和4年度までの間、「佐野あゆみの里まつり」、「花笑み(新谷老人会)」との交流会や新谷自治会との避難訓練が実施できず、地域交流や障がいのある人の福祉についての啓発が行えなかった。

「佐野あゆみの里まつり」は、令和4年度、施設利用者とその家族等の関係者のみで実施し、関係者間の交流は図られたものの、近隣住民との地域交流等は行えなかった。

### ⑥ 防災関係普及啓発、教育事業

出前講座の申請件数の減少や中止、オンライン化等により、地域の防災訓練実施件数及び参加人数が減少した。

### ⑦ 駐輪対策事業

市営駐輪場の収入は新型コロナウイルスの感染拡大による外出機会の減少、学校のオンライン授業の導入、テレワークの普及などにより減少した。令和2年では、定期券の解約者が相次いだ。

### ⑧ 市民相談事業

年間84回計画している専門相談(市民法律相談、相続・登記相談、不動産相談)を数回、中止したことにより市民の相談機会(面談)が減少した。



⑨ 廃棄物対策事業

自治会等からの依頼により実施するごみに関する出前講座の開催件数が激減した。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、令和2年度の「三島の川をきれいに  
する奉仕活動」が中止となった。また、町内清掃を実施する自治会等が減少した。

## 第4章 対策4本柱 ※担当部署名は実施当時

### 1 感染症予防対策

#### (1) 新型コロナウイルスワクチン接種【新型コロナウイルス感染症対策室】

##### ① 集団接種（三島モデル、ドライブスルー）と個別接種

新型コロナウイルスワクチン接種は、三島市医師会の協力がなければ成し得ない事業であった。

ワクチン接種については、令和3年1月に健康づくり課内に予防接種チームを設置し、集団接種体制について三島市医師会と相談、打合せを行い、集団接種実施について三島市医師会から承認を得た。その後、三島市医師会の予防接種担当医師との打合せを行い、集団接種を実施するには、多数の被接種者及び自家用車を受け入れることが可能な場所が必要となった。

打合せ当初は、広さと駐車場に優れた三島市民体育館や中郷・北上・錦田・坂等の公民館、また、静岡県総合健康センターが集団接種候補地に挙がった。しかし、三島市民体育館は指定管理者による運営であり、既にかなり先までの予約や行事が入っているため困難との回答、市民文化会館及び生涯学習センターについては、駐車場の確保が困難、中郷・北上・錦田・坂等の公民館は、既に各地域における行事や教室等の予約が入り難い、さらに静岡県総合健康センターについては、三島市の施設でなく静岡県の施設であるため三島市だけの貸し出しはできないとの回答が返ってきた。

そこで、1・2回目の接種場所について、広さと駐車場が確保でき市民の誰もがわかる市内小中学校の案が出され教育長へ要請したところ、中学校は部活動があるため困難であるが、市内全小学校の14校の使用を認められ、小学校の体育館と駐車場として運動場の提供が得られた。さらに、土日だけでなく、平日の授業がある時間帯についても使用許可がなされ、接種可能人数や駐車場の確保を気にすることなく、接種人数を増やすことができ、短期間で集中した接種体制とすることができた。市民も遠方での接種でなく、近隣の小学校で接種ができたことはメリットであった。

接種会場でのプライバシー確保とスムーズな動線を確保することが課題であったが、第一段ボール株式会社様より段ボールとターンクリップを使用した簡易的な個別ブースを設置する提案をいただき、体育館内での集団接種に対応することができた。被接種者が個別ブース内で着席し、移動することなく問診から経過観察までを可能としたワクチン接種方法を「三島モデル」と名付け、令和3年3月4日に「シニアクラブ三島」の皆さまに協力いただき錦田小体育館においてシミュレーションを実施した。集団接種ながら個別ブースがあることでプライバシーが守られ、また、着席したままで終了することなどから好評を得ることができた。

令和3年4月24日に市内医療従事者（約240人）関係者へのワクチン接種を「三島モデル」を用いて長伏小学校体育館にて実施した。

市民を対象とした集団接種は、令和3年6月より市内各小学校体育館において60の個別ブースを設け「三島モデル」を実施した。問診及び接種していただく医師および看護師

が各ブース間を移動することとなったため、熱い中大変な負担をおかけしたが、そのご尽力のおかげで、高齢者の市民の負担は少なく接種をすることができた。

また、接種対象者の増加に伴い小学校での集団接種だけでは追いつかず、市内 5 病院（三島総合病院、三島中央病院、三島東海病院、芹沢病院、三島共立病院）での個別接種も開始した。

8 月、小学校体育館では熱中症の危険性が潜んでいたため、集団接種会場を冷房設備のある生涯学習センター、中郷・北上文化プラザ及び保健センターに変更してワクチン接種を実施した。

3 回目接種は 5 病院、40 以上の医療機関の協力をいただき、個別接種をメインとして実施した。なお、冬季であったため、小学校体育館の利用は行わず、生涯学習センター、中郷・北上文化プラザ及び保健センターにおいて暖房設備を使い実施したが、若年層の接種希望者が予想を下回る数であったため、中止する集団接種会場も存在した。

令和 4 年 6 月より始まった 4 回目接種は、初めて対象者が限定され、高齢者及び医療従事者等となった。また、64 歳以下の基礎疾患のある方も対象となったため、対象となる方については申請方式で接種券を発行した。しかし、9 月よりオミクロン株対応 2 価ワクチンが用意され、対象者も 12 歳以上となり、その後、高齢者等も 5 回目接種として接種することとなり、12 歳以上の人一人 1 回、オミクロン株対応 2 価ワクチンを接種することとなった。新型コロナウイルス感染者が増加したことにより接種希望者が増加したが、5 病院、40 以上の医療機関の協力をいただき個別接種にて対応することができた。

なお、初回接種等を逃していた市民には、毎月第 1 土曜日午後に保健センターにて枠を設け、医師 2 名に協力をいただき対応した。

また、自力歩行が難しい方や精神疾患を有する方を対象としたドライブスルー方式による接種は、駐車場と雨除けが利用できる小学校（北・東・長伏）を利用し実施した。

保健センターにおいてもドライブスルー方式を実施したが、当日雨天の場合は、隣接の山本建設様の駐車場借用をお願いした。

#### ○新型コロナワクチン接種の予約システムにおける予約登録数

年	月	接種予約数	備考
令和 3 年	4 月	0	
	5 月	0	
	6 月	26,171	集団接種開始
	7 月	30,456	
	8 月	22,286	12 歳～中学生の個別接種開始
	9 月	26,077	
	10 月	22,501	12 歳～中学生の集団接種開始
	11 月	5,260	
令和 4 年	12 月	759	
	1 月	1,195	3 回目個別接種開始
	2 月	19,368	

	3月	18,176	5～11歳の小児の個別接種開始
	4月	11,132	5～11歳の小児の集団接種開始
	5月	5,869	
	6月	2,322	4回目個別接種開始
	7月	13,570	ノババックスワクチン接種開始
	8月	12,713	
	9月	2,859	オミクロン株対応（BA.1）2価ワクチン接種開始
	10月	3,730	
	11月	14,672	秋開始接種（オミクロン株対応（BA.4/5）2価ワクチン） 生後6か月～4歳の乳幼児の個別接種開始
	12月	16,127	
令和5年	1月	5,852	
	2月	1,115	
	3月	663	
	4月	280	
	5月	8,866	春開始接種（オミクロン株対応（BA1）2価ワクチン）

○新型コロナワクチンの接種状況

年月	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	総計
令和3年4月	2,139	508				2,647
5月	2,608	2,813				5,421
6月	25,758	5,297				31,055
7月	12,126	25,635				37,761
8月	16,878	13,115				29,993
9月	16,344	17,638				33,982
10月	10,254	16,664				26,918
11月	629	4,854				5,483
12月	446	356	271			1,073
令和4年1月	267	354	3,704			4,325
2月	235	284	23,982			24,501
3月	987	230	21,763			22,980
4月	556	1,134	11,518			13,208
5月	244	361	6,160			6,765
6月	121	194	2,385	240		2,940
7月	192	150	1,614	14,620		16,576
8月	178	176	1,738	14,289		16,381
9月	104	169	563	3,313		4,149
10月	51	66	859	3,268	8	4,252
11月	129	39	681	8,027	10,052	18,928
12月	166	137	654	6,070	13,212	20,239
令和5年1月	76	134	473	2,563	3,870	7,116
2月	50	65	286	513	487	1,401

3月	31	46	238	296	147	758
4月	7	25	74	163	40	309
計	90,576	90,444	76,963	53,362	27,816	339,161

## ② コールセンターの設置

コールセンター設置については、「0570」で始まるナビダイヤルの利用を選択したことから、携帯電話からの架電では、高額負担となるデメリットが存在し、一部の市民の方からお叱りも受けたが、接種券送付やワクチン接種の予約を途切れさせることができなかつたため、現在も継続して利用している。コールセンター設置の導入当初に「0120」の着信側負担のフリーダイヤルの検討も必要であった。

ワクチン接種予約の当初においてインターネットを利用しての予約も可能とし、コールセンターの席数も十分と考えていたが、対象が高齢者であり、予約のために接種券を開封して接種券番号を伝えること、希望する接種場所及び日時を伝えることなど、1件当たりの会話における時間を相当必要としたため、コールセンターにつながらず、保健センターや市役所内各部署に苦情等、多くのご意見が寄せられた。

## ○コールセンターの入電受付数（予約、問合せ等）

コールセンター設置	席数	月	受付数	備考
令和3年 4月19日～	10席	4月	1,367	接種券発送（65歳以上対象）
		5月	7,822	高齢者（65歳以上）の1・2回目予約開始 接種予約受付開始（対象：65歳以上）
令和3年 6月14日～	13席	6月	12,494	接種券発送（60～64歳）続（50～59歳） 接種予約受付開始（対象：50歳～）
		7月	5,900	接種券発送（49歳以下）
令和3年 8月1日～	10席	8月	8,690	接種予約受付開始（対象：45歳～） 小児接種予約受付開始（12～18歳） 接種予約受付開始（対象：40歳～） 妊婦とその同居家族の優先接種の予約開始 接種予約受付開始（対象：35歳～） 接種予約受付開始（対象：30歳～）
		9月	4,824	接種予約受付開始（対象：19歳～）
令和3年 10月1日～	8席	10月	2,155	
		11月	1,069	
令和3年 12月1日～	5席	12月	758	
		1月	2,517	3回目接種予約受付開始 3回目接種券発送（順次）
令和4年 2月1日～	15席	2月	11,178	
		3月	4,883	
令和4年 4月1日～	5席	4月	2,561	
		5月	1,146	

令和4年 6月20日～	10席	6月	3,293	4回目接種予約受付開始
		7月	7,860	
令和4年 8月1日～	5席	8月	3,073	
		9月	1,165	
令和4年 10月20日～	10席	10月	5,222	5回目接種予約受付開始
令和4年 11月20日～	5席	11月	8,848	
		12月	2,869	
令和5年 1月1日～	3席	1月	1,262	
		2月	352	
		3月	212	
		4月	788	

### ③ 高齢者タクシー券の送付

75歳以上の方を対象に、自宅と接種会場を往復するタクシー券を交付し、移動を支援した。(1～4回目接種)

1回につき、初乗り(1.2kmまで)600円を上限とし、4回目接種までに8回分を交付した。

なお、5回目以降については、かかりつけ医の個別接種での対応を主としたため、タクシー券交付は終了とした。

#### ○ 利用状況

- ・初回接種(1、2回目接種)では、約18,000人に送付し、利用者は約3,000人(1回目1,500人、2回目1,500人)
- ・3、4回目接種での利用者は、約2,500人(3回目1,300人、4回目1,200人)

#### ○ タクシー会社

「静岡県タクシー協会沼津三島支部」及び「沼津市個人タクシー協同組合」「株式会社風」、「特定非営利活動法人 ひとみ」、「福祉サービス・エンゼルランプ合同会社」

### ④ 「お助け隊」の設置

「ワクチン接種券が送られてきたがどのようにすればよいかわからない」、「スマートフォンは持っているが、予約の仕方がわからない」等の方を対象に、スマホタブレットアドバイザー等による支援体制(「お助け隊」)を令和3年5月6日から設置し、インターネットによるワクチン接種の予約について、スマートフォン等の操作方法の説明や予約の支援を行った。当初は、市役所本館の会議室で支援していたが、大勢の人が集まり「密」の状態になる恐れがあったため、急遽、中央町別館に場所を移し、相談・支援活動を実施した。

また、市役所に来庁できない外出が困難な高齢者に対しては、「お助け隊」に所属する民生児童委員、地域包括支援センターの職員、介護支援専門員(ケアマネジャー)等の皆様にご協力いただき訪問等の際にワクチン予約の支援を行った。

「予約窓口の設置」については、先に述べたコールセンターがつながりにくい状況が発

生したことによる予約時の混乱防止のため、予約通知はがきを年齢の高い順に発送し、窓口にて予約を受け付ける体制を準備した。予約窓口は、中郷・北上文化プラザ、社会福祉会館及び保健センターに日時を指定のうえ設置し、接種予約の援助を行った。

## **(2) 新型コロナウイルス地域外来・検査センターの設置【健康づくり課】**

令和2年8月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、三島市医師会の協力のもと、「三島市新型コロナウイルス地域外来・検査センター」を設置し、ドライブスルー方式によるPCR等検査を実施した。さらに、翌年1月からは、「65歳以上の市民」及び「市内社会福祉施設従事者」を対象にPCR社会的検査を実施、同年9月実施分から年齢要件を廃止し、検査対象者を全年齢に拡充した。

## **(3) 新型コロナ感染症対策用の消耗品等の購入【健康づくり課・危機管理課】**

非接触式体温計、医療用N95マスク、使い捨て医療用エプロン、フェイスシールド及び体温計測カメラ、消毒液等を購入し、ワクチン接種会場や各公共施設で使用し、感染対策を行った。感染症発生当時はこれらの物品は品薄となり、値段が高騰した。

《医療従事者、社会福祉施設関係者等への温かい支援》

国内においてマスクや消毒液の不足、政府が打ち出した1世帯に2枚の布マスクが届かない等の状況の中、多数の事業所や団体からマスクや消毒用アルコール等の寄贈を受け、医療従事者、社会福祉施設関係者等への温かい支援をいただいた。

## **(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金【商工観光課】**

三島市からの休業協力要請や静岡県からの休業要請に応じた対象事業者に協力金を給付し、感染拡大防止を図った。

「静岡県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」は、県の休業要請に応じたキャバレー、ナイトクラブ等に対し、協力金を給付した。また、県の休業要請対象施設以外で市町が独自に休業要請を行った場合、市町が事業者に交付した経費の一部を県が負担した。支給条件を満たした店舗は741店、給付額は299,200千円であった。

## **(5) その他、各課や施設における感染対策**

各課や公共施設においては、感染拡大防止のため、イベントや施設利用等の中止、制限を実施する他、オンラインを活用した会議の実施等、様々な感染対策に取り組んだ。

主な取組みについて下記に掲載する。

### **① 避難所等における対策【危機管理課】**

「いつ何時、災害が発生するか、わからない」ため、避難所における新型コロナウイルス対策用の衛生用品等（不織布マスク、袖付きガウン、防護服、非接触式体温計、ワンタッチパーテーション）を購入した。

また、避難所となる小中学校体育館において換気機能の向上及び平時における学校児童等の熱中症対策のため、スポットクーラーを購入して対策準備を進めた。

さらに、災害時等の活動拠点となる消防団詰所において換気機能の向上を図るため、エアコン修繕や空気清浄機の導入を行った。

② 保育園・幼稚園・子育て支援施設等における対策【子ども保育課・子育て支援課】

保育園、幼稚園や地域子育て支援センター等子育て支援施設に対し、不織布マスクや消毒液等の新型コロナ対策のための消耗品や備品等の購入の支援を行った。

また、保育園、幼稚園での新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、抗原検査簡易キットを配布した。

さらに、幼稚園での換気機能の向上と平時における熱中症対策のため、市立北幼稚園では空調設備の改修を行った。

③ 小中学校等における対策【教育総務課】

小中学校や放課後児童クラブに、フェイスシールドや消毒液等をはじめとした感染症対策の消耗品・備品等を購入したほか、換気をしたうえでの授業や児童クラブの運営となることから、子どもたちが体調を崩さないよう、熱中症対策のための教室等へのエアコンの設置や、効果的な換気を行うための扇風機の設置等を行った。

さらに、学校内での新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための、抗原検査簡易キットを配布した。

④ 公共交通における対策【地域協働・安全課】

公共交通機関においての感染リスクの低減や利用者の利便性向上を目的として、市内で運行している路線バスの交通系 IC カード決済機器やバスロケーションシステムの整備を支援した。(路線バス IT 化整備事業費補助金)

- ・交通系 IC カード決済機器の導入：交通事業者 2 社

- ・バスロケーションシステムの導入：交通事業者 1 社及び市自主運行バス路線 2 路線

⑤ 自治会・町内会活動における対策【地域協働・安全課】

活動を再開しようとしている自治会や町内会等に対し、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的に非接触式温度計を購入して配布や貸出しを行った。

⑥ 窓口業務のデジタル化【広報情報課】

行政窓口における密集や密接を回避するため、出来る限り ICT 化することにより、混雑の要因となる住民異動手続き等の来庁者に対し、待ち時間や滞在時間の削減および書類記入の負担軽減を図った。

⑦ 情報発信【広報情報課】

新型コロナウイルスの感染防止に関する情報、ワクチン接種に関する情報、アフターコ



ロナに向けた三島市の取り組みや支援情報等についてコミュニティ FM ラジオ (VOICE CUE) やホームページ、デジタルサイネージ等、あらゆる情報ツールを活用して市民に発信した。

#### ⑧ 介護サービス事業者の支援【介護保険課】

新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高い中で、介護サービス事業者がサービスを維持していくことに対して、予防及び感染拡大防止に係る支援金を支給するとともに、衛生用品を提供した。

- ・ 支援金支給について
  - ・ 10 万円×25 法人 (市内に 1 事業所)
  - ・ 20 万円×33 法人 (市内に 2 事業所以上)

- ・ 衛生用品の提供について  
配布内容

年月日	内容	数量	対象
R2. 3. 6	サージカルマスク	300 枚	県の調査結果から、マスク在庫の残日数が 7 日未満の高齢者施設
R2. 4. 3	不織布マスク (県備蓄)	2, 100 枚	県の調査結果から、マスク在庫の残日数が 60 日未満の高齢者施設
R2. 5. 14	不織布マスク (危機管理課購入)	7, 200 枚	市内訪問系・通所系介護保険事業所
R2. 5. 19	不織布マスク (寄附採納)	10, 000 枚	訪問介護事業所 (在宅ヘルパー連絡会を通じて配布)
R2. 5. 26	不織布マスク (麗水市寄贈)	15, 000 枚	市内介護保険施設、訪問系・通所系介護保険事業所、福祉用具貸与・販売事業所、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅
R2. 6. 5	不織布マスク (寄附採納)	10, 000 枚	マスクが不足している市内介護保険事業所・高齢者施設
R2. 6. 5	エプロン (健康づくり課購入)	120 枚	市内訪問看護事務所 (医師会除く) 6 事業所

#### ⑨ 高齢者介護予防支援【健幸政策戦略室・地域包括ケア推進課】

65 歳以上の高齢者を対象とした、健康二次被害防止のため、日々の運動不足やフレイル予防に向けた健幸マイレージ事業として「コロナに勝とう！」ポイント事業を実施した。応募数は、延べ 7,035 枚であった。

##### 【ポイントの対象となる取り組み】

- コ → 口腔ケア
- ロ → ロコトレ
- ナ → 仲間と連絡をとる
- ニ → 日記をつける等認知症予防を意識する
- カ → 感染予防をする
- ト → とにかく筋肉・骨を減らさない

- ウ → ウオーキングをする
- ！ → 刺激をみつける

(応募受付期間：令和2年7月15日～令和2年11月末)

⑩ 居場所・地域サロンへの支援【地域包括ケア推進課】

市内で活動する居場所・サロンなど、住民主体の通いの場に対し、活動再開及び運営継続のための衛生管理に要する費用の一部を支援した。

・5万円×110団体

⑪ 高齢者いきがいセンターエアコン改修【地域包括ケア推進課】

高齢者いきがいセンター研修室の空気環境を衛生に保つために空気清浄機能付きエアコンの改修を実施した。

⑫ 三島市スポーツ少年団への支援【スポーツ推進課】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る経費として市内スポーツ少年団1団体につき5万円を交付して支援を行った。

・5万円×34団体

⑬ 市民体育館・温水プール等の対策【スポーツ推進課】

換気設備の修繕やサーマルカメラ、パーティション（体育館トレーニングルーム用）、消毒液などを購入して感染対策を行った。また、学校体育施設開放事業においては、利用者用として消毒液等を購入して感染対策を行った。

⑭ 障害福祉サービス事業者への支援【障がい福祉課】

新型コロナウイルス感染症の予防と感染症拡大防止策に取組み、感染リスクが高い状況下において引き続き事業を実施している障害福祉サービス事業者に対して、支援金を支給した。

・10万円×29法人（市内に1事業所）

・20万円×10法人（市内に2事業所以上）

⑮ 対面受付から郵送申請への変更【障がい福祉課】

窓口等で対面にて集中受付を行っていた障がい福祉に関する事業について、感染拡大防止のため料金受取人払郵便を活用して、申請書を送付する際に返信用封筒を同封し、郵送による申請に変更した。

（対象事業 重度心身障害者援護金、重度心身障害児・者医療費助成金）

⑯ 選挙における対策【選挙管理委員会事務局】

選挙開票事務において人員を削減することで開票所における密集状態を緩和すること

を目的として、自動読取分類機を導入した。

また、選挙執行に当たり、期日前投票所及び投開票所における新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐため、消毒液等を購入して対応した。

対象とした選挙は、

- |               |                |
|---------------|----------------|
| ・令和3年6月20日実施  | 第20回静岡県知事選挙    |
| ・令和3年10月24日実施 | 参議院静岡県選出議員補欠選挙 |
| ・令和3年10月31日実施 | 第49回衆議院議員総選挙   |
| ・令和4年7月10日実施  | 第26回参議院議員通常選挙  |
| ・令和4年12月18日実施 | 第21回三島市長選挙     |
| ・令和5年4月23日実施  | 第20回三島市議会議員選挙  |

※令和5年4月9日実施の第20回静岡県三島市県議会議員選挙は無投票

#### ⑰ 青少年団体活動への支援【生涯学習課】

市内で青少年を対象に社会活動を行う団体に対し、感染拡大防止対策を講ずる経費として支援金を交付した。

- ・ボーイスカウトや子ども会等 5万円×77団体

#### ⑱ 生涯学習センター及び市内公民館等における対策【生涯学習課】

生涯学習センター空調フィルターやサーモカメラ等を購入し、感染症対策を行った。

また、生涯学習推進イベント用感染症対策のアルコール消毒液等を購入、坂公民館において新型コロナウイルス感染拡大防止のため空調設備の改修実施、中郷文化プラザ空調フィルター・サーモカメラ等購入、北上文化プラザ管理用感染症対策消耗品購入、錦田・坂公民館利用者・来館者感染症対策消耗品購入、児童センター及び生涯学習センター料理講習室にアクリル板パーティションを購入した。

#### ⑲ 図書館における対策【図書館】

図書館において感染症拡大防止対策のための手指消毒用アルコール、飛沫防止パーティション、書籍除菌機用の紫外線ランプなどを購入し対策を図った。

#### ⑳ 市民文化会館における対策【文化振興課】

市民文化会館において感染症拡大防止対策のための消毒液等の消耗品、パーティション及び体温計測カメラを購入し対策を図った。

#### ㉑ 楽寿園における対策【楽寿園】

楽寿園正門及び駅前口の2か所にサーマルカメラを設置した。また、手指用消毒スプレー及び不織布マスクを購入して入園者に協力をいただいた。

#### ㉒ 市役所庁舎内等における対策【公共財産保全課・危機管理課・人事課】

庁舎内における感染症拡大防止のため、サーマルカメラや空気清浄機、CO2濃度測定

器を庁舎内の各所に設置したほか、手指消毒用アルコール、飛沫防止用ビニールシート等の消耗品を購入した。また、庁舎内コンタクトポイントの消毒を重点的に行った。

市ホームページを利用して新型コロナウイルス感染予防に向けた職員の時差勤務等の実施や市職員の新型コロナウイルス感染の情報について周知した。

職員採用試験や職員研修における感染症拡大防止のため必要なパーティション等の物品を購入した。

なお、職員採用試験等については、感染症拡大防止を図り実施した。

### ②③ 発達支援センターにおける対策【発達支援課】

倉庫にエアコンを設置し、相談室を増室した。相談室が増えたことにより各相談室の使用頻度を分散するとともに使用後の消毒を徹底することができた。また、飛沫防止のため、相談室にパーティションを設置して、感染症拡大防止対策を行った。

### ②④ 相談業務における感染症拡大防止対策【広聴文書課・地域包括ケア推進課】

飛沫防止と換気のため、相談室及び窓口にパーティション、サーキュレーター、空気清浄器等を設置して感染症拡大防止対策を行った。また、地域包括ケア推進課では、家庭訪問等において個別支援を継続するため、防護服セット、消毒、衛生用品や清掃関連用品等を購入し、感染症対策を徹底して介護サービス提供支援を行えるよう環境整備を行った。

### ②⑤ 申告、納税相談等における対策【課税課・市税収納課】

税務関係証明発行、納税義務者窓口対応、住民税申告受付時や納税相談等においての感染症拡大防止のため消毒用アルコール、飛沫防止用ビニールなどを購入した。

### ②⑥ コンビニ交付での証明書発行【市民課】

市民課ロビーにおける密を避けるよう、令和4年度に、コンビニ交付が可能となる証明書を増やすとともに、窓口交付と比較して交付手数料を減額した。

## 2 生活安定対策

### (1) 特別定額給付金給付事業【新型コロナウイルス感染症対策室】

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）において感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うこととなった。給付対象者は、全国統一の基準日である令和2年4月27日において住民基本台帳に記録されている者とした。

申請方法については、感染拡大防止の観点から、国が「Ⅰ 郵送申請方式」、「Ⅱ オンライン申請方式」を示し、オンライン申請方式については、国がマイナンバーカードを使用するマイナポータルを拡充し、整備を行ったが申請の操作が複雑なため、より簡易な電子申請「しずおか電子申請サービス」を市独自に整備し、併せて申請受付を実施した。

なお、原則、窓口受付は感染拡大防止のため行わないこととした。

- ・対象者1人につき100,000円の特別定額給付金を給付
- ・しずおか電子申請受付件数：7,027件
- ・ぴったりサービス受付件数：1,397件
- ・給付者数：109,056人（99.8%）

## (2) 子育て支援

### ① 特別給付金【子育て支援課】

子育て世帯に対し、子育て負担の増加や収入減少に対する支援として給付金を給付した。

- ・【R2年度実施】子育て世帯臨時特別給付金  
中学生以下の児童1人につき1万円  
対象児童12,748人
- ・【R2年度実施】児童扶養手当受給者に対する臨時特別給付金  
児童扶養手当受給者高校生以下の児童1名につき2万円  
対象児童988人
- ・【R2年度実施】ひとり親世帯臨時特別給付金  
児童扶養手当受給者等高校生以下の児童1人目5万円、2子以降3万円  
[基本給付]  
児童扶養手当受給者664世帯×5万円+339人×3万円(第二子以降分)  
公的年金等受給者20世帯×5万円+14人×3万円(第二子以降分)  
家計急変者49世帯×5万円+26人×3万円(第二子以降分)  
[追加給付]  
児童扶養手当受給者、公的年金等受給者で収入減少の者331世帯×5万円
- ・【R2年度実施】ひとり親世帯臨時特別給付金（再支給）  
児童扶養手当受給者等高校生以下の児童1人目5万円、2子以降3万円  
[基本給付]  
児童扶養手当受給者664世帯×5万円+339人×3万円(第二子以降分)  
公的年金等受給者20世帯×5万円+14人×3万円(第二子以降分)  
家計急変者49世帯×5万円+26人×3万円(第二子以降分)
- ・【R3年度実施】子育て世帯生活支援特別給付金  
児童扶養手当受給者等（ひとり親世帯分）  
児童1人につき5万円×990人  
住民税非課税世帯等であって高校生以下の児童の養育者（ひとり親以外の世帯分）  
児童1人につき5万円×789人
- ・【R3年度実施】子育て世帯臨時特別給付金  
高校生以下児童1人につき5万+5万の10万円×14,269人
- ・【R4年度実施】子育て世帯生活支援特別給付金  
児童扶養手当受給者等（ひとり親世帯分）  
児童1人につき5万円×923人

住民税非課税世帯等であって高校生以下の児童の養育者（ひとり親以外の世帯分）  
児童 1 人につき 5 万円×825 人

- ・【R4 年度実施】子育て世帯臨時特別給付金（繰越分）  
高校生以下児童 1 人につき 5 万+5 万の 10 万円×428 人
- ・【R4 年度実施】子育て世帯物価高騰特別給付金  
中学生以下児童 1 人につき 1 万 2 千円×13,327 人

② 出産祝金支給【子育て支援課】

出産時に祝金を支給した。第 1 子の場合は 1 万円、第 2 子の場合は 5 万円、第 3 子以降の場合は 15 万円

③ 妊産婦支援【健康づくり課】

感染症が拡大する中、不安を抱える妊産婦の心労を見舞い安心して産前産後を過ごしてもらおう一助として支援金を給付した。（事業期間：令和 2 年 7 月 29 日～令和 3 年 3 月 31 日）

- ・妊婦特別支援給付金：対象者 1 人につき 5 万円 → 454 人に給付
  - 1) 令和 2 年 4 月 28 日時点で妊娠している市民
  - 2) 令和 2 年 7 月 1 日までに母子健康手帳交付を受けている市民

④ 子ども配食支援事業【子育て支援課】

子どもへの配食を業者へ委託し、委託料を支払う。（自己負担 200 円、市負担 400 円）

⑤ 放課後児童クラブ使用料減免事業【教育総務課】

令和 2 年 4 月及び 5 月の学校一斉休業に伴い休所とした期間に応じて、放課後児童クラブの使用料の減免を行った。

⑥ 新型コロナウイルス感染症にかかる保育料の還付【子ども保育課】

感染拡大防止のため休園及び登園回避を行った日数に応じ、保育料を還付した。  
また、施設にて保護者から保育料を徴収する認定こども園及び小規模保育事業所についても、保護者へ保育料の還付を行い、施設の保育料の減収分を市から補填した。

(3) 生活困窮者等への支援【福祉総務課】

① 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の長期化により生活が逼迫する住民税非課税世帯等に 1 世帯あたり 10 万円を給付した。

- ・令和 3 年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金  
基準日（令和 3 年 12 月 10 日）において世帯全員の令和 3 年度分の住民税均等割が非課税である世帯又は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 3 年 1 月以降に家計が急変し、非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯

- ・令和4年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金

基準日（令和4年6月1日）において世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯又は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年1月以降に家計が急変し、非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯

## ② 住居確保給付金給付事業

コロナ禍における生活安定支援対策として、事業経営の悪化、就労機会の減少等により収入が減少し、住居の喪失又はその恐れのある人に対して家賃支援を行った。

## ③ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業

総合支援資金の再貸付が終了するなどにより特例貸付を利用できない世帯に支援金を支給し、就労による自立や円滑な生活保護の受給につなげた。

## ④ 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

物価高騰による負担増をふまえ、基準日（令和4年9月30日）において世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯又は物価高騰の影響により、令和4年1月以降に家計が急変し、非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯を対象に1世帯あたり5万円の給付を実施した。

## (4) 緊急食料支援事業【福祉総務課】

令和3年から、利用者の安否確認に資することを目的として、新型コロナウイルス感染症の陽性者になり自宅で療養された方のうち、有症状で自宅に食料がなく、親族や周りの方の支援も困難な方に対し、食料支援を実施した。内容は、弁当の宅配により朝・昼・夕食の提供及び安否の確認を行った。なお、静岡県の行っている食料支援との併用は不可とした。

## (5) 水道料金支援事業【水道課】

コロナ禍における原油価格や物価高騰に対する市民生活の負担軽減の緊急対策として、水道の基本料金を2カ月分免除した。（対象：令和4年11月、12月検針分）

## (6) 市税の減免や軽減措置等の対応【課税課】

各市税において、減免や軽減措置等の対応を行った。

## ① 国民健康保険税

令和2年度から令和4年度の国民健康保険税について、世帯の生計維持者が死亡又は重篤な傷病を負った世帯については全額免除としたほか、各年の事業収入等の減少が前年と比較して30%以上見込まれる世帯の方については保険税の一部（20%から全額）を免除した。

## ② 固定資産税・都市計画税

令和2年2月～10月までの任意の期間の連続する3か月の期間の事業収入の合計が前年同期と比較して30%以上減少している中小事業者にあつては、当該減少の割合に応じ当該所有する償却資産及び事業用家屋に対する令和3年度固定資産税・都市計画税について一定割合（1/2、全額）を軽減した。

## ③ 固定資産税・都市計画税

令和3年度については、負担調整措置等により課税標準額が増加する全ての土地において前年度の課税標準額を据え置く措置を講じ、また令和4年度については、負担調整措置等により課税標準額が増加する土地の内、商業地に限り、課税標準額の上昇幅を2.5%（現行5%）とする特別な措置を講じた。

## ④ 軽自動車税

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から3月末に窓口での申請手続きが集中することを回避するため、申請の根拠となる事由が3月中に発生したと確認でき、かつ、軽自動車検査協会への届出が15日以内に行われた場合、届出日が賦課期日の4月1日を過ぎていても3月に手続きをしたものとして、軽自動車税（種別割）課税処理に反映させた。

## ⑤ 市県民税

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった文化芸術イベント等のチケットの払戻しを受けないことを選択された方は、その金額分を「寄附」とみなし、寄附金控除を受けられる措置を講じた。

法人税において、新型コロナウイルス感染症の影響により、期限までに申告等が困難な法人に対して申告納付期限の延長が認められたことに伴い、法人市民税においても同様の措置を講じた。

また、確定申告の申告期間及び納付期限が延長されたことに伴い、コロナ禍での外出や接触を防ぐ観点から市県民税の申告期間を1か月間延長した。延長期間中は原則郵送での申告受付とした。

なお、個人市民税については、令和2年中の個人所得の減少により、令和3年度個人市民税に係る調定額の減少、法人市民税については、法人の減収・減益（決算、見込み）により、令和3年度法人市民税に係る調定額の減少となった。

## （7） その他、各課における支援

### ① 地方税の納付を猶予する特例【市税収納課】

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入に相当の減少があつた個人・法人の地方税について、無担保かつ延滞金なしで1年間、納付を猶予する特例が地方税法の改正により設けられた。「令和2年2月1日～令和3年2月1日」に納期限を迎える税目を対象とし、適用件数は152件であつた。



## ② 介護保険料の減免【介護保険課】

介護保険料の減免をうけられる制度を市ホームページなどで周知し、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等があった65歳以上の被保険者や、世帯の主たる生計維持者が死亡、または重篤な傷病を負ったなどの被保険者の介護保険料を減免した。

## ③ 後期高齢者医療保険料の減免【保険年金課】

後期高齢者医療保険料の減免をうけられる制度を静岡県後期高齢者医療広域連合や市ホームページなどで周知し、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等があった75歳以上の被保険者等や、世帯の主たる生計維持者が死亡、または重篤な傷病を負ったなどの被保険者の後期高齢者医療保険料を減免した。

## ④ 傷病手当金支給事業【保険年金課】

国保の被保険者で被用者であり、新型コロナウイルス感染症に感染するなどしたために労務に服することができず給与等の全部または一部を受けられなくなった者に対して、傷病手当金を支給した。

## ⑤ 物価高騰による給食費緊急支援事業【学校教育課】

コロナ禍における物価高騰等による給食食材費の値上げに伴う、給食費の保護者負担増を抑制し、従来通りの栄養価、質、量を保ち、安定的な給食提供を実施した。

# 3 経済対策

## (1) 商工観光課 各種支援事業

コロナ禍以降、例年商店街などが実施するイベントの多くが中止または縮小されたことに伴い、補助金額等が減少傾向となった。また、中小企業者が中小企業庁セーフティネット保証制度・危機関連保証制度を利用する際に必要な認定証の発行件数増加、及びコロナ禍により資金繰りに苦慮する中小企業者を支援するための融資制度が新設されたことに伴い、利子補給件数が増加した。

経済対策及び事業者支援としては、市ホームページや商工会議所の協力を得ながら中小企業者等に周知した。

### 【令和2年度実施事業】

#### ① 中小企業者応援補助金

売上げが一定程度減少しつつも、国の持続化給付金の対象とならない市内中小企業者等に対して補助金（一律10万円）を給付し、事業継続を下支えした。

131事業者に対し、13,100千円を給付した。

#### ② ものづくり現場環境改善補助金

建設業又は製造業の現場等における熱中症対策に係る備品等の購入経費の一部を支援

したもので、42 事業者に対し、7,770 千円を給付した。

③ 宿泊喚起クーポン券発行

市内宿泊者に、1,000 円分/1 泊/1 人のクーポン券を配布した。市民が利用できるプレミアム付クーポン券と同様の店舗で利用できるようにし、利便性を向上した。  
22,858 枚（1 枚 1,000 円）が市内で使用された。

④ デジタルスタンプラリー実施

市内の回遊性向上及び消費拡大につなげるため、デジタルスタンプラリー(ラリーポイント計 43 カ所)を実施した。

⑤ プレミアム付商品券発行事業費補助金

20%のプレミアム+ダブルプレミアム（抽選で 1,000 名に 5,000 円分のクーポンが当たる）付商品券を発行することで、市内の産業活性化と消費喚起を図った。発行総額は、約 9 億 6,500 万円であった。

⑥ 宿泊施設等事業継続支援業務委託

新型コロナによる旅行者等の減少により疲弊の激しい宿泊事業者の事業継続を支えるため、早期の支援金給付事業を実施した。

⑦ 地域飲食店等支援事業費補助事業

商工会議所主催により実施し、支援者数は延べ 1,991 人、寄付金総額：3,027 万円であった。

⑧ リスタート支援事業費補助金

新たにテイクアウトやデリバリーを始めた飲食店に対して事業費の一部を支援した。上限は、1 店舗 5 万円で 72 店舗に対し、3,376 千円を給付した。

⑨ 美しい伊豆創造センター負担金

伊豆半島全体で観光誘客事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染症により危機的な状況の観光産業の回復を図った。

⑩ 新型コロナウイルス感染症拡大防止支援金

市内宿泊施設並びに飲食店に対し、更なる感染症防止対策を講じながらの事業継続を支援することを目的に、1 店舗あたり 10 万円（1 事業者 5 店舗まで、上限 50 万円）を支援したもので、612 事業者に対し、66,100 千円を給付した。

【令和 3 年度実施事業】

① テイクアウトオンライン化支援事業（令和 2 年度繰越明許事業）

市内飲食店等のコロナ禍における事業継続のため、テイクアウトに関する WEB サービス（飲食店のオンライン注文、決済アプリへの登録）の導入支援を行った。

② 応縁袋販売支援事業（令和 2 年度繰越明許事業）

市内小売店等のコロナ禍における事業継続のため、小売店等のお得な商品詰合せをオンラインで販売する「応縁袋」事業を実施した。

③ ツアーバス誘客促進業務（令和 2 年度繰越明許事業）

新型コロナウイルス感染症拡大により、減少した観光事業の回復を図るため、本市を旅程に含むツアーバスに対し助成した。

④ 離職者等雇用奨励金（令和 2 年度繰越明許事業）

新型コロナウイルス感染症の影響で就労の場を失った方を 6 カ月以上雇用した中小企業を支援することで、雇用の創出及び就労の促進を図った。

被雇用者 1 人あたり 30 万円（1 事業者あたり上限 3 人まで）を支援するもので、1 事業者に対し、30 万円を給付した。

⑤ PayPay 連携事業委託料（令和 2 年度繰越明許事業）

消費活性化を図ることで感染防止対策を取りながら事業継続している事業者を支援するとともに、キャッシュレス決済促進のため、モバイル決済サービスを提供する PayPay 株式会社と連携しキャンペーンを実施した。消費者への還元付与額は、約 256,000 千円であった。

⑥ 中小企業者等応援補助金

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、厳しい経営状況にある事業者の事業継続を支援するため、静岡県「中小企業等応援金」等の給付を受けた事業者に対し、上乗せ給付を行った。147 件に対し、14,821 千円を給付した。

⑦ 観光関連事業者応援補助金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営上の影響が大きい市内観光関連事業者に対し、市独自の支援策として給付した。

**【令和 4 年度実施事業】**

① 三島市キャッシュレス決済ポイントバック事業

コロナ禍で疲弊した市内経済を活性化させ、感染防止対策を講じながら事業継続している市内事業者を支援するとともに、キャッシュレス決済のさらなる普及促進を目的として、4 つの決済事業者（d 払い、auPAY、楽天ペイ、楽天 Edy）と連携し、キャンペーンを実施した。消費者への還元付与額は、約 66,000 千円であった。

② ブライダル需要喚起事業支援補助金

売上げ減少に苦しむ市内結婚式場を支援するとともに、カップルの結婚式の希望を後押しするための補助金を交付した。

③ 観光客滞在促進事業

コロナ禍など社会情勢を見据えた観光戦略の推進を図るため、新しい時間市場を活用した観光誘客や既存イベントを軸とした滞在促進企画を実施した。

④ 三嶋大祭り補助金

三嶋大祭り実行委員会へ感染対策等を含めた補助金を交付した。

⑤ 燃油価格高騰対策運送事業者支援補助金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、燃油の価格高騰により厳しい状況にある貨物自動車運送事業者に対し補助金を給付することで、経営に及ぼす影響を緩和し、社会インフラとして重要な運送事業者の事業維持または継続を支援した。46 事業者に対し、35,160 千円を給付した。

⑥ 中小企業者等緊急支援補助金

コロナ禍の影響に加えて、原材料価格や燃料価格高騰によるあおりを受けている市内の中小企業者を対象に、これらの影響を緩和するため補助金を給付した。161 事業者に対し、16,035 千円を給付した。

⑦ みしま応縁事業「まるごとマルシェ」

コロナ禍で減少した市内の小売店等の売上機会の創出と、市民参加型イベントの開催でまちなかの賑わい創出を図った。来場者は延べ 1,900 人で、三島商工会議所への業務委託料として 1,000 千円を支出した。

⑧ 三島市大河ドラマトークイベント開催に係る負担金

コロナ禍で落ち込んでいる観光需要の回復を図り、本市の歴史文化資源を活用したさらなる誘客及び回遊性向上を図るため、大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」に出演する俳優を招いたトークイベントを実施に際し、負担金を支出した。

## (2) その他、各課における支援事業

### 【農政課】

事業者の支援として、新型コロナウイルス感染症により売上げに大きな影響を受けた茶農家、花き農家、肉牛農家、野菜農家の経営継続のため、農畜産物の消費、販売支援を実施した。また、肥料価格の高騰に伴い、肥料の購入費用の一部を補助した。

① 「農畜産物消費回復支援事業」

(ア) 事業期間 令和2年8月17日から令和3年3月16日まで

対象農家 茶農家、花き農家、肉牛農家

概要 幼稚園、保育園児 2,566 名への粉末茶の配布や医療従事者への牛肉弁当の提供 など

(イ) 事業期間 令和4年4月26日から令和5年3月15日まで

対象農家 茶農家、肉牛農家、野菜農家

概要 市内小学校 14 校の児童 5,397 名への粉末茶の配布や三島産の各種野菜の冷凍商品開発業務 など

② 「肥料等価格高騰対策事業費補助金」

新型コロナウイルス感染症の拡大及び世界情勢の影響により肥料価格が高騰、また対象農畜産物価格の低迷並びに輸送費高騰等に起因する生産・出荷資材の値上げにより影響を受けている農家等を支援した。

対象者は、三島市在住の J A 正組合員で補助額は、令和4年6月1日から令和5年1月31日までに購入した肥料等価格と令和4年5月31日時点との差額（値上げ分）。事業期間は令和4年6月1日から令和5年1月31日まで。

【地域協働・安全課】

事業者支援として新型コロナウイルス感染症により大きな影響を被ったバス、タクシー及び鉄道事業者に対し報償金を支給した。また、市内の商店会が疲弊している状況及び燃料費の高騰が商店会の経営をさらに圧迫していることから、防犯灯電気料補助割合の引上げを行った。

① 「三島市新型コロナウイルス感染症対策公共交通事業者緊急支援事業」

新型コロナの影響を大きく受けながらも感染防止に努めながら運行を継続しているバス事業者、タクシー事業者及び鉄道事業者に対して報償金を支給した。事業期間は、令和4年6月13日から令和4年8月10日まで。

② 「三島市防犯灯電気料補助金の増額」

コロナ禍による外出自粛等の影響や燃料費の高騰を受け、市内の商店会が疲弊している状況を鑑み、防犯灯の役割を果たす商店会の街路灯を維持するため補助割合を引き上げた。(通常 1/3 補助。令和2年度、3年度は補助率を 1/2 へ引き上げた。令和4年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し補助率を 2/3 へ引き上げた。)

【文化振興課】

事業者支援としては、市民が文化芸術に触れることができる動画を作成した市内の文化芸術団体に対し支援金を給付し、作成された動画を市民文化会館のホームページ等で配信した。

また、文化施設応援事業として市内の美術館、博物館及び中心市街地への集客及び回遊を目的に、市内の文化施設等を巡るスタンプラリーの実施や、佐野美術館での展覧会とコラボレーション企画を実施することで、市内の美術館、博物館及び中心市街地への集客及び回遊を図った。

さらに、市民文化会館で行う公演の施設利用料を追加で減免することで、文化団体の活動支援及び施設の利用促進を行うため、追加減免相当額を市民文化会館指定管理者に協力金として給付するとともに、市民文化会館自主文化イベント等の施設収容率が制限されるなか、市民の文化芸術に触れる機会を確保するため、市民文化会館が実施する自主文化事業を市の要請に応じた形で実施した場合に、協力金を給付した。

#### ① 「文化活動団体支援事業」

活動の場が制限されている市内文化芸術団体を支援するとともに、市民に文化芸術を鑑賞する機会を提供し、「元気」や「安らぎ」を届けることを目的に、文化芸術をテーマとした動画作品の制作を条件として報償金を支出した。

・5万円／1団体 応募団体：27団体

(第1次募集期間：令和2年9月10日～令和2年10月12日)

(第2次募集期間：令和2年10月22日～令和2年11月13日)

#### ② 「文化活動動画配信企画実施事業」

三島市文化芸術活動支援金給付の要件として制作された動画作品を、市民がインターネット上で視聴できるよう配信した。(三島市民文化会館が運営する YouTube 公式チャンネルにて配信)

#### ③ 「文化施設応援スタンプラリー事業」

市内の美術館、博物館及び中心市街地への集客及び回遊を目的に、市内の文化施設等を巡るスタンプラリーを実施した。

#### ④ 「市民文化会館利用サポート事業協力金事業」

市民文化会館で行う公演の施設利用料を追加で減免することで、文化団体の活動支援及び施設の利用促進を行うため、追加減免相当額を市民文化会館指定管理者に協力金として給付した。

#### ⑤ 「市民文化会館自主文化事業開催支援事業協力金事業」

イベント等の施設収容率が制限されるなか、市民の文化芸術に触れる機会を確保するため、市民文化会館が実施する自主文化事業を市の要請に応じた形で実施した場合に、協力金を給付した。

### 【子ども保育課】

#### 「保育所等原油価格・物価高騰対策事業」

新型コロナウイルス感染症流行下における原油価格・物価高騰に対し、保育所等の安定的な運営を支援するため、保育園、幼稚園に対し、光熱水費や給食費等、原油価格・物価高騰の影響を受ける費用について支援を行った。

### 【スポーツ推進課】

#### 「三島市体育施設等指定管理者支援事業」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指定管理施設の利用人数制限を設定したことなどに伴う協力金を支給することにより事業者支援を行った。

### 【水と緑の課】（現：みどりと水のまちづくり課）

#### 「水環境デジタル監視業務」

スマートシティ形成の基盤となる都市 OS 構築への第 1 歩として、本市を特徴づける豊かな「水環境」に着目し、水系を構成する様々な水データを収集して、総合的に管理運用を行い、リアルタイムでの遠隔監視、AI 予測や一般公開等を行うデータプラットフォームを構築した。

### 【学校教育課】

#### 「学校給食費返還等事業」

令和 2 年 3 月の全国一斉の学校臨時休業に伴う学校給食の休止により影響を受けた学校給食関係事業者に対し、キャンセルに伴う食材費分を支援した。

また、感染拡大防止を目的とした衛生管理の徹底及び改善を図ることにより、安全、安心な学校給食を提供するため、衛生管理改善事業を行う学校給食調理業者に対し補助金を交付した。

### 【広報情報課】（現：広報課）

#### ① 「みしまファンネット推進事業」(動画制作業務委託)

デジタルマーケティング実施に伴う動画制作業務として、動画コンテンツを本編及び短編を各 1 本制作した。

#### ② 「みしまファンネット推進事業」(YouTube 配信広告料)

独自に制作した動画コンテンツを YouTube 広告で配信した。

### 【都市整備課】

#### 「三島駅北口広場使用料免除」

新型コロナウイルス感染症の影響を受け業績が悪化した公共交通事業者（バス事業者 3 社とタクシー事業者 5 社）に対し、三島駅北口広場使用料を年額免除した。

### 【障がい福祉課】

#### ① 「三島市内授産所マップ作成業務委託事業」

コロナ禍の影響で、各種販売会等のイベント中止により、売り上げの落ちた市内障害福祉サービス事業所の周知と福産品等の売上額の向上を目的に、市内障害福祉サービス事業所や福産品等の情報を掲載したチラシ「みしま福産品事業所マップ・みしま福産品Collection」を作成し、広報みしま1月1日号と同時配布による全戸配布を行う等、広く市民や企業の担当者への周知・啓発を行った。

#### ② 「障害福祉サービス事業者等物価高騰対策支援事業」

新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、物価高騰の影響を受けながらも、安定的にサービス提供を継続している市内障害福祉サービス事業所を支援するため、支援金を支給した。

- ・障害福祉サービス事業所等 57 事業所

### 【介護保険課】

#### 「介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業」

新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、物価高騰の影響を受けながらも、安定的にサービス提供を継続している市内介護サービス事業所を支援するため、支援金を支給した。

- ・介護サービス事業所等 142 事業所

## 4 新たな生活様式に対応した対策

### (1) スマート市役所推進事業

#### 【広報情報課】(現：デジタル戦略課)

新型コロナウイルス感染症が拡大しても市の業務が停滞することが無いようにするため、職員のテレワーク環境や市民とのオンライン会議を推進し、業務継続の環境を構築した。

また、超高速通信回線未整備地域における、新型コロナウイルス感染症への対応など新たな日常に必要な情報通信基盤の整備を行った。

#### ① 「スマート市役所推進事業」

行政手続きのスマート化・デジタル化による市民サービスの向上を目的として、庁内向けテレワーク環境の整備、会議録作成のための音声認識システムやペーパーレス会議システムの導入、窓口・相談業務におけるオンライン化を推進した。

#### ② 「高度無線環境整備推進事業費補助金」

超高速通信回線未整備地域において、新型コロナウイルス感染症への対応など新たな日常に必要な情報通信基盤の整備を行った。



### ③ 「みしまファンネット推進事業」

LINE を活用した情報発信等サービス機能拡充業務委託し、市公式 LINE の機能拡充を図った。

## (2) 教育支援事業

### 【教育総務課】

新たな生活様式に対応した学校運営のため、国の GIGA スクール構想を受け、全児童生徒及び教員への 1 人 1 台端末の配布と、校内ネットワークの増強を行ったほか、小中学校において臨時休業等の緊急事態に対応し、オンライン授業等が行えるよう、遠隔学習用 Web カメラを購入した。さらに、ICT 機器を活用した授業の支援、研修、教材作成等の支援を行うため ICT 支援員を配置した。

### ① 三島市における GIGA スクール構想実現に向けた取り組み

情報端末を配れば良いというものではなく、情報端末が活用される『文房具』として身近な存在になることが必要との考えのもと、きめ細かな対応に努めた。

- ・高速大容量通信ネットワーク
- ・1 人 1 台端末 (iPad セルラーモデル 予備機含め 9,030 台)
- ・児童生徒及び教職員のサポート体制の整備

#### 《GIGA スクール構想》

1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育整備の実現に努めた。

#### 《三島市のこれまでの教育 ICT 機器整備》

- ・電子黒板を全普通教室に整備
- ・普通教室 Wi-Fi 整備率 100%
- ・指導者用デジタル教科書の導入

県内トップレベルの ICT 環境整備を実施

### ② 「小中学校臨時休業に伴う遠隔学習支援事業」

(小中学校) 臨時休業等の緊急事態に対応するため遠隔学習用 Web カメラを購入

(中学校) 受験を控える中学 3 年生を対象としたモバイルルーター賃借

### ③ 「小中学校情報機器運用管理事業」

(小中学校) 1 人 1 台端末環境を実現するため情報端末や付属機器等の導入、各種設定、研修、運用保守等を包括的に委託

- ④ 「小中学校 GIGA スクールサポーター運用事業」  
(小中学校) 1人1台端末環境を実現するため、導入研修の実施、マニュアル作成及び運用サポート等を実施
- ⑤ 「小中学校 ICT 支援員配置事業」  
(小中学校) ICT 機器を活用した授業の支援、研修、教材作成等の支援を行うため ICT 支援員を配置

### 【図書館】

図書館を利用しやすい環境づくりを推進するため、「デジタル活用による図書館のオンライン化・自動化事業」を展開し、市民の利便性の向上を図った。

#### 「デジタル活用による図書館のオンライン化・自動化事業」

図書館を利用しやすい環境づくりを推進するため、下記の新機能を導入した。

- ・自動貸出機・本の貸出手続きを利用者自身で行うことが可能  
※本館と中郷分館に設置
- ・自動返却機・借りた本を1冊ずつ返却口に入れるだけで、返却手続きが完了。  
※本館に設置
- ・デジタルアーカイブ・デジタル化した地域資料を、ホームページ上で閲覧することが可能
- ・学習室・座席管理システム・学習室の座席予約を導入するとともに、入室時の手続きを専用端末によるセルフサービスに
- ・混雑度表示・入口に設置したICゲートで館内の混雑度を自動計測し、ホームページ上にリアルタイムで表示

### 【生涯学習課】

生涯学習センターのWEB環境整備のため4Kディスプレイ等の導入や各種電子申請等に対応できるよう要望の多いスマホ講座開催ため、4つの公民館でWi-Fi設備を整備。WEB等を活用した講座に対応できるようWi-Fi整備等とあわせプロジェクターを錦田公民館と北上文化プラザで導入した。

- ① 「生涯学習センターWEB環境整備事業」  
生涯学習センターに4Kディスプレイ等を導入、Wi-Fiやコラボレーションデバイス等を整備した。
- ② 「公民館プロジェクター整備事業」  
新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、WEB等を活用した講座に対応できるようWi-Fi整備等とあわせプロジェクターを錦田公民館と北上公民館に導入した。

③ 「公民館 Wi-Fi 整備事業」

コロナ禍で増えた各種電子申請等に対応できるよう要望の多いスマホ講座開催ため、4つの公民館で Wi-Fi 設備を整備した。

④ 「中郷文化プラザ Wi-Fi 整備関連消耗品購入事業」

スマホ講座運営等に必要ルーター機器を購入した。

**(3) その他、各課における支援や対策**

**【地域協働・安全課】**

「地区集会所 Wi-Fi 環境整備費補助金」

ウィズコロナにおける新しい生活様式に対応したコミュニティ活動の継続・活性化を図るため、地域コミュニティの拠点である地区集会所等コミュニティ施設に Wi-Fi 環境を整備する事業を実施する自治会・町内会に対し、補助金を交付した。

**【子ども保育課】**

「市立保育園 ICT 化推進事業」・「市立幼稚園 ICT 化推進事業」

園児の登降園や保護者との連絡を、スマートフォンを利用し非接触式で行えるように、公立保育園及び公立幼稚園に ICT を活用したシステムを導入した。

**【地域包括ケア推進課】**

各種事業における講座や教室等において、新たな生活様式を導入しつつ、事業の一部中止や人数を制限、感染リスクを回避した内容へ変更して実施したほか、開催時間や回数を調整して対応した。高齢者支援にあたる専門職対象の自立支援サポート会議や地域包括支援センター各部会、三島南地区介護支援専門員連絡会等は、感染対策のためリモートにて開催し、在宅医療・介護連携推進事業においては、オンラインを用いた研修会及び会議を開催した。

「オンラインを活用した高齢者相談支援事業」

新型コロナ感染症の影響により対面接触ができない高齢者の家族等との相談対応及び地域包括支援センター・病院・施設等間の協議や会議についてオンラインを介して実施するための環境整備及び通信料の支援を行った。

**【健康づくり課】**

「電子母子手帳「みしまっこ」テレビ電話機能拡充事業」

コロナ禍での三密を避けるため、電子母子手帳アプリに個別相談機能を設定した。

**【商工観光課】**

市内事業者等が店舗等の魅力発信に繋げるため、ウェブ対応をスタートする際の登録

支援を行い、デジタル化を推進した。

さらに観光における新たな生活様式として感染リスク回避のため、多言語観光スマホサイトに観光スポットの混雑レーダーを搭載するほか、360度カメラを利用したVR動画を制作し、YouTubeで公開した。

① 「ウェブ対応スタート支援事業」

市内事業者等が店舗等の魅力発信に繋げるため、ウェブ対応をスタートする際の登録支援を行い、新しい生活様式の一環としてデジタル化を推進した。

② 「観光スマホサイト混雑レーダー等追加事業」

感染リスク回避のため、多言語観光スマホサイトに観光スポットの混雑レーダーを搭載するほか、360度カメラを利用したVR動画を制作し、YouTubeで公開した。

**【市民課】**

市民課窓口には窓口発券機受付機器の導入、非接触型POSレジの購入を行い、またワンストップ窓口事業を推進した。

① 「非接触型レジ」の導入

手数料の支払いから、つり銭の返却まで、来庁者とレジ担当職員が直接金銭のやり取りをすることがなくなり、接触機会の軽減等による感染防止効果があった。

② 「窓口発券機」の改修と「呼出し番号表示機」の増設

マイナンバーカード関連来庁者の誘導がスムーズに行われるようになったため、混雑解消の効果があった。

**【政策企画課】**

「移住定住ホームページ作成業務」

コロナ禍において対面での相談などが実施できないため、移住に関する各種情報をきめ細かに、分かりやすく提供できるよう移住定住のホームページを再構築した。

**【健幸政策戦略室】**

「健幸DX推進事業」

スマートウェルネスみしまを推進するため、新たに健幸づくりアプリ「KENPOS」を導入した。

**【楽寿園】**

「楽寿館内案内ビデオ放映事業」

楽寿館内ガイドツアー中止による代替措置として、楽寿館内案内ビデオ放映のためのビデオ放映用棚及びDVDプレーヤーを導入し対応した。

## 第5章 その他の対応等

### 1 小・中学校における対応【学校教育課】

2020（令和2）年2月27日に開催された政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において、感染の流行を早期に終息させるため、子供たちの健康・安全を第一に考え、感染リスクに予め備える観点から、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における全国一斉の臨時休業を要請する方針が内閣総理大臣より示され、同年3月2日から臨時休業が実施された。

この臨時休業が実施されて以降、学校現場ではコロナ禍においても、子ども達の学びを止めず、コロナ以前と同様の学校生活を過ごすことができるよう、教職員をはじめ、学校関係者が一丸となって様々な対策を行った。

#### (1) 対応の経過

- ① 2020（令和2）年3月から5月 「全国一斉臨時休業」
  - ・子ども達は学校に通うことが出来ず、友達とも会えずに自宅で過ごす。
  - ・卒業式や入学式、始業式等の学校行事は、各学校で規模の縮小や感染症対策を工夫して実施（運動場で入学式を実施した学校もあり）。
  - ・保護者が就業等により自宅に不在となる児童のため、放課後児童クラブは時間拡大や受入する児童の要件を緩和し、可能な限り開館に努める。
- ② 2020（令和2）年6月から 「学校再開」
  - ・5月末の分散登校を経て、学校が再開した。
  - ・マスク着用、手洗いやうがい等の対策をして、子ども達は友達と会い、給食を食べ、少しずつ日常を取り戻し始めた。
- ③ 2020（令和2）年7月から8月 「小中学校夏休み」
  - ・春の一斉臨時休業による学習の遅れを取り戻すため、夏休みを短縮した。子ども達は猛暑の中、学校に通うものの、すでに普通教室へのエアコン設置が済んでおり、影響を低減させることができた。
- ④ 2020（令和2）年度の学校生活
  - ・コロナ禍の様々な制約を受けた中においても、各学校が工夫を凝らし、運動会や合唱コンクール、修学旅行等の学校行事を可能な限り実施した。
- ⑤ 2021（令和3）年2月から 「iPadの導入」
  - ・文部科学省のGIGAスクール構想の前倒しにより、市では小中学校の児童生徒への1人1台端末の貸与と校内における学習系ネットワークの増強を進めた。非常時においても子ども達の学びを保証するために、教職員が研修に取り組むとともに

に、様々な場面での活用を推進した。

- ⑥ 2021（令和3）年8月20日から9月30日 「緊急事態宣言発令下の対応」
- ・デルタ株による感染拡大を受け、静岡県でも緊急事態宣言が発令され、やむを得ず登校することのできない児童生徒が自宅から授業に参加できるよう、リアルとオンラインを併用したハイブリット授業を実施した。
- ⑦ 2022（令和4）年 「学校活動の継続」
- ・新型コロナウイルス感染者数は増減を繰り返しながら続き、三島市においても児童・生徒の感染者がみられ、部分的な臨時休業や学級閉鎖を実施する学校も見られた。そのような中においても、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルに基づき、感染症対策を実施したうえで、学校の教育活動を継続した。

## (2) 臨時休業の状況

・2021（令和3）年9月	小学校	1学級	計 3日間	学年閉鎖
・2022（令和4）年1月	小学校	3学級	のべ9日間	学級閉鎖
・2022（令和4）年2月	小学校	3学級	のべ8日間	学級閉鎖
・2022（令和4）年4月	小学校	2学級	のべ3日間	学級閉鎖
・2022（令和4）年5月	中学校	1学級	のべ4日間	学級閉鎖
・2022（令和4）年7月	小学校	3学級	のべ8日間	学級閉鎖
	中学校	3学級	のべ3日間	学級閉鎖
・2022（令和4）年10月	中学校	1学級	のべ1日間	学級閉鎖
・2022（令和4）年11月	小学校	3学級	のべ5日間	学級閉鎖
・2022（令和4）年12月	小学校	5学級	のべ8日間	学級閉鎖
	中学校	1学級	のべ2日間	学級閉鎖
・2023（令和5）年1月	小学校	2学級	のべ6日間	学級閉鎖

## 2 市議会における対策【議会事務局】

市議会では各派代表者会議及び議会運営委員会において協議の上、「議会としての新型コロナウイルス感染症対策」として各種の対応策を取りまとめ、これを感染の拡大状況等の社会情勢を踏まえて適宜改正していった。主な取組は以下のとおり。

### (1) 議会の各種会議の運営における対策

- ① 本会議や各委員会の会議などは中止せず、必要な対策を講じた上で実施することを基本方針とした。
- ② 会議の開催場所について、三密を避ける観点から、なるべく広い会場での会議開催が望ましいため、従来議長応接室で開催していた各派代表者会議などは常任委員会室で開催することとした（令和2年4月から）。これは新型コロナウイルス感染症が5類移行となった後も続けている。そのほか、従来常任委員会室で開催していた予算審査と決算審査の常任委員会は、議場で開催することとした（令和3年3月から）。
- ③ 会議の出席者について、なるべく少ない人数で会議を開催するため、一般質問における市当局の出席者について、特別職と答弁予定のある部長級職員のみでよいこととした（令和2年6月定例会及び同年11月定例会以降）。これは新型コロナウイルス感染症が5類移行となった後も続けている。また、令和2年5月開催の所管事項説明のための常任委員会では、従来係長職以上の職員が出席していたが、部長と課長のみの出席とした。そのほか、常任委員会の予算審査・決算審査において、従来複数の課が同時に会議室に入ることがあったが、原則として1課ずつの入退室に改めた。
- ④ 一般質問について、令和2年6月定例会に限り、市当局の負担を軽減し新型コロナウイルス感染症対策に注力しやすい環境を作ることと、感染拡大防止の観点から開議時間を極力短縮することを目的に、発言時間を通常より10分短縮し、答弁を含めて40分以内とした。また、演壇を使わず最初から質問席で発言することとした。
- ⑤ マスクの着用について、令和2年2月28日より会議への参加者はマスクを着用することとしたが、感染状況によって、発言の際はマスクを外してもよいとするほか、議長席及び演壇で発言する際に限ってマスクを外してもよいとしていた時期もあった。なお、令和5年3月13日からマスクの着用は各個人の判断によることとした。
- ⑥ 議場や会議室の入口に消毒液を設置し、入室時に消毒を行うこととした（令和2年4月から）。
- ⑦ 会議の休憩時間中に窓を開けて換気を行うこととした（令和2年4月から）。
- ⑧ 会議の休憩時間中にマイク等の消毒を行うこととした（令和2年4月から）。
- ⑨ 議長席前にアクリル板を設置した（令和2年9月から令和5年3月まで）。

## (2) 傍聴に関する対策

- ① 原則公開としている会議について、傍聴の禁止はしなかったが、感染状況等を鑑み傍聴の自粛の願いと、本会議のインターネット中継の利用の呼びかけを行った（令和2年2月28日から令和4年7月まで）。
- ② 令和2年2月28日から傍聴者にはマスク着用をお願いをした。また、令和2年12月から、マスクを着用されない方について、傍聴規則で規定される「傍聴席に入ることができない者」に該当するものとして傍聴をお断りすることとしたが、実際に傍聴をお断りするような例はなかった。令和5年3月13日からマスクの着用のお願いは行わないこととした。
- ③ 傍聴席入口に消毒液を設置した（令和2年2月28日から）。
- ④ 傍聴者入口に体温計測カメラを設置した（令和3年9月から令和5年3月まで）。
- ⑤ 議場の傍聴席について、1席ごとに間隔を空けて、定員を半数の16人とした（令和2年12月から令和4年7月まで）。
- ⑥ 常任委員会室の傍聴席について、定員を半数の3人とした（令和2年9月から令和4年7月まで）。

## (3) 市当局に対する要望

- ① 令和2年4月23日に、各会派から出された新型コロナウイルス感染症対策に関する要望を取りまとめて、特に重要な4点に絞って議長から市長に要望書を提出した。要望項目は以下のとおり。
  - ・総合相談窓口の設置と積極的な情報提供
  - ・経済対策の強化
  - ・学校休業への対応
  - ・市職員の感染防止と危機管理体制
- ② 令和2年10月8日に、同年8月に開催した市内各種団体との意見交換会でいただいた新型コロナウイルス感染症対策に関する意見のうち、特に重要な7点について議長から市長に要望書を提出した。要望項目は以下のとおり。
  - ・三島駅北口広場バス・タクシー乗り合い所使用料の減免
  - ・防災訓練や居場所づくりなどの自治会活動ごとの指針やルールの特明確化
  - ・新型コロナウイルス感染症に関する県、市、医師会の情報共有の推進
  - ・幼稚園、保育園及び認定こども園の現場職員へのPCR検査や処遇改善、園内での感染者発生時の対応方針を明確にするガイドラインの策定
  - ・高齢者施設及び障がい者施設に対する防護用品、衛生用品等の現物支援、医療・検査体制に対する情報提供、施設内での感染者発生時の対応等を定めたガイドラインの策定
  - ・商店会街路灯電気料補助金の拡充
  - ・全業種を対象とするなど条件を緩和した市内中小企業者に対する新たな支援制度の創設
- ③ 令和4年5月24日に、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格等の高騰を受



けて国が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、新たに「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を創設したことを受け、市民及び事業者への支援として特に重要と思われるものについて、議会としての要望を取りまとめて議長から市長に提出した。要望項目は以下のとおり。

- ・給食費の値上げ抑制と学校給食の質の低下防止に向けた支援の強化
- ・これまでに十分な支援が行き届いていない中小企業・小規模事業者への支援の強化
- ・公共交通事業者及び中小規模の運送業者等への支援の強化
- ・農畜産業者への支援の強化

#### (4) その他の議会・議員活動における対策

- ① 行政視察について、感染拡大状況を勘案して令和2年度と令和3年度は現地を訪問する行政視察は行わなかった。また、令和3年10月にZ o o mを利用したオンラインの視察を福祉教育委員会が行った。
- ② 議会報告会について、感染拡大防止の観点から、令和2年度は市民を広く対象とした対面式での報告会は開催せず、市内団体を対象として新型コロナウイルス感染症対策をテーマに意見交換会形式で行った。令和3年度からは市内団体との意見交換会形式に加え、市民向けにY o u T u b eによる動画配信方式による議会報告会を開催している。令和4年度は令和3年度の実施方法に加え、従来行っていた対面式での市民向けの議会報告会も再開した。
- ③ 例年小中学校の卒業式、入学式に議員が来賓として出席していたが、令和2年3月から令和4年4月までは出席を自粛した。このほか、例年各種のイベントや会議に議長が来賓として出席していたが、令和2年から令和4年までは多くのイベントや会議が中止や書面開催となったため、これらへの出席が激減した。

#### (5) 議員等の感染時の対策

県が示す感染時の対応を基に、令和3年1月に「議員が新型コロナウイルスに感染した場合等の対応基準」を定め、議員や同居家族が感染又は濃厚接触者になった場合等の具体的な対応を定めた。この基準は県が示す感染時の対応の変更に合わせて随時改定した。

この基準において、議員に感染者が発生した際の公表手続きを規定していたことから、令和4年2月と5月に議員が感染した際は、その旨を個人が特定できない形で公表した。

### 3 商工会議所における対策

三島商工会議所より資料提供

三島商工会議所 新型コロナウイルス感染症対策						
N0.	年(和暦)	月	類型	タイトル(20文字以下)	内容(1～3行程度)	備考
1	2	2	経営支援	事業継続力強化支援計画	令和元年度の小規模事業者支援法の改正に伴い、静岡県知事から事業継続力強化支援計画の認定を受けた。本計画に基づき、職員の支援スキルのアップに努め、事業者の新型コロナウイルス対策を加味したBCP計画の策定支援を進めた。	
2	2	4	経営支援	専門家派遣事業(市補助)	三島市の補助を受けて専門家派遣を実施した。「雇用保険助成金」申請方法、事業計画策定方法に関する相談に社労士、診断士が対応した。R2年度は20社に対し33回の派遣、R3年度は18社に対し40回の派遣を実施した。	
3	2	4	経営支援	マル経融資	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた三島市内の小規模事業者に対し、マル経融資による資金繰り支援を行った。令和2年度で69件、529,300千円の貸付を斡旋した。例年(平成30年度)に比べ、金額ベースで218%となった。	
4	2	4	まちづくり	三島応援飯	飲食店60店のテイクアウト商品を商工会議所ホームページ、Instagramで発信した。	
5	2	5	経営支援	GW期間中の相談窓口	5月4日～6日のゴールデンウィーク期間中に経営指導員が、持続化給付金、休業補償、融資、雇用調整助成金等、33件の相談に対応した。	
6	2	5	経営支援	持続化補助金 コロナ特別対応型	従来から行われていた小規模事業者持続化補助金に「コロナ特別対応型」枠が設けられた。5回の公募に対し139件の申請を支援し、76件が採択された。	～R2/12
7	2	5	経営支援	危機克服チャレンジ事業費補助金	静岡県がコロナ禍で打撃を受けた中小企業・小規模事業者の新たなビジネスモデルへの挑戦を支援するため「危機克服チャレンジ支援事業費補助金」を創設した。3回の公募に対し7件の申請を支援し、6件が採択された。	～R3/2
8	2	5	まちづくり	クラウドファンディング事業 みらい飯	新型コロナウイルス感染地域の影響により、地域のにぎわいや交流を支えてきた多くに飲食店が経営悪化に直面し、運転資金の一部に充ててもらおうクラウドファンディングを実施。目標額を大きく上回る3,027万円を集めた。	～R3/2
9	2	5	まちづくり	お家時間を楽しもう「応援袋」販売	三島市内店舗の選りすぐり商品を組合わせた「応援袋」を販売した。注文は事前予約制を取り入れ、商品の受け渡しは、3密を避けるために三島市施設の駐車場にてドライブスルー方式で行った。販売実績は1回目(5月)11商品927個、2回目(6月)12商品273個。	
10	2	7	経営支援	経営相談体制強化(日商委託)	日本商工会議所の委託を受け、各種補助金(ex.持続化補助金)申請等の相談対応を行うため相談員(三島信用金庫OB)を配置した。R2年度は95件、R3年度は77件の相談対応を行った。	～R4/1
11	2	8	経営支援	ウィズコロナ時代の労務管理 冊子作成	コロナ禍における労務管理のポイントや今後想定される対応・取り組みをまとめた小冊子を200部発行した。(希望に応じて窓口配布や郵送)	
12	2	8	経営支援	オンライン経営相談窓口(県補助)	静岡県の補助を受け、Zoomによるオンライン相談窓口を開設した。経営指導員や専門家が遠隔・非接触で事業者からの経営相談に応じることが可能となった。令和2年度で25件の相談対応を行った。	
13	2	9	経営支援	個店魅力アップセミナー	飲食・観光業界向けにコロナ禍でもできる販売戦略や成功事例を学び、即実践につなげ売上増加を図った。10名が受講した。	
14	2	10	経営支援	タックス・オンデマンド事業(日商委託)	会員限定で時間や場所を選ばず研修できるオンデマンド体制を整備した。「新型コロナウイルス対策、従業員の雇用維持対策セミナー」「新型コロナウイルス対策の様々な支援制度」等のコンテンツを配信した。	～R3/1
15	2	10	まちづくり	三島市プレミアム付商品券発行事業	三島市の緊急経済対策として20%のプレミアムが上乗せされた商品券「あきんどくん元気クーポン」を発行した。652店が参加した。	～R3/2
16	2	12	経営支援	コロナ対策セミナー(日商委託)	「コロナ禍で成果を上げるための接客・商談の進め方」というタイトルでセミナーを実施した。15名の参加者のうち、ZOOMで受講した方が10名であった。	
17	3	1	まちづくり	三島応援飯 みんなdeデリ弁	大型飲食施設18店のデリバリー弁当の情報を取りまとめ、チラシ、商工会議所ホームページ、SNS等に加え、主に企業向けに情報発信し注文を受け付けた。注文実績は18店1,186個。	～R3/2
18	3	3	経営支援	一時・月次・事業復活支援金の事前確認	国が予算措置した一時支援金・月次支援金・事業復活支援金について、受給希望者の不正受給等を防ぐための事前確認を実施した。一時支援金については313件、月次支援金については197件、事業復活支援金については486件の確認を行った。	～R4/6
19	3	4	まちづくり	オンラインショップ みしま応援袋事業	三島市内店舗の選りすぐり商品を組合わせた商品セットを「応援袋」としてオンライン上で販売した。販売実績は、第1回(5月)31商品241個、第2回(8月)35商品252個、第3回38商品306個。	～R3/6
20	3	5	経営支援	持続化補助金 低感染リスク型ビジネス枠	令和2年度に実施した小規模事業者持続化補助金に「コロナ特別対応型」枠が改編され、「低感染リスク型ビジネス枠」が設けられた。6回の公募に対し40件の申請を支援し、31件が採択された。	～R4/3
21	3	5	経営支援	中小企業デジタル化業種転換等促進補助金	令和2年度に静岡県が実施した「危機克服チャレンジ支援事業費補助」に引き続き、令和3年～4年度にかけて「中小企業デジタル化・業種転換等促進事業費補助金」が実施された。5回の公募に対し16件の申請を支援し、10件が採択された。	～R4/7
22	3	5	まちづくり	オンラインdeテイクアウト事業	飲食店にテイクアウト・デリバリーメニューアプリ「menu」した販促を促進し、注文すると300円割引の特典が付いたキャンペーン事業を展開した。23店が参加した。	～R4/1
23	3	5	経営支援	事業再構築補助金	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために中小企業等の事業再構築を支援する「事業再構築補助金」について認定経営革新等支援機関として、計画策定支援や確認書発行等を行った。	
24	3	9	会員サービス	ワクチン職域接種	ワクチン接種を推進するため会員を対象に職域接種を三島市医師会の協力により三島共立病院で実施。1回目2170名、2回目2156名が接種した。また令和4年6月には3回目のワクチン接種を実施。748名が接種した。	～R4/6
25	3	11	まちづくり	リモート版 みしまなりわい体験塾	お店のなりわいを実店舗での体験に加えて、自宅に居ながらお店のこト体験ができるハイブリッド版として開催した。11店の15講座に56名が参加した。	

## 第6章 市職員の奮闘記集

※ 新型コロナウイルス感染症に対応した当時の所属及び役職を記載

### ① 新型コロナウイルス感染症対策室 室長 山口 誠 （令和2年～4年度に担当）

自身が令和2年4月に広報情報課に異動となったころ、国では新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、同時に「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定の情報が流れてきた。記憶が定かではないが、4月中旬に当時の杉山企画戦略部長から、平成21年のリーマンショック後の緊急経済対策「定額給付金」対策室に参加していたことから、今回の対策室の兼務を受けてほしいとの要請があり、4月27日に兼務辞令をいただいた。

新型コロナウイルス感染症対策室は、企画戦略部直下に置かれ、各部署から兼務にて14名が配属され、当初のメンバーは感染症発生時対策本部、特別定額給付金給付及び中小企業応援金給付の対応をとる体制をとった。

まず初めに必要となったのは、感染予防のため市民との対面ではなく、電話等での対応を基本にすることであった。そのため、各課の理解と協力をいただき本庁舎3階の第一会議室を借り、新型コロナウイルス感染症対策室の業務の運用を開始、同時にコールセンターを設置し特別定額給付金や感染症等に関する電話やメールでの対応を行った。また、中小企業者等応援補助金関係は、商工観光課とのつながりが深いため大社町別館1階の災害対策本部室を借り、新型コロナウイルス感染症関連業務の運用を行った。

当初、特別定額給付金に関する給付受付システム及びPC等の電子機器の用意、申請書の作成、送付用及び返信用封筒等の調達が必要となったが、とにかく時間が不足していた上に、上層部からは早期の給付を目指すようにとの指示を受けた。平成21年の給付金システムは、時の流れから陳腐化により使用ができず、システム委託会社との丁々発止のやり取りもあったが、なんとか5月上旬には給付金対応のシステムを用意することができた。申請書の折り込みや案内資料の封入封緘作業を各課職員の流動による協力も得られ、5月中旬には郵送を完了した。また、当対策室の杉山主査が静岡電子申請システムを使用した仕組みを用意したことにより早期の申請を受け付けることが可能となった。

特別定額給付金事業においては、新たなシステム機能として「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）」などの仕組みを導入し、作業の省力化をすることができたが、特別定額給付金給付当時においては、マイナンバーカードの普及や電子申請利用状況が低調なままであり、郵送での申請がメインであったため、ヒューマンエラーも少なからず発生し、給付が遅れ、市民の皆様にご迷惑をおかけした部分もあった。市民の皆さまからお叱りの電話やメールも多数いただいたが、時にはお礼の手紙やメールもいただき、心が和むこともあった。また、特別定額給付金の申請期間終盤には、未申請の単身世帯や高齢者世帯などへ直接出向いて申請を促すことも行ったが、「詐欺では？」と疑われることもあり、今後のためにも何か違う方策を見つけなければと感じた。

なお、約5カ月間続いた特別定額給付金事業は、新たな仕組みを取り入れた結果を残し、

109,056人(99.8%)に給付を完了したが、市民の生活をどのように潤せたのかは疑問が残った。

また、中小企業者等応援補助金関係は、当初の配属に兼務職員3名を増員し、令和2年7月1日から9月30日までの申請受付を行い、131件への補助金を給付した。

次に感染症対策においては、令和2年5月に市内で初めての感染者が見つかり、コールセンターには、お怒り口調の多数の問合せ電話が入ったが、当対策室において感染の詳細情報は掴んでおらず「わかりません」の情報を繰り返し答えるだけであった。市内において8月に2例目、9月に3例目、11月に保育園関係者、12月にクラスターの発生があったが、感染症予防を呼びかける対策のみの状況であった。

また厚生労働省において、令和2年10月23日付け事務連絡「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る留意事項について」資料や令和2年12月18日Zoomにて開催の「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に関する自治体向け説明会」に参加したが、“シリンジ”などの言葉も初めて耳にしたように、自身の感染症等に関する知識があまりにもない状態であった。また、給付金給付事業が完了し、自身の役目も終わったと勝手に解釈していたことにより健康づくり課における「予防接種チーム」に頼る状況となり、かつ本業の情報システム系の業務も滞っていたこと、更に政府が打ち出した「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」対応で福祉総務課兼務を命じられたこと等、一時、新型コロナウイルス感染症対策室から足が遠のいたことがあった。

しかしながら、健康づくり課の「予防接種チーム」において着々とワクチン接種の方向性が整い始め、令和3年3月に行われた錦田小学校でのワクチン接種シミュレーション「三島モデル」の実施及び4月の市内医療従事関係者へのワクチン接種へ参加したことにより、「やらねばいけない」と感じるようになった。

令和3年6月から、各小学校での集団接種が始まり、私自身は「錦田小学校」の担当となり、初回は必要書類を運び忘れるなどの失敗もあり、反省することが多々あった上に、錦田小学校体育館は他校の体育館と違い、2階が集団接種会場であったことにより、車いす使用の方や階段を利用できない方などが1階の狭い部屋で接種を待つこととなり、接種担当の医師には、蒸し暑い中、何度も1階2階の往復をしていただき誠に頭が下がる思いであった。集団接種会場では、市民から「親切丁寧な対応してもらって、よかったよ。」など、ありがたい言葉を何度かいただいた。

その後、ワクチン接種は市内医療機関における個別接種をメインに委ねられたが、3回目以降の接種については国の方針が、ぎりぎりまで示されないなど、振り回された感が否めなかった。しかし、国が打ち出した事業に対し、その時々には医師・看護師等の皆さま、各部署の職員の皆さまのお力添えにより難局を乗り越えられたと感謝の念に堪えない。

また、令和3年8月8日には、静岡県が「まん延防止等重点措置区域」に追加され、県の監視巡回の準備が間に合わないこともあり、5日間ほどではあったが、当対策室及び産業文化部の協力職員にて、夜間20時から21時に市内飲食店の状況確認で巡回した。当時市内の状況は、飲食店の電気が消え、歩く人も車もまばらで人の声もほとんどない状態

で街全体が死んでしまったようであり、巡回時に「この状況がいつまで続くのか、楽しいお酒を飲んで騒いでの昔のように戻ることは、いつになるのか。」と不安になったことを思い出す。

現在、感染が収束したわけではないが、2年連続で中止となった「三嶋大祭り」が令和4年8月に感染対策を施して開催され、自身が祭りに参加して感じたことは、大勢の人々が一方通行を守って、決められた場所で飲食をして、しゃぎりの勇壮な音が聞こえた「祭り」の光景をみて、「皆さんの抑制された生活が、少しでも発散。心底、祭りに飢えていた。」と感じた。開催について反対の声も多数あった状況において、開催決定を判断していただいた関係者の皆さまの決断には感謝の念に堪えない。最近では、少しずつ街中を歩く人も増え、他県ナンバーの車も多数見かけるようになり、市内全体においてコロナ前以上の活気が戻ることを願っている。

## ② 危機管理課 危機対応係長 大橋 慎一（令和2年～4年度に担当）

### ● 新型コロナウイルス感染症対策本部会議等による情報共有・意思決定

#### 初期段階における情報共有体制

中国武漢市において、新型コロナウイルス関連肺炎が発生して以降、関係部署による必要な情報共有を早期の段階から開始した。副市長をトップとする「新型コロナウイルス感染症対策連絡会」を随時開催し、厚生労働省からの情報等をはじめ、静岡県の対応等の情報を庁内関係部署で共有するとともに、市の対応についても早期に協議を開始した。

#### 市対策本部の設置

令和2年2月27日開催の部長会議において、「三島市新型インフルエンザ等対策行動計画」を準用し、市長を本部長とする「三島市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置することを決定した。同日、第1回本部会議を開催し、新型コロナウイルスによる健康被害や生活への影響を最小限に抑えるための対策を定めた、「三島市新型コロナウイルス感染症対策」を審議し、決定した。

その後、国が緊急事態宣言を行った際には、対策本部を新型インフルエンザ等対策特別措置法第34条に基づくものに位置づけることとした。

第1回本部会議以降、令和5年5月10日までに延べ28回の会議を開催し、市の対応方針や施設の休館、主催事業の中止・延期等について協議するとともに、市内の陽性者発生状況等の情報共有を行った。

感染拡大初期の段階にあっては、感染症に関する情報や知見が不足する状況であったが、早期に対策本部を設置したことにより、市長のリーダーシップのもと対策本部会議内で速やかに市の対応方針等を決定することができ、対策本部の決定事項は庁内イントラネットシステムにより、全庁的な情報共有が図られたと考えられる。

一方、市の対応方針等の決定にあたっては、国の基本的対処方針を踏まえた県の対応方針の決定を待つ必要があったが、県の方針の決定から市の対策本部会議開催までの限られた時間的制約の中で、資料作成、取りまとめを行う必要があった。特に、法律に基づき知事の権限で行われる休業・営業時間短縮要請については、市に対する事前の情報提供が乏しかったことから、要請内容の関係部署内での情報共有、関係団体・事業者への情報伝達に非常に苦慮した。次なる感染拡大や新たな感染症の発生に備え、限られた時間の中で、国及び県の方針等を速やかに情報共有できる仕組みの構築が求められる。

### ③ 健康推進部 参事 兼 健康づくり課 課長 水口 国康 (令和3年度に担当)

#### ● コロナワクチン接種に従事した1年間を振り返って

##### **前置き・・・本稿作成のスタンス**

新型コロナウイルス感染症対策として三島市が実施したことを取りまとめた冊子を作成するにあたり、実際に業務に従事した職員の生の声も掲載するとのことで、原稿作成を求められた。私の従事期間はわずか1年であり、内容もワクチン接種業務のみであったが感想などを書かせていただく。

ただし、ワクチン業務については、既に三島市と三島市医師会によって令和5年3月に刊行された「新型コロナウイルス感染症と予防接種への対応 記録と検証」で詳述されているので、なるべく重複を避け、観点を考えるよう心がけたので、市が取り組んだ記録としてはそぐわない部分もあるかもしれないがご容赦いただきたい。

##### **初めてのワクチン対策会議に出席して**

私は令和3年3月に、健康推進部参事の肩書で、健康づくり課長、健幸政策戦略室長、及び企画戦略部新型コロナウイルス感染症対策室副参事の内示をいただいた。席は保健センターの1階である。健康づくり課への配属は初めてであることに加え、当課は専門的知識が必要な多くの業務を保健師等が行っており大変な部署という認識があったので、関係業務の勉強をしなければならないと思っていたところ、着任前の3月26日に顔合わせの意味で夜のコロナワクチン対策会議に出席したことで、その余裕がまったく無くなってしまった。

この会議はワクチンチームの本部である保健センター2階で毎週行われており、三島市医師会からの感染症担当医師と、コロナワクチンチームとして兼務になっている保健師や市役所各課の職員10数人が集まってワクチン接種の検討をするもので、この頃は海外の一部の国ではかなり接種が進んでおり、国内でも2月中旬から一部の医療従事者への接種が始まり、大半の国民が一刻も早くワクチンを打ちたいと願っている時期であった。

国は可能な限り早期に接種するよう自治体に再三要請しており、市としてどうすれば市民に早く安全に接種できるか、12月から検討してきた方策を具体化している段階であ

ったが、国からの情報が少なく、ワクチンがいつどの程度届くかも分からず、決めなければならないことや課題が山積で、ワクチン接種が喫緊の業務であり、健康づくり課の通常業務については優先度をつけて対応せざるを得なかった。

### **高齢者へのワクチン接種方針と接種開始時期**

この時、既に三島市では医療従事者への接種を4月下旬から主に集団接種で実施し、高齢者施設入所者は各施設で5月上旬から開始し、ボリュームゾーンとなる65歳以上の高齢者は6月上旬から集団接種で実施する方針が決まっていた。集団接種は高齢者ができるだけ近所で受けられるよう、市内全小学校の体育館を会場に、三島モデルで実施することとなっていた。

つまり、4月時点で圧倒的に不足するワクチンを、三島市はクラスターリスクの高い施設入所者に先に使用し、一般高齢者はワクチンが一定数確保できる時期に実施するという理にかなった方針であった。しかし、これにより、一般高齢者接種の開始時期としては遅くなり、4月16日付けの静岡新聞に、県内全市町の高齢者接種の開始時期一覧が掲載されたが、5月中に接種が開始できなかった市町は三島市だけであった。

当然反響は大きく、それまでも市民から毎日たくさん来ていた問い合わせの電話やメールが過激な内容になり、大変強い口調での苦情を沢山いただくこととなった。納得してもらえず、苦情1件で30分以上受けることも多かった。

### **三島にワクチンが来た**

そのように多くの市民が求めているワクチンとはどんなものだろうか？既に保健センターにディープフリーザーが2つ配置され、配線工事も終了しマイナス75度に保たれていたところ、4月14日に初めてワクチンが三島に届いた。

私は、映画の一場面、極低温で管理されるウイルスを、白く濁る空気の中、分厚い手袋で扱う物々しいイメージ持っていたところ、実際に大きなディープフリーザーの一番底に小さな箱が1つ、菓子箱のように鎮座していたのを見た時は、こんなものかと拍子抜けして思わず笑ってしまったのを覚えている。

### **接種券の発送と接種開始時期の前倒し**

4月23日に、65歳以上の高齢者33,334人に接種券を一斉に発送し、5月7日（金）から1回目接種のみを予約できるようにしたところ、奇しくも同日に首相から「高齢者接種を7月末までに完了させる」旨の発言があった。

この頃、三島市では9月までに高齢者接種を完了させる計画であり、これでも人的資源やワクチン・会場等の物的資源を可能な限り確保し、三島市医師会や関係者と協議の上決定したものであったため、当初、職員は7月までの完了は無理だろうと思っていた。

しかし、ワクチン配布量がはっきりしない状況であるにも関わらず、県からは進捗状況や完了見込みの調査が毎週のように行われるとともに、テレビや新聞等では県内市町の完了見込み時期の一覧表や、完了見込み時期で色分けした地図が示されるなど、各市町は色々な場面で競争を強いられ、かなり無理をして前倒しを進めることになった。

三島市でも各種関係機関等になんとかお願いし、集団接種の枠を増やすとともに、市内5病院の協力を得て、個別接種が実施される運びとなり、5月17日の市議会で9月まで掛かると答弁した接種完了時期を、5月28日の記者会見では「7月末までに概ね完了する」と答えられるまでに前寄せすることができた。

### **接種予約の一斉開始と大混乱**

さて、高齢者が待ちに待った予約開始日である5月7日（金）が来た。先行して予約が行われていた全国の状況はどこも大混乱したことが報道されていたため、電話とネットとLINEの3種類の予約方法を用意し、聴覚や言語発声に障害を抱える方にはFAXで送ってもらい職員が予約を取るという体制も整えた。また、電話予約のコールセンターは近隣市町より若干多く回線を確保するとともに、「お助け隊」を配置し、スマホでの予約が苦手な高齢者を支援していただいた。

しかし、と言うか予想通り三島市でも大混乱となった。健康づくり課とその2階のコロナ室は「コールセンターに電話が繋がらない」「ネット予約ができない」等の苦情の電話が鳴りっぱなしで、通常の業務ができず、市役所の代表電話もつながらず、つながったとしても取継ぎ先がないという状況が続いた。パソコンでインターネットエクスプローラーを使った場合は予約できないということを知った。17,640回分の予約枠が一杯になったのは、翌8日（土）16:30で、正直、初日だけで一杯にならなくてよかったと感じた。

翌々日の月曜日以降も「100回以上電話予約を掛けたが繋がらず、受付終了時刻になった」等の苦情が続いた。やはり、スピーディーで夜中でも可能なネット予約がほとんどを占め、電話予約しかできない方には大変申し訳なかった。

3週間後に接種する2回目の予約でも同じ状況に陥る訳にはいかないもので、急遽、2回目は市が会場と日時を指定することにした。システムへの大量の2回目の予約入力には機械的な反映ができず、職員が手作業で行った。5月下旬に2回目接種日時・会場を記載した葉書を出し、都合の悪い人は電話をしてもらうこととした。会場の都合で、2回目が4週間後や5週間後に割り当てられた人から多くの苦情があったが、事情を説明して何とか納得していただいた。

### **反省とその後の改善**

次からの予約開始時は、対面での予約ができる窓口を設置するとともに、1回目同様、お助け隊に活躍していただいた。お助け隊の中には、何人もの高齢者宅に伺って操作を教えてくださいました民生委員さんもいたと伺っており、大変感謝している。コールセンターの回線数も費用をかけ、急遽増やしてもらった。この時期のコロナ業務はスピードと安全と高齢者の負担軽減が最優先だったので仕方がなかった。この対面窓口の設置は職員の流動も増え大変であったが、比較的スムーズにいったため、基本的に後々まで続くこととなった。

接種券の送り方については、予約枠が不足しており、誰もが接種したいと思っている状況で、対象者全員に一斉に接種券や通知を出すとしてもない混乱を招くことが身に染



みたので、以後は、ワクチンの見込み量と予約状況を見て、予約枠を少しずつ開きながら年齢が高い順に接種券等を送ることとなった。また、1、2回目接種については、3週間空けてのセットになるので、今回のことを教訓に、次の予約からは2回セットでの予約方法へと変更した。

接種券は接種対象年齢が示される前に印刷したため、0歳からの全市民分を印刷済で、生年月日順に並べてあった。しかし、基礎疾患のある方を優先に接種してもらう必要があるため、障害者手帳を持つ人等の接種券を抜き出して先に送付したかったのだが、個人情報保護の制限で、ワクチンチームの職員は障がい者情報をもらうことができず、個人情報保護審議会に諮る時間的余裕もなかったため、障がい福祉課の職員に土日（ちょうど県知事選挙投票日で職員が手薄）に封入作業をしてもらい、1,623人に接種券を送付してもらった。私としては、コロナを災害と考え緊急的措置としてワクチン担当が取り扱うことを認めてもらいたかったところである。

### **体育館での集団接種が始まった**

いよいよ6月2日、高齢者への集団接種が三島モデルでスタートした。4月の医療従事者の接種時に練習し、従事者を増やすなど改善をしておいたため、接種自体はスムーズにいった。

ただし、予約時間は15分ごとに区切っていたところ、高齢者は時間に余裕を持ち過ぎる方が多く、中には1時間以上前から会場に来る人もおり、当初は会場入口が大変混雑し、整理が大変であった。そのうちに、早く来ても早く接種できるわけではないことが周知されたためか、次第に落ち着いていった。

三島モデルについては、既刊の「～記録と検証」に記載があるため、詳細はそちらをご覧ください。医師会の担当医師と検討する中で、ゲームのドラゴンクエストの主人公が壁に囲まれている状況からヒントを得て、パーティションで囲う案が出たと聞いている。普通のパーティションでは費用が高すぎる上、重くて大量には扱えないので困っていたところ、丁度良い大きさのダンボールを作ってくれる企業が近くにあり解決することができた。

この三島モデルは、高齢者が歩く距離を極力減らすことで、転倒リスクの低減や時間短縮、ミス防止、感染対策等を狙いとするもので、実際その効果は高かったと考えている。先行していた他市の接種時のインタビューで、周囲の人に肌を見せたくないという女性もいたので、それにも対応できたことになる。

この集団接種は週4日実施し、最大1日6会場、合計で1日1,500人以上接種した。この規模は、当時としては、ちょっとした大規模接種会場に匹敵する人数であり、6月7日からは病院での個別接種も加わり、猛烈な勢いで接種率を上げることができた。また、時間とともに医師や従事者も慣れ、接種スピードが上がり、1日の接種可能人数を増やすことができていった。

### **暑さと従事者の努力**

しかし、その反面、集団接種は朝早くに必要機材を運び込んで会場設営し、夕方には撤

去するという大変な作業を毎回行う必要があり、安全な接種のために多くのスタッフが必要で、職員の流動や民間事業者も含めた人材確保、そして付随する業務が膨大で、全ての業務が初めてのことで非常に大変であった。また、6月7月の体育館はとんでもなく暑く、従事者にとって過酷な環境であった。接種を受ける人は滞在時間が30分程度で済むが、従事者は1日中である。医師には保冷剤を体に巻いて接種していただいた。

保健師や担当者も前日の夜の多くの機材の準備が大変で、準備不足で忘れ物があると、土日は皆接種会場に出払っていて保健センターにいる職員も1～2名なので、問合せ対応で不在にできず大変困ったことになる。やはり人が常に不足していた。

ファイザー製ワクチンは扱いが難しく、解凍してから2時間以内に希釈し、6時間以内に使用しなければならず、再凍結不可である。1本たりとも無駄にしないよう、体育館でのワクチンの減り具合を見ながら早めに解凍しなければならないうえ、体育館でのワクチン希釈の時間に追われ保健師等はてんてこ舞いであった。従事した方は皆、暑い時期の体育館でのこの体制での実施は二度とやりたくないと思っているはずである。従事していただいた医師や薬剤師等の専門職の皆様、市職員には心から感謝している。

### **接種会場でのホッとするエピソード**

このように体育館での接種は大変な業務であったが、今となっては面白い出来事、向山小学校での弁当事件を1つ紹介させていただく。

集団接種に医師会から派遣された医師や看護師等の従事者の弁当は、医師会が費用を出していたが、発注や管理は会場に従事していた市職員が行っていた。ある日、配達された弁当を体育館の舞台上ではなく、隅の床の上に置いておき、昼食時間になり開けたところ、10個ほどの弁当全てに蟻がたくさん入っていて、食べられる状態ではなかった。

医師の先生方は、蟻じゃしょうがない、と笑って許してくれて、各自外へ食べに行っていた。先生方には、余剰接種等の際に先生からアイスクリーム等の差し入れをいただくこともあり、普段からの顔の見える関係、信頼関係があつてのことだと感謝している。

### **ドライブスルー接種**

集団接種では、体育館の中に来られない人を対象に、屋外で車に乗ったまま接種できるドライブスルー接種も行った。施設入所者や在宅医療を受けている人には医師が訪問して接種していたが、体は不自由だが何とか外に出られる人には良い方法であった。

対象者には、主にケアマネジャーさんから案内をしていただいた。ドライブスルーは何か実施したが、ひどい雨に降られることはほとんどなくラッキーであった。

### **余剰ワクチンによる接種**

ファイザー製ワクチンは1バイアルで6回（当初は5回であったが途中から変更された）接種でき、集団接種では必ず欠席者が出るため、毎回余剰ワクチンが発生する。

これを無駄にしないよう国から指示があつたとともに、エッセンシャルワーカーや各種団体等から優先接種を受けたい旨の要望が多数出ていたため、一石二鳥ということで、

この余剰を使うこととした。優先順位を決めリスト化し、集団接種終了後に電話連絡し直ぐに保健センターに来てもらい、そこに医師やスタッフ、各会場からの余剰ワクチンを集め接種することになった。

ただし、余剰ワクチンは、全ての会場の接種が終わるまで数が判明しなかったので、分かったら直ぐに、手分けしてリスト掲載者に順番に電話をかけまくることになったが、つながらない人も多く非効率的なことも多かった。

ワクチンに余裕が出てきた頃になると、エッセンシャルワーカーに早く接種するため、余剰接種と言いながら、新しいバイアルを開けて接種するようになった。また、ファイザー製ワクチンは、希釈してから 6 時間以内に使用しなければならず、解凍後は振動を与えてはならないとされていたため、保健センターへの運搬はスピーディーかつ慎重に行うことが求められた。

余剰接種者リストには、学校の先生も入っていたので、体育館での接種の際に学校の先生も一緒に接種してもらうなどの工夫も必要であった。

### **ワクチンが足りない・・・個人医院での個別接種の頓挫と予約の中止**

接種を更に加速するため、個人医院で個別接種をしてもらえるよう、6月23日に市内医院の先生方に集ってもらい、説明会を開催し、希望調査を実施した。協力できるといふ 30 近い医院から、何曜日に何人接種できるか等の情報をいただいた。

しかしワクチンが確保できず、これが無駄になってしまった。ワクチン量の確保見込みがあつて初めて予約枠を設定し、その接種に従事する必要な医師・スタッフ等の配置が決められ、予約も開始できるが、国に 20 箱を要求していたところ 6 箱しか来ないことが判明した。せっかくご協力をいただいたのに白紙に戻させていただき大変申し訳なかった。お詫び文を出させていただいた。

また、市民の予約も 7 月 2 日（金）に急遽ストップし、すぐ報道依頼をした。国やメディアからなぜ止めたのか問合せがあり、三島市議会の会派代表にも説明したが、ワクチンの配分は接種の進んだ市町に優先して配布されており、三島市は大量に接種を進めている割には当初ワクチンが不足していた。

その理由が、接種しても VRS という接種記録システムに入力されなければ接種済に計算されず、そのためワクチンも十分に来なかった。これが判明してからは、溜まっていた入力を数日で処理するよう流動職員に従事してもらうとともに、各医療機関等に接種したら直ぐ入力をするよう依頼した。

### **保健師の前向きな姿勢**

予約を止めた翌日 7 月 3 日（土）は熱海市で痛ましい伊豆山土石流災害が起きた日で、私は保健センターでそのニュースを知った。その後、保健師には、災害対応として毎日 1 人ずつ熱海に応援に行っていた。

当時の健康づくり課はワクチン業務を兼務している職員が多く、本来の通常業務まで手が回らなかったため、各種健康づくり事業や法定ではない 2 歳児健診、パパママセミナー、食育関連事業、その他各種啓発事業など、必須事業以外は業務を中止したり、開催回

数を減らすなどの対応をせざるを得ない大変な状況であった。

そのような忙しい状況にも拘わらず、その後、業務が逼迫した東部保健所への応援派遣についても率先して手を挙げていただいた。職員のそのバイタリティーと前向きな考え方に驚くとともに感謝している。

### **子どもへの接種と市民のご協力**

8月9月は暑さのため体育館での接種は不可能と判断し、集団接種は生涯学習センターや公民館等のエアコンが効く施設での接種とした。その接種会場の確保については、どの程度の人数が接種を受けるか不明であったため、多くの施設で長期間市民の予約を制限させてもらったり、市民団体が既に予約してあった会場を、後からワクチン会場として使用させていただくこととなり、移動してもらった。ご迷惑をお掛けしてしまい申し訳なかった。

大人の接種対象年齢が下がっていくとともに、12歳～18歳の接種も行われることになったが、この頃の感染状況は8月20日から9月30日まで緊急事態宣言が出される状況で、対象者7,100人に対し、最初の8月19日からの3日間の予約枠は240人分しかなく、一瞬で一杯になった。当然多くの苦情をいただいたが、親たちはスマホを使っている世代であることと、毎週予約枠が追加されるという情報を提供できたことで大きな混乱はなく、その後、多くの小児科医院にご協力をいただき、毎週700人程が受けられるようになった。

市民へご迷惑をかけた例としては、予約済の日時・会場を変更していただいたことが何回あった。前述のワクチンが不足した際と、逆にワクチンや予約枠不足が概ね解消された9月下旬以降、予約枠に空きが出てスカスカになった枠を詰める必要が生じた。電話やメールで説明して90人に納得してもらい、電話が通じない40人には手紙を出して変更させてもらった。その後約400人に異動していただいたこともあった。ご協力いただいた市民の皆様にはお礼を申し上げたい。

また、一度は白紙に戻させていただいた小児科以外の個人医院での個別接種を10月から始めていただいたおかげで、公民館等での集団接種は一旦秋で終了することができた。

### **高齢者への3回目接種**

令和4年2月からの高齢者の3回目接種では、公民館等での集団接種を再開するとともに、かかり付けの先生に接種してもらえることとなった。高齢者なので、対面での予約窓口を1か所増やし5か所に設置した。

この3回目接種の際も、国が当初は2回目接種から8ヶ月経過後に3回目接種できるとしていたところ、急遽6ヶ月後に接種できることに変更され、ここでも自治体は翻弄された。

その頃になって初めて1、2回目の接種を受ける気になった方等も一定数いるため、保健センターで定期的に接種を継続することとなったが、ほとんどが病院や医院での個別接種となり、市の労力が大幅に軽減され大変助かることになった。私が従事していたのは、この高齢者への3回目接種が終わりかけた令和4年3月までである。

## **複雑であった仕組みや手続きへの思い**

その他、記憶に残った大変困ったトラブルの一つとして、医療機関でのワクチン接種に係る諸経費が請求対象となるか否かが不明確であったことが挙げられる。ワクチン接種の契約方法や実施方法の仕組みは大変複雑で、当市の体制も効率的な登録状況ではなかったことが後に判明したが、当初国が示したマニュアルやQ Aは精度が低く、解釈の幅が広がった。

自治体としては、国には最初からきちんとした要綱を示してほしいところだが、国も初めてのことで短期間に手探りで進めてきたので仕方がなかったと思っている。また、当時、マイナンバーカードはあまり普及していなかったが、マイナンバー自体は全国民に割り振られていたので、緊急事態として、積極的に使用して効率的に接種を進めるべきだったということと、仕組みや手続きをもっと単純にしてもらいたかったと感じている。

## **定期発行である広報みしまの制約**

また、今回は、市民への情報提供、特にネットを見ない高齢者へのタイムリーな情報提供が大変難しかった。高齢者への情報提供は広報みしまが主になるため、最初の頃は毎号1、2ページ目にワクチン関連掲載用のスペースを確保していただいていたが、国が方針を頻繁に変えたことや、ワクチンの見込みが不確実だったこと、接種関連業務が混乱したこと等により、広報に掲載した後に実施方法等を変えたことが度々あり、次号で訂正記事を載せたこともあった。

そのうち細かい内容は載せることができなくなり、「詳細はホームページをご覧ください」や、あらかじめ「接種方法等は変更になることがあります」という文章も載せるようになった。DXを進めようという現代に月1回～2回発行の紙媒体を自治会の皆さんに配っていただいている広報紙に迅速な情報提供を求めることは難しいことを痛感した。

## **しっかりした組織体制の必要性**

以上のように、原稿作成依頼が感想で良いとのことだったので、記憶に残っていることを思い出すままに書かせていただいた。これを読むと私が色々やったように思われるかもしれないが、私が全体の指揮を取れた訳ではなく、そもそも接種業務に直接は従事しておらず三島モデルでのブース設営も5回程携わったのみである。

コロナウイルス感染症対策室の職員全員が兼務であったため、その中のワクチンチームも兼務職員だけであった。県や他市では課や専任の係を年度途中から作ったところもあり、当市もせめて1人は専任の職員が配置され、その職員が指揮を取れる体制が必要であったと感じている。そのような指揮命令系統が不明確な中、関係業務は苦労しながら担当職員が全て進めてくれたことに感謝している。

## **終わりに**

また、私もワクチン業務については、なるべく全体を把握しようと努めてはいたが、様々なことが同時並行で行われ、一度決めた方針も頻繁に変更されたこともあり、把握できないことも多かった。

そのため、本来ならここに書くべき多くの事、例えば、三島市医師会に実施していただいたPCR検査のことやピーク時に歯科医の先生方に接種していただいたこと、高齢者施設・障害者施設等での接種、ご協力いただいた民間事業者のこと、病院・医院への毎朝のワクチン配達、基礎疾患のある方の申請による接種券郵送、異物混入が確認されたワクチンと同じロットのワクチンが市内病院に配達されていることが分かった際の対応、国県とのやりとり等は載せておらず、私が知らない苦労話やエピソードも各担当は山ほどあると思われるが、ここには記載することができなかった。

また、今は令和5年4月中旬でコロナ業務から離れ1年余りが経過しており、その間の出来事も入っていない。何とぞご理解いただきたい。

### **収束への希望とお礼**

さて、5月8日からコロナも5類に変更され、マスクも更に自由になっていく。市民も報道関係者もワクチンへの興味はかなり減ったようであるが、今年もワクチンは春接種と秋接種が予定されているところ、この4月からワクチンチームは無くなり、感染症・保健衛生係が通常業務の中で接種を進めていくこととなった。

是非この体制のままワクチンを進められるよう、このままコロナ禍が収束し、以前の生活が完全に戻っていくことを祈るとともに、万が一新たに脅威となる感染症が発生した場合には、今回のように関係団体との連携を密にし、改善すべきところは改善し、迅速的確に効果的な対策が取れることを願っている。

最後に、三島市医師会の皆様を始めとした関係者の方々、教育委員会、学校関係者、ご協力いただいた民間事業者の皆様、度重なる流動に従事していただいた他課の職員、そして、何より本来業務と兼務で激務を担っていただいたコロナワクチンチームの職員に心からお礼を申し上げる。

## **④ 健康づくり課 主任 神戸 幸代 （令和2～4年度に担当）**

### **健康相談**

健康づくり課保健師1名が、新型コロナウイルス感染症対策室に兼務となり、本庁の対策室にて市民からの相談対応をすることとなった。当初は10万円の給付金の質問が多く、健康相談はあまりない状況ではあったが、三島市内で感染者が発表されると、問い合わせの連絡が健康づくり課にも入るようになった。患者の地域を発表してほしい、声の広報で伝えてほしい等外出への不安を訴える声が多かった。また、新幹線の出入りの場所で検温をすべきだ等水際対策への意見も多く聞かれた。

発熱外来の医療機関が少ない時期には、受診可能な医療機関への問い合わせが多かった。濃厚接触者の定義や療養期間の確認・保健所からの調査の連絡がこないなど、患者発生数の増加に伴い、相談の内容は多岐にわたるようになり、健康づくり課の電話が鳴りやまない状況が続いていた。

感染拡大時は、東部保健所の健康観察業務支援のため三島市の保健師を毎日派遣した。

直接健康相談ではないものの、感染者の置かれている状況に合わせ、できうる限りのサービスにつなげる業務を実施した。

今回の新型コロナウイルス感染症に関する業務を実施する中で、情報を入手できない方が多くいることを実感した。情報発信の方法は増えているが、タイムリーに伝えていく方法について対策が必要であると感じた。

### **社会的抗原抗体検査**

市では、感染への不安のある方 65 歳以上の方やエッセンシャルワーカーへの社会的検査を実施した。自己負担単価の設定や実施方法等他市町の状況を確認しながら、週 1 回メディカルセンターの駐車場を利用しながら実施してきた。健康づくり課保健師が防護服を着て検体採取業務を実施した。

感染リスクのある業務に携わるため、再度感染症対策について学ぶ機会を設け、職員が感染することなく実施することができた。県の PCR 無料事業も始まり、市としての事業は中止するなど、事業開始まで短時間で事業実施方法を構築しなければならず、又、状況に応じて中止するなど状況変化に合わせて事業を変化させていく難しさがあった。

### **自己検査用抗原抗体検査キットの配布**

県から自己検査用抗原抗体検査キットの配布が行われ、保健センターを会場としてドライブスルー方式で配布を実施した。LoGo フォーム (LGWAN 対応の電子申請システム) による予約システムを独自作成し、健康づくり課職員で土日・年末年始等希望者数が多い場合には対応を行った。市町の状況に合わせた対応を求められたが、近隣市町との対応の違いなどでご意見をいただくことも多かった。

三島市においては、発熱外来等実施医療機関のご協力により、医療機関で濃厚接触者への検査キットの配布を実施していただくことができた。

医師会との連携を図り、協力を得ながら事業を行ったことは、今後の保健事業を行う上でもかけがえのない経験となったと感じた。

## **⑤ 健康づくり課 主任 千葉 牧子 (令和 2～4 年度に担当)**

### **● ワクチンの配送について**

### **ワクチンの配送について (業者→市)**

コロナワクチンが初めて三島市に配送されたのが 2021 年 4 月 14 日。すでに、全国でも配送が始まっていたため、テレビ映像では配送の様子を見ていたが、実際に届いてみると、予想以上に大きく重たかった。大きな箱の中に入っているワクチンの箱そのものの大きさは約 20 cm 四方で高さが 4 cm ほどのものであり、いかに嚴重に梱包されていたかが想像できると思う。ドライアイスが約 30 キロ入っているため、ワクチンを冷凍庫に保管した後、このドライアイスを保健センターの敷地内 (ただし、危険物であるため市民が

容易に入れにくいところ)に捨てる作業がかなり大作業であった。特に高齢者接種の最大時にはこのような箱が10箱以上一度に届くことがあり、しかも、ワクチンの受け入れは平日土日を問わず業者が指定してきた日に受け入れなければならない、休日に職員2人で朝から出勤し(何時に届くかは当日にならないと分からないため)、30キロあるワクチン入りの段ボールを10箱受け入れ、汗だくになりながら-7.5℃のドライアイスを外に運んで捨てたこともあった。

#### **ワクチンの配送について(市→集団接種会場)**

高齢者の集団接種を市内小学校で行っていた時期は、日曜日は朝9時30分から接種を行うために、保健センターを職員が7時30分には出発をすることから、朝6時台には保健センターにきてワクチンの準備をしていた。

ワクチンを冷凍庫から出し、会場ごとに必要な本数を数え、保冷バッグに保冷剤をいれて準備をするのだが、ワクチンは温度管理が大事となるため、真夏の作業は室内を冷房で冷やし、蓄冷剤を敷いた上で作業を行った。多いときは日曜日に5会場で合計約2700人に接種を実施したため、用意するワクチンも450バイアルとなり、一つ一つ数えつつ専用のホルダーに移し替えた。

また、-7.5℃のワクチンは素手で触ると低温やけどをしてしまうため、専用の分厚い耐冷手袋等を使うが、小さいワクチンのバイアルを適切につかむことができず、朝早い時間からのワクチン準備は大変な作業だった。

#### **ワクチンの配送について(市→医療機関)**

3回目の接種より、市内医療機関を主体とした個別接種を実施した。

それに伴い、集団接種会場へのワクチン配送から、市内各医療機関へのワクチン配送が主体となった。市内約40の協力医療機関を4グループに分け、各医療機関に2週間に1回ずつ配送を行った。

配送は委託をしたものの、ワクチンの準備は市で行ったため、配送日の朝は医療機関ごとに必要ワクチン数を数えつつ専用のホルダーに移し替え、保冷バッグに入れて準備をするという作業を行った。この頃にはワクチンの取り扱いにも慣れ、-7.5℃のワクチンを素手で触っていた。

接種が進むにつれ、ワクチンの種類も増えていき、最初はファイザー社製の従来株対応ワクチン1種類であったが、モデルナ社製のワクチンが追加され、小児用のワクチン、ファイザー社製オミクロン対応ワクチン、モデルナ社製オミクロン対応ワクチン、武田社製ノババックスワクチン、乳幼児用ワクチン、小児用オミクロン対応ワクチンと種類が増えていった。ワクチンごとに保管方法が異なり、ロット番号や使用期限も異なるため、在庫管理や使用期限の管理も大変だった。



## ⑥ 地域包括ケア推進課 課長 佐野 文示（令和2～3年度に担当）

### ● 高齢者支援の立場から

新型コロナウイルス感染症の出現は、重症化のリスクが高い高齢者にとって非常に脅威であり、罹患による急激な悪化や ECMO の使用などが頻繁に報道される中、必要な検査や治療であっても受診控えが見られる状況であった。また、店舗や公共施設のみならず、居場所やサロン等の集いの場も閉鎖になるところが多く、街から高齢者の姿を見かけなくなる状況が続いた。要介護認定者においては、デイサービス等の通所やヘルパーによる訪問介護の利用控えも見られ、また、緊急事態宣言下には遠方在住の家族の帰省が困難であったため、高齢者の孤立による認知症の進行や運動機能の低下など様々な問題が懸念された。

### お助け隊の結成

諸外国の新型コロナワクチン接種が進む中、令和3年になって日本でもようやくワクチン接種のスケジュールが示された。高齢者については令和3年4月12日に開始すると通達があったが、自治体においてはワクチン確保が不透明な状況が続いた。本市においては、ある程度まとまったワクチン確保の見通しが立った時点での接種開始としたため、県内では若干遅れての予約受付開始となったが、先に開始した各自治体においては大混乱と苦情対応に追われる様子が各メディアで報道された。他の自治体より多くの予約枠を用意していた本市においても、コールセンターや市役所、保健センターに電話が集中することによる混乱が予想された。

連休が明けて5月7日（金）からの予約受付開始であったが、そのちょうど3週間くらい前だったと記憶しているが、市長室に呼ばれ、豊岡市長から「お助け隊のようなもの」による高齢者支援ができないかという話があった。内容は、地域包括支援センターを中心に、高齢者のスマホ等による予約支援を手伝ってあげられないかというものであった。当課においては、既に同年2月から介護支援専門員連絡協議会や各地域包括支援センターとともに、要支援・介護認定者のワクチン接種支援について協議を重ねていたため、ワクチン接種に関する支援協力体制は整っていたが、認定を持たない高齢者の支援まで広げることはマンパワー不足であると感じた。そのため、民生委員児童委員協議会の宮川会長に依頼し、地域の高齢者の支援について、協力いただけることとなった。

また、当課では以前から高齢者のスマホによる仲間づくり事業を実施していたため、そのノウハウを活かし、職員やスマホタブレットアドバイザー（職員 OB）を中心に予約支援を実施することとした。

これらの様々な支援を「お助け隊」と総称して呼んだが、振り返ってみれば、名づけ親は市長であったことに今、執筆しながら気がついた。

5月7日と8日の2日間で予約枠は埋まったが、その間、多くの高齢者が予約支援会場に駆け込むとともに、地域においては民生委員、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員が訪問による支援を行い、1,100人以上の高齢者の予約を支援した。この時のコール

センターを通じた予約人数が 1,291 人であったため、同等の人数を「お助け隊」が支援したことになる。

地域のために尽力してくださった民生委員をはじめとする総勢 362 名の「お助け隊」の皆様には頭が下がる思いであり、心よりお礼を申しあげたい。また、急な実施にもかかわらず、「お助け隊」の実現に向け、夜間、休日も準備等、頑張ってくれた当時の原理絵係長や伊藤里香係長をはじめとする地域包括ケア推進課職員には感謝の気持ちでいっぱいである。

### バリアフリー接種と訪問接種

集団接種における「三島モデル接種」や「ドライブスルー接種」は報道等で多くの人に知られることとなったが、ここでは、「バリアフリー接種」と「訪問接種」について記録しておく。

大規模集団接種を実施するにあたり、懸念されていたのは体が不自由な高齢者の集団接種会場での移動である。本市では三島モデル・ドライブスルー接種等、高齢者や障がい者に優しい接種体制を整えていたが、大規模接種においてはタクシー確保が困難であり、接種に一定の時間を要するドライブスルー接種については家族等による支援が必要であった。

当課では、体育館での集団接種に困難を要する高齢者を把握するため、介護支援専門員を配置する居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターに調査を実施したが、予想外の結果となったことに驚いた。ドライブスルー接種に希望が集中するものと想定していたが、バリアフリー会場を希望する人が意外に多く、また、自宅から外に出ることが困難な人が、ドライブスルーと同等数いることがわかった。

調査結果への対応として、当時の感染症担当理事であり、現医師会長の吉富雄治医師と協議し、保健センターを会場とした「バリアフリー接種」の回数を増やすとともに、外出困難な人への「訪問接種」を実施することとなった。

「訪問接種」については、1バイアルで6本できる貴重なワクチンを1本も無駄にできないことや、当時、希釈後6時間以内の使用が求められたファイザーワクチンの取り扱いが難しいこと、ワクチンの運搬に注意を要することなどから、実施には高い壁があったが、これらに対応できると手上げしてくださった3つの医療機関から開始した。

県内では初の実施となり、全国的にも珍しいということで、「訪問接種」の実際の様子をNHK全国版で放送していただいたが、その後の反響が大きく、他自治体等からの問い合わせに追われることとなった。

要配慮高齢者把握調査 設問	人 数
要支援(事業対象者を含む)及び要介護高齢者の人数	3,073
体育館での接種は困難だが、バリアフリー会場であれば接種が可能な高齢者	356
バリアフリー会場での接種も困難であり、ドライブスルーであれば接種が可能な高齢者	127
在宅医療の利用者で、自宅から外に出ることが困難な高齢者	111

## コロナの遺産

新型コロナウイルス感染症により様々な面において苦難を強いられてきたが、わずかではあるが、前進した高齢者施策もあった。

1つ目はスマホを活用した事業である。「お助け隊」による支援を実施して分かったことだが、スマホを持っていても電話機能しか使ったことがない高齢者が多く、電子申請に必要なメールアドレスを探すことに時間を取られた。緊急事態宣言や災害等により、孤立状態となった時の安否確認において、LINE 等のスマホ活用は有効であり、また、スマート市役所を進めるうえで、デジタルデバイド対策は欠かせないものである。「お助け隊」による支援が、後に「スマホ・タブレットキャラバン隊」の結成に発展し、地域の居場所等における LINE の普及に繋がった。

2つ目として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した居場所・地域サロン支援金事業により、市が把握する居場所等が 89 か所から 180 か所に増え、コロナ禍においては多くの居場所等に新型コロナに関する情報提供を行うことができた。現在、これらの居場所等についてはマップ化し、高齢者の通いの場の周知に活用している。

新型コロナウイルスにより、当たり前の生活が当たり前ではなくなった時、普段の生活のありがたさに気づく人も少なからずいたのではないかと思う。コロナ禍においては人と人のコミュニケーションや会話の大切さを実感するとともに、今後も地域コミュニティ豊かで元気な三島の街であり続けることを願っている。

## ⑦ 介護保険課 副主任 若狭 大二郎 (令和3～4年度に担当)

### ●高齢者施設におけるワクチン接種

## 接種体制構築

高齢者施設におけるワクチン接種に具体性を帯びたのは、令和3年1月28日付の厚生労働省4課長による連名通知「高齢者施設への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について」からである。これを受けて、高齢者施設における接種の調整のため、令和3年2月1日付で、前任者である介護保険課主任保健師が新型コロナウイルス感染症対策室に兼務着任し、高齢者施設との連絡調整や、医療機関への協力依頼を行った。同年4月1日付兼務辞令により、業務を引き継いだ。

4月上旬、初回配送分ワクチンが少量と分かり、対象の多い在宅高齢者の集団接種ではなく、初回配送分に対応可能な高齢者施設での接種にワクチンを配分することになる。ワクチン確保量を鑑み、当面は施設従事者を対象外とし、入所者のみの対応とした。

新型コロナウイルス感染症対策室の保健師を頼り、4月22日に高齢者施設向けの説明会を開催した。また、医師会によるワクチン希釈・吸い上げの練習会(4月21日)への施設看護師の参加や、デモンストレーションとして実施した医療従事者等の集団接種(4月24日)への施設関係者や介護事業者の見学を調整した。

接種を行う医療機関には、国から接種記録用のタブレット端末が配布されたが、接種開始前

日となってようやく配布が完了した医療機関もあった。

感染対策の中、5月から順次接種開始という短期間の調整に尽力いただいた、高齢者施設や関係医療機関の皆さまには、改めて感謝申し上げたい。

### **初回接種開始**

多方面の協力を得て高齢者施設での接種は5月6日から開始となった。調整ではワクチンの余剰廃棄0の対応を求められた。国から供給される注射器等により1バイアルで接種できる人数が異なるため、1回当たりの接種予定数を設定したうえで、体調不良等で急遽接種できない場合も想定し、余剰となったワクチンを接種する従事者等も含めた調整をお願いした。5月下旬にはワクチンの配送量の見通しが立ち、施設従事者の接種の調整を改めて行った。6月以降、1回目接種の施設、2回目接種の施設、施設内での1回目と2回目の混在等、状況がより複雑となることに加え、施設や協力医療機関の感染状況により延期となることもあり、当初計画から遅れてしまったが、8月21日をもって市内高齢者施設における初回接種は完了することができた。

### **3回目接種～オミクロン株対応**

3回目接種では、急遽初回接種(2回目)から必要な間隔が短縮された。接種券発行やワクチン配送の準備期間を考慮し、令和4年2月開始予定とした。三島市では、接種券担当の協力により、施設の接種予定日に合わせ可能な限り対応できたが、市外自宅に住民票があり、接種券の発行元が三島市ではない入所者も多く、自治体ごとに対応は異なった。国は接種券のない場合の対応も示したが、管理面から接種券の確認を求めることが一般的であり、施設では接種計画に苦慮していた。このような状況であったが、また、1月中に接種を開始する市町に限り、県からのワクチン引き渡しが1月上旬に可能となり、ワクチン担当が県に受け取りに行くことで、1月に対応可能な施設から接種を開始することができた。

3回目接種以降は、入所者の入れ替わりにより接種時期を絞れないことや、施設や協力医療機関の感染状況等により、接種計画を立てられないケースもあった。令和4年の春の4回目接種を実施できずに秋のオミクロン株対応ワクチンの接種を実施した施設もあった。急な方針の変更等に振り回されるなど、混乱について記述してきたが、高齢者施設での接種は、状況に応じて施設単位で粛々と実施できており、安堵している。

### **継続対応**

多くの自治体で、高齢者施設との調整を介護保険担当課で担っていたが、兼務辞令が出ていたのは周辺自治体では三島市だけであったと記憶している。ワクチンチームとして情報を共有でき、主体的に対応できた点は良かったのではないだろうか。

令和5年3月には、厚生労働省から5月8日以降の春開始接種と9月以降の秋開始接種についてアナウンスされ、今後も継続して対応が必要となった。医療機関、高齢者施設等や介護保険事業所の皆さまのこれまでのご協力にお礼を申し上げるとともに、引き続きのお力添えをお願いしたい。

## ⑧ 商工観光課 課長 畠 和哉 (令和2～3年度に担当)

令和2年3月下旬、国内の感染者が増え始め、飲食店を中心に不安が広がってきた。すぐにできる経済対策として既存の『マル経』に対する利子補給制度を感染症に対応できるよう例規改正を行い、4月1日付けの専決処分ですべての予算を確保した。この段階では国の制度融資は機能しておらず、市内事業者には一定の安心感を与えられたのではないかと思う。

その後、ゴールデンウィークに行動制限がかかることになり、県は感染拡大防止のためにバー、スナック、キャバレー等に休業要請を行い、応じた店舗には20万円の休業協力金を支払うことを決めた。これに合わせて三島市でも県の要請の対象店舗に20万円の上限を乗せ支給を行い、対象とならない市内の飲食店に対しては独自に1店舗当たり40万円の協力金を支給することとした。連休直前の決定だったため、補助要綱などは後回しにして概要のみを作り、飲食店組合と食品衛生協会の協力で休業してもらえよう懸命に周知した。公表と同時に電話が鳴り続け、先の見えない状況に職員も不安を感じていることがよくわかった。連休明けには大量の申請に対応するため、他課から応援職員をもらい災害対策本部室に審査チームを編成して業務にあたった。また、危機管理課から災害対策用の電話回線を借り受け、炊き出し訓練室を臨時のコールセンターにしつらえた。

また、県の制度融資を受けるためには、市町による売上減少の認定が必要となることから、金融機関が顧客の手続きのため市役所を連日のように訪れ、大社町別館の廊下にできた行列は階段を下り1階の玄関先まで続いた。そして、イベント系の予算は全て減額する一方で、経済対策に係る補正予算をほぼ全ての議会に提出し続け、経済対策事業を年間で13事業を実施し、5事業を繰越しとした。これらの事業は効果があったと実感できるものもあれば、期待ほど執行率が上がらなかったものもあった。しかし、経済の血流を止めないために考え得るアイデアを絞り出し、経済対策事業を繰り出す姿勢こそ、コロナに負けないという市のファイティングポーズだと職員を激励し続けたことを鮮明に覚えている。

## ⑨ 教育推進部 部長 鈴木佳憲 (令和2～4年度に担当)

### ● コロナ禍における教育委員会の対応

#### **臨時休業下の学校活動**

令和2年2月27日、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、3月2日から春休みまで、学校を臨時休業するよう国及び県から要請が出された。それを受け、三島市では市立小中学校を臨時休業することとした。この期間内に予定されていた卒業式は、義務教育の重要な節目であり、コロナ禍においても必須の行事と判断し、各校では保護者や地域の皆様にご理解いただき、式典の時間短縮や人数制限などの感染予防策を講じた上で開催をした。また、令和2年度入学式も同様、保護者には校庭でのパブリックビューイングをご覧いただくなど、学校の規模に応じ様々な感染予防対策を講じ開催した。なお、入学式翌

日からは再び臨時休業を余儀なくされ、本格的な学校の再開は6月1日からとなった。この期間中、児童生徒は、友達と一緒に外遊びもできない日々が続いており、各校では子ども同士で居る時間の創出や、教員とのつながりの時間を持つことを目標に、学年毎に登校日を変えたり、学級を2つに分けたりして試験登校日を設ける中で再開に漕ぎつけた。

### **学校再開にあたって**

文部科学省が発出したマニュアル「学校の新しい生活様式」に基づき、学校活動が開始された。

感染症対策のポイントとしては、

・感染源を絶つこと ・感染経路を絶つこと ・抵抗力を高めること の3つが示された。

その中でも特に、「感染源を絶つ」ことを重視し、各学校は国及び県の感染レベルに基づく市のレベルに応じて、児童生徒はもとより教職員に対しても対策を講じた。

レベル1・・・本人に風邪症状がある場合は出席停止。

レベル2・・・同居の家族に風邪症状が見られる場合も出席停止とし、自宅で休養する。等

また、このマニュアルをもとに、学校独自のマニュアルを作成し感染症対策に取り組んでいる学校もある。

なお、再開にあたり感染予防対策のため、国の新型コロナウイルス感染予防対策の補助金をフル活用し消耗品や物品等を購入し各校に配布した。具体的には、マスクやアルコール消毒液、非接触体温計、また、熱中症対策として、エアコンの導入が難しい場所へのスポットクーラー、英語の授業等でマスクと使い分けるためのフェイスシールド、換気対策として特別支援学級等扇風機未設置の教室への設置や体育館への大型サーキュレーターなど、各校の要望に応じた環境整備を行った。

### **給食の再開**

給食当番はマスクをし、給食着や手袋を着用するなど万全な状態で配膳に取り組んだ。また、給食時間は「学校の新しい生活様式」に基づき前向きでの黙食とするなど、寂しさを感じる時間となった。

### **コロナ禍の消毒作業と保護者や地域住民の協力**

コロナ禍での学校再開後は、消毒という新たな作業が加わり、教職員にとってはそれが大きな負担となった。「一日に何回、どこまで消毒をすればいいのか」を悩みながらも、できる限り取り組んだ。

このような教職員の負担を軽減するため、地域学校協働本部をはじめ、保護者や地域の皆様が、放課後等の消毒作業へ率先して協力してくれたことは、地域の支えのもとに学校があることを再認識する機会ともなり感謝に堪えない。

## **再開後の学校行事**

### **中体連**

全国大会・県大会の中止の発表を受け、市内大会の開催は微妙な状況だったが、3年生のこれまでの頑張りを発揮する機会を何とか設けてあげたいと考え、市中体連事務局や各中学校が協議を重ね、感染症対策(検温、応援制限など)を講じるなかで行われた。

### **合唱コンクール**

クラスが一丸となって取り組んだ練習の成果を発表する場であり、中学校生活の思い出の一コマとなる大切な行事である。例年であれば、保護者をはじめ多くの皆様が応援に来るところを、生徒と関係教職員のみでの開催となった。合唱コンクールの終了後、開催できたことに対し感謝の涙を流しながら校長先生に伝える生徒の姿も見られた。

### **運動会**

種目数の縮小や学年ごとの異なる日程、応援制限など、各校が様々な感染予防対策を工夫し行われた。

### **修学旅行**

感染拡大の恐れを避け、従来とは異なる目的地を選択し行われた。様々な制約はあったが、児童生徒は、例年では得られない経験をすることが出来た。

(小学校) 日光や信州、浜松市などで行われた。浜松市を選択した学校では、マスコットキャラクター「家康くん」が歓迎セレモニーに登場し、代表児童がテレビの取材を受けた。また、夕食でテーブルマナーを学ぶなど新たなスタイルも取り入れられた。

(中学校) 令和2年度は中止。令和3年度は、山梨や長野など近隣県を目的地として行われた。

### **いじめゼロ集会**

コロナ禍では、感染者への誹謗中傷が社会問題となったことから、学校によっては学年ごとに「いじめゼロ集会」を開催した。この集会では、学年の発達段階に応じた題材を選択し、いじめについて考えた。

### **生徒会の取組**

コロナに負けない、誹謗中傷を許さないという思いから、生徒会が主体となって動画を作成し全校生徒に発信。「自分たちにできること、すべきこと」を考える取り組みもあった。

### **参観日**

令和2年度は、多くの学校で開催中止。令和3年度からは、人数制限をしたり検温をしたりするなど、保護者の理解と協力により行われた。

### **発育測定**

密にならないよう、感染症対策を施したうえで行われた。

### **学校における集会**

学年全体、学校全体で集まることが非常に難しい状況もあり、電子黒板、ウェブカメラ、パソコン等を活用してのオンライン集会がスタンダードになった。

## **学びの保障**

コロナ禍においても、学びを止めない学習環境を構築するため、文部科学省のGIGAスクール構想が前倒しされた。このことから、三島市では小中学校の児童生徒への一人一台端末の配付、校内の学習系ネットワークの増強を最短期間で実施すべく事業に着手し、令和3年3月末までに完了した。令和3年度からは、学びの道具として、これら機器を小中学校の授業で積極的に活用するよう努めた。

### **持ち帰り前提の環境整備**

学校再開後も、感染症の拡大等により再度学校が臨時休業になった場合や、児童生徒が感染した等により自宅待機となった場合にも、学びを継続させるため、Wi-Fi環境がない家庭でもオンライン授業が受けられるなど、単独で通信可能なLTE機能付きタブレット端末を選択し児童生徒に貸与した。

また、一人一台のタブレット端末は、県内他市町に先駆けて導入早期から児童生徒による家庭への持ち帰りを進めた。教育委員会では、教員のタブレット端末活用スキルの難易度レベルを設定し、年度ごとに市内教員全体の取得目標レベルを掲げ、それを目標に取り組んでもらうことで、教員の活用スキルの平準化を図っている。

さらに各教員は、臨時休業や児童生徒の病休等に備えたオンライン授業の試行や、より効果的な授業を進めるための活用方法の工夫など、積極的な活用に努めており、今後は効果的な活用事例の共有化を進めるべく取り組んでいる。このような取り組みにより、現在、一人一台タブレットを先進的に活用している自治体として県内では高い評価を受けるまでになっている。

## **放課後児童クラブの対応**

コロナ禍において学校が臨時休業等となった場合にも、子育て世帯が働くことができる居場所となるよう、可能な限り開所に努めた。

令和2年3月から5月にかけて、全国の学校が一斉に臨時休業となった際には、学校の教職員等(学校支援員、給食調理員含む)との連携・協力いただき、必要に応じて、普段、児童クラブを利用していない児童にも受け入れ対象を拡大したほか、開所施設を絞ったセンター方式等により、子どもたちの受入れ体制を維持した。

また、学校が再開されて以降も、「三密」になりやすい放課後児童クラブの環境下において、クラブ内での感染リスクの軽減や三密回避のために、おやつの休止や隣接する教室等の借用により児童が分散した状態で保育できるよう、各小学校に協力を求め感染症予防に配慮した運営を行った。

## **コロナ禍での社会教育事業**

### **イベント・講座等の開催**

常に新型コロナの感染レベルに応じた実施方法などを数パターン用意することが必要だった。しかしながら、様々なパターンを用意しても開催中止になることが多く、職員のモチベーションを維持させることが課題であった。

・市主催の女性学級や実年学級等の学級生は高齢者が多く、学級活動はフレイル対策とし



ての社会参加にも寄与していたが、コロナ禍により学級活動が出来ないことでフレイルが進んだ者がいたのではと推測される。

- ・宿泊を伴う青少年健全育成事業は、これを機にスクラップ&ビルドも視野に実施方法の見直しが必要と考え、新たな開催方法を検討するきっかけとなった。

### **感染予防対策**

- ・静岡県が定めた公共施設の新型コロナウイルス感染症予防対策基準に基づき、感染レベルに応じた各施設の定員に対する入場制限を実施した。
- ・市民生涯学習センター、市立各公民館、市立図書館、市郷土資料館、学校施設開放等の外部施設の運営等やイベント・講座については、三島市新型コロナウイルス感染症対策の意思決定機関である、「三島市新型コロナウイルス感染症本部会議」で決定した対策内容に基づき、中止・延期・規模縮小等の措置を講じた。
- ・館運営に当たっては、国のコロナ対策交付金を活用し、感染予防対策用の手指消毒用のアルコール液の設置や、各館入口付近に来館者の体温センサーカメラの測定結果をモニター画面に表示させる機器を設置し、来館者の入場制限や体調管理に活用したり、空調設備の外気取り入れ比率を最大限に設定変更したりし館内の換気に努めた。
- ・貸室の使用後は、部屋や貸出し物品の消毒作業を館内スタッフのルーチン作業とした。

### **施設のキャンセル等の対応**

- ・休館を決定したときは、無料・有料に関わらず利用申請者に連絡し、開催日までに使用中止申請書又は使用変更申請書を総合窓口まで提出して欲しい旨、依頼した。また、その内容を館内に掲示した。有料貸室未使用時の納付済み使用料の還付については、個々の事情に応じて弾力的に対応した。
- ・利用者が新型コロナウイルス感染の懸念からキャンセルを申し出たときは、納付済みの使用料については還付をした。また、館内にもその旨の表示をした。

## **⑩ 政策企画課 兼 福祉総務課 主任 杉本 哲也 (令和2～4年度に担当)**

### **● 特別定額給付金の支給にあたって**

市民1人あたり10万円を支給する「特別定額給付金」の円滑な支給及び新型コロナウイルス感染症対策本部の機能を拡充するため、企画戦略部の部内室として「新型コロナウイルス感染症対策室」が令和2年4月27日より設置された。それに伴い、平成21年に緊急経済対策のために支給された定額給付金の支給事務の経験を買われ、「新型コロナウイルス感染症対策室」のメンバーに選出されることとなった。

当初は、国からの事務連絡が連日送付されるような状態であったことから、手続き方法や給付時期等について詳細な情報を市民の皆様にお伝えできなかったことが残念に思う。しかし、この非常事態に対し、部署の垣根を越えて準備を進めることで、国の補正予算成

立直後に総合相談窓口の設置と給付金の申請受付開始が可能となった。

特別定額給付金を支給するにあたり、多くの苦労があった。まず、4万件を超える申請書を市内全世帯に送付するため、相当数の関係書類の印刷と封入封緘作業が必要であった。全ての業務を業者に依頼した場合、当時は多くの自治体から同様の依頼があると想定されたことから、納品までにかかなりの期間が必要であると言われていた。一刻も早く給付金をお届けしたいとの思いから、職員動員での作業が実施できないかと上司に相談したところ、1日につき20名以上の流動による職員の協力を得ることができ、予定どおりの発送が可能となった。

さらに、返送された申請事項の確認作業も必要であった。受付開始当初は1日に数千件の申請書が返送されたこともあり、作業員だけではなく広い作業場所が必要なことに気づいた。市役所内で数十人規模の作業ができる場所の確保に頭を悩ませたが、建物内では議場が一番広いことに思い至り、無理を承知で議場の借用をお願いしたところ、快く承諾いただいた。休日の議場での作業中に、市長が激励に来ていただいたことを今でも覚えている。

また、当市ではマイナンバーカードの有無に関わらず電子申請を可能としたことから、比較的若い世代の申請の利便性の向上に寄与できたと自負している。続いて、電子申請が難しい世帯からの画期的な申請手段についても熟考したが、お恥ずかしながら良い方法が思いつかず、最終的には地道に足を使って申請のお手伝いをするのが一番と考え、室員の皆で未申請者のお宅を訪問してまわったこともあった。

以上のような苦労を乗り越え、早期に特別定額給付金を支給することができた。この難局に対し、チーム三島であったからこそ、実現できたと感じている。新型コロナウイルス感染症の影響は未だ残っているが、市民の皆様が安心して生活できるよう、引き続き最善を尽くしていきたい。

#### ⑪ 広報情報課 デジタル戦略室 主査 杉山 翔一朗 (令和2～3年度に担当)

新型コロナウイルス感染症対策室兼務の正式な辞令を頂戴したのは令和2年4月27日(月)。当時の所属は広報担当部署であったため、主にコロナ対策に係る情報発信を担当すると想定していたが、成り行きで特別定額給付金の事務に深く携わることになった。

着任直後、政府により全国統一の電子申請システム「ぴったりサービス」を利用するオンライン申請方式が整備されており、これを使って給付金申請書の一齐発送前にオンラインで申請受付を開始するという状況を聞いた。この方式ではマイナンバーカードによる本人確認が必須であり、当時のマイナンバーカード普及率(13%程度)では申請できる市民ごく少数と見込まれていたため、よりハードルが低い電子申請でなければ導入する意味がないと考えた。

たまたま令和元年度に市の電子申請システムを管理する業務を担当していたため、それを活用すればマイナンバーカードなしに「ぴったりサービス」同等の申請を受付できると感じ、28日(火)から申請フォーム作成に着手、29日(祝・水)に完成させて動作

確認を行った。30日（木）に室内で協議した上で部長と市長に諮り、独自電子申請システムでの受付開始を決定し、1日（金）から受付を開始した。システムの許容量を超える申請により一時停止や受付数を制限するといった課題があったものの、ぴったりサービス受付数約1400件に対して独自申請受付数約7000件と5倍の利用があり、大きな導入効果を得られた。

オンラインでの申請受付を開始したものの、受付後の処理について事前に熟慮できなかったため、事務を進めながら考えていく事態となった。当面の課題は、オンライン申請に添付される画像の印刷処理であり、当初は1件1件手動でマウス操作して印刷したが、膨大な時間を要していた。この省力化のため、こちらもたまたま前年度に携わっていたRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）に活路を見出した。実証実験で面識がある業者があったため、RPAを動作させるためのシナリオの基礎部分を担当者が自ら作成し、最適化を業者に委託することで導入時間短縮を図ることができた。印刷処理の後も、給付状況を管理するシステムへの膨大な入力待ち構えていたが、こちらもRPAにより省略化することに成功し給付までの処理時間を削減できた。

この給付金の取り組みは多くの報道や国会でも取り上げられる程の注目度があり、一定の効果があったと考えるが、後から総括すると「アジャイル」や「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」の要素が強かったと感じる。2日程度で構築した独自電子申請というデジタルツールの導入を先立って決定し、後の処理はやりながら考えていった点が該当し、それを許容した新型コロナウイルス感染症対策室の組織体制も有用であった。多くの奇跡的要素が重なったことに加えて、前例踏襲や周辺自治体に倣う傾向が強い公務員らしからぬ体制が、成功を生んだと言える。

## 【 資料編 】

### 資料1 市長メッセージ集

#### ① 令和2年4月9日

#### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

市民の皆さま、市長の豊岡武士でございます。市民の皆さまには、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。これまでも、小中学校の臨時休校、公共施設の臨時休館や地域活動の自粛などに大変ご不便をおかけしております。本市では、2月27日「三島市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置いたしまして、市長が先頭に立ってチーム三島で、市民の皆さまの生命と健康を守るため、全力で感染予防対策に取り組んでいただいております。さて、4月7日に政府が7都府県を対象に「緊急事態宣言」を発令いたしましたことは、皆様もご承知のことと思います。そこで、この緊急事態宣言を受けて、私から市民の皆さまに大切な人や自分自身を守るため、そして一日も早く新型コロナウイルスの感染を終息させたいとの思いをこめて、改めてお願いがございます。

1 つ目は、不要不急の外出は控えるようお願いをいたします。医療機関への通院や食品の買い出し、職場への通勤など、生活の維持に必要な場合を除き外出を控えていただきたいと思います。また、これまで集団感染が確認された場に共通する3つの密、「1.換気の悪い密閉空間」「2.多数が集まる密集場所」「3.間近で会話や発声をする密接場面」を極力避けていただきますようお願いいたします。

2 つ目は、感染拡大地域からの感染を抑えていきたいということでもあります。日頃、通勤・通学をされている方は、緊急事態宣言を受け感染症予防に、より一層留意されていることと思います。今後も、基本的な感染予防対策を徹底し、感染拡大地域での不要な場所に立ち寄ることはやめていただけますようお願いいたします。また、企業の皆様には感染拡大地域への出張等は極力控えていただけますようお願いいたします。それと同時に、感染拡大地域に現在お住いの方は、緊急事態宣言の趣旨を踏まえ、三島市へ帰省するなどの移動は控えていただきますよう是非ともお願いをいたします。生活上やむを得なく戻られる方については、潜伏期間である二週間程度、症状の有無を確認し、自宅待機されますようお願いいたします。

3 つ目は、国・県・市から発信される正確な情報をもとに、冷静な対応と行動を心掛けていただくことです。特に食品をはじめとする生活に必要な物資については、今まで通り物流がしっかり確保されておりますので、買いだめに走るようなことはせず、是非とも落ち着いた消費行動をお願いいたします。

市民の皆さまにはご不便をおかけしたり、寂しい思いを抱かれたり、また、ご不満を持たれることもあるかと思いますが、すべては市民の皆さまご自身と、大切なご家族や友人などを守るためのお願いであることをご理解いただきたいと思います。新型コロナウイルス感染症が終息するまで苦しい日々が続きますが、一日も早くこの難局を乗り越えるためには、皆さまのご理解とご協力が不可欠であります。三島市民一丸となってこの難局を乗り越えましょう。よろしくお願いいたします。

## ② 令和2年4月24日

### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

市民の皆さま、市長の豊岡武士でございます。市民の皆さまには、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月16日に政府が静岡県を含む全国を対象に「緊急事態宣言」を発令いたしました。都市部からの移動により全国的に感染が拡大していることから、「移動の自粛」を始めとする感染拡大防止を徹底し、爆発的な発生を、食い止めていかなければならないということでもあります。当市においても、より一層感染が拡大しないよう努めていきたいと思っております。そこで、これから大型連休を控え、この緊急事態を乗り越えるために市においても新たな対策を含めて取り組みを強化してまいります。

1つ目は感染症予防・拡大防止対策として小中学校、公立幼稚園、放課後児童クラブですが、5月6日まで休業としております。ただし、放課後児童クラブにおきましてはやむを得ない理由で使用を希望する家庭のみ、臨時受け入れを実施しております。また、保育所等については、登園自粛をお願いしたうえで感染症対策を講じ、開所しております。公共施設の休館・利用制限につきましては、随時更新しておりますので、ホームページをご覧いただきたいと思っております。また、新たな取り組みとして、医療機関・社会福祉施設等へのマスク等衛生用品の配布、新型コロナウイルスへの予防への有用性が期待できる「微酸性電解水」を市内事業所より無償提供いただけることになりましたので、小中学校等で活用してまいります。また、市職員の時差出勤・交代制勤務を実施しております。

2つ目は緊急経済対策です。人の移動に伴う感染拡大を防ぐために、市内の飲食店などには3つの密を防ぐため、休業をお願いしなくてはなりません。そのため、飲食店などを3つの対策で支援してまいります。

1つは4月29日から5月6日まで休業にご協力いただいた飲食店等の店舗に40万円の協力金を交付いたします。また、市内に本店もしくは主たる事業所を置く宿泊施設には、40万円の事業支援金を交付いたします。

次にテイクアウトやデリバリーなど新たなサービスを提供する飲食店に環境整備の支援として、5万円を補助いたします。

さらに、飲食店など応援したい人が、20%の特典を市が上乘せした食事クーポンをクラウドファンディングで先払いし、感染症終息後にお店でお得に飲食できる事業を実施します。

3つ目は市民生活の緊急支援対策です。国では、国民一人に10万円の「特別定額給付金」と児童手当を受給する世帯の児童一人につき1万円の「子育て特別給付金」が支給されますので、皆様にできる限り速やかにお届けできるよう努めてまいります。また、市では子育て世帯への支援対策として、児童扶養手当の受給者であるひとり親家庭等に、子ども1人当たり2万円を上乘せして支給いたします。

最後に、市民の皆様の不安や心配ごとに迅速に対応するため、「新型コロナウイルス感染症対策室」を新設し、(1)総合相談窓口の開設や(2)特別定額給付金の支給事務など、支援対策の一元管理と組織体制の強化を図ってまいります。総合相談窓口は5月1日より開設し、専用電話番号は055-975-3201となります。何かおわかりにならないようなことがありましたらお問い合わせ

してください。

東京都などの特定警戒都道府県では、感染者や死亡者の増加が報告されております。幸い、現在のところ、三島市からの感染者は出ておりません。ぜひ、感染者を出さないためにも、市民の皆さまには、「不要不急の外出は控える」、「3つの密を避ける」ことをお願いします。特に、ゴールデンウィーク中は(1)「不要不急の帰省、旅行、都道府県をまたいでの移動は自粛する」、(2)「マスクの着用とこまめな手洗い、適度な運動、栄養や睡眠をとり、免疫力を高める」(3)「正しい情報のもと落ち着いた消費行動をする」など、是非お願いいたします。

市民の皆さまにはご不便をおかけしたり、市内飲食店等の方には苦しい決断をお願いするなど、ご不満を持たれることもあるかと思いますが、すべては市民の皆さまご自身と、大切なご家族や友人などを守るためのお願いであることをご理解ください。新型コロナウイルス感染症が終息するまで厳しい日々が続きますが、一日も早くこの難局を乗り越えるためには、皆さまのご理解とご協力が不可欠です。三島市民一丸となってこの難局を乗り越えましょう。よろしく願いいたします。

### ③ 令和2年5月1日

#### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

市民の皆様、市長の豊岡武士でございます。大型連休を迎えているなかで、市民の皆様には不要不急の外出は控えていただき、毎日の生活に不安やストレスを感じておられることと思います。

そのような中、4月30日、国では緊急経済対策を定めた補正予算が成立いたしました。これにより、全ての市民の皆様には10万円を支給する特別定額給付金と児童手当に加えて1人1万円を支給する子育て特別給付金などが決定いたしました。これを受けまして、三島市では、本日5月1日から特別定額給付金の電子申請を開始することといたしました。市民の皆様には一刻も早くお届けできるよう、市の独自の取り組みといたしまして、マイナンバーカードをお持ちでない市民の皆様でもオンライン申請ができるよう、三島市のホームページから手続きができる独自の電子申請システムをご用意いたしましたので、ぜひご活用ください。また、オンライン以外での申請につきましても、申請書用紙を5月中旬ごろまでに皆様へ郵送にてお送りいたしますので、ご記入の上、申請いただけますようお願いいたします。

また、4月30日、三島市議会臨時議会におきまして、三島市独自の生活及び経済支援策、感染防止策の予算をお認めいただきました。

1つは、ひとり親家庭への支援といたしまして、児童扶養手当受給者に対して児童1人につき2万円の臨時特別給付金を支給いたします。

2つ目は、経済と感染拡大防止対策といたしまして、飲食店や宿泊施設を運営されている事業主の皆様に対して、4月29日から5月6日までの期間、休業にご協力をいただいた場合、40万円を支給させていただきます。

3つ目は、飲食店等が店内の飲食を休業し、テイクアウトやデリバリーに業態を変えて事業を継続する取組みを支援するリスタート支援事業費補助金や三島商工会議所と連携して、先払い

特典クーポンによる飲食店応援事業を実施いたします。

4つ目は、医療機関や福祉施設などへ消毒剤やマスクなどの衛生用品を配布いたします。さらに、売上が減少している事業主に対しまして個人には100万円、中小企業には200万円を上限に支給する国からの持続化交付金につきましては、三島商工会議所で対応いただいておりますので、ご相談やお問合せをいただきますようお願い致します。

このほか、様々な支援策がございますので、詳細につきましては、市のホームページにてご確認くださいませと幸いです。なお、お問合せの窓口は下記のとおりです。

- ・ 三島市コロナウイルス感染症対策について総合相談窓口電話 975-320
- ・ 協力金についてのお問合せ電話 983-2055

大型連休を迎えておりますが、新型コロナウイルスの早期終息に向けて、引き続き「密閉」「密集」「密接」の「3つの密」を避け、不要不急の外出は控えていただくようお願いいたします。すべては市民の皆さまご自身と、大切なご家族や友人などを守るためのお願いであることをご理解ください。

新型コロナウイルス感染症が終息するまで厳しい日々が続きますが、一日も早くこの難局を乗り越えるためには、皆さまのご理解とご協力が不可欠です。三島市民一丸となってこの難局を乗り越えましょう。よろしくようお願いいたします。

#### ④ 令和2年5月7日

##### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

市民の皆様、市長の豊岡武士でございます。大型連休中は不要不急の外出を控えていただくなど、感染拡大防止にご協力をいただき、感謝申し上げます。そのような中で、国の緊急事態宣言が5月31日まで延長されることが決定いたしました。これを受け、三島市では、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、三島市の対応を協議し、以下のように決定いたしましたので、市民の皆様にお知らせいたします。なお、今回の対策は5月31日までとしておりますが、感染の状況や国、県の対応を見ながら、適宜、見直しを行ってまいります。

まず、外出の自粛につきましては、従来と変わらず、不要不急の帰省や旅行、県外移動を避けるようお願いいたします。

次に、経済活動の再開ですが、市内の飲食店等につきましては、休業のお願いは延長いたしませんので、各店舗において、小まめな消毒をはじめ、入場人数や滞在時間の制限、座席間隔の配慮、頻繁に換気を行うことなど、密閉、密集、密接の「3密」をつくらぬよう感染拡大を予防する対策についてご配慮いただきますようお願い致します。なお、静岡県が休業要請を延長しているキャバレーなどの遊興施設、パチンコ店などの遊技施設、スポーツジムなどの屋内運動施設については、引き続き17日までご協力をお願いいたします。

次に市の施設の使用制限についてですが、引き続き5月31日まで、月曜休館の施設については6月1日まで現在の対応を延長させていただきます。個々の施設の対応につきましては、市のホームページ等でご確認ください。

次に、学校の対応であります。国が示した方針では、地域の感染状況に応じ段階的に再開

できる環境をつくとされており。まずは、5月31日まで休校、また、幼稚園は休園としておりますが、再開に向けた準備を進めてまいります。

次に、全国民に一律10万円を支給する特別定額給付金につきまして、三島市では5月1日から市の公式ホームページにおいてマイナンバーカードを不要とする市独自の電子申請を開始しております。連休中は、大変多くの皆様にご利用いただき、申請が集中するなど大変ご迷惑をおかけいたしました。本日から、通常の受付体制が復旧いたしております。一刻も早く市民の皆様にご給付金をお届けできるよう引き続き全力で対応してまいります。

また、飲食店等を経営されている方で、市の休業要請にご協力いただいた皆様には40万円の協力金の支給の申請を、本日5月7日から郵送または市のホームページにて受け付けております。こちらも受付開始から数日間は申請が集中し、ご迷惑をおかけすることもあるかと思われませんが、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、市民の皆様からのご意見やご要望のなかに、いわゆる転勤族で、県外ナンバーのまま市内に在住している方から、嫌がらせを受けるのではないかと心配する声がありました。三島市では、このようなことが絶対に起きないように強く願っております。厳しい状況が続くなかでも、心にゆとりをもって、この困難を乗り越えていきましょう。

## ⑤ 令和2年5月21日

### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

本日、三島市で初めてとなる新型コロナウイルスの感染症患者が確認されましたので、ご報告いたします。感染が確認された方は、(市外の医療機関)国際医療福祉大学熱海病院の職員の方で高齢でない成人男性です。同居の家族はなく、市内にお住まいの方であります。病状は比較的安定しており、医療機関に入院されているとのこと。まずは、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。現在、県保健所において、感染経路や濃厚接触者等の把握に努め、適切な対応がされていると伺っております。

本市におきましても、引き続き県をはじめとする関係機関との連携を図り、正確かつ迅速な情報提供に努め、感染拡大防止と市民の皆様への不安解消に向けて全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様はぜひとも冷静に受け止めていただき、過度に不安を抱くことのないようお願いいたします。JR東海道線で通勤以外の外出や立ち寄り先はないこと、同居の家族はいないことなどから、小中学校、放課後児童クラブ、幼稚園、保育園は感染症対策を十分にとった上、予定どおり授業等を行います。

改めて私から市民の皆様へ感染拡大防止に向けてお願いがございます。1つ目は、こまめな手洗いと消毒、マスクの着用、人と人との距離の確保など、厚生労働省が公表している「新しい生活様式」の実践をお願いいたします。また、これまで集団感染が確認された場に共通する3つの密、「1. 換気の悪い密閉空間」「2. 多数の人が集まる密集場所」「3. 間近で会話や発声をする密接場所」を徹底的に避けていただきますようお願いいたします。

2つ目は、冷静な対応と行動を心がけていただきたいということです。感染の不安から、症状がないのに医療機関をむやみに受診しないようお願いいたします。一方、息苦しさや、強いだ



るさ、高熱等の強い症状のある場合や、ご高齢の方や基礎疾患があるなど重症化しやすい方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある場合、また、それ以外の方でも比較的軽い風邪の症状が続く場合は、速やかにかかりつけの医療機関や、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。なお、感染者や関係事業所等に対する風評、偏見や差別につながるような行動は厳に慎んでいただきますようお願いいたします。

3つ目は、市外・県外からの感染を抑えなければならないということです。首都圏や北海道への訪問は、徹底して回避していただきますようお願いいたします。その他の県についても、できる限り訪問を回避してください。やむを得ず行かれる場合は、基本的な感染予防対策を徹底し、不要な場所に立ち寄ることは、やめていただきますようお願いいたします。

市民の皆様にはご不便をおかけいたしますが、すべては市民の皆様ご自身と大切な家族や友人などを守るためのお願いであることをご理解いただきたいと存じます。新型コロナウイルス感染症が収束するまで苦しい日々が続きますが、三島市民一丸となって感染予防に努めてまいりましょう。よろしくようお願いいたします。

## ⑥ 令和2年8月1日

### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

令和2年8月1日、静岡県より連絡があり、本市在住で20代の男子学生が新型コロナウイルスに感染していることが確認されましたので、ご報告いたします。現在、県では同居家族などを濃厚接触者としてPCR検査を実施中と聞いております。本市におきましても引き続き、県をはじめとする関係機関との連携を密にし、感染拡大防止と市民の皆様の不安解消に向けて全力で取り組んでまいります。

今後、市内において感染者が増加しないためにも私から市民の皆さまに感染拡大防止に向けて引き続きお願いがございます。現在静岡県の警戒レベルは4で県内警戒、県外も警戒です。新型コロナウイルスに感染しないためには、感染していても無症状や軽症で、自分が感染していることに気づいていない人、すなわち見えない感染者に、「近づく可能性をどうすれば減らせるのか」、「知らずに出会っても、うつらないようにできるのか」が大切です。

そのためには、まず1つ目は、密閉、密集、密接の状況になる場所を避けることなど、「新しい生活様式」を徹底してください。人との間隔は2m開けていただき、外出や人と話すときはマスクをしてください。そして、家に帰ってきたらしっかり手を洗うことを今一度心がけてください。県内のクラスターが発生した地域の施設では、マスク非着用で歌唱や大声での会話など、感染リスクの高い行動があったと言われております。

2つ目は、県外特に感染拡大地域への外出は控えるようお願いいたします。東京都では感染者が急増しており、見えない感染者がいる可能性が非常に高くなっています。不要不急の往来、帰省、旅行などは回避してください。また、東京都以外でも感染が拡大している地域へは、訪問等の必要性を今一度検討するなど、感染防止に向けて慎重な行動をお願いいたします。

3つ目は、冷静な対応と行動を心掛けていただきたいということです。感染しているのではないかと不安から、症状がないのに医療機関をむやみに受診しないようお願いいたします。また、

感染症は誰もがかかる可能性がある疾患です。感染者、そのご家族、関係事業所等に対する偏見や差別につながるような行動は慎んでいただきますようお願いいたします。

市民の皆さまには、ご不便をおかけしますが、すべては皆さまご自身と、大切なご家族や友人などを守るためのお願いであることをご理解ください。

市では、感染拡大に備えて三島市医師会の協力のもと、8月中に、三島市地域外来・検査センターを設置することとしました。発熱など症状があり不安がある方は、かかりつけ医を通してPCR検査を受けることができるようになります。

なお、小学校、中学校につきましては、消毒、マスクの着用、手洗いなど感染予防対策をあらためて徹底し、通常どおり授業を行います。詳しくは、市のホームページをご確認下さい。

新型コロナウイルス感染症が終息するまで三島市民一丸となって感染予防に努め、この難局を乗り切りましょう。よろしく願いいたします。

## ⑦ 令和2年11月27日

### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、市民の皆様におかれましては、密閉、密集、密接の3つの密を避け、マスクの着用やこまめな手洗い、換気など、新しい生活様式にあわせた感染症対策にご尽力いただき、ありがとうございます。

このような中で、まずは、本日、公立保育園関係者の感染が判明し、当該保育園を休園措置といたしました。現在、感染が拡大しないよう保健所の指導のもと濃厚接触者のPCR検査を実施しているところです。市民の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。市関係機関につきましては、これまで以上に、職員及び施設利用者の感染拡大防止に努め、市民サービスの提供に支障をきたすことのないよう努めてまいります。

さて、全国的な感染拡大にともない、本市での感染者も増加傾向にあり、11月27日の時点で20人に達しております。これから年末に向けて、忘年会やクリスマスなど、何かと交流機会が増える季節でございますが、これ以上の急激な感染拡大を防ぐためにも、「大人数での会食を避け」、「外出や人と話すときはマスクの着用」、「こまめな手洗い」、「体調が悪いときは、学校や会社を休む」など感染対策の徹底をお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの感染拡大で大変心配されますのが、感染者やそのご家族、関係事業者等に対する不当な差別や偏見でございます。感染症は、誰もがかかる可能性がある疾患です。感染された方やそのご家族が、感染症だけでなく、不当ないじめや差別に苦しむようなことがあってはなりません。市民の皆様の温かい心遣いを切にお願いいたします。

市では、感染拡大に備えて三島市医師会の協力のもと三島市地域外来・検査センターを設置しております。発熱などの症状があり不安がある方は、かかりつけ医を通してPCR検査を受けることができるようになっております。今まで県が行ってきました帰国者・接触者外来に加えて検査を受けられる体制を整備しました。また、1月からは、社会福祉施設などに勤務されている方や65才以上の方を対象に、無症状であっても希望する方にはPCR検査が受けられる体制も整備してまいります。

新型コロナウイルス感染症が終息するまで厳しい日常が続きますが、三島市民一丸となって感染予防に努め、この難局を乗り切りましょう。よろしくお願いいたします。

#### ⑧ 令和2年11月28日

##### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

昨日 11 月 27 日に、ご報告させていただきました公立保育園関係者の新型コロナウイルス感染につきまして、その後の状況についてご報告いたします。当該保育園を 27 日から休園とさせていただき、保健所の指導のもと園内の消毒を行うとともに濃厚接触者の PCR 検査を実施しましたところ、本日 28 日、全員が陰性であるという検査結果となりました。この結果を受けまして、11 月 30 日(月)より当該保育園を通常開園いたします。市民の皆様には多大なご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

市関係機関につきましては、引き続きこれまで以上に、職員及び施設利用者の感染拡大防止に努め、市民サービスの提供に支障をきたすことのないよう努めてまいります。

市民の皆様におかれましても、「大人数での会食を避け」、「外出や人と話すときはマスクの着用」、「こまめな手洗い」、「体調が悪いときは、学校や会社を休む」など感染対策の徹底をお願いいたします。

また、感染者やそのご家族、関係事業者等に対する不当な差別や偏見、あるいは新型コロナウイルスに対する不安を煽るような言動は慎み冷静で良識のある対応をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が終息するまで厳しい日常が続きますが三島市民一丸となって感染予防に努め、この難局を乗り切りましょう。

#### ⑨ 令和2年12月28日

##### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」※年末年始の対応について

年の瀬の何かと慌ただしい季節となりました。これから年末年始に向けて、人の往来が増える時期でございます。そのような中で、新型コロナウイルスは、連日、全国で過去最多の感染拡大が続いております。本市におきましても、10 月末で4名であった感染者が、12 月 27 日時点で57 名に達しております。

そこで、皆様に年末年始 12 月 29 日から年明け 1 月 3 日の医療機関の受診方法についてご案内いたします。まず、風邪症状や発熱等がある方は、医療機関に必ず事前に連絡をしてから、指示に従って受診してくださいませようお願いします。内科、外科、小児科につきましては、午前 9 時から午後 9 時までは三島メディカルセンターを受診してください。三島市医師会のご協力により、医師 1 名を増員して発熱者診療を実施いたします。なお、午後 6 時から翌日午前 7 時までの間は沼津夜間救急医療センターが開院しております。耳鼻科、眼科、産婦人科につきましては、三島消防署にお問い合わせいただければ当番医をご案内いたします。また、相談窓口として 24 時間対応の発熱等受診相談センターを県が設置してございますので、そちらもご利用くだ

さい。

全国的な感染拡大をここで何としても食い止めなければなりません。改めて春先の緊急事態宣言の頃を思い出していただき、密閉、密集、密接を避け、不要不急の外出や大人数での飲食を伴う会合を控えていただきますようお願いいたします。また、飲食店等の事業者の皆様におかれましても引き続き十分な感染防止対策をお願いいたします。

お正月3が日の三嶋大社の参拝客は例年60万人に達します。来年はできるだけ、混雑する時間帯を避け、少人数で速やかに参拝いただきますようお願いいたします。また、誠に残念ではございますが、来年の成人式の式典につきましては中止とさせていただきます。これに代わる事業といたしまして、Web配信による交流事業などを予定しておりますので、ご理解ください。

それでは、新型コロナウイルスだけでなく、体調管理に十分ご留意いただき、良いお正月をお迎えください。

## ⑩ 令和3年1月8日

### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

#### ※首都圏に発出された緊急事態宣言を受けて

市民の皆様三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大を受け、東京都をはじめとする首都圏 1 都 3 県に、本日から 2 月 7 日まで、緊急事態宣言が発出されました。この宣言を受け、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、三島市においても直ちに対策本部を設置し、今まで任意であった新型コロナウイルス感染症対策本部を、法律に基づく本部といたしました。

1 月 8 日現在の三島市の感染者数は、87 名で、11 月以降徐々に感染者数が増加し、1 月に入ってから 8 日間で 29 名感染しており、この状況を人口 10 万人当たりで換算しますと「ステージⅣ」の一つの指標である 25 名を超過している状況となっております。ここで感染拡大を食い止めなければ、社会経済と教育活動等に大きな支障が生じる危険性があります。

県から公表されております感染者の状況を見ますと、陽性者の多くが飲食を伴う集まりに参加され、ご家族へと感染が拡大している例が多く見受けられます。目に見えないウイルスがまん延している現況では、人が移動すること自体が高いリスクであることを強く意識していただき、特に首都圏への不要不急の往来を極力控えるとともに、他者との接触機会を減らすことが重要であります。

感染予防の観点からも、飲食は同居のご家族や極力 4 人以下の少人数で、マスクを外しての会話を控えるなど飛沫が飛ばないように努めていただきますようお願いいたします。また、マスクの着用、うがい、手洗いや今まで以上に三密を避けるなど、感染予防対策の徹底もお願いいたします。ご家族や会社の同僚の方に感染の疑いがあり PCR 検査を受けた場合や、濃厚接触が疑われる方はぜひ会社等をお休みいただくよう、ご協力をお願い致します。

感染症は誰もがかかる可能性がある疾患です。感染者、そのご家族、関係事業所等に対する偏見や差別につながるような言動は絶対にあってはならないと考えます。市民の皆様の温かい心遣いを切にお願いいたします。

皆さまには、ご不便をおかけしますが、すべては皆さまご自身と、大切なご家族や友人などを守るためのお願いであることをご理解ください。新型コロナウイルス感染症が終息するまで三島市民一丸となって感染予防に努め、この難局を乗り越えましょう。よろしく願いいたします。

## ⑪ 令和3年1月20日

### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

#### ※感染拡大緊急警報の発令を受けて

市民の皆様、市長の豊岡武士でございます。全国11の都府県に緊急事態宣言が発令される中、変異型の新型コロナウイルス感染者が東部保健所管内で確認されたことを受け、19日には、県知事による臨時記者会見が行われ、静岡県に「感染拡大緊急警報」が発令されました。

感染者が東部保健所管内ということで、ご心配やご不安に思われる方も多くいらっしゃると思いますが、知事の会見によると、変異株の感染者の方は不特定多数の方との接触はなく、濃厚接触者は特定されており、今後、国のモニタリング等の追加的情報が明らかになるまでの間は、これまで以上に感染防止対策を徹底していただきたいとのことであります。三島市においては、1月に入ってから感染者が急増し、1月19日現在131名に達しました。また、18日には、クラスターが発生するなど、大変厳しい状態となっております。

これまで発表されている情報によりますと、感染経路は家庭内や職場、友人からの感染に加え、経路がわからない方も増えております。県の新型コロナ感染症対策本部会議からの情報によりますと、PCR検査は1日2000人にせまる状況で、直近の陽性率は6.8%となっており、また、東部地域における病床占有率は現時点で72.7%と、深刻な状況であるとのことです。このような状況であることを改めてご理解いただき、市民の皆様には、一層の感染防止のための行動の徹底をお願いしたいと思います。

1つ目は、県境を跨ぐ往来は自粛していただき、県外からの訪問についても自粛をお願いいたします。三島市には、緊急事態宣言地域へ通勤・通学者が多くいらっしゃいますが、可能な限り在宅ワークを取り入れ7割削減にご協力いただきたいと思います。

2つ目は、人が移動することや人に会うこと自体が感染のリスクとなりますので、不要不急の外出を控え、意識的に外出する機会を減らして下さるようご協力をお願いいたします。

3つ目は、人と接する場合は、必ずマスクの着用をお願いいたします。

4つ目は、飲食店や職場の休憩室などにおいて、会話をしながらの食事は避けてください。会話をする時は必ずマスクの着用を徹底してください。

5つ目は、家庭内においても、重症化しやすい高齢者がいらっしゃる家庭などでは、同居家族であってもマスクの着用、十分な換気、食事を別にして食べるなどの感染防止対策を取っていただきたいと思います。

6つ目は、クラスターの発生しやすい飲食店や職場内において、各種業種組合や事業所等のガイドラインに基づき、感染防止策の徹底をお願いいたします。

市民の皆様には、また、事業者の皆様などには、すでに精神的にも経済的にも大きなご負担となっていると思いますが、爆発的な感染拡大地域となるか感染者の減少局面に行けるか、大

きな分岐点に立っております。ご心配事や相談したことがある場合には、三島市保健センターへお問い合わせください。ワクチンの接種に向けて準備を進めておりますので、もうしばらくの間、市民一丸となって感染終息に向けて頑張ってください。

なお、感染者等に対する心ない誹謗中傷や差別的な対応は、決してあってはなりません。市民の皆様の温かいお心づかいをお願いいたします。

## ⑫ 令和3年4月19日

### 「新型コロナウイルス感染症に対する市長からのメッセージ」

#### ※ワクチン接種の予定について

皆様ご存じの通り、関西圏や首都圏など、新型コロナウイルスの感染者が、ふたたび増加しているとの報道が連日されており、第4波と言われる感染拡大が、大変心配されているところです。市民の皆様一人ひとりが、感染予防に心がけていただいていることに、感謝申し上げます。

さて、感染症収束の切り札と期待されているワクチン接種についてですが、一部の自治体では高齢者等の接種が始まったとの報道がされており、市民の皆様も、三島市ではワクチン接種がいつ開始されるのかご心配の方も多いことと思います。そこで、私から現在の三島市のワクチン接種の予定について、お知らせいたします。

まず、三島市では、4月19日にワクチン接種に関するコールセンターを開設いたします。このコールセンターでは、ワクチン接種の実施に関することや接種による副反応のことなど、日ごろ疑問に思われていることに関して、ご相談に対応いたします。接種時期につきましては、まずは医師などの医療従事者に接種していただき、その後、高齢者の接種を5月から始めますが、当初は国から届くワクチンの量が限られているため、集団感染が危惧される高齢者施設から進め、十分なワクチンの確保が見込まれる6月2日から予約された65歳以上の方への集団接種を行っていきます。

その後、基礎疾患のある方、介護施設等の施設従事者、64歳以下の方と国が定める順位に従って接種を進めてまいります。65歳以上の方には、4月26日から随時、接種券(クーポン券)を発送してまいります。3万人以上の方に発送するため、全員の方のお手元に届くには、10日間程度かかることが予想されますので、今しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。

発送に時間がかかることを考慮し、5月7日から予約の受付を開始いたします。予約の方法は、先ほどのコールセンターへお電話いただくか、専用のウェブサイトや市公式LINE(ライン)アカウントからも予約できます。コールセンターの電話は10回線を用意しておりますが、特に初日は大変込み合い、つながらないことも予想されますので、時間をおいて電話していただけますようお願い申し上げます。電話の受付は午前8時30分から午後5時15分までとなっておりますが、ウェブサイトやLINEは24時間申し込むことができますので、日ごろパソコンやスマートフォンを使用されている方は、できるだけこちらをご利用いただければと思います。

接種会場は、皆様のより身近なところでの接種を行うため市内小学校の体育館としましたが、会場まで歩くことが困難で75歳以上の方には、接種券と一緒にタクシー券を同封しましたので、ご利用いただきたいと思います。また、車いす等で体育館内での接種が困難な方には、ドライブ

スルー方式の接種も検討しておりますので、コールセンターにご相談ください。耳の不自由な方につきましては、保健センターに FAX で申し込んでいただければ、職員が代わりに予約をいたします。今後もワクチン接種については、広報みしまやホームページ等で随時情報を発信してまいります。

既に予約を始めている自治体では、予約時の混乱が報道されておりますが、スムーズなワクチン接種となるよう市民の皆様のご協力をお願いいたします。接種券と合わせてお手元に郵送する説明書を十分お読みいただき、さらにご不明な点などがございましたらコールセンターへお問い合わせいただき、是非、ご納得のうえ接種をしていただきますようお願いいたします。

### ⑬ 令和3年4月30日

#### 「新型コロナワクチン接種「お助け隊」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルスのワクチン接種につきまして、4月26日(月)から市内の全ての65歳以上の方に、ワクチンの接種券を郵送させていただいておりますが、ワクチン接種の予約開始にあたり、「お助け隊」を設置し、支援を行うことといたしましたのでご案内させていただきます。このコロナワクチンの接種につきましては、皆様に予約をしていただいた上で接種をしていただくこととなり、予約開始日は5月7日(金)となります。

申込み方法につきましては、コールセンターへの電話予約の他に、専用WEBサイトや市公式LINEからも予約が可能となります。電話回線には限りがございますので、できる限り専用WEBサイトやLINEをご利用いただけるよう、これまでもご案内をさせていただいております。しかしながら、高齢者の皆様の中には、スマートフォンなどの操作に不安を感じる方もいらっしゃると思います。そこで、市では「地域のお助け隊」として、地域包括支援センター職員やケアマネジャー、民生委員が高齢者の皆さまの支援をさせていただきます。

高齢者の中には「予診票の書き方がわからない」、「自分の携帯からインターネットを使って申込みをしたいけれど、方法がわからない」など、予約や接種に関して様々な心配があることと思います。そのように不安を感じていらっしゃる方に対しては、市内に5か所設けております「地域包括支援センター」の職員が訪問等により支援をさせていただきますので、お困りの際には、各地区の地域包括支援センターまたは地域包括ケア推進課(電話973-7474なやみなしなし)までご連絡をお願いいたします。

※電話連絡が困難な場合には、FAX(975-3159)へご連絡ください。

なお、要支援・要介護認定をお持ちの方につきましては、ケアマネジャーがお助け隊として支援いたしますので、直接、担当のケアマネジャーさんにお声がけください。また、地域の民生委員さんにもお助け隊としての協力をお願いしておりますので、身近な相談役としてご相談いただきますようお願いいたします。

なお、スマートフォンの操作が不安な方に、操作方法や予約方法を支援する「スマホタブレットアドバイザーによるお助け隊」を併せて実施します。ワクチンの予約開始日の前日5月6日(木)と予約開始日の5月7日(金)に、市役所本館第3会議室にて、スマホタブレットアドバイザーによるスマートフォンでの操作方法の支援を実施いたします。また、5月8日(土)には、中央町にごさ

います街中ほっとサロンを会場に同様の支援をさせていただきます。時間は全て午前9時から午後4時までとなります。予約は不要となりますので、お気軽にご利用いただきたいと思います。

最後になりますが、三島市では、十分なワクチンの確保が見込まれる6月2日(水)から65歳以上の方へ集団接種を行っていきます。多くの予約枠を用意してありますのでワクチン接種の予約に際しましては、焦ることなく予約いただきますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

#### ⑭ 令和3年6月19日

#### 「新型コロナワクチン接種「三島市の現在の状況と今後の予定」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症につきまして、皆様には、日頃からまん延防止対策などに取り組んでいただきありがとうございます。これから東京オリンピック・パラリンピックを控えていることもあり、再び蔓延しないよう、三島市では、切り札と言われるワクチン接種をできるだけ早く、多くの市民の皆様を受けていただけるよう三島市医師会など関係機関と連携しながら鋭意努力をしているところでございます。

今回は、そのワクチン接種について、三島市の現在の状況と今後の予定について、市民の皆様にお知らせとお願いを申し上げます。

#### 【予約がお済みでない方への案内ハガキ(65歳以上の方)】

まず、65歳以上の方のうち、ワクチン接種予約がお済みでない方に順次発送しておりました案内ハガキは、6月16日で完了をいたしております。

#### 【予約枠について(65歳以上の方)】

予約枠につきましては、小学校等での集団接種と病院での個別接種を合わせますと、65歳以上の希望する方全員が、おおむね7月末までに接種を受けられるものと考えておりますので、ハガキが届きましたら慌てずに安心して予約をしていただきたいと思います。

#### 【予約方法について(65歳以上の方)】

予約方法につきましては、ハガキを受け取られましたら、インターネット、またはコールセンターへの電話でご予約ください。また、社会福祉会館や保健センターなどの窓口でも日を決めて予約を受け付けております。この窓口予約の日程は、6月22日(火)、25日(金)、27日(日)、28日(月)となっています。このうち、27日、28日は、市民ボランティアなどのお助け隊によるネット予約の支援も行う予定です。時間や会場などにつきましては、広報みしま6月15日号をご覧くださいと幸いです。

#### 【現在の予約状況(65歳以上の方)】

6月17日午前10時の時点での予約状況につきましては、約2万5千人の方にご予約をいただいております。これは、65歳以上の人口32,213人の約78%の方が予約をされたということになります。

#### 【高齢者(65歳以上)の接種状況】

65歳以上の方々の接種状況ではありますが、6月2日から始めました小学校体育館での集団接種では、6月16日までに、延べ38会場で、10,841の方が接種を受けられており、また、病院での個別接種では、約1,180の方が受けられておりますので、高齢者施設で受けられた方、



約900人を加えますと、約12,900の方が、少なくとも1回目の接種を受けられておりますので、65歳以上の接種率では4割程度の方が接種済となっております。

#### 【64歳以下の方への接種券の送付】

次に、64歳以下の方への接種券の発送についてお知らせいたします。

まず、60歳～64歳の方には、基礎疾患の有無にかかわらず、6月中に接種券を発送いたします。続いて、59歳以下で、基礎疾患のない皆様には、7月1日から年齢の高い方から順次、接種券をお送りいたします。

この中で特に、国の定める基礎疾患により障害者手帳等をお持ちの16歳から59歳の方には、6月21日から接種券をお送りいたします。

また、59歳以下の方で、基礎疾患があり、通院や入院されている方につきましては、保健センターに申請していただければ、接種券を送付いたしますが、その申請の受付は、6月22日から開始いたします。電子申請か郵送で申請をお願いします。詳しくは、三島市公式ホームページまたは広報みしま7月1日号をご覧ください。

#### 【予約方法について(64歳以下の方)】

予約方法につきましては、接種券が届きましたらインターネット、またはコールセンターへの電話で予約をしていただきますようお願いいたします。その際は、2回分の予約をとってくださるようお願いいたします。

#### 【接種会場・時期(64歳以下の方)】

次に、予約ができる接種会場と時期ですが、病院での接種をご希望される場合には、今のところ6月、7月は、若干の空きがある状況です。また、8月、9月は、生涯学習センターや北上・中郷文化プラザ、保健センターでの接種となります。8月以降における病院での接種につきましては、現在、調整を図っているところであります。

#### 【自衛隊大規模接種センターで受けられる方】

次に、自衛隊大規模接種センターでの接種をご希望され、先に接種券が必要となる方は、事前に保健センターに申請をしていただければ、接種券をお送りいたします。申請方法は、電子申請または郵送でお願いいたします。ただし、東京の大規模接種センターは、17日の夕方に予約枠が一杯となり、18日現在、一旦終了となっておりますので、キャンセル待ちなど、その動向を見極めて申請してくださるようお願いいたします。

#### 【職域接種会場で受けられる方】

次に、企業・大学等で行われる職域接種会場で受けられる方には、保健センターに申請していただければ、接種券を送付いたします。申請方法は、電子申請または郵送でお願いいたします。詳しくは、それぞれの職場のご担当者の方にお聞きいただきたいと思います。なお、ご注意いただきたい点として、職域接種と三島市の接種では、使うワクチンの種類が異なるということがあります。現在、三島市で使用しているワクチンはファイザー製ですが、職域接種ではモデルナ製を使用しておりますので、1回目と2回目を異なるワクチンで接種を受けることがないように、注意してくださるようお願いいたします。

今後におきましても、ワクチン接種につきましては、刻々と変わる国の方針に対応しつつ、市民の皆様には、できる限り迅速、正確に情報をお伝えできるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をいただけますよう、お願いいたします。

⑮ 令和3年7月26日

「新型コロナウイルス感染者増加に対するさらなる感染予防対策に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。まず初めに、今月3日に熱海市で発生しました土石流により犠牲となられました方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げ、1日でも早く、日常生活を取り戻すことができますよう、お祈り申し上げます。

三島市としましても、発生当日から消防署職員を派遣し、翌日には給水車、19日からは保健師や土木技師などの職員を、ほぼ毎日派遣するなど、できる限りの支援を行っているところでございます。また、7月12日からは三島市民の想いを熱海市に届けるため、三島市独自の義援金を募りましたところ、皆様から温かいお志をいただきました。厚くお礼を申し上げます。皆様からの浄財は、7月28日に熱海市にお届けする予定でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきまして、皆様方には、日頃から感染予防に取り組んでいただき、感謝申し上げます。感染状況につきましては、全国的に、6月中旬頃から増加し、第5波が指摘される中、首都圏などでは、8月下旬まで緊急事態宣言が発出されているところであります。

三島市の感染状況であります。皆様のご協力により、7月上旬までは、比較的落ち着いている状況が続いておりましたが、報道されておりますように、先週は当市でも1日に12人の新規感染者が発生するなど、連日感染者が発表される厳しい状況になってきております。さらに、県東部においては、一部の市町で飲食店への営業時間の時短要請がされるなど、顕著に増加しております。現在、オリンピックが開催されており、また、夏休みやこれからのお盆も控え、予想される人流の増加に伴う感染拡大を、大変危惧しているところでございます。

そこで、本日は、皆様にも、感染予防対策のこれまで以上の徹底について、改めてお願いをさせていただきたいと思っております。まず、これまで取り組んでいただいております、密接・密集・密閉を避ける三密の回避、そして手洗い、手指の消毒、マスク着用の徹底を引き続きお願いいたします。マスクは、連日、猛暑日が続いていますので、熱中症に気を付けながら、着用をお願いいたします。また、飲食店等の利用についてであります。飲食時は感染が起きやすいことから、お店を選ぶ際は感染対策をしっかり行っている店舗を選んでいただき、混雑しない時間帯に、できるだけ少人数での利用、または、テイクアウトの利用をお願いいたします。

昨年に続き、残念ではあります。三嶋大祭りも中止され、オリンピックの自転車競技でも直行直帰が呼び掛けられており、他県からの人の流入をできるだけ抑えるよう対策が取られておりますので、市民の皆様にも、県をまたいでの移動、特に、首都圏など、緊急事態宣言地域への移動はできる限り控えていただき、外からウイルスを持ち込まないようお願いいたします。また、発熱など、少しでも体調不良の症状がある場合は、休んでいただき、医療機関を受診するなど、早めに対策を取っていただくようお願いいたします。

お願いばかりで心苦しいところでございますが、現在広がりを見せているコロナウイルスは、感染力が強いデルタ株が多くを占めてきているとのことであります。是非、それぞれの皆様が更なる感染予防対策の徹底をしてくださるよう重ねて、そして強くお願いいたします。なお、感染者の年代が、50歳代以下の方が多くなってきており、高齢者の方の割合は減ってきております。

これは多くの 65 歳以上の方がワクチンを既に接種された効果と考えられており、今後さらに多くの方に受けていただくことが重要となります。

当市の7月26日現在のワクチン接種の状況につきましては、65 歳以上の方で、一回以上接種された方は、26,955 人、約 83.7%で、そのうち、2 回接種された方は、20,685 人、約 64.2%となっており、64 歳以下から 50 歳までの方などへの接種も進んできております。また、接種券につきましては、7 月 25 日までに 38 歳以上の方に発送が済んでおり、本日、16 歳～37 歳までの方に発送いたしますが、到着まで1週間程度かかる場合がありますので、ご了承くださいませ幸いです。

なお、当市のワクチン接種の予約につきましては、7 月 26 日現在、予約の受付を停止しておりますが、国からのワクチンの入荷量が判明次第、市公式ホームページや LINE など速やかに情報提供し、随時受け付けてまいりますので、今しばらくお待ちくださるようお願いいたします。新型コロナウイルス感染症が収束するまで厳しい日常が続きますが三島市民一丸となって感染予防に努め、この難局を乗り越えましょう。

## ⑯ 令和3年8月7日

### 「新型コロナウイルス感染症「まん延防止等重点措置」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、事業者及び団体の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症につきましては、日ごろから皆様方には、感染予防に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

昨日、静岡県から新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置として飲食店及び大規模集客施設に対し営業時間の短縮などの要請がございました。要請期間は、8 月 8 日(日)から 8 月 31 日(火)まで、対象地域は、静岡市、浜松市と三島市を含む県東部の市町となっております。新型コロナウイルス感染者は、ここ1ヶ月ほど、全国的に急拡大し、8月7日現在で、緊急事態宣言が首都圏を中心に6都府県で発出されており、まん延防止等重点措置につきましても、ここで静岡県を含む12道府県に拡大されました。

三島市の感染状況も、この1ヶ月間で、感染者が急増してきており、最近では1日の感染者が2桁となることも珍しくなく、国のステージⅣの判断基準となる過去1週間における10万人当たりの感染者数の目安である25人を遥かに上回る50人を超えるという大変厳しい状況となっておりますので、まん延防止等重点措置の対象となることは残念ではありますが、やむを得ないものと考えております。

新型コロナウイルス感染の急激な拡大は、以前に比べてなかなか人流が抑えられないという事情があるとともに、現在流行しているコロナウイルスが、従来型より非常に強い感染力を持ったデルタ株という、ウイルスであることが原因と言われております。一方、最近の感染者には高齢の方が大きく減少していることから、ワクチンの接種は大変効果があると考えられます。

現在、三島市におきましても、接種を進めているところでございますが、8 月 5 日現在の状況につきましては、65 歳以上の希望されている方への 2 回の接種が概ね完了し、全人口で見ますと、一回以上接種された方は、約 36%で、そのうち、2 回接種された方は、約 29%となっており

ます。

今後につきましては、ワクチンに限りがありますが、8月10日に高校生中学生の予約を開始するなど、希望する全ての皆様に対してできるだけ早期の接種を進めてまいります。つきましては、市民の皆様、事業者及び団体の皆様には、感染拡大の状況が悪化していることをご理解いただき、これから申し上げますまん延防止等重点措置の県知事からの要請内容に従い、更なる感染対策の強化と、徹底した取り組みへのご協力を強くお願いいたします。

まず、市民の皆様には、3密の回避、手洗い、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保など、従来からの感染対策を徹底していただくとともに、生活に必要な場合を除き、日中を含めた外出の自粛をお願いいたします。特に、人の動きが活発となりますお盆休みを含む措置の期間中は、不要不急の外出や県境をまたいでの移動を、自粛していただくようお願いいたします。また、発熱等の症状が見られる場合には、早めに休んで、医療機関を受診していただきたいと思っております。

次に、市内の飲食店の皆様と1,000㎡以上の大規模集客施設におかれましては、20時までの時短営業が要請されております。ただし、スーパーなど、日常生活に不可欠な施設につきましては、時短要請の対象とはなっておりません。また、飲食店などにおきましては、終日、酒類は提供しないよう要請されております。この時短要請に応じていただいた飲食店及び大規模集客施設には、協力金が支給されることとなっております。こちらの手続きにつきましては、県のホームページをご覧ください。公民館や体育施設など、市の公共施設につきましても、20時までの時短利用とさせていただきます。詳しくは、市のホームページをご覧ください。飲食店など事業者の皆様には、これまでもコロナ禍により大変厳しい状況が続いておりますが、この難局を乗り切るために格別のご理解、ご協力をいただけますよう、忠心よりお願い申し上げます。

拡大しているデルタ株は、若年層でも重症化リスクが高いと指摘されています。市民の皆様には、少人数だから、屋外だから、若いから大丈夫と考えずに、改めて、マスクの着用、手指消毒、3密の回避など、基本的な感染防止対策と不要不急の外出の自粛などの徹底を重ねてお願いいたします。ご自身だけでなく、家族や友人など身近な人達の命と健康を守るために、行動してまいりましょう。よろしくお願い致します。

## ⑰ 令和3年8月7日

### 「新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症につきましては、デルタ株による急速な感染拡大を受け、これまで、「まん延防止等重点措置」適用を受け、市民の皆様、飲食店事業者の皆様には、一層の感染予防に取り組んでいただき、感謝を申し上げます。デルタ株は大変感染力が強く、全国的に感染が急拡大し、19日には1日の新規感染者が初めて全国で2万5千人を超えるなど、危機的な状況となっております。これを受け、本日、8月20日から静岡県を含む7府県が国による緊急事態宣言の対象に追加されました。本県においては、昨年4月7日の全国一斉適用以来、2回目となります。

現在はワクチン接種も進んでおり、接種済の方は重症化しにくいという面もありますが、昨年初めて緊急事態宣言が出された時に比べ感染者数は比較にならない程急速に増加しております。当市の新規感染者も 19 日には、過去最多の 25 人となるなど、歯止めが掛からない状況となっております。県全体の病床使用率も約 6 割と逼迫しており、このまま悪化が続くと当市においても、在宅のまま手遅れになる事態が発生するのではないかと大変危惧しております。このようなことにならないよう、市民、そして事業者の皆様には今回の緊急事態宣言に基づき要請された内容に従い、感染拡大防止の行動をとっていただけますよう、改めて強くお願いいたします。

まず、市民の皆様をお願いすることは、既に取り組んでいただいている感染防止対策の徹底であります。具体的には、人流を減らすことが重要ですので、不要不急の外出や県境を跨ぐ移動の自粛をお願いします。そして、従来から言われている「密集・密接・密閉」という三密の回避、できれば、「1 密」も回避していただくようお願いいたします。また、飲食時は感染のリスクが大変高くなりますので、家族以外の人と食事をする際は、しゃべらないで食べる「黙食」をお願いします。特に会話をする時は、面倒でもマスクを付けることを徹底していただきたいと思っております。その他、混雑する場は避ける、手指の消毒の徹底など、基本的な対策をとっていただくとともに、体調不良を感じたら、仕事や学校を休み、速やかに医療機関を受診していただくようお願いいたします。

次に、事業者の皆様へのお願いでございます。既に、飲食店の皆様には、午後8時までの時短営業をしていただいているところでありますが、酒類やカラオケを提供している事業者には、休業が要請されました。感染症のまん延で、客足が遠のいている厳しい状況が続いている中、大変心苦しいところではございますが、休業に対する協力金も用意されておりますので、対象事業者におかれましては、要請にご協力いただけますようお願いいたします。その他の酒類を提供しない飲食店や、大規模集客施設につきましては、午後 8 時までの時短営業をお願いするとともに、アクリル板の設置等、感染対策の徹底をお願いいたします。休業や時短要請に応じていただいた事業者への協力金につきましては、県のホームページまたはコールセンターでご案内がされておりますのでご確認いただきたいと思います。一般の事業者におかれましては、テレワークや時差出勤等、人と人の接触を減らす取り組みにご協力をお願いいたします。

三島市では、切り札と言われるワクチンを 1 回以上接種している方が、8 月 19 日時点で全市民の 42.1%となっております。市としましては、できる限り早期に希望される全ての方が接種できるよう、順次、ワクチンが確保でき次第、予約できるよう進めております。

なお、現在実施している PCR 社会的検査については、無症状でも身近に感染者がいた方を対象に 9 月から拡大いたします。これまでは、65 歳以上の方などを対象としておりましたが、感染者や濃厚接触者と接したことにより不安をお持ちの方は、ご利用いただきたいと思います。9 月 1 日から受付を開始いたしますので詳しくは、市のホームページをご覧ください。

また、県から周遊の促進につながる観光施設について原則休館とする旨要請されておりますので、楽寿園などの施設を休園するとともに、市民文化会館や市民体育館など、公共施設についても、利用時間短縮などの対応を取らせていただきます。詳しくは、市のホームページをご覧ください。

一方、市立小中学校は、これまで以上に感染症対策を徹底した上で、現時点では、夏季休業終了後の 8 月 26 日(木)から再開する予定であります。なお、状況が変化した場合の対応につきましては、それぞれ校長から保護者の皆様へ連絡をさせていただきます。

皆様には、大変なご負担をお願いすることとなりますが、この危機的状況から一刻も早く抜け出し従来の生活を取り戻せるよう、お一人お一人が適切な行動をとっていただけますよう重ねてお願い申し上げます。ご自身だけでなく、家族や友人など身近な人達の命と健康を守るために、行動してまいりましょう。よろしくお願い致します。

#### ⑱ 令和3年9月14日

##### 「新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言(延長)」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。皆様方には、日ごろから新型コロナウイルス感染症予防に取り組んでいただき、感謝申し上げます。おかげ様で、三島市の新規感染者数は、8月19日の25人の発生をピークに、少しずつ減少してきているところですが、9月12日までを期限に発令されていた緊急事態宣言が、静岡県を含む19都道府県で今月30日まで延長されています。市民、事業者の皆様には引き続き、不要不急の外出の自粛や三密の回避、マスクの着用、手指の消毒など、緊急事態宣言に基づき要請された内容に従い、感染拡大防止の行動をとっていただけますよう、お願いいたします。

市としましては、ワクチンを、希望される全ての方が接種できるよう、進めているところであります。9月23日に開始する10月から11月中旬の接種の予約で、市民の8割以上の方への接種ができる見込みとなりました。11月中旬以降の集団接種は、規模を縮小し、保健センターで実施していく予定でございますので、まだ予約を取られていない人や、これから12歳になられる方は、こちらで接種していただくようお願いいたします。詳しくは、市のホームページをご覧くださいと思います。

また、事業者の皆様方などには、今後、経済的な支援策などを検討しているところです。いずれにいたしましても、市民の皆様、事業者の皆様には、大変なご負担をお願いすることとなりますが、この緊急事態宣言が再度延長されることなく、今月末で終了し、従来の生活を取り戻せるよう、皆様にご協力いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

#### ⑲ 令和3年9月30日

##### 「新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言終了および今後の支援策」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症対策につきましては、本日(9月30日)を期限に、19都道府県に発令されておりました緊急事態宣言などが解除されることとなりました。市民の皆様方には、これまで、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、不要不急の外出や県境を跨ぐ移動の自粛などに取り組んでいただきまして厚くお礼を申し上げます。

また、飲食店など、事業者の皆様におかれましては、事業に大きな影響があるにもかかわらず、休業や時短営業、アルコール提供の自粛等にご協力いただき、厚く感謝申し上げます。おかげ

様で、当市においても第5波は下火となり、9月下旬の当市の新規感染者の発生は、かなり抑えられております。9月1日に70%を超えた県東部地域の病床占有率も10%を切り、落ち着いた状況となっております。この緊急事態宣言の解除により、経済活動や生活上の制約が段階的に緩和されますので、今後はこれまで自粛されていた様々な活動を徐々に再開し、従来の日常生活に近づけていくことが可能になるものと考えられます。

市としましては、自粛していただいた事業者の皆様等への支援のため、市議会9月定例会に補正予算を上程し、お認めいただきましたので、その追加の支援策についてご説明します。今回の補正予算では、国から臨時交付金の事業者支援分として追加交付を受けたこと、また、市議会において、「緊急事態宣言下における中小企業等への支援強化を求める決議」が議決されたことを受け、国からの交付金約8,500万円及び、市の予備費からも約1,500万円を投じて追加の支援事業を実施するものです。

まず、国の交付金を活用した事業でございますが、1つ目は、売上減少により、静岡県が実施する「中小企業等応援金」等の給付を受けた事業者に対して、三島市独自の「中小企業等応援補助金」として上乘せを実施します。法人に対しては10万円、個人事業主に対しては5万円を上限といたしますが、特に大きな影響を受けている酒類販売事業者及び運転代行業者に対しては、法人の場合は20万円、個人事業主に対しては10万円を上限として支援いたします。

次に、市内観光事業者に対する三島市独自の「観光関連事業者応援補助金」を実施いたします。具体的には、「旅館・ホテル」「旅行代理店」「レンタカー業」「土産物店」「文化・娯楽・サービス業」などの事業者に対して、売上減少額の補填として、宿泊事業者は法人に一律60万円、個人事業主に一律40万円、その他の旅行関連事業者は、法人に一律40万円、個人事業主に一律20万円を支援いたします。

3つ目といたしまして、公共交通事業者に対する支援でございます。バス、タクシー、鉄道事業者に対して、緊急支援事業を実施します。また、せせらぎ号、なかざと号、大場分譲地線の3路線において、バスロケーションシステムの整備によるIT化の支援を行います。

次に、三島市単独の支援策でございますが、新型コロナウイルスの陽性者で自宅療養を余儀なくされている方、及び濃厚接触者の方にご自宅への給食サービスを実施いたします。さらに、感染拡大の防止対策として、ワクチン接種を受けられない、12歳未満の児童等が在籍する、市内の保育園29園、幼稚園11園、小学校14校について、抗原検査キットを配備いたします。なお、個々の事業の詳細につきましては、様々な条件等がございますので、市ホームページをご覧ください。不明な点は担当課にお問合せください。

9月30日で緊急事態宣言は解除されますが、ウイルスのまん延が収束した訳ではなく、専門家の意見ではこの冬にも第6波が到来するのではないかと、という見方が大半を占めているようですので、皆様には引き続き、基本的な感染対策に取り組んでいただければ幸いです。

市としましては、全力でワクチン接種を進めているところでございまして、接種済の方と予約済の方に加えて、職域接種を受けた方を合わせますと、9月28日現在で対象者の83.8%となっており、11月上旬には、12歳以上で希望された方の接種を完了する見込みとなっております。なお、現在受け付けておりますワクチン接種の予約枠に余裕がある状況でございます。大規模な集団接種としてはこの予約枠を最後とする予定でございますので、接種をご希望の方は、

早めに予約を取っていただけますようお願いいたします。特に40歳以下の若い世代では、他の年代に比べて全国的にも低い接種率になっておりますので、ぜひこの機会に予約をお願いします。なお、国から3回目の接種を行うよう通知がありましたので、今後準備を進めて参ります。具体的な日程等は、広報みしまや、市のホームページに掲載してまいります。

また、公共施設の利用制限につきましては、基本的には、10月1日より通常通りの利用となりますが、一部施設につきましては、静岡県の警戒レベルに合わせて人数などの制限がございますので、市ホームページでご確認いただけますようお願いいたします。

いずれにいたしましても、市民の皆さまの命と健康を守っていくこと、市内の経済を支えていくことは市政の使命でありますので、引き続き、感染症拡大防止対策と事業者への支援や、経済対策にもスピード感をもって全力で取り組んでまいります。市民、事業者の皆様には引き続きご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

## ㊦ 令和3年12月17日

### 「子育て給付金10万円の一括給付及び新型コロナウイルスに関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。18歳以下の子どもへの臨時特別給付金については、心待ちにされている方も多くいらっしゃるかと思います。三島市では、10万円分のすべてを、現金で一括給付することといたしました。国が給付金の対象としている申請不要な中学生以下の児童手当の受給世帯には、12月24日に振り込みます。

対象となる方に対しては、すでに現金5万円での給付の通知を差し上げておりましたが、改めて10万円を現金で一括給付する旨の通知を17日に郵送でお送りしておりますので、ご確認くださいようお願いいたします。また、中学生以下の兄弟姉妹がいる世帯の高校生相当年齢のお子様にかかる給付金につきましても、手続き不要で、1月中に振込みをいたします。なお、高校生のみの世帯と公務員の世帯につきましては申請手続きが必要となりますので、年明けとはなりますが、申請にかかる事務手続きの準備ができ次第、市のホームページなどでご案内いたします。

市民の皆様方には、これまで、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に取り組んでいただきまして厚くお礼を申し上げます。おかげ様で、当市の新規感染者につきましては、10月19日以降、発生しておりません。

また、新型コロナワクチン接種の状況でございますが、皆様のご協力によりまして、12月16日現在で、2回目の接種が完了した方は、対象者の86.3%となっております。なお、3回目の接種につきましては、2回目の接種をされた方に順次、接種券を送付しており、1月から接種できるよう、準備を進めております。詳しくは広報みしま1月1日号をご確認ください。ワクチン接種にしましては、国の動向が不確定なこともあり、最新情報は市のホームページでご確認くださいようお願い申し上げます。

市民の皆さまの命と健康を守っていくこと、市内の経済を支えていくことは市政の使命でありますので、引き続き、感染拡大防止に市民の皆さまのご協力をお願いいたしますとともに、事業者への支援や、経済対策にもスピード感をもって全力で取り組んでまいります。また、年末年始も



決して油断せず、基本的な対策の徹底に、ご協力を重ねてお願いいたします。

㊦ 令和4年1月14日

「新型コロナウイルス感染症に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、新年おめでとうございます。三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症対策につきまして、皆様には、一昨年から感染拡大防止に取り組んでいただき、誠にありがとうございます。

しかし、皆様ご存知のとおり、全国的に年明けから急激に感染が拡大しており、静岡県におきましても、1月11日に警戒レベルを「2」の「警戒を強化すべきレベル」に引き上げられました。三島市の状況を申し上げますと、昨年の10月19日以降、市民の新規感染者は発生していませんでしたが、1月7日から、連日、新規感染者の確認が続いており、1月14日までの8日間で、累計50人に達している状況です。このような感染者の急増により、ご自身が感染していないか、という不安を感じている方もいらっしゃるかと思います。

現在、県では、感染に不安を感じていらっしゃる無症状の方を対象に、無料のPCR検査等を実施しております。詳しくは、県や市のホームページをご覧くださいと思います。また、PCR検査等は、市内の薬局等でも受けることができますので、感染に不安をお持ちの方は、ぜひ、利用していただきたいと思います。なお、発熱等の症状のある方は、これらの薬局等では検査できませんので、速やかに医療機関を受診していただくようお願いいたします。

現在主流となりつつあるオミクロン株は感染力が強いと言われておりますので、今後、これ以上感染を拡大させないために、市民、事業者の皆様にも、改めて、一層の感染対策をお願いしたいと存じます。具体的に申し上げますと、既に取り組んでいただいている「基本的な感染対策」の一層の徹底ということになりますが、「混雑している場所や時間を避けて、少人数で行動する」、また、「県境を跨ぐ移動は、慎重に判断した上で行動」していただきますよう、お願いいたします。

また、「密の回避」としまして、「3密」だけでなく、「1密」であっても感染予防の徹底をお願いいたします。そのほか、飲食時は感染のリスクが大変高くなりますので、黙食や、会話時のマスク着用などの基本的感染対策を守っていただき、少人数・短時間で、極力、普段一緒にいる人との利用をお願いいたします。その他、手指の消毒やマスク着用などの、基本的な対策を継続していただき、もし体調不良を感じましたら、仕事や学校を休み、速やかに医療機関で受診していただくようお願いいたします。無症状であっても、身近に感染者が出たなど、不安をお持ちの方は、先ほどご紹介した薬局等での無料の検査を早めに受けていただくなど、早期検査、早期受診が極めて重要となっております。

なお、市では、3回目のワクチン接種につきまして、一般の高齢者の方は、2月1日から、病院、医院、集団接種会場で、順次接種できるよう接種体制を整えたところがございますが、13日に国から、接種間隔の短縮の方針が示されましたので、さらなる接種の前倒しに向けて、準備してまいります。3回目用の接種券は、2回目の接種が終了した順にお送りしておりますので、接種券がお手元に届きましたら、ご予約をお願いいたします。

市民の皆様には、引き続き、ご負担をお願いすることとなりますが、ここで感染拡大を食い止めるべく、お一人お一人の感染予防対策を徹底していただきますよう重ねてお願い申し上げます。

## ㊼ 令和4年1月27日

### 「新型コロナウイルス感染症「まん延防止等重点措置」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症につきましては、日ごろから皆様方には、感染予防に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

しかしながら、現在、感染力が非常に強いオミクロン株が全国で猛威を振るっており、昨日26日現在で、16都県に出されていた「まん延防止等重点措置」が、本日27日からは静岡県をはじめとする18道府県にも適用され、全国の7割を超える34都道府県で適用されることとなりました。実施期間につきましては、本日1月27日(木)から2月20日(日)まで静岡県全域が対象となっております。

三島市の感染状況を申し上げますと、このところ連日、二けたの新規感染者が報告されており、直近1週間における10万人当たりの感染者数は、170人を超える状況となっております。昨年夏の第5波のピークが、約100人でしたので、その1.7倍という大変厳しい状況となっております。つきましては、市民の皆様、事業者の皆様には、まん延防止等重点措置の要請内容に従い、更なる感染予防対策の強化と徹底を強くお願いいたします。市民の皆様へは、2週間程前の1月14日に感染対策の強化をお願いしたばかりでございますが、状況が悪化していることをご理解いただき、これから申し上げます取り組みを要請いたしますので、ご協力をお願いいたします。

まず、市民の皆様には、3密の回避、手洗い、マスクの着用などの基本的な感染対策を徹底していただくようお願いいたします。その着用していただくマスクは、より感染防止効果の高い不織布製のマスクを使用していただくようお願いいたします。

また、必要な場合を除き、県境をまたいでの移動は極力控えていただくとともに、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出は自粛していただきますようお願いいたします。特に、大人数での行動は注意が必要で、会食等は、なるべく家族や日頃行動を共にしている少人数に限り、黙食を徹底していただきたいと思っております。なお、発熱等の症状が見られる場合の対処について、国からは、40歳以下で基礎疾患がなくワクチンを2回接種している方は、医療機関を受診せずに自宅療養することも可能と発表されたところですが、現在のところ、静岡県では従来通りの方針をとっておりますので、症状のある方は、速やかに医療機関を受診していただき、職場への出勤、学校への登校、クラブ活動等の参加はおやめいただきますようお願いいたします。

次に、市内の飲食店の皆様への要請でございますが、まん延防止等重点措置に基づき、ふじのくに安全・安心認証店に認証されている飲食店の営業時間につきましては、酒類の提供を終日停止する場合には20時まで、酒類の提供を行う場合には酒類の提供は20時まで、営業時間は21時までとする時短営業をお願いいたします。認証されていない飲食店につきましては、酒類の提供を終日停止していただき、営業時間を20時までとしていただくようお願いいたします。なお、時短要請に応じていただいた事業者の皆様には、第5波の際と同様に、県から協力金が

支給される予定となっております。詳しくは、市のホームページ、または、静岡県のホームページをご覧くださいと思います。

次に、公民館や体育施設など市の公共施設につきましては、利用人数の制限などをさせていただきます。詳しくは、市のホームページをご覧ください。

次に、3回目の新型コロナワクチン接種についてお知らせいたします。三島市では2回目の接種が終了された方へ、3回目用の接種券を順次発送しておりますので、お手元に届きましたらご予約をお願いいたします。接種会場につきましては、集団接種会場や病院、医院に加えて、2月からお近くのクリニックなどでも接種が受けられるよう接種体制を整えました。また、ワクチンにつきましては、会場と日にちにより、ファイザーかモデルナか異なりますので、選んでいただいております。また、移動が困難な方のために、3回目もドライブスルーでの接種を実施しますので、ご希望される方は、コールセンターまでお問合せください。

なお、現在、急激な感染者や濃厚接種者の増加により、自宅療養者も爆発的に増加しております。自宅療養者への支援については、第5波の際には急激に重症化する事例がありましたので、現在、保健所と連携をとり、三島市から保健師を毎日1人、3月まで、東部保健所に派遣し、安否確認等の業務に従事しているところでございます。

また、三島市では、新型コロナウイルス感染症陽性者及び濃厚接触者のうち、自宅療養期間中に親族等の支援が受けられない方に対し、「緊急食料支援事業」として、朝、昼、夜の3食のお弁当を宅配にて、無料でお届けするとともに安否確認をしております。この支援事業の1月の申請者は、自宅療養者の急増に伴い、24日時点で、100人に達している状況でございます。

いずれにいたしましても、第6波というこの難局を力を合わせて乗り切るために、改めて市民の皆様への基本的な感染対策の徹底と事業者の皆様へのご協力をお願い申し上げます。

## ㊸ 令和4年2月21日

### 「新型コロナウイルス感染症「まん延防止等重点措置の延長」及び「ワクチン接種」に関する市長のメッセージ」

市民の皆様、三島市長の豊岡武士でございます。新型コロナウイルス感染症につきましては、日ごろから皆様方には、感染予防に取り組んでいただき、感謝申し上げます。本日は、2月20日を期限とする静岡県に実施されていた「まん延防止等重点措置」が3月6日まで延長されましたので、改めて感染防止のお願いと、新型コロナワクチン接種の今後の予定をお知らせいたします。

まず、本市の感染状況でございますが、オミクロン株の拡大により、1月中旬から1日の新規感染者が急増し、2月11日には、過去最多となる55人となりました。本年になって初めて発生した1月7日から2月20日までの45日間に、合計、1,183人と、千人を超える感染が確認されております。特に、三島市では、学級閉鎖したクラスもあるなど、児童生徒の感染報告も相次いでおります。児童生徒等の感染経路については、「家庭内感染」に加えて「感染経路不明」のものが増えてきておりますことから、本日、教育委員会より保護者の皆様にご家庭での対策の徹底につきまして改めてご協力のお願いをさせていただきました。

現在、増加スピードは鈍化傾向にあり、2月16日の厚生労働省の専門家会議では、「地域によりばらつきがあるが、全国的には2月上旬にピークを迎えた」という見解が示されたところですが、静岡県では依然として多くの新規陽性者が確認されており、社会機能の維持への影響が出ることも危惧されるため、まん延防止等重点措置が延長されたところがございます。このような状況の中、市民の皆様、事業者の皆様には、引き続き、飲食店の時短営業など、まん延防止等重点措置の要請内容に従い、更なる感染対策の強化と徹底をお願いいたします。

次に、市としましては、まん延防止、特に、未就学児、小学生、高齢者などの感染を何とか食い止めるため、新型コロナワクチン接種を全力で進めているところでございます。ワクチン接種に関しましては、既に65歳以上の方々などへ3回目の接種を進めておりますが、更に接種券発送の前倒しを図り、2回目の接種から概ね6か月後には、お手元に届くよう発送しておりますので、接種券が届き次第、ご予約することができる状況でございます。また、接種会場は、39の医療機関の個別接種に加えて、4つの集団接種会場でも実施しておりますので、できる限り多くの皆様は早期に接種できるよう進めているところでございます。なお、3回目接種では、ファイザーとモデルナの2種類のワクチンがございしますが、1・2回目接種したワクチンの種類に関わらず、どちらのワクチンでも十分な効果と安全性が確認されております。より早く接種できるワクチンで接種していただくことが、感染予防の観点からも重要と考えますので、ご検討をお願いいたします。

また、5歳～11歳の子どもへのワクチン接種が1月21日に特例承認されました。三島市では、3月中旬から8か所の小児科で接種を開始いたします。さらに、4月中旬からは東、南、北、長伏の小学校4校の体育館でも、1、2回目の接種を実施できるよう準備を進めております。接種券は、2月28日に発送する予定となっております。予約受付は、3月10日(木)からとなります。子どもの接種は、大人の場合とは異なり、努力義務は規定されておきませんが、子どもの感染が多くなっておりますので、接種券が届きましたら、ご検討のうえ、ご予約をお願いいたします。

いずれにいたしましても、まん延防止等重点措置が延長され、市民の皆様、事業者の皆様には大変なご不便をお掛けしますが、一日でも早く感染が収束いたしますよう、ともに感染防止に取り組んでまいりましょう。ご協力をお願い申し上げます。

## 資料2 新型コロナウイルスの感染状況

2023/5/8 までの感染者数

年月別（全国）

月／年	2020	2021	2022	2023
1	12	154,700	1,082,695	3,317,270
2	193	41,838	2,106,113	668,882
3	1,930	42,300	1,475,036	249,850
4	12,089	117,482	1,249,639	265,404
5	2,511	153,674	940,734	81,761
6	1,747	52,977	469,555	—
7	17,373	126,687	3,463,299	—
8	31,981	567,572	6,173,065	—
9	15,045	208,068	2,322,548	—
10	17,529	17,385	1,031,436	—
11	47,158	4,375	2,487,609	—
12	86,541	5,816	4,425,244	—
計	234,109	1,492,874	27,226,973	4,583,167

全国合計 33,537,123

年月別（静岡県）

月／年	2020	2021	2022	2023
1	0	1,908	20,173	134,936
2	1	551	39,037	27,656
3	7	577	31,326	7,195
4	62	749	23,071	5,231
5	5	1,933	22,061	1,402
6	6	924	8,785	—
7	188	1,575	81,839	—
8	214	11,635	164,237	—
9	63	4,113	66,001	—
10	115	156	26,495	—
11	1,012	41	56,675	—
12	1,013	110	120,659	—
計	2,686	24,272	660,359	176,420

静岡県合計 863,737

2023/5/9 までの死亡者数

年月別（全国）

月／年	2020	2021	2022	2023
1		2,261	400	10,825
2	※1 613	2,165	4,897	4,296
3		1,274	4,499	1,521
4		1,067	1,472	634
5		※2 279	2,819	1,049
6	81	1,731	571	—
7	37	409	1,304	—
8	285	849	7,295	—
9	275	1,607	4,923	—
10	195	619	1,864	—
11	373	92	2,985	—
12	1,321	33	7,622	—
計	3,459	14,926	38,881	17,428

全国合計 74,694

年月別（静岡県）

月／年	2020	2021	2022	2023
1		35	3	316
2	※1 1	17	123	113
3		25	41	38
4		3	26	8
5		※2 0	16	7
6	0	13	12	—
7	0	7	27	—
8	0	16	211	—
9	1	32	87	—
10	0	4	21	—
11	9	0	40	—
12	30	0	124	—
計	41	168	722	477

静岡県合計 1,408

※1：2020/5/9までのコロナ感染による死亡者数

※2：2020/5/10からのコロナ感染による死亡者数

●感染者

	10歳未満	10歳代	未成年者	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	高齢でない成人	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	高齢者	年齢不明	計	取下げ	除外	誤り
感染者数	2,092	1,926	194	1,734	2,052	2,096	1,415	383	808	513	294	117	10	66	17	13,717	4	2	0
感染者数比率	15.3%	14.0%	1.4%	12.6%	15.0%	15.3%	10.3%	2.8%	5.9%	3.7%	2.1%	0.9%	0.1%	0.5%	0.1%	100.0%			

	未成年者	成人	高齢者	不明
感染者数	4,212	7,680	1,808	17
感染者数比率	30.7%	56.0%	13.2%	0.1%

三島市の感染数累積
13,717人

●月別感染者

	10歳未満	10歳代	未成年者	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	高齢でない成人	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	高齢者	年齢不明	計	累計	年
令和2年5月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
令和2年6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
令和2年7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
令和2年8月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
令和2年9月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	
令和2年10月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
令和2年11月	0	1	1	0	0	1	1	8	3	0	0	0	0	4	0	19	23	
令和2年12月	0	0	4	3	2	0	1	20	1	0	0	1	0	3	0	35	58	58
令和3年1月	0	10	7	13	10	7	3	37	3	2	0	0	0	8	0	100	158	
令和3年2月	0	0	1	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	10	168	
令和3年3月	0	0	0	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	6	174	
令和3年4月	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	6	180	
令和3年5月	0	2	0	0	0	0	1	6	0	1	0	0	0	4	0	14	194	
令和3年6月	0	0	1	0	2	1	2	4	1	1	0	0	0	0	0	12	206	
令和3年7月	2	2	17	12	1	6	7	53	1	0	0	0	0	5	0	106	312	
令和3年8月	3	23	70	45	49	30	30	101	10	2	0	0	0	6	0	369	681	
令和3年9月	11	11	22	14	16	11	7	34	1	0	0	0	0	3	0	130	811	
令和3年10月	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	816	
令和3年11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	816	
令和3年12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	816	758
令和4年1月	29	39	61	70	30	43	26	89	17	17	2	0	0	17	0	440	1,256	
令和4年2月	164	126	9	151	161	178	122	19	64	51	24	19	1	13	0	1,102	2,358	
令和4年3月	132	147	0	117	115	102	70	0	31	17	26	12	0	0	0	769	3,127	
令和4年4月	126	130	0	90	113	118	52	0	21	13	13	9	2	0	0	687	3,814	
令和4年5月	57	108	0	88	84	72	43	0	20	8	20	9	0	0	0	509	4,323	
令和4年6月	25	24	0	23	31	36	25	0	10	13	4	3	0	0	0	194	4,517	
令和4年7月	374	433	0	293	383	408	274	0	157	84	24	7	1	0	2	2,440	6,957	
令和4年8月	734	659	0	645	704	812	574	0	366	232	144	45	4	0	12	4,931	11,888	
令和4年9月	435	211	0	166	343	270	176	0	102	72	37	12	2	0	3	1,829	13,717	12,901

### 資料3 新型コロナウイルス感染症関連寄付・寄贈一覧

順不同・敬称略

寄贈者	寄付金額・寄贈物品等	寄贈の目的
三島市老人クラブ連合会 錦田地区有志一同	手作りマスク 220枚	三島市民のために
渡辺晃司	不織布マスク 5,000枚	救急活動のために
株式会社ジョイランド	不織布マスク 1,000枚	医療や介護関係者、放課後児童クラブなどのために
株式会社東陽社	不織布マスク 5,000枚	医療や介護関係者、放課後児童クラブなどのために
株式会社万福	不織布マスク 1,500枚	医療や介護関係者、放課後児童クラブなどのために
静岡福祉医療専門学校学生 近藤沙紀	手作りマスク 110枚	三島市民のために
リヴ・よしだや 原晴之	医療用(N95)マスク 201枚	医療従事者などの感染予防のために
たいよう	手作りマスク 100枚	妊婦さんの感染予防のために
米良道子	手作りマスク 50枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
松本しゃぎり保存会	手作りマスク 100枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
ふじのくに三島かがやきネット	蜂蜜(100ml) 100本	医療関係者のために
エーザイ株式会社	抗菌スプレー(250ml) 3本 栄養補給飲料(100ml) 300本 ハンドクリーム(48g) 300本 不織布マスク 400枚	高齢者など市民の健康保持などのために
大場商工会 青年部	空気清浄機 7台	大場地区周辺の幼稚園・保育園のために
YS KIT	マスク 300枚・ゴム手袋 300組	保育園のために
三島中央病院	次亜塩素酸水 20リットル	保育園のために
三丸機械工業株式会社	微酸性電解水	公共施設の除菌用のために
桜ヶ丘こどもクリニック	高濃度アルコール消毒液 32リットル	未来ある子どもたちのために
株式会社八木繊維	不織布マスク 10,000枚	高齢者介護のヘルパーさんのために
第一生命保険株式会社	不織布マスク 1,000枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
加和太建設協和会	ノンアルコール除菌水 250本	幼稚園・保育園・認定こども園などのために
土佐谷薬局	使い捨てゴム手袋 700枚	小中学校養護教諭のために
芹澤	不織布マスク 2,000枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
静岡県飲食業生活衛生同業組合 三島支部	不織布マスク 2,000枚	医療や介護関係者、放課後児童クラブのために
フロンティア・ヒューマン株式会社	不織布マスク 200枚	錦田保育園のために
北上小学校 卒業生	不織布マスク 500枚	北上小児童とスクールガードさんのために
GORILLA TEA	不織布マスク 10,800枚	医療や介護関係者など必要な方のために
川村尚伸	不織布マスク 300枚	必要な方のために
株式会社ENEOSウイング	各園に不織布マスク 50枚入り2箱	保育園のために

順不同・敬称略

寄贈者	寄付金額・寄贈物品等	寄贈の目的
深澤智春	子ども用手作りマスク 109枚	児童センター利用者のために
有限会社メガネの三島・こどもメガネ専門店 Jack-o_o-	フェイスシールド 100枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
東京電力労働組合 静岡地区本部	不織布マスク 10,000枚	市内医療機関に従事する関係者のために
レマコム株式会社	不織布マスク 10,000枚	市内の高齢者施設や介護施設等の従事者のために
住まい工房とうくり	手指消毒用アルコールジェル 4本	医療機関に従事する関係者のために
青木保育園保護者 水口いづみ	手作りマスク 85枚	青木保育園のために
在仙台カンボジア王国名誉領事館 名誉領事 田井進	手づくりマスク 1,000枚	三島市の国際交流関係者や子供たちのために
第一生命保険株式会社沼津支社 三島第一営業オフィス	各園に不織布マスク 50枚入り2箱	保育園、認定こども園などのために
三島建設業協会の会	業務用肌荒れ防止クリーム 24本	公立幼稚園・保育園のために
株式会社東平商会	接触冷感マスク 200枚	公立保育園のために
米良道子	手作りマスク 45枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
国際ソロプチミスト駿河	防護用使い捨てエプロン 300枚	放課後児童クラブのために
Dazzle	除菌ウェットティッシュ 20袋 布ガーゼマスク 10枚 不織布マスク 50枚 ハンドジェル 120ml1本	加茂川町保育園のために
関野あつ子	マスク 50枚 ハンドジェル500ml 1本 アルコール手拭き 8袋	加茂川町保育園のために
米良道子	手作りマスク 35枚	加茂川町保育園のために
森本正美	マスク 70枚 ハンドジェル500ml 5本	三島市のために
有限会社フォーション	アルコール消毒液 300本	新型コロナウイルス感染症対策のために
株式会社アイティエス	サーマルAIカメラ 8台	新型コロナウイルス感染拡大防止のために
株式会社東陽社	マスク(不織布) 10,000枚	新型コロナウイルス感染拡大防止のために
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	ペットボトル飲料 24本×50ケース	ワクチン接種に協力する医療従事者等のために
セキトランスシステム株式会社	トイレ紙ホルダーと杖置き 各28台	新型コロナウイルス感染症対策のために
日本生命保険相互会社沼津支社 三島営業部・長泉営業部	除菌ウェットティッシュ 600個	新型コロナウイルス感染拡大防止のために
芹澤匠	不織布マスク 2,000枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
桜ヶ丘こどもクリニック	手指消毒用アルコール 20ℓ	妊婦さんの感染予防のために
徳倉幼稚園保護者 渡辺尚美	子ども用不織布マスク 150枚	徳倉幼稚園のために
徳倉幼稚園PTA有志	子ども用不織布マスク 200枚	徳倉幼稚園のために
中華人民共和国 麗水市人民政府	普通マスク 45,000枚 N95マスク 2,000枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
特別養護老人ホーム北上の郷 職員	子ども用手作りマスク	北上保育園(年長児全員)のために



順不同・敬称略

寄贈者	寄付金額・寄贈物品等	寄贈の目的
株式会社カツマタ	使い捨てエプロン 7着	市立幼稚園のために
株式会社八木繊維 三島営業所	不織布マスク 10,000枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
徳倉幼稚園保護者 柳澤洋子	子ども手作りマスク 5枚	徳倉幼稚園のために
桜ヶ丘こどもクリニック	除菌用高濃度アルコール 8L	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
レマコム株式会社	不織布マスク 10,000枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
山本建設株式会社	不織布マスク 750枚	中郷南保育園、中郷西保育園のために
ニューデルタ工業株式会社	足踏式消毒液スタンド 5台	新型コロナウイルス感染症対策のために
平電機株式会社	フェイスガード 5枚	北上保育園のために
しらゆり幼稚園 保護者有志	子ども手作り布マスク 220枚	しらゆり幼稚園のために
芙蓉台二丁目子ども会	34,000円	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
静岡県立三島南高等学校	子ども手作りマスク 80枚	大場幼稚園のために
合同会社ヴィレッジサポート	除菌ウェットティッシュ 1,500袋	幼稚園・保育園・認定こども園などのために
合同会社ヴィレッジサポート	アルクリウエットティッシュ 50枚入	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
三島年金事務所	不織布マスク 2箱	加茂保育園のために
株式会社サンリッチ三島	非接触自動水栓 18器	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
福家英也	自動除菌液噴霧器 7台	新型コロナウイルス感染症の感染予防のために
平電機株式会社	体温計測機付消毒液スタンド 21台	市立小中学校の感染症対策のために
株式会社BIRTH 佐藤信一郎	e-3X（水道水で作る除菌スプレー）	まりあ保育園のために
エッグマート松本店	ハンドジェル500ml 3ケース	まりあ保育園の職員・園児家族のために
明治安田生命保険相互会社	406,300円	新型コロナウイルス感染症対策のために
明治安田生命保険相互会社	200,000円	新型コロナウイルス感染症対策のために
明治安田生命保険相互会社	524,000円	教育環境の整備のために
明治安田生命保険相互会社	415,000円	地域住民の健康増進や子育て支援等のために
三島信用金庫	1,000,000円	新型コロナウイルス感染症対策のために
沼津信用金庫	500,000円	教育環境の整備のために
沼津信用金庫	500,000円	教育環境の整備のために
山本建設株式会社	100,000円	教育環境の整備のために

※様々なルートを通じて、多くの企業・団体・個人の皆様から、貴重な寄付・寄贈をいただきました。

庁内において網羅的な調査に努めましたが、コロナ禍の混乱で把握が困難な面があり、掲載漏れ等がある可能性もございます。

また、「コロナ対策のために」と用途指定がなかった寄付・寄贈は、掲載されておりませんのでご了承ください。

## 資料4 新型コロナウイルス感染症関連事業一覧

三島市コロナ対策関連事業一覧 (R5.3.31時点)						
No	執行年度	会計区分	担当課※R4時点	事業名称	事業区分	
1	R2	一般	市民課	戸籍住民基本台帳事業 ワンストップ窓口事業	新たな生活様式	
2	R2	一般	市民課	戸籍住民基本台帳事業 ワンストップ窓口事業	新たな生活様式	
3	R2	一般	市民課	戸籍住民基本台帳事業 ワンストップ窓口事業	新たな生活様式	
4	R2	一般	地域協働・安全課	自治会・町内会活動用新型コロナ対策消耗品購入事業	感染症拡大防止	
5	R2	一般	地域協働・安全課	三島市新型コロナウイルス感染症対策公共交通事業者緊急支援事業	経済対策/事業者支援	
6	R2	一般	地域協働・安全課	路線バスIT化整備事業費補助金	感染症拡大防止	
7	R2	一般	地域協働・安全課	三島市防犯灯電気料補助金の増額	経済対策/事業者支援	
8	R2	一般	健康政策戦略室	コロナに勝とうポイント事業	感染症拡大防止	
9	R2	国保	保険年金課	傷病手当金支給事業	生活安定支援	
10	R2	一般	健康づくり課	非接触型体温計の購入	感染症拡大防止	
11	R2	一般	健康づくり課	自動体温測定カメラシステム 1式	感染症拡大防止	
12	R2	一般	健康づくり課	妊婦特別支援給付金	生活安定支援	
13	R2	一般	健康づくり課	三島市PCR検査センター設置	感染症拡大防止	
14	R2	一般	健康づくり課	コロナ対策用の消耗品の購入	感染症拡大防止	
15	R2	一般	健康づくり課	社会的検査業務(疾病予防対策事業費等補助金と市単分)	感染症拡大防止	
16	R2	一般	健康づくり課	電子母子手帳「みしまっこ」テレビ電話機能拡充事業	新たな生活様式	
17	R2	一般	スポーツ推進課	三島市体育施設等指定管理者支援事業	経済対策/事業者支援	
18	R2	一般	スポーツ推進課	三島市スポーツ少年団支援金事業	感染症拡大防止	
19	R2	一般	スポーツ推進課	市民体育館・温水プール新型コロナ対策事業(修繕)	感染症拡大防止	
20	R2	一般	スポーツ推進課	市民体育館・温水プール新型コロナ対策事業(物品購入)	感染症拡大防止	
21	R2	一般	スポーツ推進課	学校体育施設開放事業用消耗品	感染症拡大防止	
22	R2	一般	地域包括ケア推進課	老人福祉用居場所・地域サロン支援金事業	感染症拡大防止	
23	R2	一般	地域包括ケア推進課	高齢者いきがいセンター研修室エアコン改修事業	感染症拡大防止	
24	R2	一般	地域包括ケア推進課	オンラインを活用した高齢者相談支援事業	新たな生活様式	
25	R2	一般	地域包括ケア推進課	感染症対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業	感染症拡大防止	
26	R2	一般	地域包括ケア推進課	在宅サービス事業所における環境整備への助成事業	感染症拡大防止	
27	R2	一般	介護保険課	介護サービス事業者支援金事業	感染症拡大防止	
28	R2	介護	介護保険課	介護保険料減免事業	生活安定支援	
29	R2	一般	福祉総務課	自立相談支援事業	生活安定支援	
30	R2	一般	福祉総務課	住居確保給付事業	生活安定支援	
31	R2	一般	福祉総務課	老人福祉センター利用者送迎バス等感染予防対策事業	感染症拡大防止	
32	R2	一般	子育て支援課	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	生活安定支援	
33	R2	一般	子育て支援課	児童扶養手当臨時特別給付金給付事業	生活安定支援	
34	R2	一般	子育て支援課	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	生活安定支援	
35	R2	一般	子育て支援課	子育て支援センター事業	感染症拡大防止	
36	R2	一般	子育て支援課	地域子育て支援拠点外環境改善等事業費補助金	感染症拡大防止	
37	R2	一般	子育て支援課	地域子育て支援拠点外環境改善等事業費補助金	感染症拡大防止	
38	R2	一般	子育て支援課	臨時休業時利用助成金	生活安定支援	
39	R2	一般	子ども保育課	保育環境改善等事業費補助金	感染症拡大防止	
40	R2	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業費補助金	感染症拡大防止	
41	R2	一般	子ども保育課	公立保育園における感染症対策物品等の購入	感染症拡大防止	
42	R2	一般	子ども保育課	公立幼稚園における感染症対策物品等の購入	感染症拡大防止	
43	R2	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症にかかる保育料還付	生活安定支援	
44	R2	一般	子ども保育課	新型コロナウィルス感染症にかかる保育料還付(認定こども園、小規模保育事業所)	生活安定支援	
45	R2	一般	障がい福祉課	郵便申請奨励事業	感染症拡大防止	
46	R2	一般	障がい福祉課	新型コロナウイルス感染拡大に伴う訪問入浴サービス等体制強化事業	感染症拡大防止	
47	R2	一般	障がい福祉課	障害福祉サービス事業者支援金事業	感染症拡大防止	
48	R2	一般	発達支援課	発達支援事業	感染症拡大防止	
49	R2	一般	発達支援課	発達支援事業	感染症拡大防止	
50	R2	一般	公共財産保全課	庁舎維持管理事業	感染症拡大防止	
51	R2	一般	課税課	課税課窓口業務	感染症拡大防止	
52	R2	国保	課税課	国民健康保険税減免事業	生活安定支援	
53	R2	一般	政策企画課	移住定住ホームページ作成業務	新たな生活様式	
54	R2	一般	政策企画課	基幹統計調査事業	感染症拡大防止	
55	R2	一般	政策企画課	男女共同参画推進事業	感染症拡大防止	
56	R2	一般	人事課	人材育成事業	感染症拡大防止	
57	R2	一般	広報情報課	みしまファンネット推進事業(デジタルマーケティング実施に伴う動画制作業務委託)	経済対策/事業者支援	
58	R2	一般	広報情報課	みしまファンネット推進事業(LINEを活用した情報発信等サービス機能拡充業務委託)	新たな生活様式	
59	R2	一般	広報情報課	みしまファンネット推進事業(YouTube配信広告料)	経済対策/事業者支援	
60	R2	一般	広報情報課	スマート市役所推進事業	新たな生活様式	
61	R2	一般	広報情報課	高度無線環境整備推進事業費補助金	新たな生活様式	
62	R2	一般	危機管理課	避難所用新型コロナ対策消耗品購入事業	感染症拡大防止	
63	R2	一般	危機管理課	新型コロナ対策備品購入事業	感染症拡大防止	
64	R2	一般	危機管理課	要配慮避難者等宿泊施設利用補助事業	感染症拡大防止	
65	R2	一般	危機管理課	新型コロナウイルス感染症対策消防施設整備事業	感染症拡大防止	
66	R2	一般	危機管理課	避難所冷風機整備事業	感染症拡大防止	
67	R2	一般	新型コロナウイルス感染症対策室	特別定額給付金給付事業	生活安定支援	
68	R2	一般	新型コロナウイルス感染症対策室	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	感染症拡大防止	
69	R2	一般	農政課	農畜産物消費回復支援事業	経済対策/事業者支援	

三島市コロナ対策関連事業一覧 (R5.3.31時点)

No	執行年度	会計区分	担当課※R4時点	事業名称	事業区分
70	R2	一般	商工観光課	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	感染症拡大防止
71	R2	一般	商工観光課	中小企業者応援補助金事業	経済対策/事業者支援
72	R2	一般	商工観光課	ものづくり現場環境改善補助金	経済対策/事業者支援
73	R2	一般	商工観光課	宿泊喚起クーポン券発行事業	経済対策/事業者支援
74	R2	一般	商工観光課	ウェブ対応スタート支援事業	新たな生活様式
75	R2	一般	商工観光課	デジタルスタンプラリー実施事業	経済対策/事業者支援
76	R2	一般	商工観光課	観光スマホサイト混雑リーダー等追加事業	新たな生活様式
77	R2	一般	商工観光課	プレミアム付商品券発行事業費補助金事業	経済対策/事業者支援
78	R2	一般	商工観光課	宿泊施設等事業継続支援業務委託事業	経済対策/事業者支援
79	R2	一般	商工観光課	地域飲食店等支援事業費補助事業	経済対策/事業者支援
80	R2	一般	商工観光課	リスタート支援事業費補助事業	経済対策/事業者支援
81	R2	一般	商工観光課	美しい伊豆創造センター負担金	経済対策/事業者支援
82	R2	一般	商工観光課	テイクアウトオンライン注文事業	経済対策/事業者支援
83	R2	一般	商工観光課	応縁袋事業	経済対策/事業者支援
84	R2	一般	商工観光課	ツアーバス誘客促進業務	経済対策/事業者支援
85	R2	一般	商工観光課	離職者等雇用奨励金	経済対策/事業者支援
86	R2	一般	商工観光課	新型コロナウイルス感染症拡大防止支援金	感染症拡大防止
87	R2	一般	楽寿園	楽寿園サーモカメラ購入事業	感染症拡大防止
88	R2	一般	楽寿園	手指用消毒スプレー、マスク購入	感染症拡大防止
89	R2	一般	楽寿園	楽寿館内案内ビデオ放映事業 ※楽寿館内ガイドツアー中止による代替措置	新たな生活様式
90	R2	一般	文化振興課	文化活動団体支援事業	経済対策/事業者支援
91	R2	一般	文化振興課	文化活動動画配信企画実施事業	経済対策/事業者支援
92	R2	一般	文化振興課	文化施設応援スタンプラリー事業	経済対策/事業者支援
93	R2	一般	文化振興課	市民文化会館利用サポート事業協力金事業	経済対策/事業者支援
94	R2	一般	文化振興課	市民文化会館自主文化事業開催支援事業協力金事業	経済対策/事業者支援
95	R2	一般	文化振興課	市民文化会館感染症対策資機材搬入事業	感染症拡大防止
96	R2	一般	文化振興課	市民文化会館サーモカメラ購入事業	感染症拡大防止
97	R2	一般	文化振興課	文化施設応援コラボ事業	経済対策/事業者支援
98	R2	一般	文化振興課	市民文化会館利用サポート事業	経済対策/事業者支援
99	R2	一般	文化振興課	市民文化会館自主文化事業開催支援事業	経済対策/事業者支援
100	R2	一般	水と緑の課	緑化推進感染症対策事業	感染症拡大防止
101	R2	一般	水と緑の課	公園緑地管理感染症対策事業	感染症拡大防止
102	R2	一般	教育総務課	小中学校フェイスシールド購入事業	感染症拡大防止
103	R2	一般	教育総務課	小中学校マスク等購入支援事業	感染症拡大防止
104	R2	一般	教育総務課	放課後児童クラブ感染症対策物品購入事業	感染症拡大防止
105	R2	一般	教育総務課	放課後児童クラブエアコン設置事業	感染症拡大防止
106	R2	一般	教育総務課	民間放課後児童クラブ感染症対策補助事業	感染症拡大防止
107	R2	一般	教育総務課	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業	感染症拡大防止
108	R2	一般	教育総務課	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	感染症拡大防止
109	R2	一般	教育総務課	放課後児童クラブ使用料減免事業	生活安定支援
110	R2	一般	教育総務課	北上小学校エアコン設置事業	感染症拡大防止
111	R2	一般	教育総務課	臨時休校に伴う遠隔学習支援事業	新たな生活様式
112	R2	一般	教育総務課	臨時休校に伴う遠隔学習支援事業	新たな生活様式
113	R2	一般	教育総務課	小中学校情報機器運用管理事業	新たな生活様式
114	R2	一般	教育総務課	小中学校普通教室扇風機整備事業	感染症拡大防止
115	R2	一般	教育総務課	小中学校GIGAスクールサポーター運用事業	新たな生活様式
116	R2	一般	学校教育課	学校給食費返還等事業	経済対策/事業者支援
117	R2	一般	学校教育課	衛生管理改善事業	感染症拡大防止
118	R2	一般	生涯学習課	生涯学習センター空調フィルター・サーモカメラ等購入事業	感染症拡大防止
119	R2	一般	生涯学習課	生涯学習推進イベント用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
120	R2	一般	生涯学習課	青少年団体活動支援金事業	感染症拡大防止
121	R2	一般	生涯学習課	青少年団体活動支援金事業	感染症拡大防止
122	R2	一般	生涯学習課	坂公民館空調設備整備事業	感染症拡大防止
123	R2	一般	生涯学習課	中郷文化プラザ空調フィルター・サーモカメラ等購入事業	感染症拡大防止
124	R2	一般	生涯学習課	公民館Wi-Fi整備事業	新たな生活様式
125	R2	一般	生涯学習課	生涯学習センターWEB環境整備事業	新たな生活様式
126	R2	一般	生涯学習課	青少年相談室感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
127	R2	一般	生涯学習課	北上文化プラザ管理用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
128	R2	一般	生涯学習課	公民館プロジェクター整備事業	新たな生活様式
129	R2	一般	生涯学習課	錦田・坂公民館利用者・来館者感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
130	R2	一般	図書館	図書館事業	感染症拡大防止
131	R2	一般	選挙管理委員会事務局	投票用紙読取分類機購入事業	感染症拡大防止
132	R3	一般	市民課	戸籍住民基本台帳事業 ワンストップ窓口事業	新たな生活様式
133	R3	一般	市民課	戸籍住民基本台帳事業 ワンストップ窓口事業	新たな生活様式
134	R3	一般	市民課	戸籍住民基本台帳事業 ワンストップ窓口事業	新たな生活様式
135	R3	一般	地域協働・安全課	三島市新型コロナウイルス感染症対策公共交通事業者緊急支援事業	経済対策/事業者支援
136	R3	一般	地域協働・安全課	路線バスIT化整備事業費補助金	感染症拡大防止
137	R3	一般	地域協働・安全課	三島市防犯灯電気料補助金の増額	経済対策/事業者支援
138	R3	一般	地域協働・安全課	市民活動推進事業	感染症拡大防止

三島市コロナ対策関連事業一覧 (R5.3.31時点)

No	執行年度	会計区分	担当課※R4時点	事業名称	事業区分
139	R3	国保	保険年金課	傷病手当金支給事業	生活安定支援
140	R3	一般	健康づくり課	社会的検査業務(疾病予防対策事業費等補助金と市単分)	感染症拡大防止
141	R3	一般	健康づくり課	三島市PCR検査センター設置	感染症拡大防止
142	R3	一般	スポーツ推進課	三島市体育施設等指定管理者支援事業	経済対策/事業者支援
143	R3	一般	地域包括ケア推進課	オンラインを活用した高齢者相談支援事業	新たな生活様式
144	R3	介護	介護保険課	介護保険料減免事業	生活安定支援
145	R3	一般	福祉総務課	緊急食料支援事業	感染症拡大防止
146	R3	一般	福祉総務課	緊急食料支援事業	感染症拡大防止
147	R3	一般	福祉総務課	住居確保給付事業	生活安定支援
148	R3	一般	福祉総務課	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業	生活安定支援
149	R3	一般	福祉総務課	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	生活安定支援
150	R3	一般	子育て支援課	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	生活安定支援
151	R3	一般	子育て支援課	子育て世帯臨時特別給付金等給付事業	生活安定支援
152	R3	一般	子育て支援課	地域子育て支援拠点外環境改善等事業費補助金	感染症拡大防止
153	R3	一般	子ども保育課	保育環境改善等事業費補助金	感染症拡大防止
154	R3	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業費補助金	感染症拡大防止
155	R3	一般	子ども保育課	公立幼稚園における感染症対策物品等の購入 (R2繰越分)	感染症拡大防止
156	R3	一般	子ども保育課	公立保育園における感染症対策物品等の購入 (R2繰越分)	感染症拡大防止
157	R3	一般	子ども保育課	市立保育所園ICT化推進事業	新たな生活様式
158	R3	一般	子ども保育課	保育環境改善事業費補助金	感染症拡大防止
159	R3	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業費補助金	感染症拡大防止
160	R3	一般	子ども保育課	公立保育園における感染症対策物品等の購入	感染症拡大防止
161	R3	一般	子ども保育課	公立幼稚園における感染症対策物品等の購入	感染症拡大防止
162	R3	一般	子ども保育課	公立保育園での感染対策活動(時間外手当)	感染症拡大防止
163	R3	一般	子ども保育課	施設への抗原検査キット配布(保育園)	感染症拡大防止
164	R3	一般	子ども保育課	施設への抗原検査キット配布(幼稚園)	感染症拡大防止
165	R3	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症にかかる保育料還付	生活安定支援
166	R3	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症にかかる保育料還付(認定こども園、小規模保育事業所)	生活安定支援
167	R3	一般	障がい福祉課	郵便申請奨励事業	感染症拡大防止
168	R3	一般	障がい福祉課	手話通訳者、要約筆記者、ガイドヘルパー-感染症対策事業	生活安定支援
169	R3	一般	発達支援課	発達支援事業	感染症拡大防止
170	R3	一般	公共財産保全課	庁舎維持管理事業	感染症拡大防止
171	R3	一般	課税課	課税課窓口業務	感染症拡大防止
172	R3	国保	課税課	国民健康保険税減免事業	生活安定支援
173	R3	一般	市税収納課	徴収事業	感染症拡大防止
174	R3	一般	政策企画課	移住定住ホームページ作成業務	新たな生活様式
175	R3	一般	政策企画課	男女共同参画推進事業	感染症拡大防止
176	R3	一般	広聴文書課	市民相談事業	感染症拡大防止
177	R3	一般	人事課	人財育成事業	感染症拡大防止
178	R3	一般	広報情報課	高度無線環境整備推進事業費補助金	新たな生活様式
179	R3	一般	広報情報課	みしまファンネット推進事業(YouTube配信広告料)	経済対策/事業者支援
180	R3	一般	危機管理課	新型コロナウイルス感染症対策消防施設整備事業	感染症拡大防止
181	R3	一般	新型コロナウイルス感染症対策室	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	感染症拡大防止
182	R3	一般	新型コロナウイルス感染症対策室	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	感染症拡大防止
183	R3	一般	商工観光課	テイクアウトオンライン注文事業	経済対策/事業者支援
184	R3	一般	商工観光課	応募袋事業	経済対策/事業者支援
185	R3	一般	商工観光課	ツアーバス誘客促進業務	経済対策/事業者支援
186	R3	一般	商工観光課	離職者等雇用奨励金	経済対策/事業者支援
187	R3	一般	商工観光課	がんばれ三島! PayPayを使って市内事業者を応援しよう	経済対策/事業者支援
188	R3	一般	商工観光課	中小企業者等応援補助金	経済対策/事業者支援
189	R3	一般	商工観光課	観光関連事業者応援補助金	経済対策/事業者支援
190	R3	一般	楽寿園	手指用消毒スプレー、マスク購入	感染症拡大防止
191	R3	一般	文化振興課	文化施設応援コラボ事業	経済対策/事業者支援
192	R3	一般	文化振興課	市民文化会館利用サポート事業	経済対策/事業者支援
193	R3	一般	文化振興課	市民文化会館自主文化事業開催支援事業	経済対策/事業者支援
194	R3	一般	都市整備課	三島駅北口広場使用料	経済対策/事業者支援
195	R3	一般	教育総務課	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	感染症拡大防止
196	R3	一般	教育総務課	小学校抗原検査キット購入事業	感染症拡大防止
197	R3	一般	教育総務課	放課後児童クラブ感染症対策物品購入事業	感染症拡大防止
198	R3	一般	教育総務課	民間放課後児童クラブ感染症対策補助事業	感染症拡大防止
199	R3	一般	教育総務課	小中学校情報機器運用管理事業	新たな生活様式
200	R3	一般	教育総務課	小中学校ICT支援員配置事業	新たな生活様式
201	R3	一般	生涯学習課	公民館Wi-Fi整備事業	新たな生活様式
202	R3	一般	生涯学習課	生涯学習センターWEB環境整備事業	新たな生活様式
203	R3	一般	生涯学習課	生涯学習センター-管理用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
204	R3	一般	生涯学習課	児童センター-感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
205	R3	一般	生涯学習課	坂公民館空調設備整備事業	感染症拡大防止
206	R3	一般	生涯学習課	中郷文化プラザWi-Fi整備関連消耗品購入事業	新たな生活様式
207	R3	一般	生涯学習課	北上文化プラザ管理用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止

三島市コロナ対策関連事業一覧 (R5.3.31時点)

No	執行年度	会計区分	担当課※R4時点	事業名称	事業区分
208	R3	一般	生涯学習課	錦田・坂公民館利用者・来館者感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
209	R3	一般	図書館	図書館事業	感染症拡大防止
210	R3	一般	選挙管理委員会事務局	県知事選挙執行事業	感染症拡大防止
211	R3	一般	選挙管理委員会事務局	参議院議員補欠選挙執行事業	感染症拡大防止
212	R3	一般	選挙管理委員会事務局	衆議院議員選挙執行事業	感染症拡大防止
213	R4	一般	地域協働・安全課	三島市新型コロナウイルス感染症対策公共交通事業者緊急支援事業	経済対策/事業者支援
214	R4	一般	地域協働・安全課	三島市防犯灯電気料補助金の増額	経済対策/事業者支援
215	R4	一般	地域協働・安全課	地区集会所Wi-Fi環境整備費補助金	新たな生活様式
216	R4	一般	健幸政策戦略室	健幸DX推進事業	新たな生活様式
217	R4	国保	保険年金課	傷病手当金支給事業	生活安定支援
218	R4	一般	健康づくり課	社会的検査業務	感染症拡大防止
219	R4	一般	健康づくり課	三島市PCR検査センター設置	感染症拡大防止
220	R4	一般	健康づくり課	保健センター施設感染予防対策	新たな生活様式
221	R4	介護	地域包括ケア推進課	オンラインを活用した高齢者相談支援事業	新たな生活様式
222	R4	一般	地域包括ケア推進課	介護予防支援事業	感染症拡大防止
223	R4	介護	地域包括ケア推進課	地域包括支援センター運営事業	感染症拡大防止
224	R4	介護	地域包括ケア推進課	認知症地域支援・ケア向上事業	感染症拡大防止
225	R4	介護	介護保険課	介護保険料減免事業	生活安定支援
226	R4	一般	福祉総務課	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	生活安定支援
227	R4	一般	福祉総務課	緊急食料支援事業	感染症拡大防止
228	R4	一般	福祉総務課	住居確保給付事業	生活安定支援
229	R4	一般	福祉総務課	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業	生活安定支援
230	R4	一般	福祉総務課	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	生活安定支援
231	R4	一般	福祉総務課	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	生活安定支援
232	R4	一般	子育て支援課	子育て世帯臨時特別給付金等給付事業	生活安定支援
233	R4	一般	子育て支援課	出産祝金支給事業	生活安定支援
234	R4	一般	子育て支援課	子ども配食支援事業	生活安定支援
235	R4	一般	子ども保育課	市立幼稚園ICT化推進事業	新たな生活様式
236	R4	一般	子ども保育課	公立保育園における感染症対策物品等の購入	感染症拡大防止
237	R4	一般	子ども保育課	公立幼稚園における感染症対策物品等の購入	感染症拡大防止
238	R4	一般	子ども保育課	三島市立北幼稚園遊戯室空調設備設置工事	感染症拡大防止
239	R4	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症にかかる保育料還付	生活安定支援
240	R4	一般	子ども保育課	保育所等原油価格・物価高騰対策事業	経済対策/事業者支援
241	R4	一般	子ども保育課	新型コロナウイルス感染症にかかる保育料還付(認定こども園、小規模保育事業所)	生活安定支援
242	R4	一般	障がい福祉課	郵便申請奨励事業	感染症拡大防止
243	R4	一般	障がい福祉課	受付用感染症対策事業	感染症拡大防止
244	R4	一般	障がい福祉課	三島市内授産所マップ作成業務委託事業	経済対策/事業者支援
245	R4	一般	発達支援課	発達支援事業	感染症拡大防止
246	R4	一般	財政課	水環境デジタル監視業務	新たな生活様式
247	R4	一般	財政課	水道料金支援(減免)事業	生活安定支援
248	R4	一般	公共財産保全課	庁舎維持管理事業	感染症拡大防止
249	R4	国保	課税課	国民健康保険税減免事業	生活安定支援
250	R4	一般	政策企画課	基幹統計調査事業	感染症拡大防止
251	R4	一般	人事課	人財育成事業	感染症拡大防止
252	R4	一般	広報情報課	窓口業務デジタル化構築事業	感染症拡大防止
253	R4	一般	広報情報課	コミュニティFM広報事業	感染症拡大防止
254	R4	一般	新型コロナウイルス感染症対策室	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	感染症拡大防止
255	R4	一般	農政課	農畜産物消費回復支援事業	経済対策/事業者支援
256	R4	一般	農政課	肥料等価格高騰対策事業費補助金	経済対策/事業者支援
257	R4	一般	農政課	水環境デジタル監視業務	新たな生活様式
258	R4	一般	商工観光課	ツアーバス誘客促進業務	経済対策/事業者支援
259	R4	一般	商工観光課	ブライダル需要喚起事業支援補助金	経済対策/事業者支援
260	R4	一般	商工観光課	観光客滞在促進事業	新たな生活様式
261	R4	一般	商工観光課	三島市大河ドラマトークイベント開催業務	経済対策/事業者支援
262	R4	一般	商工観光課	三嶋大祭り補助金	経済対策/事業者支援
263	R4	一般	商工観光課	運送事業者支援補助金	経済対策/事業者支援
264	R4	一般	商工観光課	中小企業者等緊急支援補助金	経済対策/事業者支援
265	R4	一般	商工観光課	みしま応援事業「まるごとマルシェ」	経済対策/事業者支援
266	R4	一般	商工観光課	三島市キャッシュレス決済ポイントバック事業	経済対策/事業者支援
267	R4	一般	楽寿園	手指用消毒スプレー、マスク購入	感染症拡大防止
268	R4	一般	文化振興課	市民文化会館感染症対策資機材購入事業	感染症拡大防止
269	R4	一般	水と緑の課	水環境デジタル監視業務	新たな生活様式
270	R4	一般	都市整備課	三島駅北口広場使用料	経済対策/事業者支援
271	R4	水道	水道課	水道料金に係る基本料金の減免	生活安定支援
272	R4	一般	教育総務課	放課後児童クラブ感染症対策物品購入事業	感染症拡大防止
273	R4	一般	教育総務課	民間放課後児童クラブ感染症対策補助事業	感染症拡大防止
274	R4	一般	教育総務課	放課後児童クラブ感染症対策のための改修事業	感染症拡大防止
275	R4	一般	教育総務課	学校等における感染症対策等支援事業	感染症拡大防止
276	R4	一般	学校教育課	物価高騰による給食費緊急支援事業	生活安定支援

三島市コロナ対策関連事業一覧 (R5.3.31時点)

No	執行年度	会計区分	担当課※R4時点	事業名称	事業区分
277	R4	一般	生涯学習課	生涯学習センター管理用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
278	R4	一般	生涯学習課	児童センターバーテーション購入事業	感染症拡大防止
279	R4	一般	生涯学習課	中郷文化プラザ管理用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
280	R4	一般	生涯学習課	北上文化プラザ管理用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
281	R4	一般	生涯学習課	錦田・坂公民館利用者・来館者感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
282	R4	一般	生涯学習課	生涯学習センター料理講習室用感染症対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
283	R4	一般	図書館	図書館事業	感染症拡大防止
284	R4	一般	図書館	図書館利用促進事業	新たな生活様式
285	R4	一般	選挙管理委員会事務局	参議院議員選挙執行事業	感染症拡大防止
286	R4	一般	選挙管理委員会事務局	市長選挙執行事業	感染症拡大防止
287	R4	一般	選挙管理委員会事務局	県議会議員選挙執行事業	感染症拡大防止
288	R4	一般	選挙管理委員会事務局	市議会議員選挙執行事業	感染症拡大防止
289	R4	一般	障がい福祉課	障がいサービス事業所等物価高騰対策支援金事業	経済対策/事業者支援
290	R4	一般	子育て支援課	子育て世帯物価高騰特別給付金給付事業	生活安定支援
291	R4	一般	子育て支援課	ひとり親世帯就職活動応援金給付事業	生活安定支援
292	R4	一般	環境政策課	省エネ家電製品購入費補助金	生活安定支援
293	R4	一般	子育て支援課	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	生活安定支援
294	R4	一般	子育て支援課	出産・子育て応援事業	生活安定支援
295	R4	一般	子育て支援課	子育て支援センター事業	感染症拡大防止
296	R4	一般	危機管理課	避難所用新型コロナ対策消耗品購入事業	感染症拡大防止
297	R4	一般	教育総務課	小中学校情報機器運用管理事業	新たな生活様式
298	R4	一般	教育総務課	小中学校ICT支援員配置事業	新たな生活様式
299	R4	一般	教育総務課	小学校コンピュータ整備事業リース料	新たな生活様式
300	R4	一般	議会事務局	議会事業	感染症拡大防止
301	R4	一般	介護保険課	介護サービス事業所等物価高騰対策支援金	経済対策/事業者支援
302	R4	一般	市民課	マイナンバーカード普及事業	新たな生活様式
303	R4	一般	広報情報課	水環境デジタル監視業務	新たな生活様式

(1) 感染症予防対策

静岡新聞 令和3年4月25日(日)朝刊

三島市は24日、医療従事者を対象にした新型コロナウイルスのワクチン接種を長伏小体育館で開始した。初日は6月に始まる高齢者への接種訓練も兼ね、接種を受ける人が予診から副反応の経過観察まで1カ所で行う「三島モデル」で実施。医師や看護師ら240人が訪れ、1人当たり20分程度の短時間で接種を終えた。

三島モデルは予約を済ませた被接種者が席を待機し、医師らスタッフが巡回してワクチンを投与する仕組み。接種を受ける人は予診から15分間の経過観察まで移動する必要がなく、特に高齢者への負担を軽減して迅速な接種につなげる。接種を受けた富士山南東消防本部の救助隊員横山和幸さん(37)は「すごくスムーズで不安もなく接種を受けられた」と話した。

肖像権の関係で写真掲載不可

スタッフが会場を巡回する三島モデルで実施したワクチン接種＝三島市立長伏小

# 医療従事者の接種開始 三島市 高齢者向け訓練兼ねる

コロナワクチン

三島市は24日、医療従事者を対象にした新型コロナウイルスのワクチン接種を長伏小体育館で開始した。初日は6月に始まる高齢者への接種訓練も兼ね、接種を受ける人が予診から副反応の経過観察まで1カ所で行う「三島モデル」で実施。医師や看護師ら240人が訪れ、1人当たり20分程度の短時間で接種を終えた。

三島市は24日、医療従事者を対象にした新型コロナウイルスのワクチン接種を長伏小体育館で開始した。初日は6月に始まる高齢者への接種訓練も兼ね、接種を受ける人が予診から副反応の経過観察まで1カ所で行う「三島モデル」で実施。医師や看護師ら240人が訪れ、1人当たり20分程度の短時間で接種を終えた。

## ワクチン集団接種 三島モデル



静岡新聞社編集局調査部許諾済

慎重な搬送・管理・取扱が必要なワクチン





肖像権の関係で写真掲載不可

車内で待機する要介護者にワクチンを打つドライブスルー接種＝12日午後、三島市立東小

三島市は12日、自力での移動が困難なために新型コロナウイルスワクチンの集団接種を受けられない65歳以上の要介護者を対象にした「ドライブスルー接種」を同市東町の東小で実施した。助手席や後部座席で待機する高齢者に医師がワクチンを投与し、経過観察までを車内で行う。市独自の手法で、7月までに市内の小学校3カ所で計12回のド

### 三島市独自のドライブスルー接種

## 要介護者に車内で

ドライブスルー接種を予定している。

東小では体育館で一般高齢者の集団接種が終わった午後3時過ぎ、計18人の要介護者を乗せた車両16台が駐車場に並んだ。医師2人とスタッフが順番に回り、ドアを開けて体調や予診票などを確認しながらワクチンを打った。妻の敏子さん(87)と一緒に車で訪れた森田哲之助さん(89)は「足が悪いので歩くのはつらい。車の中で全てスムーズに終わり、すごく楽で助かった」と話した。市は事前に39カ所の居宅介護事業所で接種方法に関するアンケートを行い、ドライブスルー、バリアフリー会場、訪問接種のいずれかについて要介護者の希望を確認した。120人がドライブスルーを選択し、7月29日までに2回ずつ接種を受ければ」と語る。

静岡新聞社編集局調査部許諾済

### 高齢者施設での集団接種



# 三島市 ワクチン予約開始

## 65歳以上「お助け隊」がサポート



自宅でサポートを受けてワクチンの予約を行う御宿さん(右)＝三島市

三島市は7日、新型コロナウイルスのワクチン接種を希望する65歳以上の予約受け付けを開始した。市職員や市民アドバイザーによるお助け隊がスマートフォン操作方法を指導し、インターネット

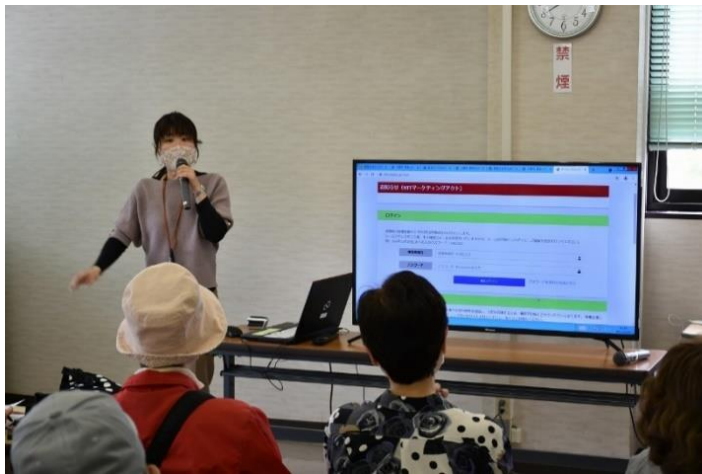
予約を受け付けるコールセンターには電話が殺到し、朝からつなぐりにくい状況が続いている。市は混雑を避けるためネット予約を推奨し、7日は市役所を訪れた高齢者にお助け隊がスマホ操作を手助けした。来場者は生年月日や通知番号などを入力し、接種の希望日や会場を選んで予約を進めた。要介護認定を受ける高齢者などには、ケアマネジャーや地域包括支援センターの職員らが自宅を訪問。独り暮らしで足腰が弱い御宿

純子さん(89)は自宅でサポートを受け、予約を完了させた。当日の所持品やタクシー予約についても説明を受けた。「本当にありがたい。自分でやったら一日かかっても無理」と話した。

お助け隊は8日も街中ほとんどのサロンで午前9時から午後4時にスマホ操作の指導を行う。自宅訪問の希望も随時受け付ける。問い合わせは市地域包括ケア推進課(電話055(9)83(3)2609)へ。

静岡新聞社編集局調査部許諾済

スムーズなサポートを  
「お助け隊」の前日講習会



# コロナとの闘い 一冊に

## 三島市と市医師会



新型コロナウイルスとの戦いの記録をまとめた報告書を豊岡市長(右)に渡す吉富会長=三島市役所

### ホームページに公開

三島市と市医師会は、新型コロナウイルスとの闘いの記録を一冊の報告書にまとめた。未知の感染症に戸惑いつつこのように集団予防接種を行った課題や工夫、苦悩も交えて記載した。今後は新興感染症が起きる可能性は高く、市医師会の吉富治会長は「後世に記録を残すのは右左在したわれわれの責任。少しでも参考になればいい」と語る。

## 集団予防接種 教訓後世へ

2020年末に発見された新型コロナウイルスは瞬く間に感染拡大し、医師や市職員は次々と対応を迫られた。国の方針も定まらず「何をどうしていいかわからない状態」で、やっとながながいことを言われ続けたと吉富会長は振り返る。

危険感を持った吉富会長が21年7月、報告書作成を市に提案した。新たな感染症が再び発生した場合に備え、経験を踏まえた問題点洗い出ししておく必要があると考えたからだ。報告書は医療的観点から

の総括と、予防接種の実施に関する2本柱でまとめた。未経験の大規模な集団予防接種に関しては、医療スタッフや会場の確保、接種券の発送、ワクチンの管理など検討が必要だった約40項目について、対応状況も詳しく紹介。今回はそれぞれ残した。全面的に三島モデルとして注目された医療スタッフが巡回して接種する方式の記録も記した。

(三島支局・岡田拓也)

医療スタッフが巡回してワクチン接種する「三島モデル」は各地から問い合わせが相次ぐ



静岡新聞社編集局調査部許諾済



## 三島市 避難所の感染予防へ ワンタッチパーティション配備

三島市は24日に開かれた市議会6月定例会の最終本会議で、災害時の避難所で新型コロナウイルスの感染予防に配慮し、避難者を安全に区分けする「ワンタッチパーティション」を配備することを示した。同日可決された一般会計補正予算に、関連費用として2万6800円で、納期は年内を目途に購入する。市によると、高さ1.4メートルのパーティションは飛まつによる感染リスクを抑えられるため互いの間隔を離す必要がなく、避難所の空間を最大限活用できる。1区画は避難者2人が入る広さで、小さく折りたたむため保管場所や設置、移動の手間も少なく済むという。価格は2万6800円で、納期は年内を目途に購入する。市は国の地方創生臨時交付金を活用し、市内の全24避難所に計1812式を配置する予定。市内経済の振興策として市が2割分を上乗せするプレミアム付商品券は、郵送やウェブによる事前申し込みを受けて販売し、市内金融機関で受け渡すと説明した。買い占めを防ぐため購入上限数を設ける予定で、10月初旬の発売を目指す。このほか、同定例会は刑事訴訟法の再審規



避難所の感染予防も踏まえて購入するワンタッチパーティション＝三島市内

定改定を国に求める意見書を可決して閉会した。(三島支局・金野真仁)

静岡新聞社編集局調査部許諾済

## 三島市 出水期を前に

# コロナにも警戒 避難所開設訓練

三島市は16日、新型コロナウイルスの感染対策も踏まえた避難所開設訓練を市立西小で開いた。大雨による洪水や土砂災害が発生しやすい時期を前に、感染が疑われる避難者と濃厚接触者、健常者を安全に振り分ける方法を確認した。

地震を想定した避難者の振り分けでは体育館の内に教室へ、健常者は館の外に給食付を設け、防護服を着た職員が非接触の体温測定を実施した。風水害の場場合は体育館の中で避難者に互いの距離を取って並んでもらい、体調不良や体温の高い人が参加し、感染防護服

## 防護服を着て体温測定



避難者の体温を測定する職員＝三島市立西小

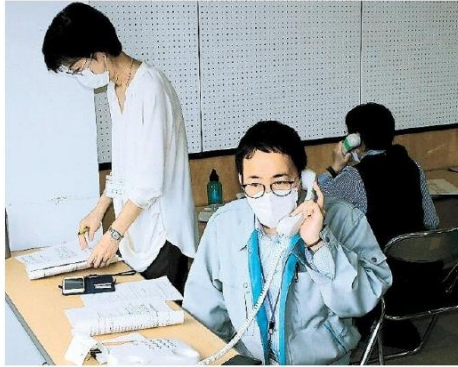
の脱ぎ方や表面を触れず包んで捨てる方法を学んだ。避難所での住居スペースを区分けするパーティションの設置にも取り組んだ。(三島支局・金野真仁)

静岡新聞社編集局調査部許諾済



## (2) 生活安定対策

伊豆日日新聞 令和2年5月2日(土)朝刊



市は「より多くの人に、いち早く支給したい」との思いから、政府が整備するマイナンバーを活用した申請の他に、独自のオンライン申請を整備した。市によるとその場合、マイナンバーカードが不要で、運転免許証などの本人確認書類の画像添付が必要となる。市民からの問い合わせに対応する新型コロナウイルス感染症対策室の職員ら11日午後2時行先

特別給付金申請

# 開始1時間で400件超 独自電子申請導入の三島市

新型コロナウイルス感染症対策の二環で、国民1人につき10万円を支給する政府の「特別定額給付金」について、一部の自治体で1日、オンライン申請の受け付けが始まった。マイナンバーカードを必要としない「より簡易な電子申請」を独自に導入した三島市では、開始から約1時間で400件以上の申請があり、職員が対応に追われた。

市は「ぜひ案内を見てほしい」と話す。掲載したホームページ「一方、申請書の郵送

【3面に伊豆の国市、羽前町の申請】

は20日ごろの発送となる見通しで、電子申請で受け付けした分の初回振り込みについては「5月中旬ごろから順次実施予定」という。豊岡武士市長は「迅速かつ的確に、一刻も早く市民の皆さんにお届けし、有効に活用してほしい」としている。

伊豆新聞本社許諾済

一日も早い給付を  
オール市役所で給付金申請書類発送準備  
～独自の電子申請は全国的に注目を集める～



### (3) 経済対策

伊豆日日新聞 令和2年5月3日(日) 朝刊

地元店舗の「選りすぐり商品」を組み合わせたドライブスルー形式で予約販売する「みしま縁袋」三島商工会議所



新型コロナウイルス所と三島市が運営する繁栄拡大防止のため、「みしま縁袋」支援ステーション(M-ステ)住宅で過ごす家族が増える中、三島商工会議所は、新たに「おうち時

三島・M-ステ

# 「みしま縁袋」予約販売

## ドライブスルーで引き渡し

新型コロナウイルス所と三島市が運営する繁栄拡大防止のため、「みしま縁袋」支援ステーション(M-ステ)住宅で過ごす家族が増える中、三島商工会議所は、新たに「おうち時間を楽しもう!」をテーマにした「みしま縁袋(おうえん)袋」の事業に乗り出す。地元商店主「選りすぐり」の商品をバラエティ豊かに組み合わせたお楽しみ袋で、受け渡しは「3密」を避けるためにドライブスルー形式を採用。予約販売を3日にスタートする。袋にはそれぞれ親子で楽しめる絵本の読み聞かせや、プラモデル作り、「和を楽しむき茶」、贅沢カレー食べ比べ、パエリアに挑戦、「癒やしリフレッシー」などテーマを設定。価格も1千〜3千円まで幅を持たせ、中

伊豆新聞本社許諾済

ドライブスルーマーケット  
～飲食店をお弁当購入で支援～



Enjoy a Holiday

# Drive through Market Final!

ドライブスルーマーケット  
in JA三島西南佐野支店駐車場  
日時:5月24日(日) 販売時間10:30~12:30

<p><b>7.PAPPATORIA</b> 本場イタリアのクックモイターズ!2種のバニニと曹麻お店で見ている、ナスグララン、スルーニのパン粉焼きなど、お得な3品です! お家でドクニツク気分はいかがでしょうか?</p>	<p><b>10.ジヌ家</b> 伝統のズスツカッパをメインに、韓国のおりかけご飯、チキンチエ、ナムル、チヂミ、キムチ、チキンジャコが詰まった弁当です。お昼に韓国のおりかけご飯がおすすめです。是非お召し上がりください!</p>	<p><b>イタリアのバニニ80X</b></p>	<p><b>チースタのカルビと仲間たち弁当</b></p>
<p><b>8.BAR Mi</b> 五つに選んだ牛パルプステーキ!しゃきるチキンフリッター、特製ガーリックライスにライムソース、アンチョビソース掛け、ポテト海苔グラタンなど、家族のお祝いになります!是非お召しください!</p>	<p><b>11.ひとつめ</b> 骨付き鶏を特製タレに一晩漬け込み、スチームアップで蒸し焼きにするので水分と脂が抜けやすくなります。焼あがりです。</p>	<p><b>Mi特製 お肉のドリフル弁当</b></p>	<p><b>お肉のドリフル弁当</b></p>
<p><b>9.彩食茶の間Coo三島本店</b> 柔らか牛タンステーキ、ローストビーフライス、鶏の唐揚げ、魚の塩焼き、一年一豚、鶏まひなどのお弁当自給二品め込みです!お弁当の肉類系弁当です!</p>	<p><b>12.ふたつめ</b> 世界一綺麗な海と無添加の薪で育った天然の海苔と素材にこだわって育った湯水(一斗)を素材にしました。ふたつめで、人気の出汁巻きとおでも入れてください!</p>	<p><b>Cooの肉み肉三味弁当</b></p>	<p><b>天使のおもてなし水子(うぶ)にけるまひの三品です。</b></p>

※価格はすべて税込1000円です  
ご自宅でお召し上がりいただくことを前提としています。取り置き・おしほり等は配布いたしません。ご了承ください。

# 三島市プレミアム商品券

## 23日まで予約受け付け



予約を受け付けているプレミアム付き商品券＝三島市役所大社町別館

三島市は23日まで、券の購入予約を受け付けている。新型コロナウイルスの影響で落ち込む経済振興策として発行する20%のプレミアム付商品券。コンビニ、交通機関など470の店舗や事業所で利用できる。千円券10枚、500円券4枚の計1万2千円分を1冊1万円で購入し、1人3冊まで購入が可能。販売総数は8万冊で、申し込み多数の場合は抽選を行う。ウェブでアンケートに答えた購入者のうち、抽選で5千円分のクーポン券が当たる「ダブルプレミアム」も実施する。使用期間は10月1日～来年2月末。購入希望者はインターネット

か往復はがきによる郵送で申し込む。問い合わせは市商工観光課(三島支局・金野真仁)へ。△電055(0)88326555へ。

静岡新聞社編集局調査部許諾済

### 飲食店支援のクラウドファンディング「みらい飯」

～全国1位の支援額を集める～



成立

### 【地域飲食店応援プログラム】三島の飲食店を応援しよう！



三島商工会議所青年部

支援総額

**30,471,000円**

目標金額 50,000円

支援者

2,013人

募集終了日

2020年6月12日

フォローする

プロジェクトは成立しました！



# 遠隔授業へ操作学ぶ

## コロナ対策で三島の小中教諭



オンラインによる遠隔授業について学ぶ教員ら＝三島市立徳倉小

市教委の職員からZoomに参加するための基本的な手続きについて指導を受けた後、3グループに分かれて実践した。教師と生徒役を設定してタブレット端末で画面を共有し、特定の生徒のみ音声を発する機能、書き込んで説明するホワイトボードなども活用しながら有効性を確認した。安全面や倫理的な観点から克服すべき課題を挙げる教員もみられた。

向山小の広江理教諭は「操作は簡単だが、

### システムの有効性を確認

三島市教育委員会は12日、新型コロナウイルスの影響で小中学校の休校が続く中、インターネットを活用した遠隔授業の導入に向けた教員対象の勉強会を市立徳倉小で開いた。全小中学校から情報教育担当の教諭ら21人が出席し、オンライン会議システム「Zoom(ズーム)」の操作方法などを学んだ。

場面に応じて授業にどう落とし込むか。うまく使えば有効だと思う」と話した。参加者は各校に戻り、学んだ知識を同僚の教員らと共有する。

(三島支局・金野真七)

静岡新聞社編集局調査部許諾済



5月28日(木)



### 中学生のオンライン学習の試行

《北中学校》

新型コロナウイルス感染症予防のため休校となっている状況の中、今後の感染症拡大や自然災害など緊急時における子どもたちの学習保障など行うための対策の一つとして行われました。生徒の皆さんは、先生との久しぶりの「授業」を楽しんでいるようでした。

広報みしま

令和2年 7月15日号

## 小学校でのオンライン集会



## 令和2年5月の分散登校



## 令和2年6月1日 学校再開



## 感染症対策を講じて授業参観を実施



## 地域のボランティアによる消毒作業





オンラインでトレーニング法を指導した講座  
＝三島市民体育館

## みしまジュニアスポーツアカデミー トレーニングを遠隔指導

世界で活躍するアスリートが発掘、育成を目指す「みしまジュニアスポーツアカデミー」三島市など実行委員会主催が新型コロナウイルスの影響で中断する

中、オンライン会議システム「Zoom」を活用した遠隔トレーニング講座が16日夜、同市民体育館を拠点に行われた。

講師のスポーツトレーナー須賀雄一さん(32)と受講生の小中学生ら14人の自宅をオンラインでつなぎ、講座が始まった。須賀さんは運動神経を伸ばす「環境」の重要性などをクイズも交えて伝え、片足立ちやブリッジなど自宅でできるストレッチやトレーニングについて指導した。

勢もアドバンスし、運動は新しいものを取り入れて続けるのが大切」と呼びかけた。年間プログラムを通じて競技への適性や体づくりの基礎などを学ぶ同アカデミーは、新型コロナウイルスの影響で2月から講座が中断。市立北上中1年の浜本侑太郎さんは「オンラインでも意外ときつくて、楽しかった。体が硬いのでストレッチを続けたい」と話した。

静岡新聞社編集局調査部許諾済

座席数を減らして、文化・芸術の灯を守る  
三島市民文化会館



オンライン指導に先立ち、  
運動機能の測定に取り組む  
参加者  
＝三島市役所大社町別館

## 高齢者の感染、介護予防へ



新型コロナウイルスの影響で密集できない高齢者にオンラインで運動指導を行い、感染を防止しながら介護予防を図る県の事業が19日、三島市で始まった。市内の10人が貸与されたタブレット端末で週に一度、医療従事者の手ほどきを受けながら自宅で筋トレやストレッチなどに取り組む。県によると全国初の事業で、掛川市と吉田町でも行われる。

# オンラインで運動指導

## 全国初、三島でスタート

三島市では三島総合病院で理学療法士として勤務する渡辺大樹さん(32)を講師に、オンライン会議システム「Zoom(ズーム)」による運動教室を開催。実演を交えて自宅でできるおすすめのリレーニングを紹介し、参加者それぞれの映像を見ながら丁寧に指導する。教室以外でも運動を継続するよう呼びかけ、25日から7月22日まで5回の講座を通じて体を動かす習慣を身につけてもらう。市内2カ所の交流スペース「居場所」に通う高齢者10人が参加し、初回は市役所大社町別館で初期設定やタブレットの操作方法を学んだ。運動機能の測定も実施し、いすから立ち上がり歩いて戻る速さなどを確認した。オンライン指導が終了した後の7月30日

に再び集まり、同じ運動測定を行ってリレーニングの効果を検証する。  
(三島支局・金野真七)

静岡新聞社編集局調査部許諾済

# 高齢者の運動にポイント

三島市 健康増進へシニア版



健康増進に向けて設定したシニア向けの8項目  
＝三島市立保健センター

## 来月中旬 ためて景品に 開始予定

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い外出を自粛する高齢者が増える中、三島市は運動などの取り組みにポイントを付与する「健康マイレージ事業」のシニア版を始める。原則65歳以上を対象に運動、感染予防、食生活などの実施項目を設定し、ポイントがたまると野菜セットなどの景品を抽選で贈る。目標に向けた行動を促し、心と体の健康増進につなげる。

キーワードは「コロナに勝とう!」。「コ」は口腔(こうくわん)ケア、「ナ」は仲間とつながる。など、それぞれの文字から始まる八つの項目を実行すると毎日ポイントが与えられる。一口30回以上かんで食事をしたり、日記をつけたりした参加者は、専用のカードに項目の頭文字と日付を記入。40枚がたまったら市役所などの応募ボックスにカードを投函する。

市の担当職員は外出

の自粛期間に認知症が進んだりする高齢者もいるとして、「意識して行動することで心身ともに元気になってほしい」と話す。7月中旬にカードを郵送してスタートする予定。対象は65歳以上だが、近い年齢の市民も希望すれば参加できる。  
(三島支局・金野真七)

静岡新聞社編集局調査部許諾済

既存イベントの代替や  
 デジタル技術を活用している  
 自治会・町内会を紹介!!

【中央町自治会】



新型コロナウイルスの影響に対する高齢者の支援としてお弁当を配りました。

【塚の台町内会】



市の発表した記事やマスク不足の際に購入可能なウェブサイトを町内会のホームページに掲載しました。

【東吉町田町内会】



携帯電話等を使用して緊急のことを話し合える体制が役員間にあるため、メール等ですぐ相談ができました。通常時もメールを活用し、先に会議内容や検討事項を伝えることで、役員会をスムーズに実施しました。



徳倉第4町内会 オンラインイベント

「お家でビンゴ」イベント概要

<ビンゴに参加する方>

<ビンゴに参加しない方>

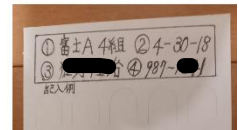
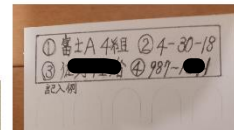
【LINEで参加】

【神社で参加】

- ①会長とお友達登録する
- ②「お家でビンゴ参加希望」と入力し送信する
- ③会長がLINEグループ「お家でビンゴ」に招待する
- ④(お家で)「参加」する

- ・ビンゴカード裏に世帯主名等を記入

- ・ビンゴカード裏に世帯主名等を記入



→ ビンゴしなかった方は  
 <抽選賞にも参加可能>

↓  
 <抽選賞に参加>



(5) 市民生活への影響

静岡新聞 令和2年4月23日(木) 朝刊

「三嶋大祭り」戦後初の中止 市民に落胆と理解



「来年は2年分の思い込めたい」  
 「こういう状況仕方ない」

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、22日に戦後初の中止が決まった三島市の「三嶋大祭り」。6年に1度の当番町として夏の舞台を自指してきた住民は、落胆しながらも「こういう状況では仕方ない」と受け止めた。来年を見据えて「2年ぶりの思いを次に込めたい」と、気持ちを切り替えようとする声も上がった。

— 関連記事24面へ —

祭りのフィナーレを飾るしやぎりの競り合い、山車の引き回し。今年も当番町として準備を進めてきた緑町自治会長の土屋俊博さん(71)は中止の決定に理解を示しながらも、「祭りを楽しみに1年を過ごす人もいる。残念だと肩を落とした。地元の子にとっても最高の思い出となるだけに、1来年の大祭りでは当番町ができるかどうか。しっかりと話し合いたい」と話した。

華やかなパレードを繰り広げる伝統芸能「農兵節」普及会の須田徳男さん(85)は「今は我慢に我慢を重ねる時」と中止の決定を受け入れ、「来年は2年分の思いを込めたい」と前を向いた。大祭りについて研究を続ける伊豆史談会の土屋比都司会長(74)は「歴史ある祭りが中断されるのは残念だが、仕方ない。来年、健康に安全にできることを祈っている」と話した。

(三島支局・金野真仁)

当番町の山車が競り合いを繰り広げた昨年の三嶋大祭り  
 — 三島市の三嶋大社前 —

静岡新聞社編集局調査部許諾済

広報みしま 令和4年 9月1日号  
 三嶋大祭り 3年ぶりに開催



肖像権の関係で写真掲載不可

三嶋大祭り  
 みしまおまつり

問合せ  
 広報情報課  
 ☎983・2620

3年ぶりに夏の夏が帰ってきました。8月15日、17日の3日間、大盛り上がりで迎えました。飲食や人数、声援などに制限があらじゅうウイルス禍での開催ではありましたが、シャオリやパレードをはじめ市民の皆さんの3年分の熱気が詰まった3日間となりました。



2022.9.1 | 広報みしま 16

三嶋大社

# 三が日の初詣客半減

## 「分散参拝」で4日は混雑

肖像権の関係で写真掲載不可

三嶋市大高町の三嶋大社は、三が日の初詣客が29・8万人(推定)で、例年の半数以下にとどまった。新型コロナウイルス感染対策が浸透し、仕事始めの4日は分散参拝の市民で混雑した。

同社によると、三の参拝者が多数訪かけて列もできた。境が日初詣は例年60万人を数え、昨年は62・3万人(推定)、元旦だけで29万人(同)だった。今年も政府などの呼び掛けで、分散して初詣を行う傾向もあり、例年ほどのにぎわいはなかった。

4日は午前中から、同市や周辺市町の家族連れ、カップル、成人祝

マスク着用を促す看板が立ち、境内には協力を求める放送が流れた。また、飲食などの露店は、例年大みそかから節分まで同大社内と門前に立ち並ぶが、今年も4日からの営業となった。

伊豆の国市長岡から家族4人で訪れた女性(36)は「3日まで家にはいたが、今日は天気が良かったので来てみた。意外に混んでるの吓了一跳」と話した。

伊豆新聞本社許諾済

広報みしま

令和3年 4月1日号

三島南高 センバツ出場

声出し応援等の制限あるも

明るい話題に





新型コロナウイルス  
感染拡大で三島市

# 麗水市中学生派遣は中止

# 防護服100着送り支援



三島市が友好都市提携を結ぶ中国・麗水市に100着を支援で送る防護服＝同市役所

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中国浙江省・麗水市と友好都市提携を結ぶ三島市は7日までに、3月として、備蓄する防護服100着を現地に送ることも決めた。新たな支援については、引き続き麗水市側と協議していく方針という。市は、国内外で感染

て「真や保健所など、関連情報をホームページを通じて情報収集するシヤライン、SNS会」とも、市民の皆々、員制交流サイト」を活用して迅速に提供して

伊豆新聞本社許諾済

いる。手洗いやマスクなどを通じて、予防対策の徹底をお願いした

三島市

# 麗水市から支援物資 コロナマスク4.7万枚、防護服100着



大量のマスクと防護服での「お礼」に感謝しメッセージを掲げる豊岡市長、平出会長(右から3人目)ら＝三島市の保健センター

中国浙江省・麗水市 市医師会、富士山南東と友好都市提携を結ぶ、消防組合の関係者が三島市に22日までに、出席した。現地の新型コロナウイルス感染拡大を受け、市はこれまでに防護服100着を贈るなど活用されるマスク4万5千枚と、より「(三島市は)麗水に

「心温めてもらった」感謝の親書

高性能な「N95マスク」1番に貴重な物資を送る2千枚、防護服100着、260万人着で、同日、市立保健の市民の心を温めてもセンターで報告会が開かれた。親書による感謝のメッセージも、豊岡武土市長と、支援物資受け入れのサポートに尽力した市国際交流協会の平出利之会長をはじめ、配在先の

伊豆新聞本社許諾済

感染対策物品の供給不足の中、多くの企業・団体等から寄贈をいただく



サーマル AI カメラ



消毒液スプレースタンド



手作りのマスク

# 「コロナ偏見なくしたい」

## 三島RC 2高生徒 市にシトラスリボン1000個

三島ロータリークラブ「たい」と手作りしたシトラスリボン約千個と日大三島、知徳を三島市に贈った。高のインターアクトクラブは23日、「コロナ」に対する偏見をなくし、活動として両校の生徒



豊岡市長にシトラスリボンを贈る(手前左から)知徳、日大三島高の代表生徒と中山会長＝三島市役所

と協力して取り組んだ。会員42人とインターアクトクラブに加入する日大三島高の45人、知徳高の38人が、5月から製作した。中山会長と両校の代表生徒各4人が市役所を訪れ、豊岡武土市長にシトラスリボンを手渡した。中山会長は「コロナに感染した人に対する差別や誹謗(ひぼう)中傷のない町を願う。若い人たちが活動したとあいさつした。インターアクトクラブの日大三島高部長の杉山蓮さん(3年)は「これからも力になっていきたい」、知徳高副部長の山口佳純さん(2年)は「このようなボランティア活動ができて良かった」と話した。

豊岡市長は「誰でも感染する可能性がある。誹謗中傷は悲しいこと。皆さんの気持ちを市民に伝えたい」と礼を述べた。

伊豆新聞本社社許諾済



編集・発行 三島市役所 企画戦略部  
新型コロナウイルス感染症対策室

〒411-8666 静岡県三島市北田町 4-47

TEL : 055-983-2711

FAX : 055-973-5722

MAIL : [seisaku@city.mishima.shizuoka.jp](mailto:seisaku@city.mishima.shizuoka.jp)

